

令和6年8月26日

道路局 国道・技術課

橋梁等の2023年度(令和5年度)点検結果をとりまとめ
～道路メンテナンス年報(2巡目)の公表～

- 2013年度の道路法改正等を受け、2014年度より道路管理者は全ての橋梁、トンネル、道路附属物等について、5年に1度の点検が義務付けられています。2018年度に1巡目点検、2023年度に2巡目点検が完了し、2024年度から3巡目点検が実施されています。
- 今般、2023年度までの点検や診断結果、措置状況等を「道路メンテナンス年報」としてとりまとめましたのでお知らせいたします。

○主なポイント

1. 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検実施状況(p1)

- 2巡目(2019～2023年度)の点検実施状況は、
橋梁:99.4%、トンネル:98.6%、道路附属物等:99.3%
と、概ね100%となっています。

2. 橋梁の修繕等措置の実施状況(p3～p4、p12)

- 1巡目(2014～2018年度)点検で、判定区分Ⅲ・Ⅳ※の橋梁における修繕等措置の着手率は、国、高速道路は100%の一方、地方公共団体は83%と約2割が未着手と低水準になっています。

※判定区分Ⅲ:早期に措置を講ずべき状態 判定区分Ⅳ:緊急に措置を講ずべき状態

- 1巡目点検で判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁を管理する地方公共団体1,712団体の修繕等措置の着手率は、
 - ・着手率100%が 894団体(52%)
 - ・着手率50%以上100%未満が 659団体(39%)
 - ・着手率50%未満が 159団体(9%)となっており、修繕が必要な橋梁に対する措置の実施状況に差がある状況です。
- 1巡目点検で、判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁における修繕等措置の完了率は、全体で67%と約3割で未完了、また、他の橋梁と比べて跨線橋は59%と低水準になっています。

3. 措置が必要な橋梁の状況(p8)

- 2巡目点検終了時で、1巡目点検終了時と比較して建設後50年を経過した橋梁数が増加(約13万橋⇒約21万橋)している一方、判定区分Ⅲ、Ⅳの橋梁数は着実に減少(約6.9万橋⇒約5.6万橋)しています。

道路メンテナンス年報は、以下のWebページにてご覧いただけます。

https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/yobohozen_maint_index.html

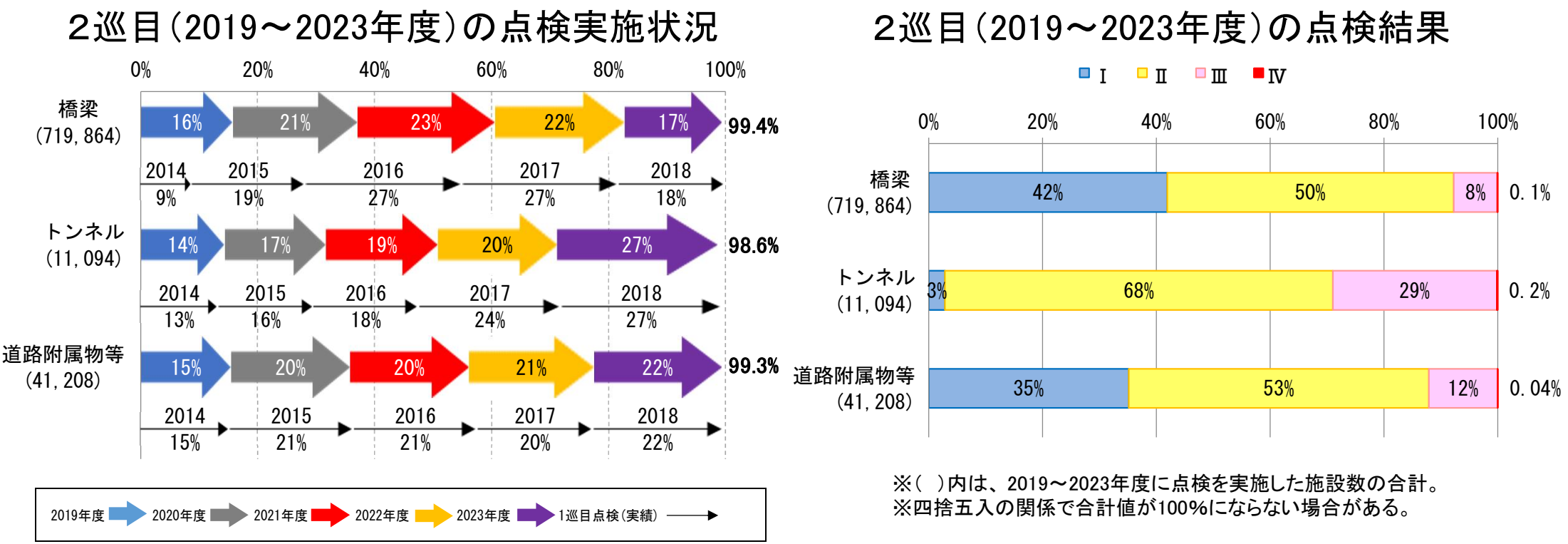
<問い合わせ先>

道路局 国道・技術課 道路メンテナンス企画室 課長補佐 竹田、中村(内線 37892、37863)

(代表) 03-5253-8111 (直通) 03-5253-8494

- 全道路管理者の2巡目(2019～2023年度)の点検実施状況は、橋梁:99.4%、トンネル:98.6%、道路附属物等※:99.3%と、概ね100%となっている。

○ 全道路管理者の2019～2023年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態(判定区分Ⅲ・Ⅳ)の割合は、橋梁:8%、トンネル:29%、道路附属物等:12%
- ※道路附属物等:シェッド、大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等



判定区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

橋梁の損傷事例

判定区分Ⅲ

早期措置段階「構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態」



国管理 床版鉄筋露出
※床版: 橋の裏側



地方自治体管理 主桁腐食



地方自治体管理 支承腐食

判定区分Ⅳ

緊急措置段階「構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態」



国管理 主桁腐食・欠損



地方自治体管理 床版鉄筋露出



地方自治体管理 橋脚洗掘

1巡目点検で判定区分Ⅲ、Ⅳの橋梁の修繕等措置の実施状況

- 1巡目(2014年度～2018年度)の点検で早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023年度末時点で国土交通省:100%、高速道路会社:100%、地方公共団体:83%、完了した割合は、国土交通省:82%、高速道路会社:85%、地方公共団体:66%
- 判定区分Ⅲ・Ⅳである橋梁は次回点検まで(5年以内)に措置を講ずべきとしているが、地方公共団体において5年以上経過していても措置に着手できていない橋梁は約2割ある。

管理者	措置が必要な 施設数(A)	措置に着手済 の施設数(B)	うち完了(C)	未着手 施設数	2023年度末時点 措置着手率(B/A)、措置完了率(C/A)						(参考)2022年度末時点		
					点検年度	措置着手率(B/A)、措置完了率(C/A)					措置に着手済 の施設数	うち完了	
					0%	20%	40%	60%	80%	100%			
国土交通省	3,340	3,340 (100%)	2,724 (82%)	0 (0%)	2014	95%					100%	3,283 (98%)	2,254 (67%)
					2015	90%					100%		
					2016	83%					100%		
					2017	78%					100%		
					2018	65%					100%		
高速道路会社	2,532	2,532 (100%)	2,164 (85%)	0 (0%)	2014	88%					100%	2,352 (93%)	1,893 (75%)
					2015	93%					100%		
					2016	87%					100%		
					2017	90%					100%		
					2018	74%					100%		
地方公共団体	60,482	50,129 (83%)	39,688 (66%)	10,353 (17%)	2014	80%					90%	41,868 (68%)	32,188 (53%)
					2015	72%					87%		
					2016	67%					83%		
					2017	57%					77%		
					2018	54%					79%		
都道府県 政令市等	19,814	18,238 (92%)	14,298 (72%)	1,576 (8%)	2014	87%					97%	16,697 (83%)	12,420 (62%)
					2015	79%					95%		
					2016	72%					91%		
					2017	62%					87%		
					2018	63%					92%		
市区町村	40,668	31,891 (78%)	25,390 (62%)	8,777 (22%)	2014	75%					85%	25,171 (61%)	19,812 (48%)
					2015	69%					84%		
					2016	64%					80%		
					2017	55%					73%		
					2018	49%					70%		
合計	66,354	56,001(84%)	44,576(67%)	10,353(16%)		67%					84%	47,503(71%)	36,335(54%)

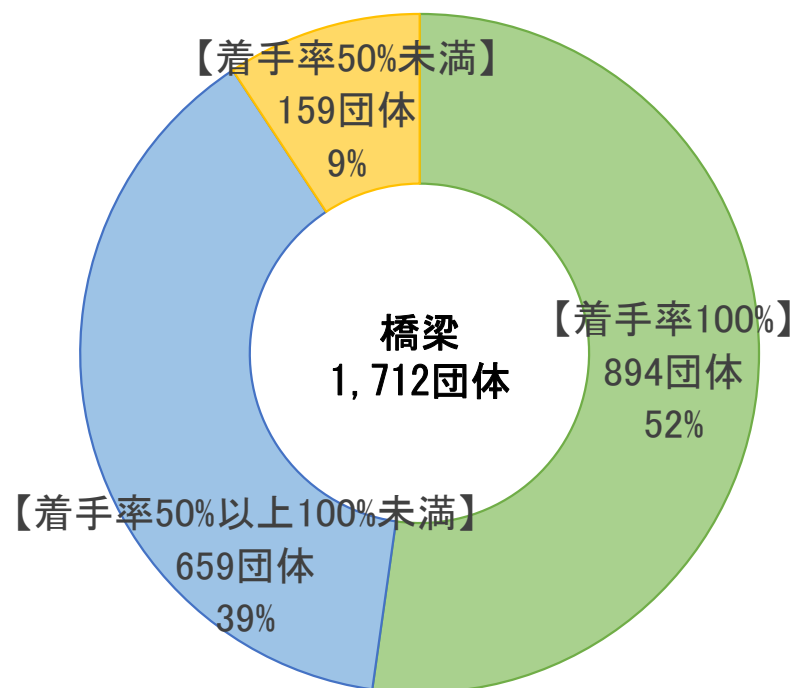
↑: 2023年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース
2014年度点検実施(9年経過):100%、2015年度点検実施(8年経過):100%、2016年度点検実施(7年経過):100%、2017年度点検実施(6年経過):100%、2018年度点検実施(5年経過):100%

完了済 着手済

1巡目点検(2014-18)の実施施設(橋梁)に対する地方公共団体の修繕等措置の着手状況

- 1巡目点検(2014-2018年度)において早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁に着手した割合は、地方公共団体によって差があり、
1巡目点検で区分Ⅲ又はⅣと判定された施設を管理している1,712団体のうち、
- ・ 着手率100%の地方公共団体が894団体(52%)ある一方で、
 - ・ 着手率50%以上100%未満が 659団体(39%)
 - ・ 着手率50%未満が 159団体(9%)
- であり、地方公共団体によって差がでてきている。

1巡目点検判定区分ⅢⅣ施設に対する修繕等措置の着手状況



※点検対象外等となり、現在、1巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設を管理していない団体を除く。

国土交通省

1巡目点検で判定区分Ⅲ、Ⅳのトンネルの修繕等措置の実施状況

- 1巡目(2014年度～2018年度)の点検で早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023年度末時点で国土交通省:100%、高速道路会社:100%、地方公共団体:95%、完了した割合は、国土交通省:98%、高速道路会社:95%、地方公共団体:82%
- 判定区分Ⅲ・Ⅳである橋梁は次回点検まで(5年以内)に措置を講ずべきとしているが、地方公共団体において5年以上経過していても措置に着手できていないトンネルは約1割ある。

管理者	措置が必要な 施設数(A)	措置に着手済 の施設数(B)	うち完了(C)	未着手 施設数	点検年度	2023年度末時点 措置着手率(B/A)、措置完了率(C/A)						(参考)2022年度末時点	
						0%	20%	40%	60%	80%	100%	措置に着手済 の施設数	うち完了
国土交通省	503	503 (100%)	494 (98%)	0 (0%)	2014	100% 100%						497 (99%)	451 (89%)
					2015	98% 100%							
					2016	97% 100%							
					2017	97% 100%							
					2018	100% 100%							
高速道路会社	692	692 (100%)	656 (95%)	0 (0%)	2014	97% 100%						687 (99%)	635 (92%)
					2015	98% 100%							
					2016	98% 100%							
					2017	89% 100%							
					2018	84% 100%							
地方公共団体	3,131	2,964 (95%)	2,566 (82%)	167 (5%)	2014	88% 94%						2,862 (91%)	2,246 (71%)
					2015	88% 97%							
					2016	89% 99%							
					2017	83% 96%							
					2018	71% 90%							
都道府県 政令市等	2,315	2,299 (99%)	2,093 (90%)	16 (1%)	2014	98% 100%						2,296 (99%)	1,888 (81%)
					2015	90% 98%							
					2016	92% 99.6%							
					2017	90% 99.6%							
					2018	87% 99%							
市区町村	816	665 (81%)	473 (58%)	151 (19%)	2014	67% 83%						566 (69%)	358 (43%)
					2015	70% 85%							
					2016	73% 94%							
					2017	54% 82%							
					2018	52% 78%							
合計	4,326	4,159(96%)	3,716(86%)	167(4%)		86% 96%						4,046(93%)	3,332(77%)

↑: 2023年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース

完了済 着手済

2014年度点検実施(9年経過):100%、2015年度点検実施(8年経過):100%、2016年度点検実施(7年経過):100%、2017年度点検実施(6年経過):100%、2018年度点検実施(5年経過):100%

2巡目点検で判定区分Ⅲ、Ⅳの橋梁の修繕等措置の実施状況

○ 2巡目(2019年度～2023年度)の点検で早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023年度末時点で国土交通省:64%、高速道路会社:45%、地方公共団体:47%、完了した割合は、国土交通省:19%、高速道路会社:20%、地方公共団体:21%

管理者	措置が必要な 施設数(A)	措置に着手済 の施設数(B)	うち完了(C)	未着手 施設数	点検年度	2023年度末時点 措置着手率(B/A)、措置完了率(C/A)					
						0%	20%	40%	60%	80%	100%
国土交通省	3,716	2,380 (64%)	713 (19%)	1,336 (36%)	2019	37%96%					
					2020	24%85%					
					2021	17%69%					
					2022	13%47%					
					2023	2%17%					
高速道路会社	2,714	1,223 (45%)	530 (20%)	1,491 (55%)	2019	49%87%					
					2020	25%63%					
					2021	17%43%					
					2022	12%35%					
					2023	1%8%					
地方公共団体	49,315	23,342 (47%)	10,367 (21%)	25,973 (53%)	2019	39%66%					
					2020	32%63%					
					2021	19%51%					
					2022	9%31%					
					2023	2%17%					
都道府県 政令市等	17,064	9,797 (57%)	3,920 (23%)	7,267 (43%)	2019	44%78%					
					2020	36%76%					
					2021	20%62%					
					2022	9%44%					
					2023	3%22%					
市区町村	32,251	13,545 (42%)	6,447 (20%)	18,706 (58%)	2019	36%60%					
					2020	30%56%					
					2021	18%46%					
					2022	9%24%					
					2023	2%14%					
合計	55,745	26,945(48%)	11,610(21%)	28,800(52%)		21%48%					

↑: 2023年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース
2019年度点検実施(4年経過):80%、2020年度点検実施(3年経過):60%、2021年度点検実施(2年経過):40%、2022年度点検実施(1年経過):20%

2巡目点検で判定区分Ⅲ、Ⅳのトンネルの修繕等措置の実施状況

国土交通省

○ 2巡目(2019年度～2023年度)の点検で早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023年度末時点で国土交通省:64%、高速道路会社:52%、地方公共団体:57%、完了した割合は、国土交通省:28%、高速道路会社:30%、地方公共団体:29%

管理者	措置が必要な 施設数(A)	措置に着手済 の施設数(B)	うち完了(C)	未着手 施設数	2023年度末時点 措置着手率(B/A)、措置完了率(C/A)						
					点検年度	0%	20%	40%	60%	80%	100%
国土交通省	421	269 (64%)	116 (28%)	143 (36%)	2019						
					2020						
					2021						
					2022						
					2023						
高速道路会社	421	219 (52%)	128 (30%)	202 (48%)	2019						
					2020						
					2021						
					2022						
					2023						
地方公共団体	2,375	1,360 (57%)	692 (29%)	1,015 (43%)	2019						
					2020						
					2021						
					2022						
					2023						
都道府県 政令市等	1,815	1,179 (65%)	629 (35%)	636 (35%)	2019						
					2020						
					2021						
					2022						
					2023						
市区町村	560	181 (32%)	63 (11%)	379 (68%)	2019						
					2020						
					2021						
					2022						
					2023						
合計	3,217	1,848(57%)	936(29%)	1,369(43%)							

↑: 2023年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース

2019年度点検実施(4年経過): 80%、2020年度点検実施(3年経過): 60%、2021年度点検実施(2年経過): 40%、2022年度点検実施(1年経過): 20%

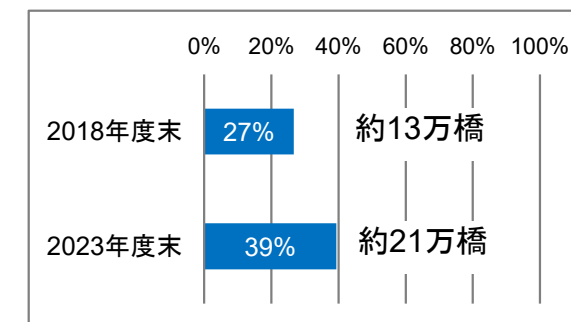
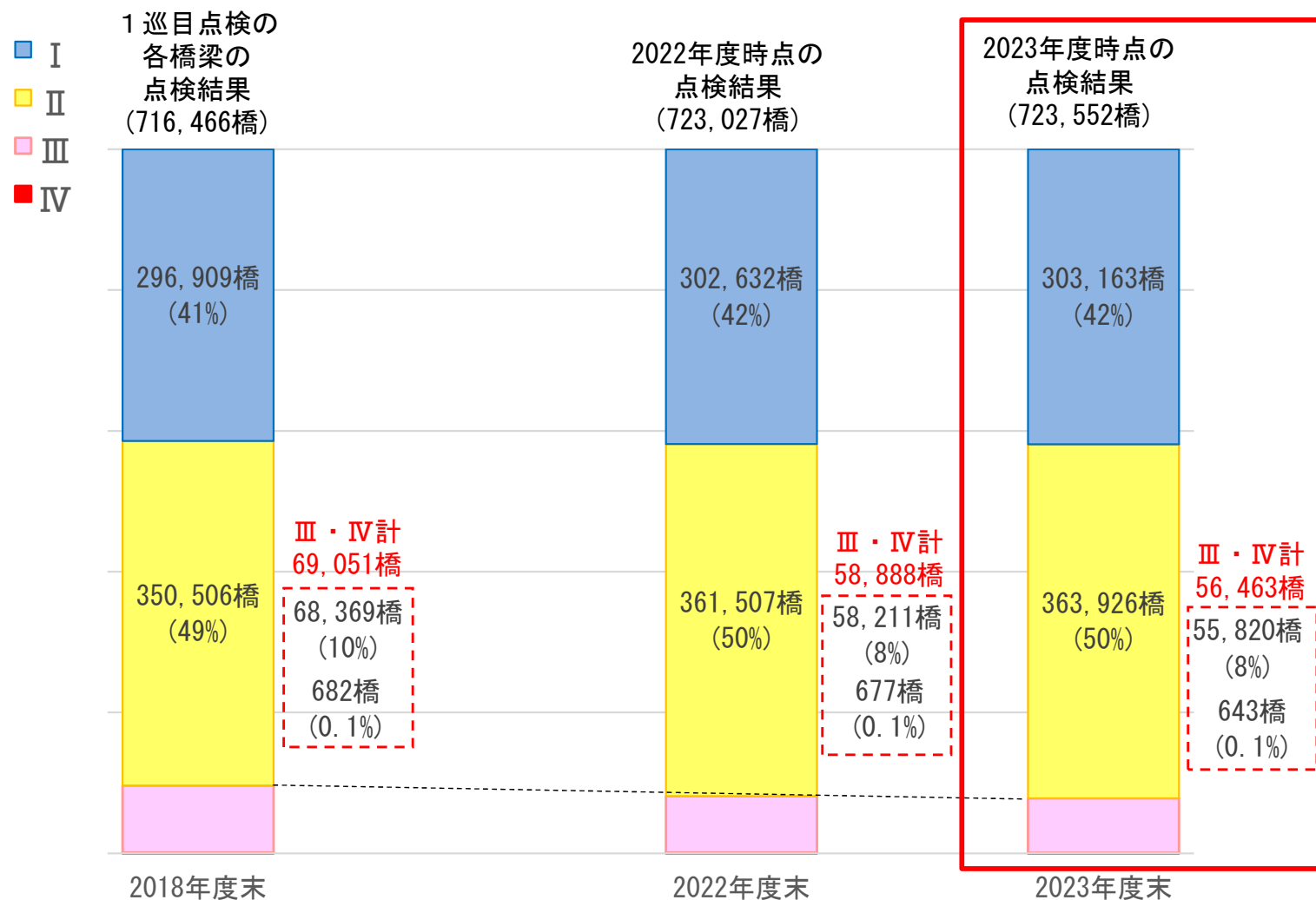
完了済

着手済

7

2023年度末時点での橋梁の判定区分毎の施設数と割合

- 2023年度末時点での点検結果では判定区分の割合は、Ⅰ：42%、Ⅱ：50%、Ⅲ：8%、Ⅳ：0.1%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁は56,463橋であった。
- 1巡目点検終了時点と比較すると建設後50年以上経過した橋梁数は増加している一方で、年々判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁数は着実に減少している。



(参考) 建設後50年を経過した橋梁の割合

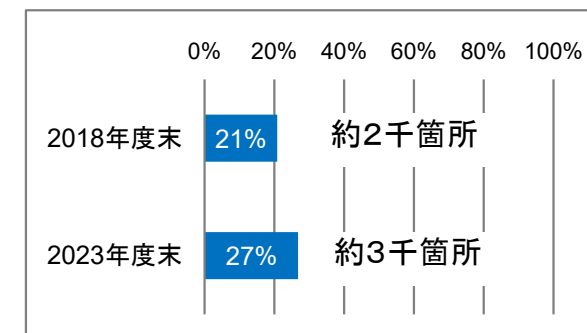
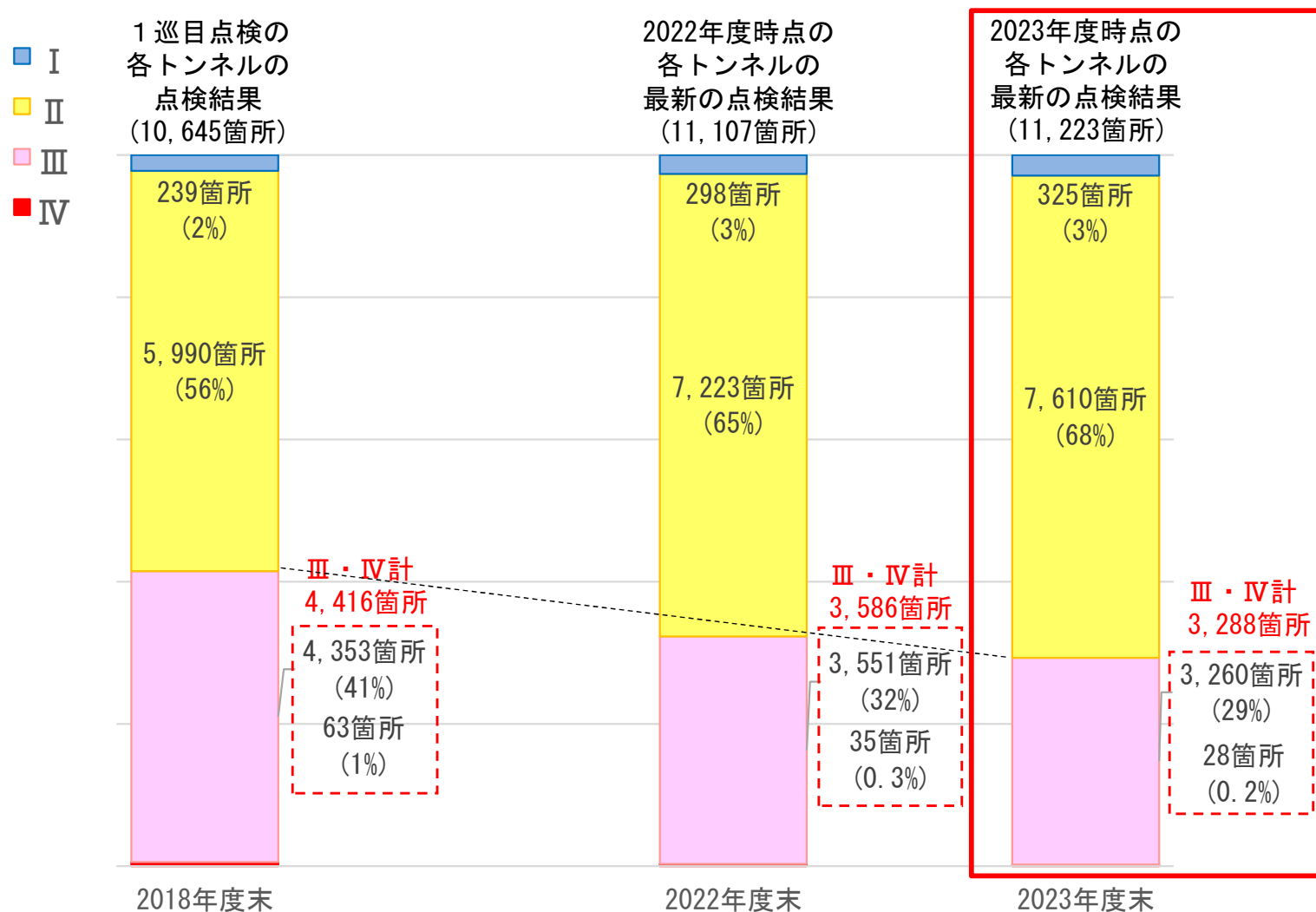
※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁がある。

○ 2023年度末時点の点検で早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、国土交通省:64%、高速道路会社:45%、地方公共団体:48%、完了した割合は、国土交通省:19%、高速道路会社:20%、地方公共団体:21%

管理者	措置が必要な 施設数(A)	措置に着手済 の施設数(B)		未着手 施設数	
			うち完了(C)		
国土交通省	3,724	2,388 (64%)	716 (19%)	1,336 (36%)	
高速道路会社	2,714	1,223 (45%)	530 (20%)	1,491 (55%)	
地方公共団体	50,025	23,801 (48%)	10,611 (21%)	26,224 (52%)	
	都道府県 政令市等	17,227	9,932 (58%)	3,976 (23%)	7,295 (42%)
	市区町村	32,798	13,869 (42%)	6,635 (20%)	18,929 (58%)
合計	56,463	27,412(49%)	11,857(21%)	29,051(51%)	

2023年度末時点でのトンネルの判定区分毎の施設数と割合

- 2023年度末時点での点検結果では判定区分の割合は、Ⅰ：3%、Ⅱ：68%、Ⅲ：29%、Ⅳ：0.2%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳのトンネルは3,288箇所であった。
- 1巡目点検終了時点と比較すると建設後50年以上経過したトンネルは増加している一方で、年々判定区分Ⅲ・Ⅳのトンネルは着実に減少している。



(参考) 建設後50年を経過したトンネルの割合

※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルがある。

2023年度末時点の点検にて判定区分Ⅲ、Ⅳのトンネルの修繕等措置実施状況

- 2023年度末時点の点検で早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、国土交通省:64%、高速道路会社:52%、地方公共団体:58%、完了した割合は、国土交通省:28%、高速道路会社:30%、地方公共団体:30%

管理者	措置が必要な 施設数(A)	措置に着手済 の施設数(B)	うち完了(C)	未着手 施設数
国土交通省	421	269 (64%)	116 (28%)	152 (36%)
高速道路会社	421	219 (52%)	128 (30%)	202 (48%)
地方公共団体	2,446	1,410 (58%)	726 (30%)	1,036 (42%)
都道府県 政令市等	1,831	1,195 (65%)	643 (35%)	636 (35%)
市区町村	615	215 (35%)	83 (13%)	400 (65%)
合計	3,288	1,898(58%)	970(30%)	1,390(42%)

1 巡目点検の実施施設における跨線橋及び緊急輸送道路等の橋梁の修繕等措置の実施状況

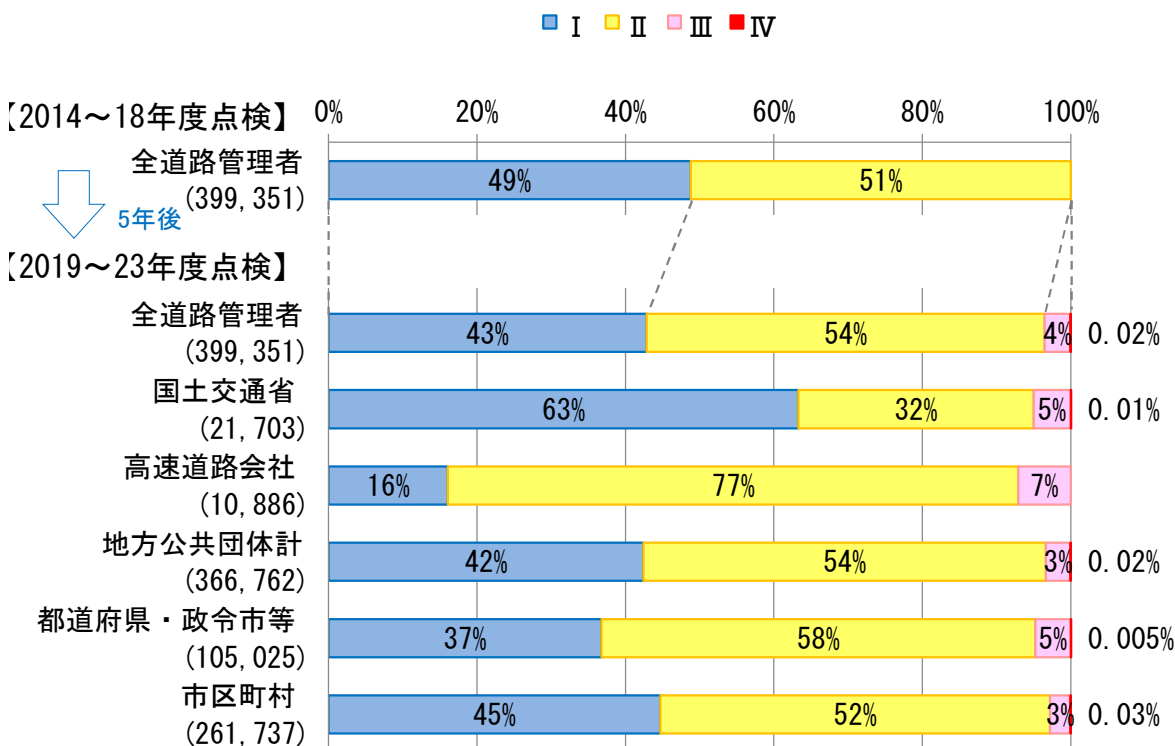
- 1巡目点検(2014～2018年度)で早期に措置を講ずるべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずるべき状態(区分Ⅳ)と判定された跨線橋及び緊急輸送道路等の橋梁のうち、修繕等の措置が完了した割合は、2023年度末時点で、跨線橋 59%、緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋 77%、緊急輸送道路を構成する橋梁 79%であり、跨線橋の措置完了率が低くなっている。

	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数 B (B/A)	うち完了 C
			(C/A)
跨線橋	2,030	1,911 (94%)	1,199 (59%)
緊急輸送道路を 跨ぐ跨道橋	1,830	1,744 (95%)	1,403 (77%)
緊急輸送道路を 構成する橋梁	13,395	13,109 (98%)	10,595 (79%)
(参考)全橋梁	66,354	56,001 (84%)	44,576 (67%)

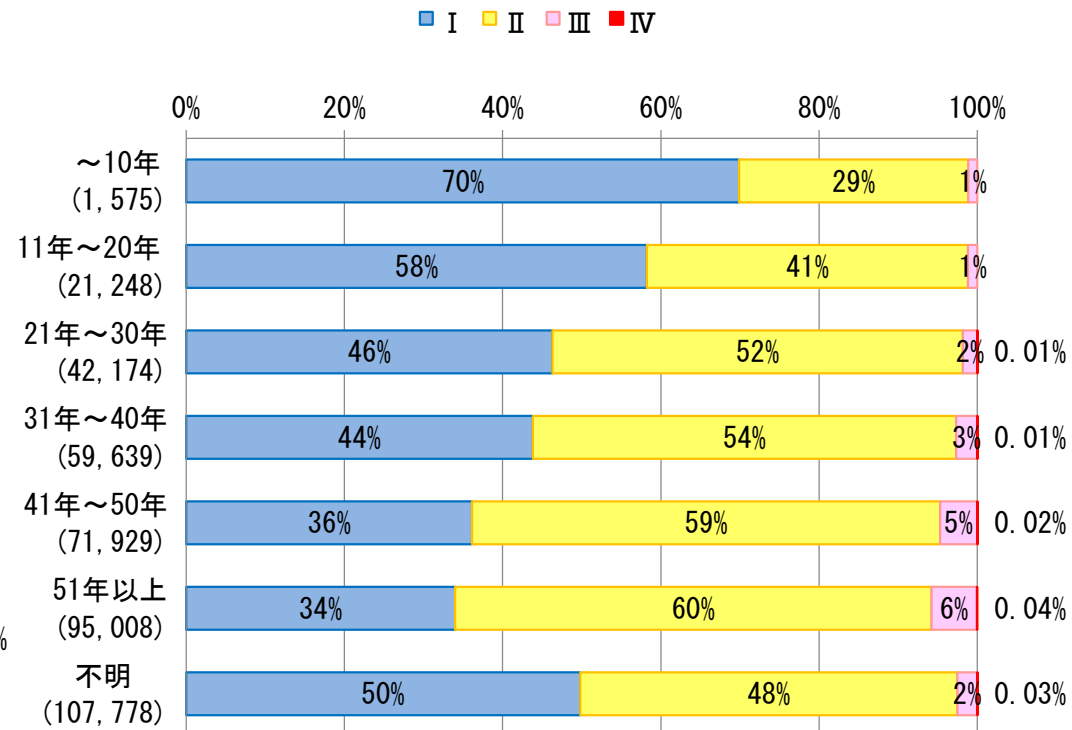
1巡目から2巡目点検における判定区分Ⅰ・Ⅱの遷移状況(橋梁)

- 1巡目の2014年度～2018年度点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態(区分Ⅰ・Ⅱ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2019年度～2023年度点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ・Ⅳ)へ遷移した橋梁の割合は全道路管理者合計で4%
- 建設後経過年数に比例して、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっている。

道路管理者別の遷移状況



建設後経過年数別の遷移状況 (全道路管理者合計)



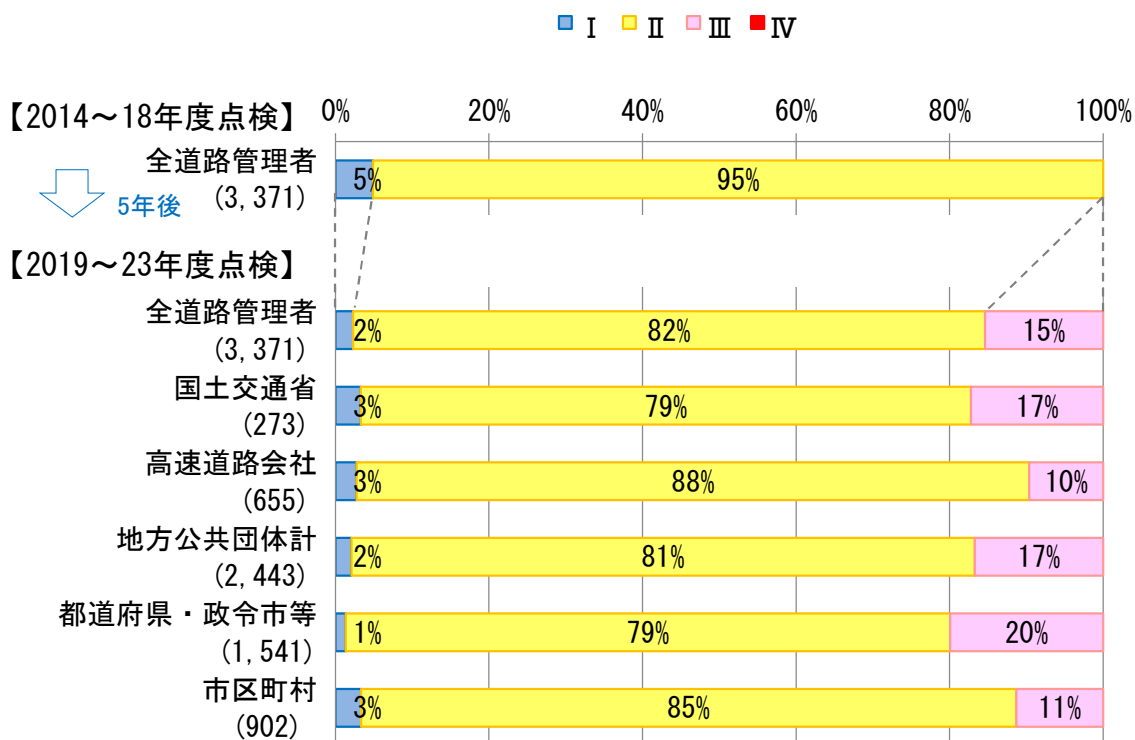
※()内は、1巡目点検(2014年度～2018年度)の結果が判定区分ⅠまたはⅡとなった橋梁のうち、修繕等の措置を講じないまま5年後の2019年度～2023年度に点検を実施した橋梁の合計

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

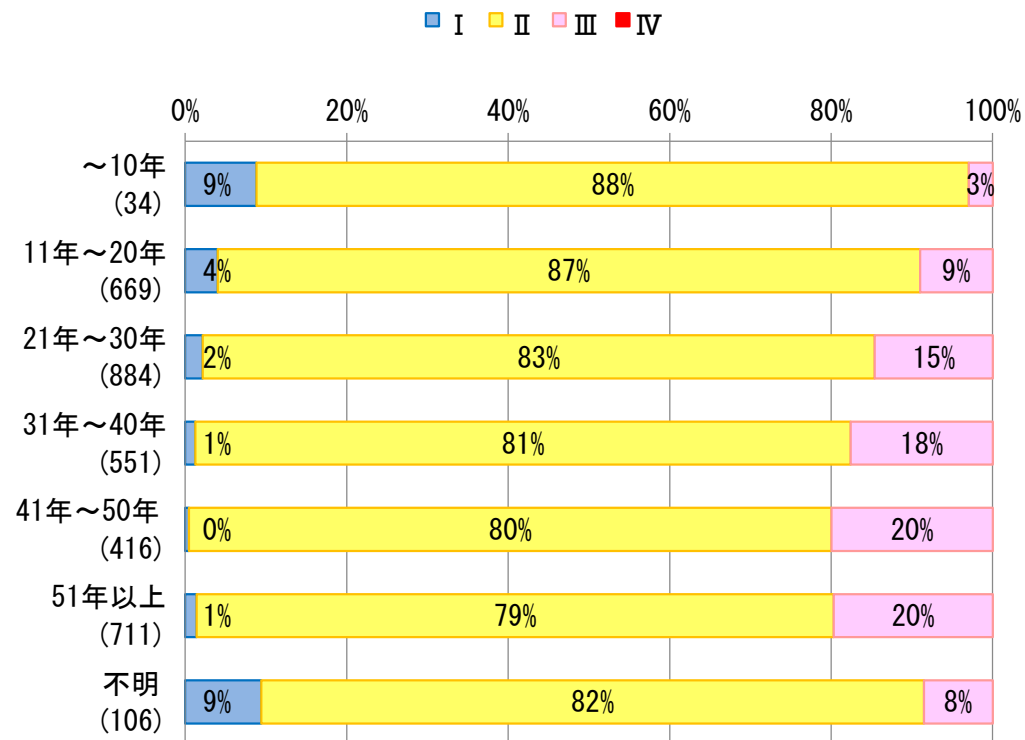
1巡目から2巡目点検における判定区分Ⅰ・Ⅱの遷移状況(トンネル)

- 1巡目の2014年度～2018年度点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態(区分Ⅰ・Ⅱ)と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2019年度～2023年度点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ・Ⅳ)へ遷移したトンネルの割合は全道路管理者合計で15%
- 建設後経過年数に比例して、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっている。

道路管理者別の遷移状況



建設後経過年数別の遷移状況 (全道路管理者合計)



※()内は、1巡目点検(2014年度～2018年度)の結果が判定区分ⅠまたはⅡとなったトンネルのうち、修繕等の措置を講じないまま5年後の2019年度～2023年度に点検を実施したトンネルの合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

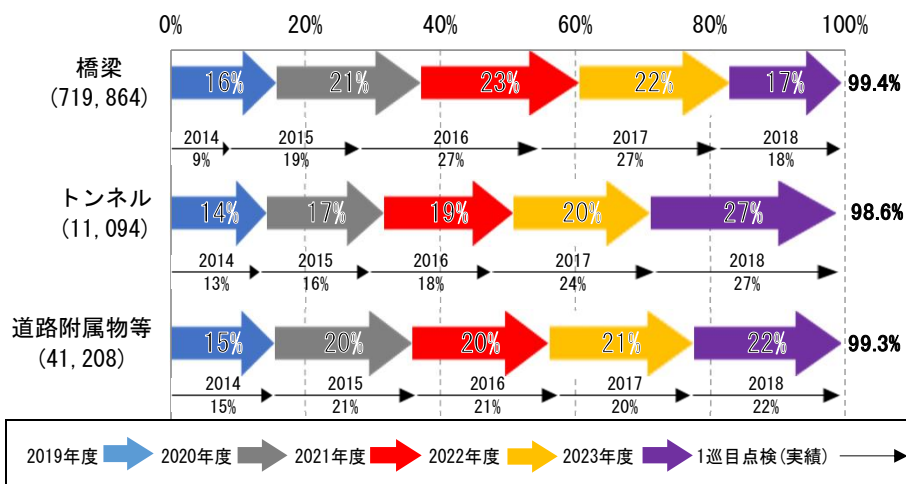
道路メンテナンス年報(2023年度)の概要

○橋梁・トンネル・道路附属物等について、2巡目の点検は概ね100%となっている。

橋梁について、地方公共団体の修繕が必要な橋梁の措置着手・完了率が低水準。

○建設後50年を経過した橋梁数は増加している一方、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁数は着実に減少。

■ 橋梁・トンネル・道路附属物等の2巡目点検実施状況



2巡目の点検は概ね100%となっている

■ 1巡目点検で修繕が必要とされた橋梁の修繕等措置状況

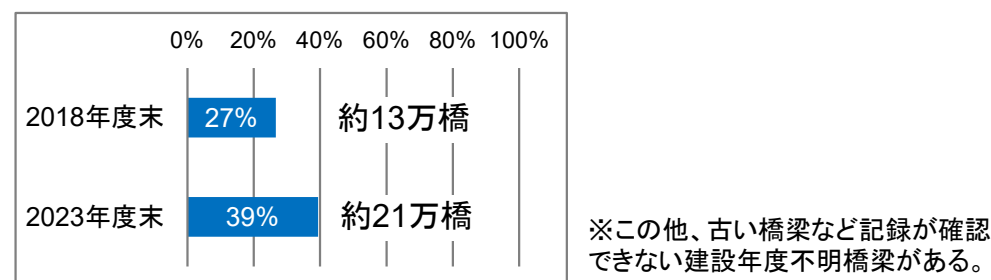
管理者	措置が必要な 施設数 ※1	措置に着手済み の施設数	うち完了
国土 交通省	3,340	3,340 (100%)	2,724 (82%)
高速 道路会社	2,532	2,532 (100%)	2,164 (85%)
地方 公共団体	60,482	50,129 (83%)	39,688 (66%)

**地方公共団体の修繕が必要な橋梁の
措置着手・完了率が低水準**

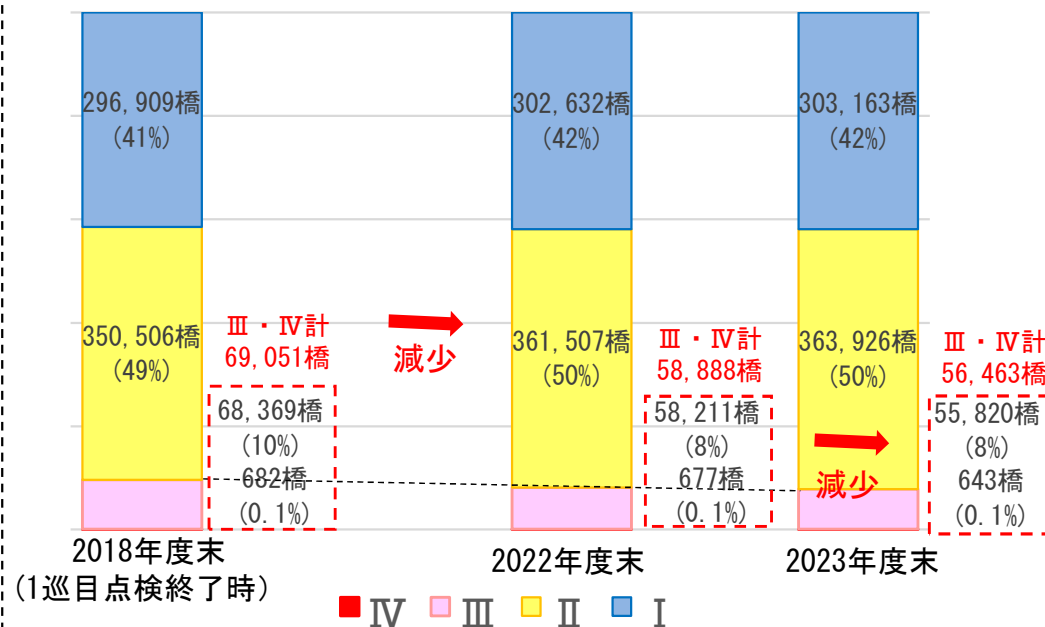
※1: 判定区分Ⅰ～Ⅳのうち、判定区分Ⅲ(早期措置段階)及び判定区分Ⅳ(緊急措置段階)の橋梁数

※2: 判定区分Ⅲ・Ⅳである橋梁は次回点検まで(5年以内)に措置を講ずべきとされている

■ 建設後50年を経過した橋梁の割合



■ 橋梁の判定区分毎の施設数と割合



**1巡目点検終了時と比較して、建設後50年を経過した橋梁
数は増加している一方で、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳ
の橋梁は56,463橋であり、年々着実に減少している**

○国土交通省では、国民・道路利用者の皆様に道路インフラや老朽化対策の現状をご理解いただくため、点検の実施状況や結果等を調査し、「道路メンテナンス年報」としてとりまとめて公表。

■ 道路メンテナンス年報公表に関する経緯

○ 笹子トンネル天井板落下事故[2012.12]

○ 道路法の改正[2013.6] : 点検基準の法定化(橋梁・トンネル・道路附属物等)

○ 定期点検に関する省令・告示 施行[2014.7] : 5年に1回、近接目視による点検開始

○ 道路メンテナンス年報公表[2015.11～(毎年)]

【主な掲載内容】・橋梁、トンネル、道路附属物等の点検結果及び修繕等措置の実施状況

・舗装・小規模附属物・土工構造物の点検結果及び修繕等措置の実施状況 等

道路メンテナンス年報

国土交通省 道路局

2024 年 8 月

目次

1. 道路メンテナンス年報について.....	1
(1) 概要	1
(2) 橋梁・トンネル・道路附属物等の健全性の診断について	1
2. 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検結果.....	2
(1) 2巡目（2019～2023年度）の点検結果.....	2
(2) 判定区分Ⅰ・Ⅱの施設の5年後の判定区分Ⅲ・Ⅳへの遷移状況	14
(3) 過年度の点検（2014～2023年度）の実施施設の判定区分毎の施設数と割合	17
(4) 過年度の点検（2014～2023年度）の点検結果	20
3. 判定区分Ⅲ、Ⅳの施設の修繕等措置の実施状況.....	32
(1) 1巡目点検（2014～2018年度）の実施施設における修繕等措置の実施状況	32
(2) 2巡目点検（2019～2023年度）の実施施設における修繕等措置の実施状況	35
(3) 過年度の点検（2014～2023年度）の実施施設における修繕等措置の実施状況	38
(4) 1巡目点検（2014～2018年度）の実施施設における跨線橋及び緊急輸送道路等の橋梁の修繕等措置 の実施状況	41
(5) 各都道府県における道路管理者毎の老朽化対策状況	43
(6) 全国道路施設点検データベース（損傷マップ）	43
(7) 判定区分Ⅳの施設の措置状況	44
4. 地方公共団体の修繕等措置状況.....	45
(1) 1巡目点検（2014～2018年度）の実施施設における地方公共団体の修繕等措置の着手状況	45
(2) 2023年度末時点での修繕等措置が完了した地方公共団体数	46
5. 舗装の点検結果及び修繕等措置の実施状況.....	47
(1) 概要	47
(2) 2巡目（2022～2023年度）の点検結果（国土交通省、都道府県・政令市）	49
(3) 過年度の点検（2017～2023年度）の点検結果	51
(4) 過年度の点検（2017～2023年度）の実施箇所における修繕等措置の実施状況	52
6. 小規模附属物・土工構造物の点検結果及び修繕等措置の実施状況	53
(1) 小規模附属物	53
(2) 土工構造物	57
7. 橋梁・トンネルの現状.....	61
(1) 橋梁の現状	61
(2) トンネルの現状	70
8. 地方公共団体におけるメンテナンスに向けた取り組み	79
(1) 道路メンテナンス会議の開催	79
(2) 地域一括発注の状況	79

（３）直轄診断・修繕代行	80
（４）研修の実施状況	81
（５）橋梁管理に携わる土木技術者数	81
（６）個別施設計画の策定状況（2023 年度末時点）	82
（７）道路メンテナンス事業補助の活用状況	85
（８）点検実施者の保有資格等	86
（９）点検・修繕における新技術の活用検討・活用の状況	87
（１０）集約・撤去・機能縮小等の検討状況	93
（１１）新技術活用事例及び集約・撤去事例集	94
※巻末資料	95
（１）道路附属物等の点検実施状況と点検結果の内訳	95
（２）緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果の内訳	102
（３）橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分Ⅳの施設リスト（2014～2023 年度）	107
（４）橋梁・トンネルの建設年度別施設数	140

1. 道路メンテナンス年報について

(1) 概要

- 国土交通省では、国民・道路利用者の皆様に道路インフラの現状及び老朽化対策についてご理解頂くため、点検の実施状況や結果等を「道路メンテナンス年報」としてとりまとめています。
- 橋梁・トンネル・道路附属物等^{※1}については、2014～2018 年度における1巡目点検、2019～2023 年度における2巡目点検が完了しています。
- 今回は、下記についてとりまとめました。
 - 国土交通省及び地方公共団体が管理する橋梁・トンネル・道路附属物等の
 - ・ 2巡目（2019～2023 年度）及び過年度（2014～2023 年度）の点検結果^{※2}
 - ・ 1巡目点検（2014～2018 年度）、2巡目点検（2019～2023 年度）、過年度の点検（2014～2023 年度）における修繕等措置状況
 - 国土交通省が管理する道路及び47 都道府県と20 政令市が管理する重要物流道路などの重交通を担う道路における舗装の点検結果
 - 国土交通省及び地方公共団体が管理する小規模附属物の2017～2023 年度の点検結果、土工構造物の2巡目（2023 年度）の点検結果
- 結果の詳細は、以下のホームページにてご覧いただけます。
https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/yobohozen_maint_index.html
- また、道路インフラの老朽化対策状況の更なる見える化を図るため、
 - ・ 橋梁・トンネル・道路附属物等の諸元や点検結果、措置状況等を地図上で閲覧できる「全国道路施設点検データベース（損傷マップ）」を以下に公開しています。
URL : <https://road-structures-map.mlit.go.jp/>
 - ・ より詳細な点検データ等については、「全国道路施設点検データベース」において有料で公開しております。
URL : <https://road-structures-db.mlit.go.jp/>
- この調査結果は、点検結果を踏まえた今後の措置方針の立案等に活用します。

道路の老朽化の現状はどうなっているのだろうか。
→ 地域毎のデータ、経年的な変化等、様々な観点から我が国の道路施設の老朽化の実態を把握することができます。

今後どのように措置していくのか。
→ 各道路管理者は、自らの管理施設の老朽化の実態を踏まえ、今後の措置方針を立案していくことになります。

※1 道路附属物等：シェッド・大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等

※2 複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計

(2) 橋梁・トンネル・道路附属物等の健全性の診断について

全ての道路管理者は、2013 年の道路法改正等を受け、2014 年7 月より5 年に1 回の頻度で近接目視による点検を実施しています。

健全性の診断は、以下の4 段階に区分します。

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

2. 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検結果

(1) 2巡目(2019～2023 年度)の点検結果

1) 全道路管理者

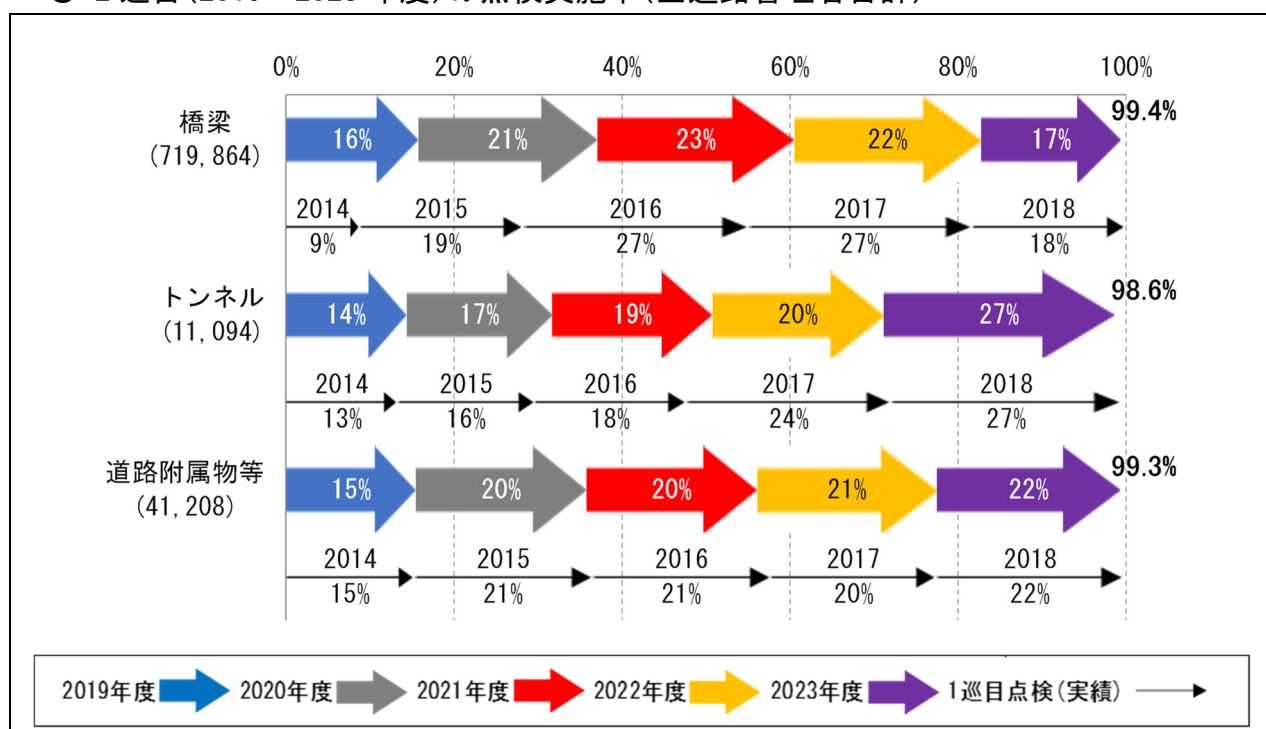
- 2 巡目 (2019～2023 年度) の点検は概ね完了し、累積点検実施率は、橋梁 99.4%、トンネル 98.6%、道路附属物等 99.3%となりました。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 42%、Ⅱ 50%、Ⅲ 8%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 3%、Ⅱ 68%、Ⅲ 29%、Ⅳ 0.2%、道路附属物等：Ⅰ 35%、Ⅱ 53%、Ⅲ 12%、Ⅳ 0.04%です。

※判定区分の割合は四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある(次頁以降も同様)。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 2 巡目 (2019～2023 年度) の点検実施率(全道路管理者合計)



※()内は、2019～2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

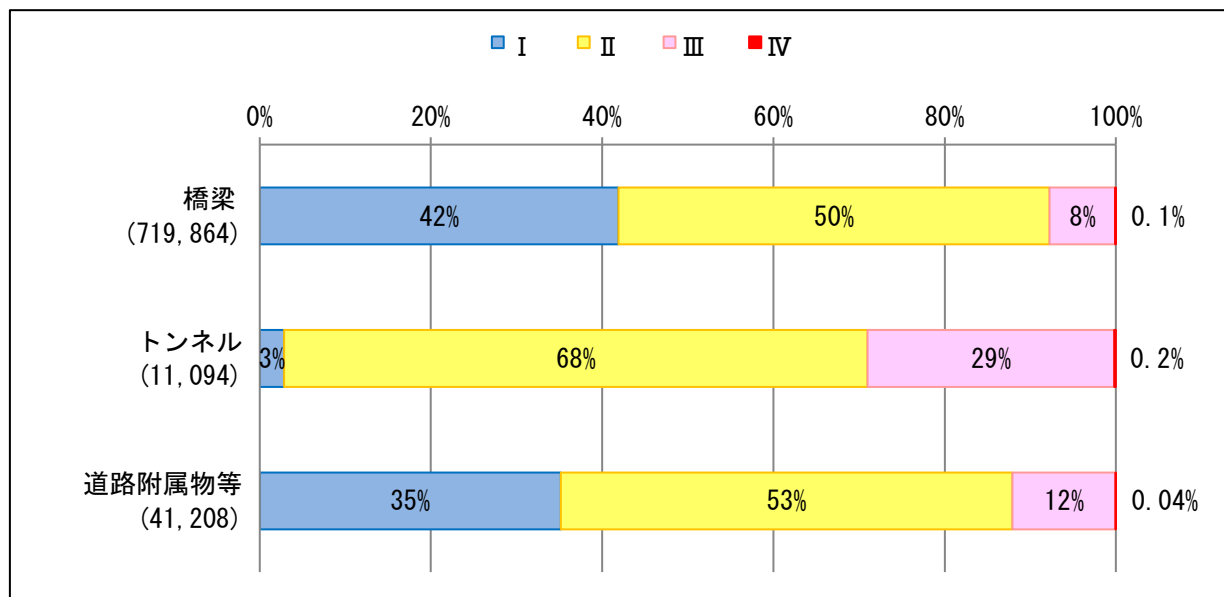
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	729,333	724,429	719,864	99.4% (99.9%)
トンネル	11,587	11,247	11,094	98.6% (99.5%)
道路附属物等	42,281	41,491	41,208	99.3% (99.7%)

2024.3 末時点

※1: 2024 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1 巡目(2014～2018 年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（全道路管理者合計）



※()内は、2019～2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分 上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	719,864	301,661	362,458	55,172	573
		42%	50%	8%	0.1%
トンネル	11,094	317	7,560	3,195	22
		3%	68%	29%	0.2%
道路附属物等	41,208	14,490	21,730	4,971	17
		35%	53%	12%	0.04%

2024.3 末時点

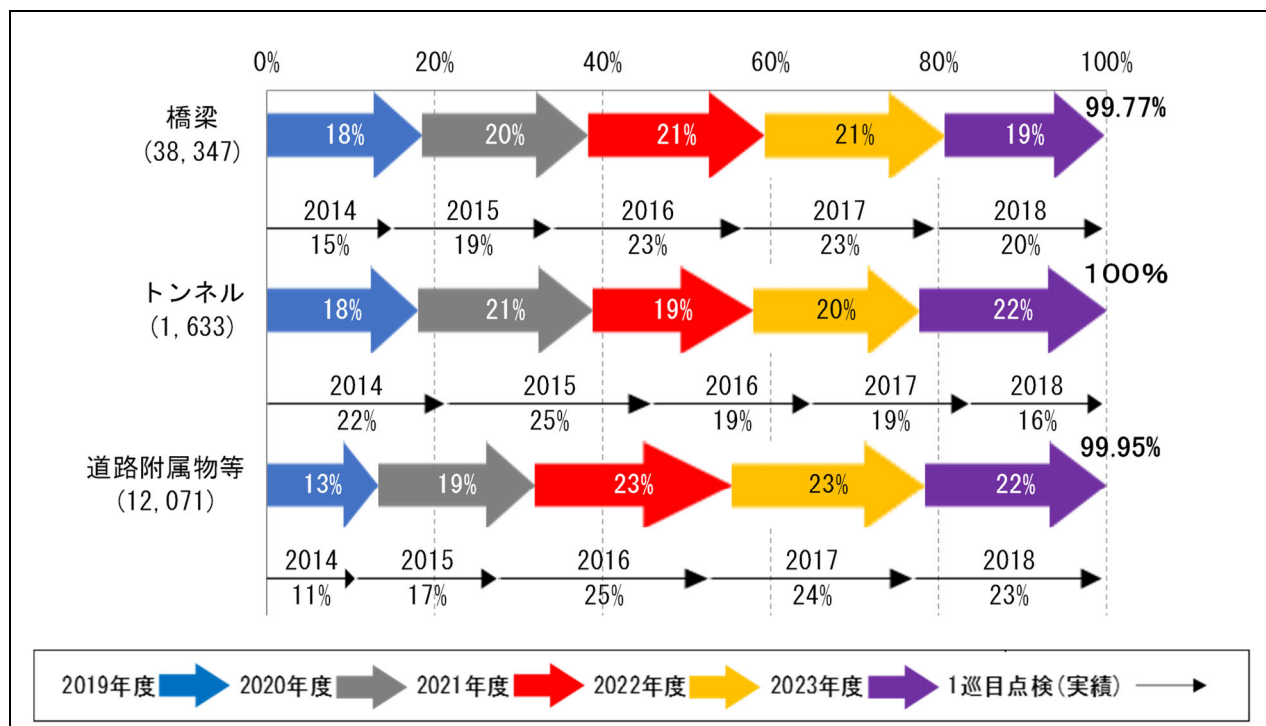
2)国土交通省

- 2 巡目（2019～2023 年度）の累積点検実施率は、橋梁 99.77%、トンネル 100%、道路附属物等 99.95%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 57%、Ⅱ 33%、Ⅲ 10%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 4%、Ⅱ 70%、Ⅲ 26%、道路附属物等：Ⅰ 25%、Ⅱ 59%、Ⅲ 16%、Ⅳ 0.02%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 2 巡目（2019～2023 年度）の点検実施率(国土交通省)



※()内は、2019～2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

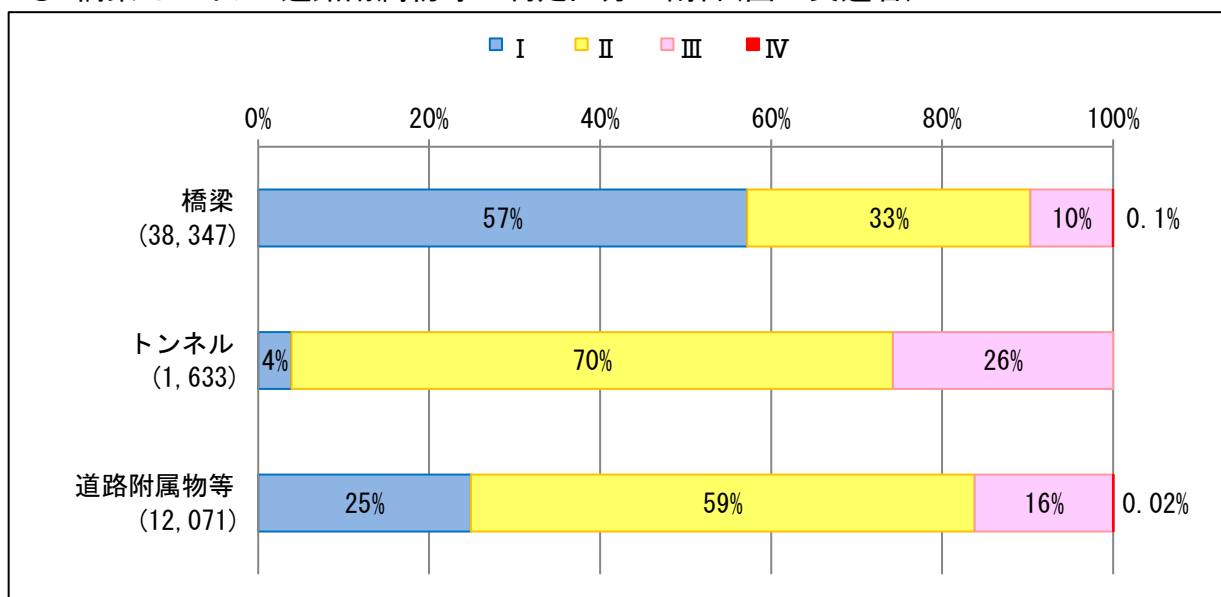
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	39,187	38,434	38,347	99.77% (99.99%)
トンネル	1,769	1,633	1,633	100% (100%)
道路附属物等	12,312	12,077	12,071	99.95% (99.98%)

2024.3 末時点

※1:2024 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1 巡目(2014～2018 年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（国土交通省）



※()内は、2019～2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	38,347	21,942	12,689	3,695	21
		57%	33%	10%	0.1%
トンネル	1,633	64	1,148	421	0
		4%	70%	26%	0%
道路附属物等	12,071	3,006	7,109	1,954	2
		25%	59%	16%	0.02%

2024.3 末時点

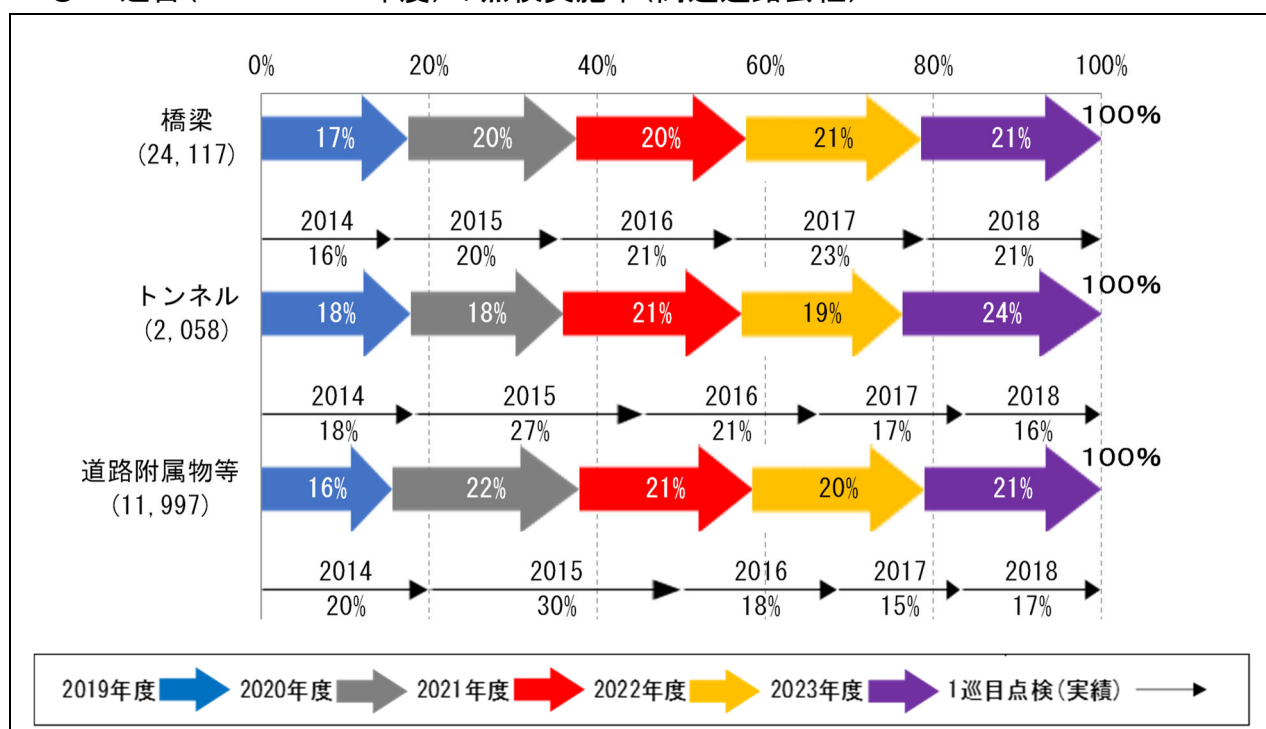
3) 高速道路会社

- 2 巡目（2019～2023 年度）の累積点検実施率は、橋梁 100%、トンネル 100%、道路附属物等 100%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 22%、Ⅱ 67%、Ⅲ 11%、トンネル：Ⅰ 5%、Ⅱ 74%、Ⅲ 20%、道路附属物等：Ⅰ 62%、Ⅱ 36%、Ⅲ 2%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 2 巡目（2019～2023 年度）の点検実施率（高速道路会社）



※()内は、2019～2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

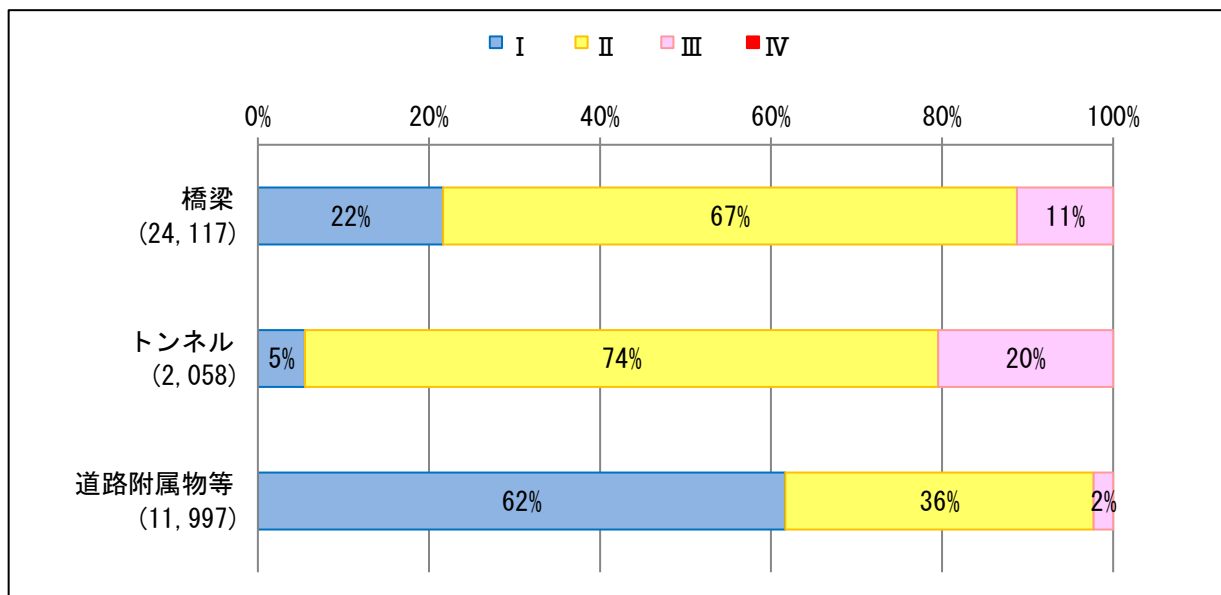
	管理施設数	うち点検対象 施設数※1	点検実施数	点検実施率 ※2
橋梁	24, 463	24, 117	24, 117	100% (100%)
トンネル	2, 093	2, 058	2, 058	100% (100%)
道路附属物等	12, 370	11, 997	11, 997	100% (99. 9%)

2024. 3 末時点

※1: 2024 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1 巡目(2014～2018 年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（高速道路会社）



※()内は、2019～2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	24,117	5,222	16,181	2,714	0
		22%	67%	11%	0%
トンネル	2,058	113	1,524	421	0
		5%	74%	20%	0%
道路附属物等	11,997	7,398	4,328	271	0
		62%	36%	2%	0%

2024. 3 末時点

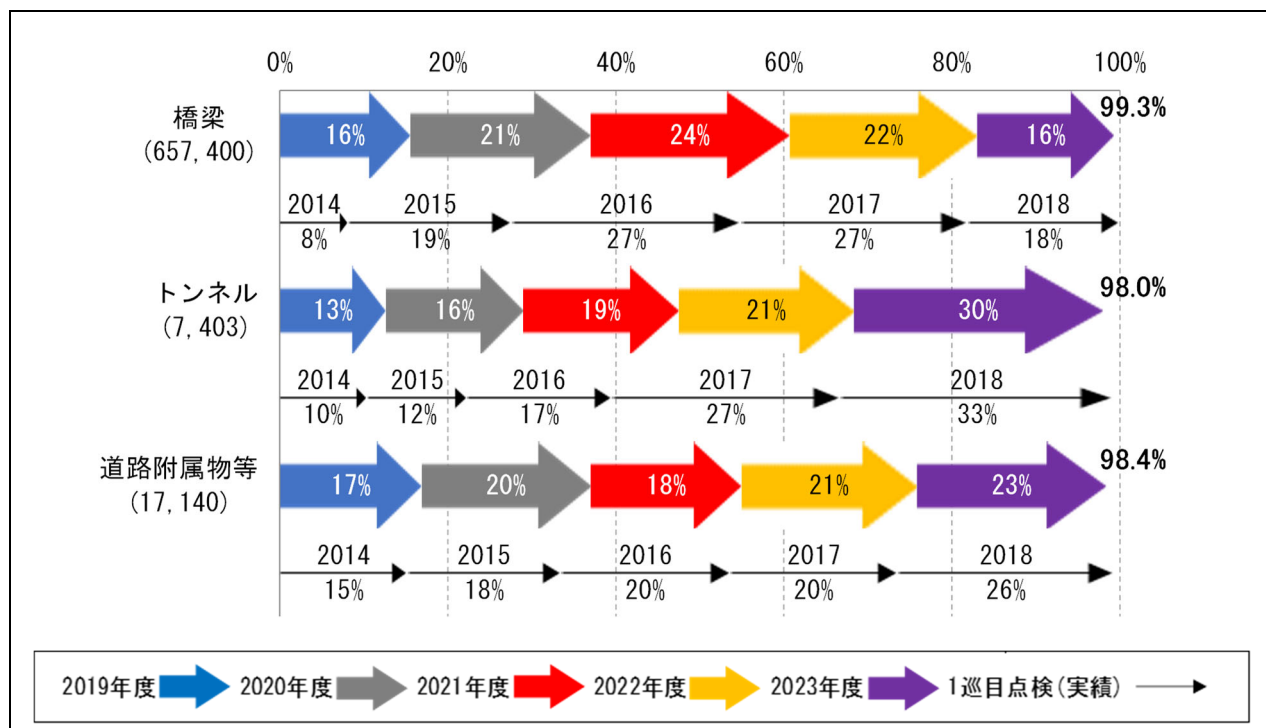
4) 地方公共団体

- 2 巡目（2019～2023 年度）の累積点検実施率は、橋梁 99.3%、トンネル 98.0%、道路附属物等 98.4%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 42%、Ⅱ 51%、Ⅲ 7%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 2%、Ⅱ 66%、Ⅲ 32%、Ⅳ 0.3%、道路附属物等：Ⅰ 24%、Ⅱ 60%、Ⅲ 16%、Ⅳ 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 2 巡目（2019～2023 年度）の点検実施率（地方公共団体）



※()内は、2019～2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

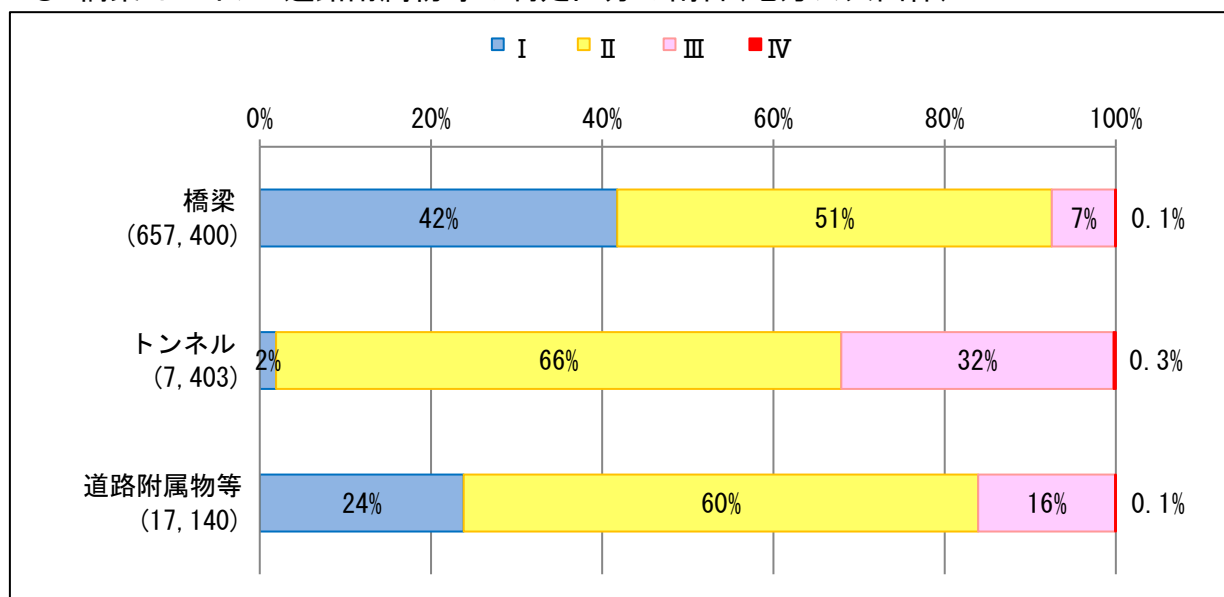
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	665, 683	661, 878	657, 400	99. 3% (99. 9%)
トンネル	7, 725	7, 556	7, 403	98. 0% (99. 2%)
道路附属物等	17, 599	17, 417	17, 140	98. 4% (99. 3%)

2024. 3 末時点

※1: 2024 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1 巡目(2014～2018 年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（地方公共団体）



※()内は、2019～2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	657,400	274,497	333,588	48,763	552
		42%	51%	7%	0.1%
トンネル	7,403	140	4,888	2,353	22
		2%	66%	32%	0.3%
道路附属物等	17,140	4,086	10,293	2,746	15
		24%	60%	16%	0.1%

2024.3 末時点

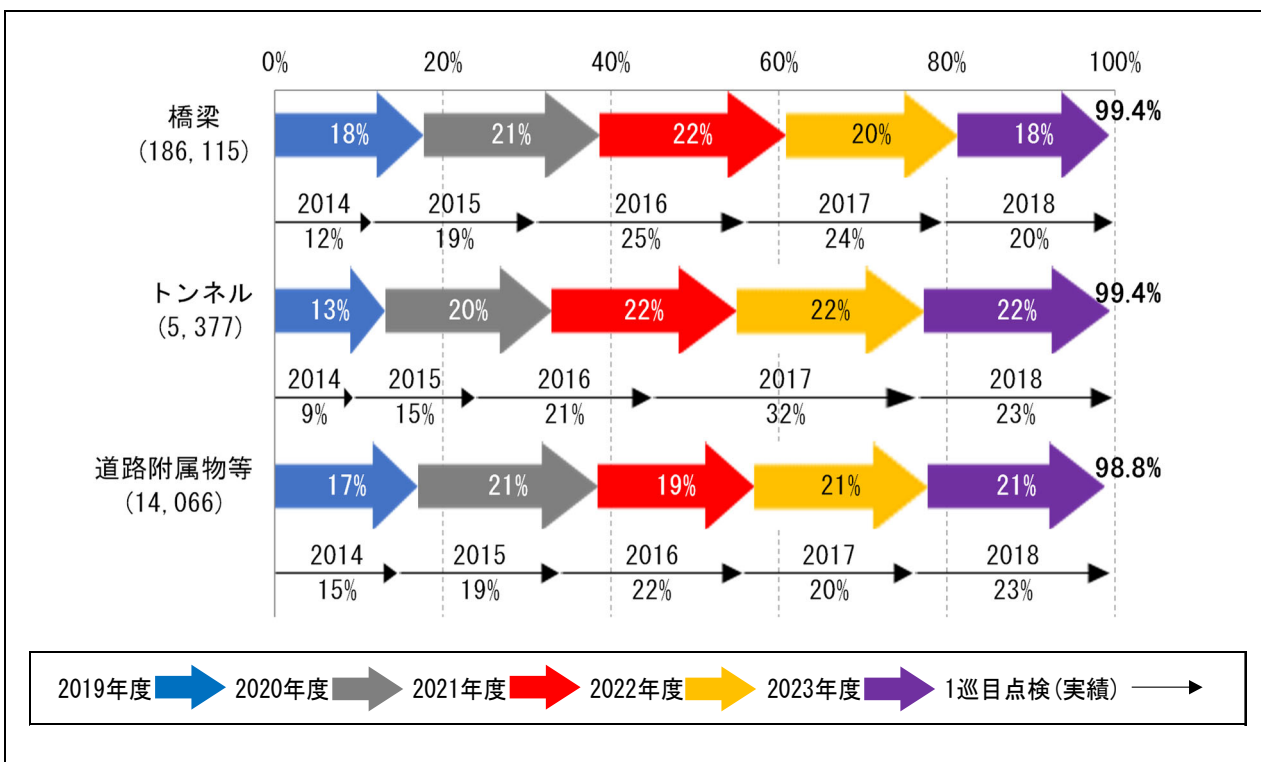
5) 都道府県・政令市等

- 2 巡目（2019～2023 年度）の累積点検実施率は、橋梁 99.4%、トンネル 99.4%、道路附属物等 98.8%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 37%、Ⅱ 54%、Ⅲ 9%、Ⅳ 0.02%、トンネル：Ⅰ 1%、Ⅱ 65%、Ⅲ 34%、Ⅳ 0.1%、道路附属物等：Ⅰ 24%、Ⅱ 60%、Ⅲ 16%、Ⅳ 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 2 巡目（2019～2023 年度）の点検実施率（都道府県・政令市等）



※()内は、2019～2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

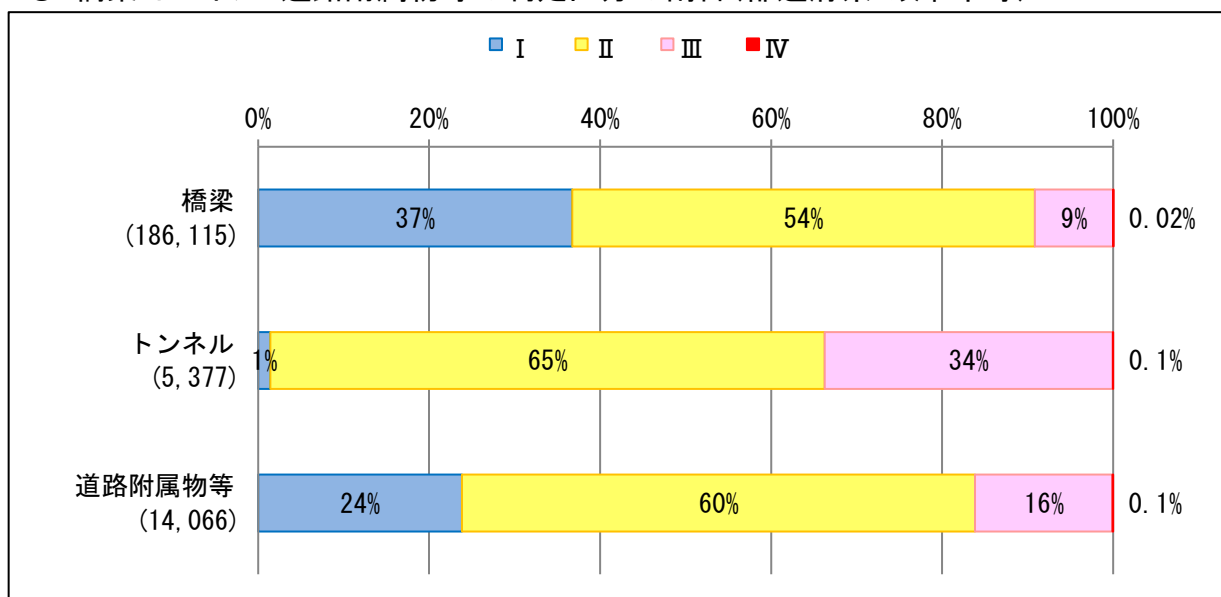
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率 ※2
橋梁	188, 689	187, 310	186, 115	99. 4% (99. 9%)
トンネル	5, 560	5, 410	5, 377	99. 4% (99. 8%)
道路附属物等	14, 361	14, 241	14, 066	98. 8% (99. 5%)

2024. 3 末時点

※1: 2024 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1 巡目（2014～2018 年度）における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（都道府県・政令市等）



※()内は、2019～2023 度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	186,115	68,371	100,680	17,032	32
		37%	54%	9%	0.02%
トンネル	5,377	77	3,485	1,812	3
		1%	65%	34%	0.1%
道路附属物等	14,066	3,356	8,438	2,261	11
		24%	60%	16%	0.1%

2024.3 末時点

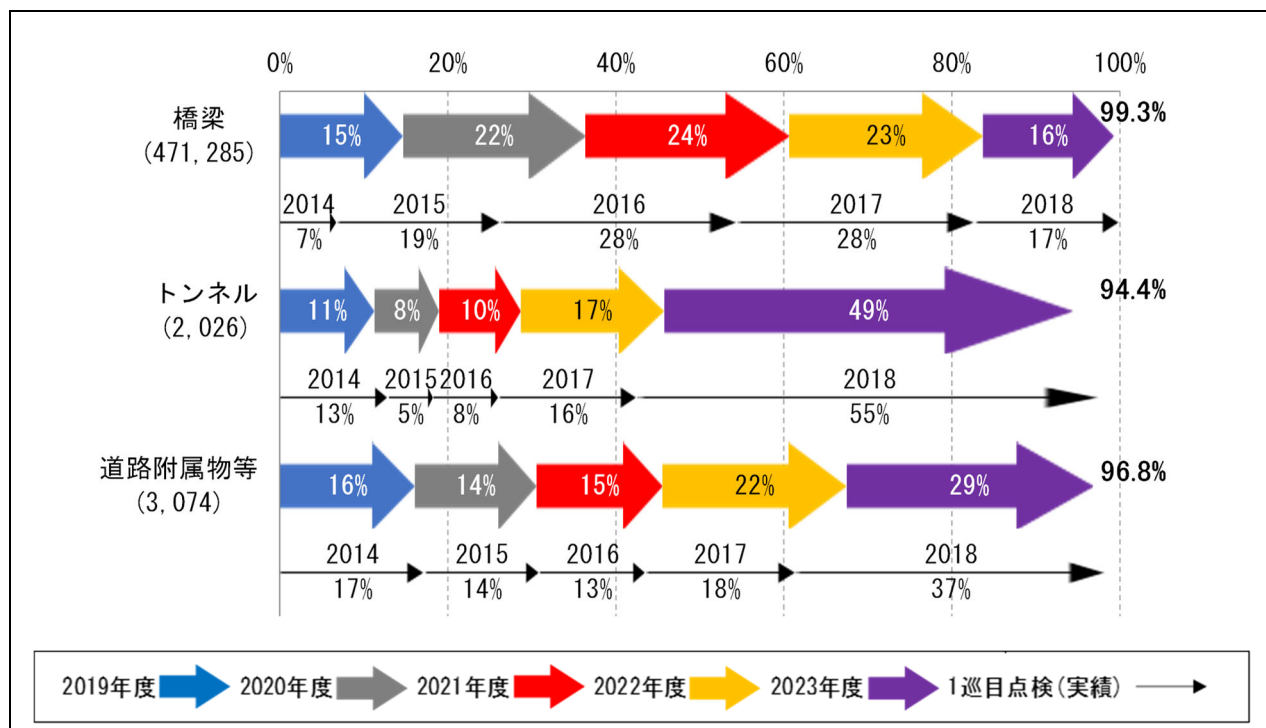
6) 市区町村

- 2 巡目（2019～2023 年度）の累積点検実施率は、橋梁 99.3%、トンネル 94.4%、道路附属物等 96.8%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 44%、Ⅱ 49%、Ⅲ 7%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 3%、Ⅱ 69%、Ⅲ 27%、Ⅳ 1%、道路附属物等：Ⅰ 24%、Ⅱ 60%、Ⅲ 16%、Ⅳ 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 2 巡目（2019～2023 年度）の点検実施率(市区町村)



※()内は、2019～2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

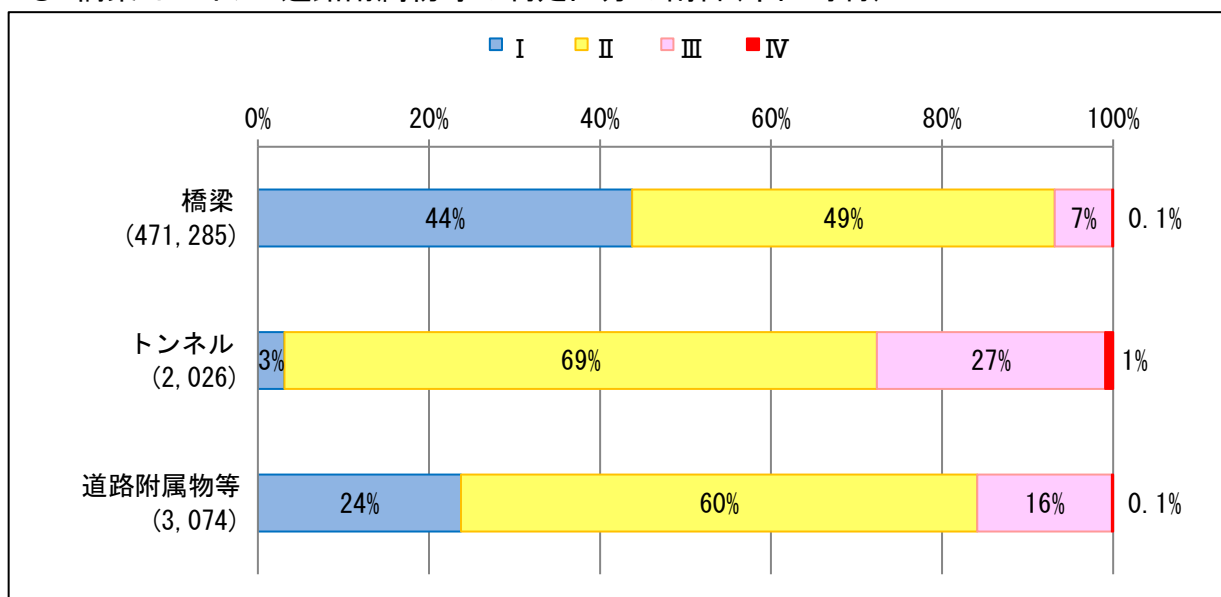
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率 ※2
橋梁	476, 994	474, 568	471, 285	99. 3% (99. 9%)
トンネル	2, 165	2, 146	2, 026	94. 4% (97. 8%)
道路附属物等	3, 238	3, 176	3, 074	96. 8% (98. 4%)

2024. 3 末時点

※1: 2024 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、1 巡目(2014～2018 年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（市区町村）



※()内は、2019～2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	471,285	206,126	232,908	31,731	520
		44%	49%	7%	0.1%
トンネル	2,026	63	1,403	541	19
		3%	69%	27%	1%
道路附属物等	3,074	730	1,855	485	4
		24%	60%	16%	0.1%

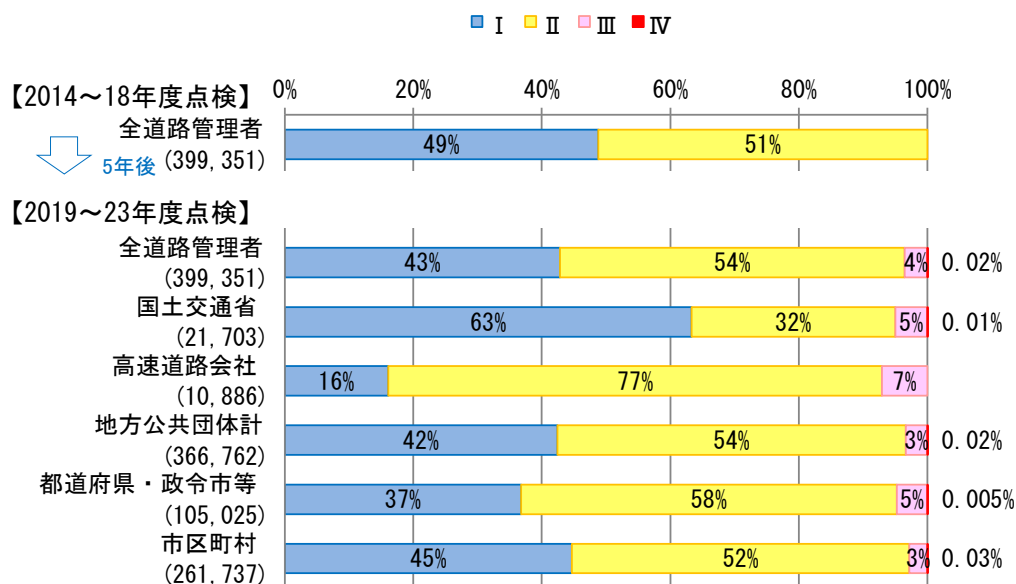
2024.3 末時点

(2) 判定区分Ⅰ・Ⅱの施設の5年後の判定区分Ⅲ・Ⅳへの遷移状況

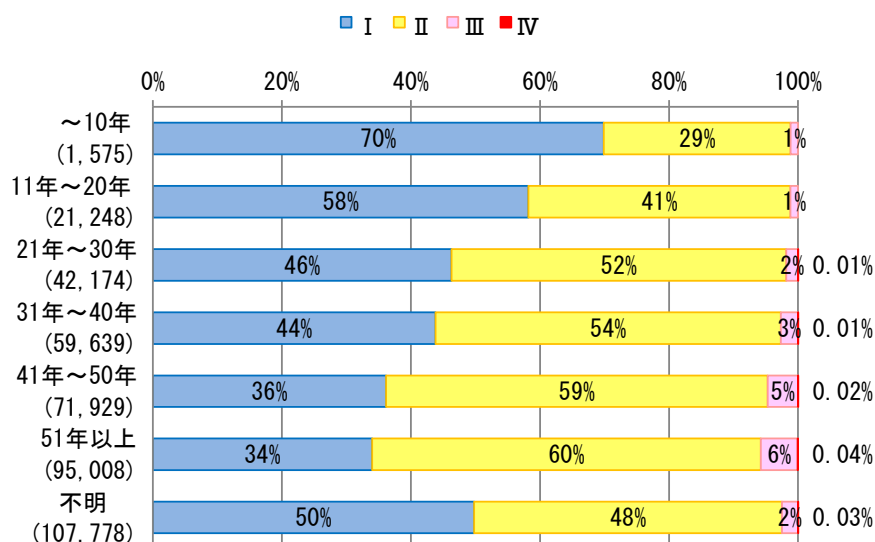
1) 橋梁

- 1巡目の2014～2018年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（区分Ⅰ・Ⅱ）と判定された橋梁のうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2019～2023年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した橋梁の割合は全道路管理者合計で4%です。
- 建設後経過年数に比例して、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっています。

○ 管理者別の判定区分の遷移状況



○ 建設後経過年数別の遷移状況(全道路管理者合計)



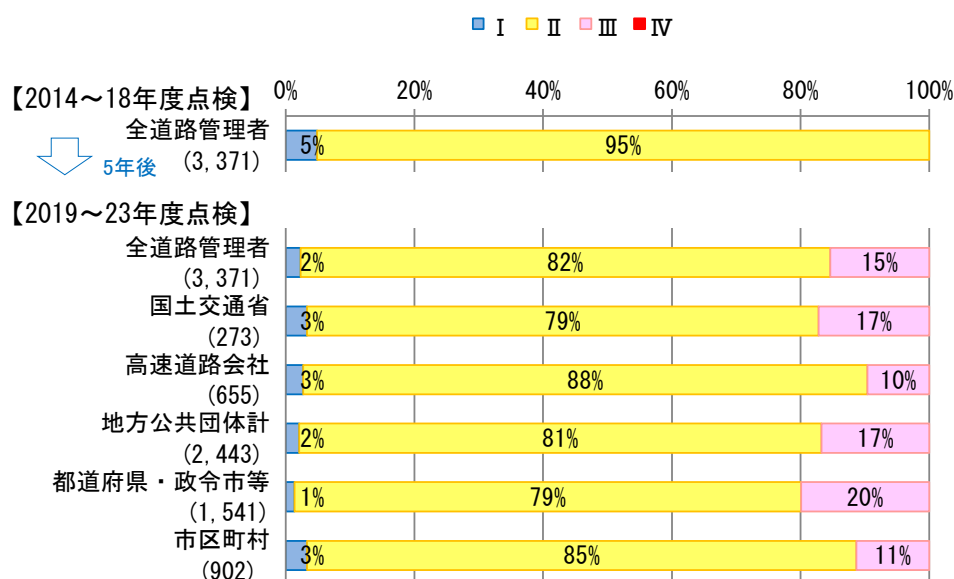
※()内は、1巡目(2014～2018年度)の結果が判定区分ⅠまたはⅡとなった橋梁数のうち、修繕等の措置を講じないまま5年後の2019～2023年度に点検を実施した橋梁の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

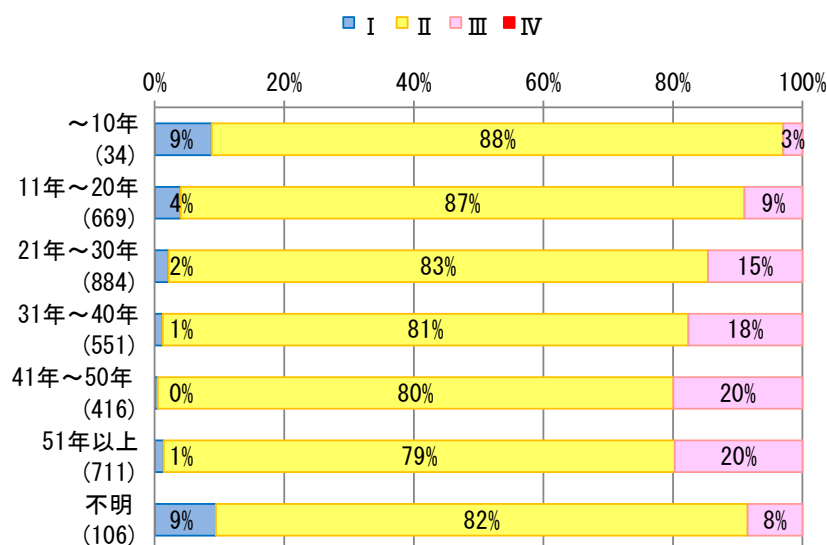
2)トンネル

- 1 巡目の 2014～2018 年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（区分Ⅰ・Ⅱ）に判定されたトンネルのうち、修繕等の措置を講じないまま、5 年後の 2019～2023 年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移したトンネルの割合は全道路管理者合計で 15%です。
- 建設後経過年数が 21 年以上となるトンネルでは、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっています。

○ 管理者別の判定区分の遷移状況



○ 建設後経過年数別の遷移状況(全道路管理者合計)



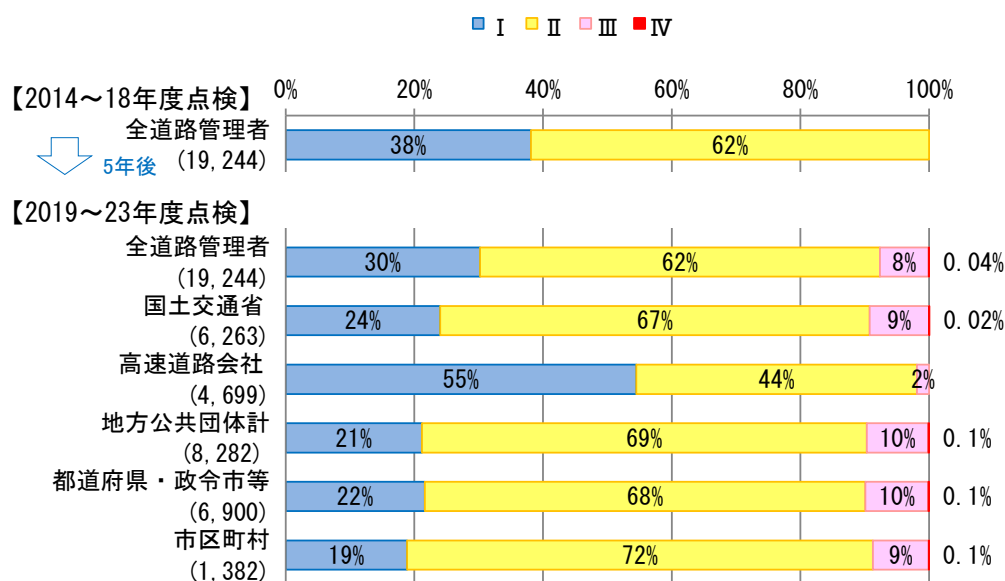
※()内は、1 巡目(2014～2018 年度)の結果が判定区分ⅠまたはⅡとなったトンネル数のうち、修繕等の措置を講じないまま 5 年後の 2019～2023 年度に点検を実施したトンネルの合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

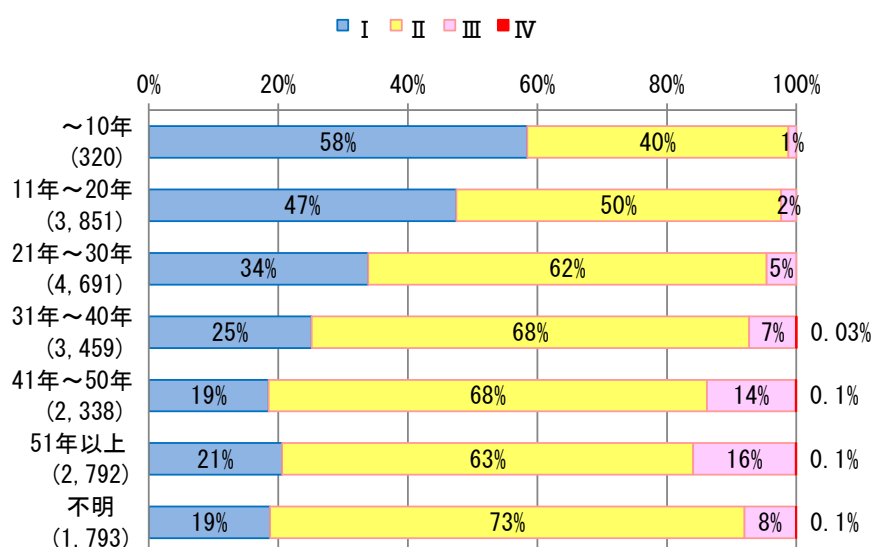
3)道路附属物等

- 1 巡目の 2014～2018 年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（区分Ⅰ・Ⅱ）に判定された道路附属物等のうち、修繕等の措置を講じないまま、5 年後の 2019～2023 年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した道路附属物等の割合は全道路管理者合計で 8% です。
- 建設後経過年数に比例して、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっています。

○ 管理者別の判定区分の遷移状況



○ 建設後経過年数別の遷移状況(全道路管理者合計)

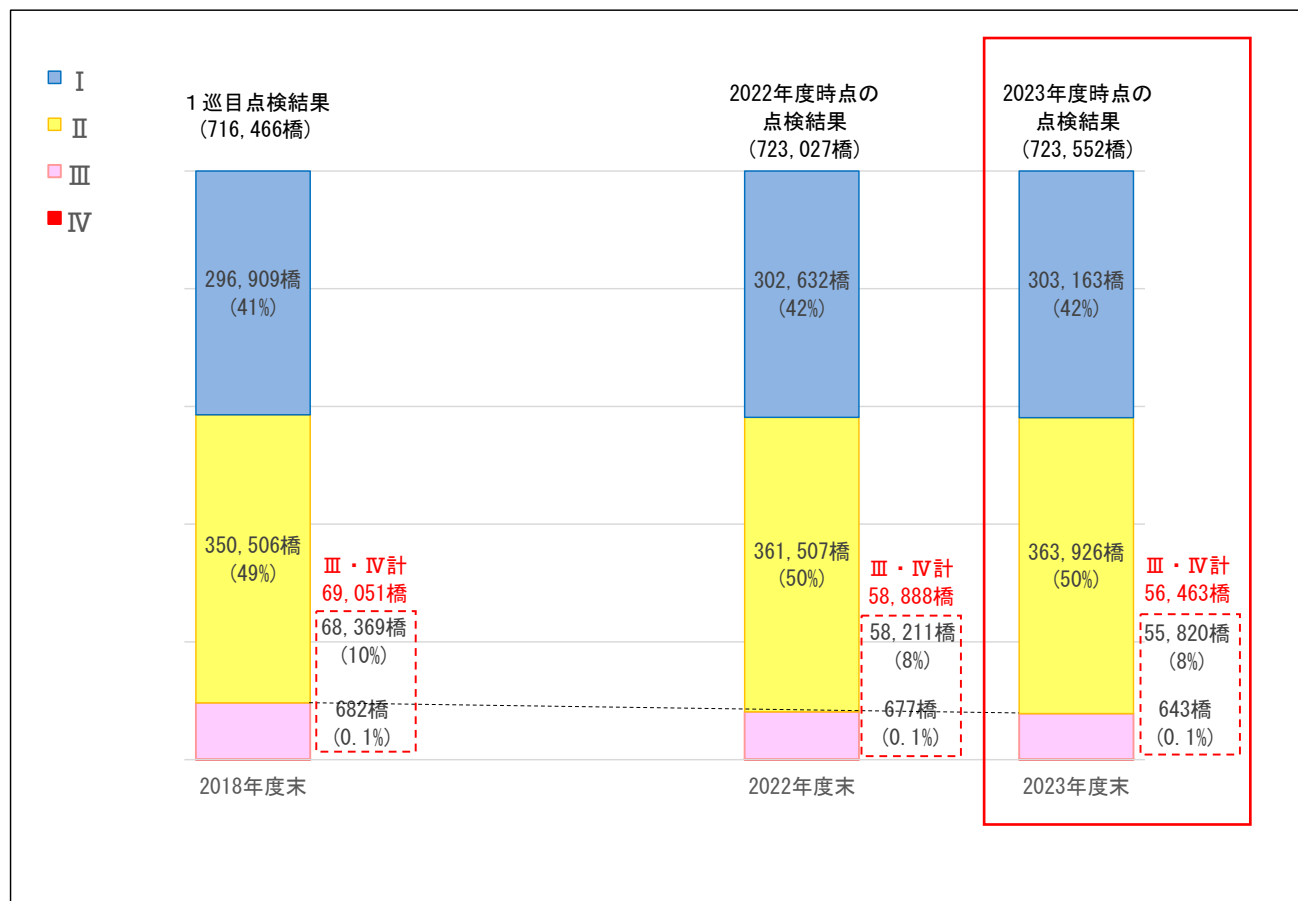


※()内は、1 巡目(2014～2018 年度)の結果が判定区分ⅠまたはⅡとなった道路附属物等の施設数のうち、修繕等の措置を講じないまま 5 年後の 2019～2023 年度に点検を実施した道路附属物等の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

(3) 過年度の点検(2014～2023 年度)の実施施設の判定区分毎の施設数と割合

1) 橋梁

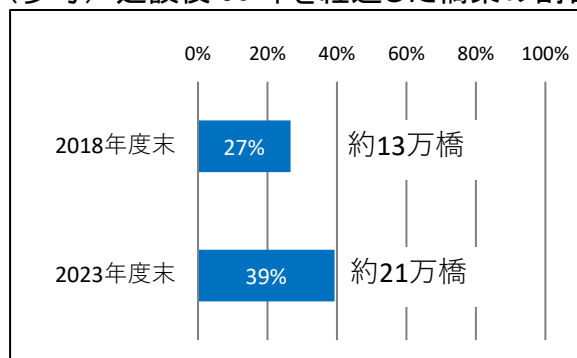
- 過年度の点検(2014～2023 年度)における判定区分の割合は、Ⅰ 42%、Ⅱ 50%、Ⅲ 8%、Ⅳ 0.1%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁は56,463 橋であった。
- 1 巡目点検終了時点と比較すると建設後 50 年以上経過した橋梁数は増加している一方で、年々判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁数は着実に減少している。



※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

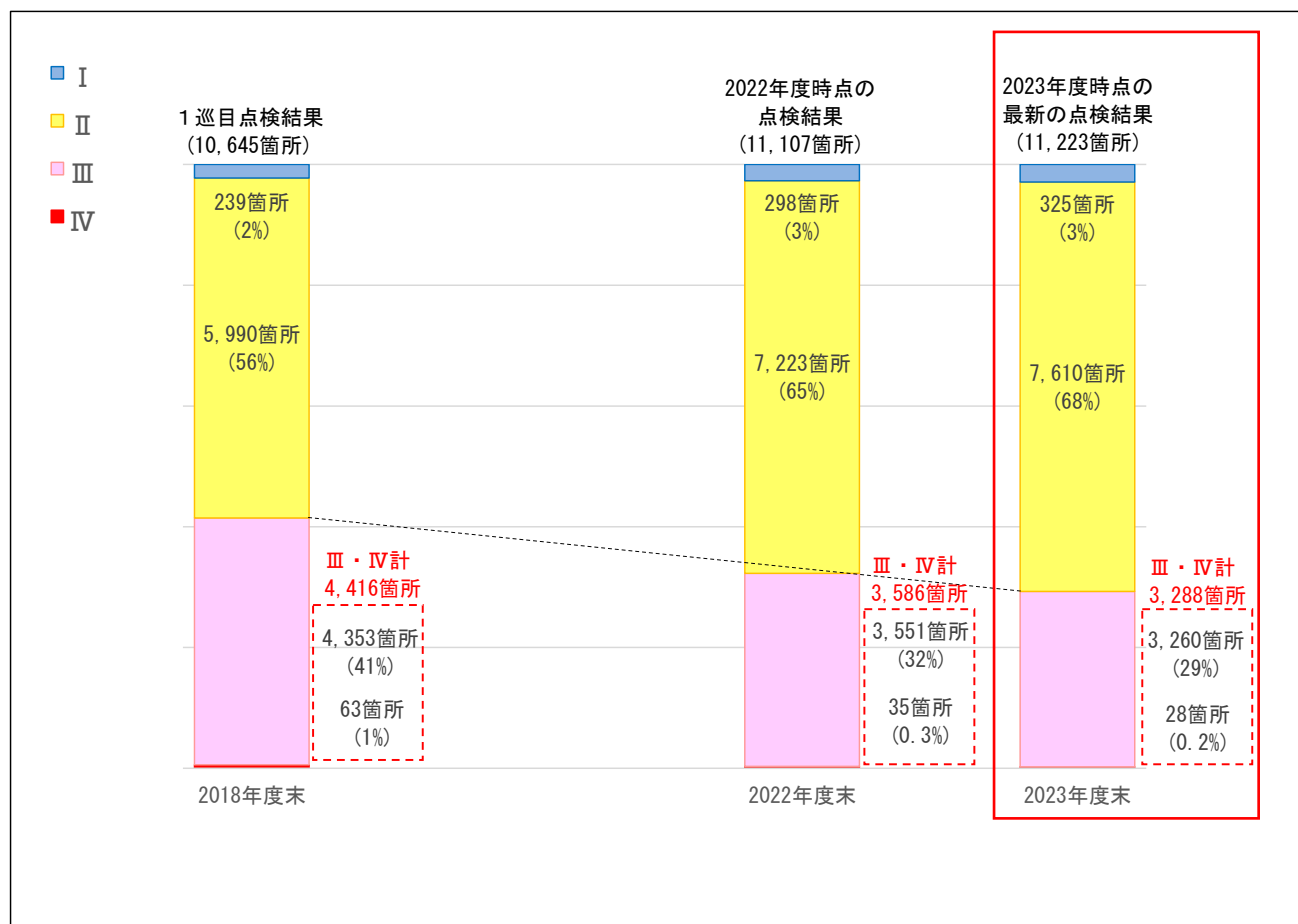
(参考) 建設後 50 年を経過した橋梁の割合



※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁がある。

2)トンネル

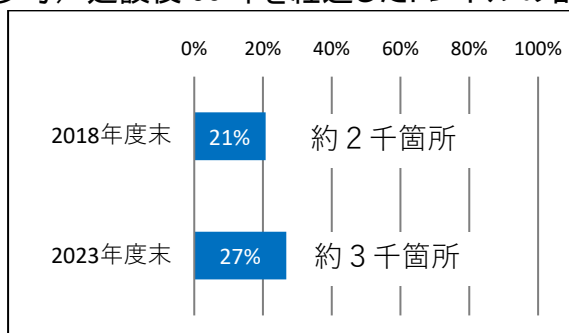
- 過年度の点検（2014～2023 年度）における判定区分の割合は、Ⅰ 3%、Ⅱ 68%、Ⅲ 29%、Ⅳ 0.2%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳのトンネルは3,288箇所であった。
- 1巡目点検終了時点と比較すると建設後50年以上経過したトンネル数は増加している一方で、年々判定区分Ⅲ・Ⅳのトンネル数は着実に減少している。



※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

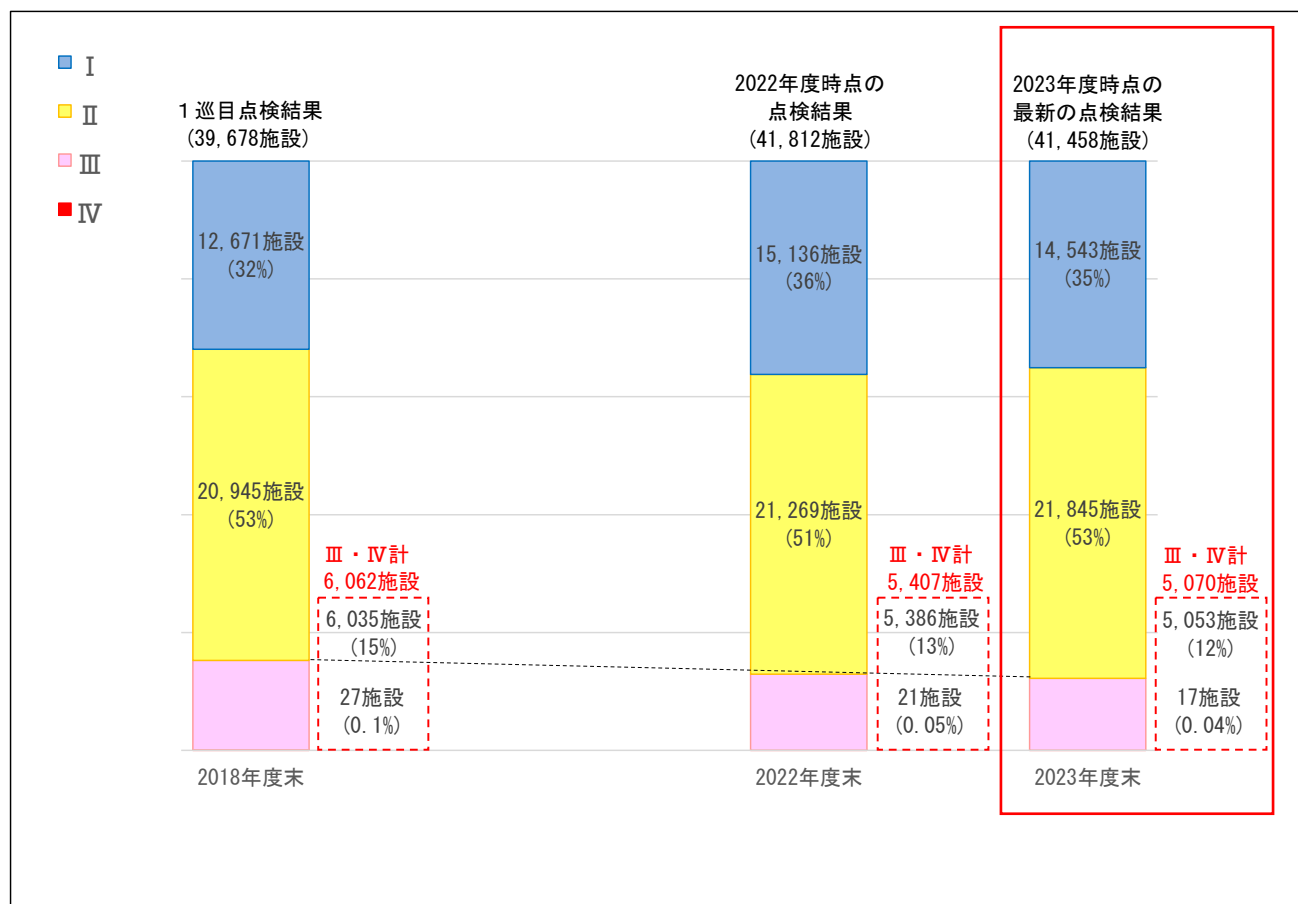
(参考) 建設後50年を経過したトンネルの割合



※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルがある。

3)道路附属物等

- 過年度の点検（2014～2023 年度）における判定区分の割合は、Ⅰ 35%、Ⅱ 53%、Ⅲ 12%、Ⅳ 0.04%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳの道路附属物等は 5,070 施設であった。
- 1 巡目点検結果から推移をみると、年々判定区分Ⅲ・Ⅳの道路附属物等数は着実に減少している。



※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

(4) 過年度の点検(2014～2023 年度)の点検結果

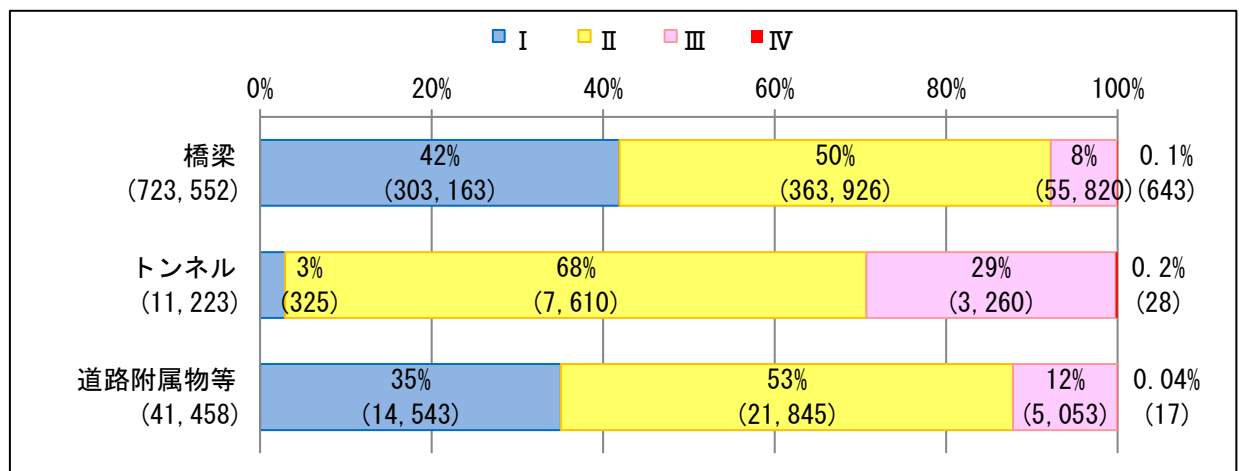
1) 全道路管理者

- 過年度の点検(2014～2023 年度)における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 42%、Ⅱ 50%、Ⅲ 8%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 3%、Ⅱ 68%、Ⅲ 29%、Ⅳ 0.2%、道路附属物等：Ⅰ 35%、Ⅱ 53%、Ⅲ 12%、Ⅳ 0.04%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(全道路管理者合計)



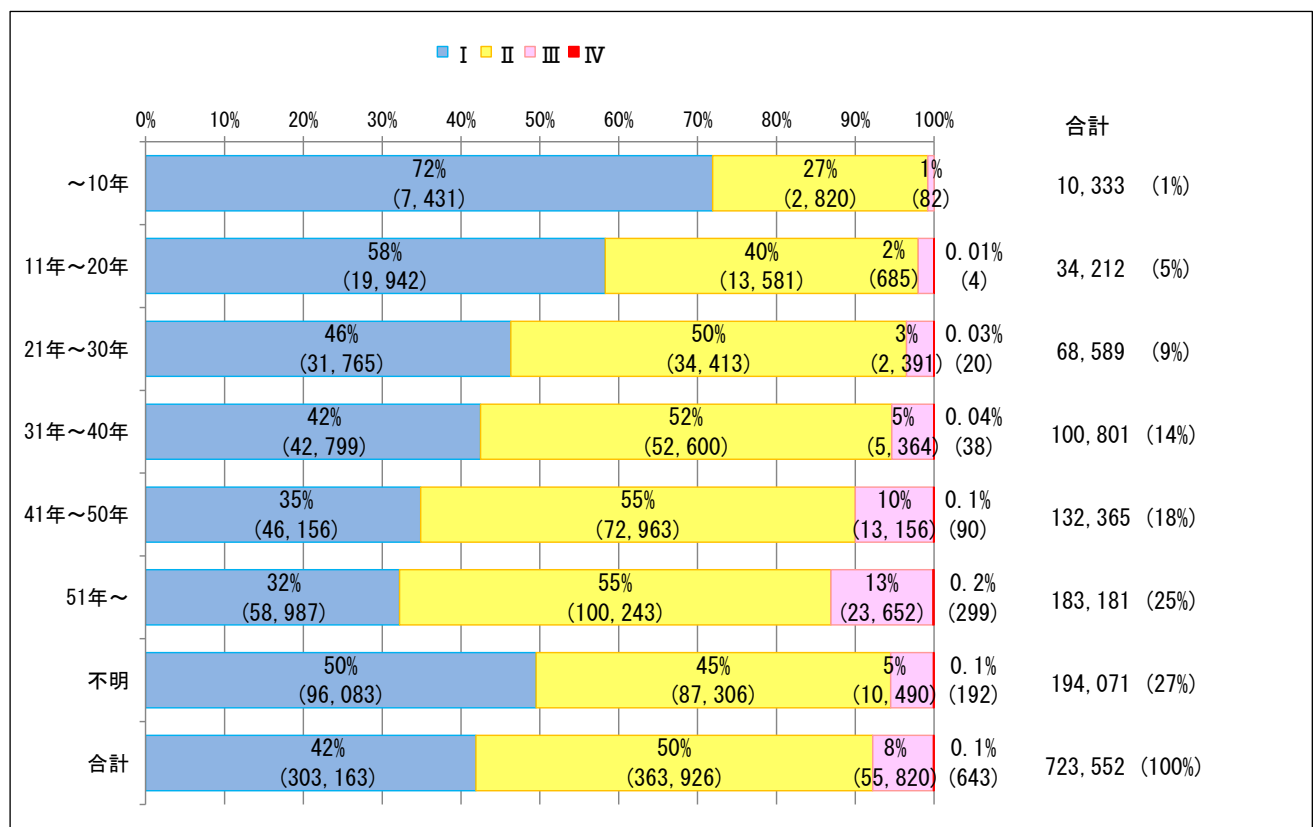
2024. 3 末時点

※()内は、2024 年 3 月末時点の施設数のうち、2014～2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

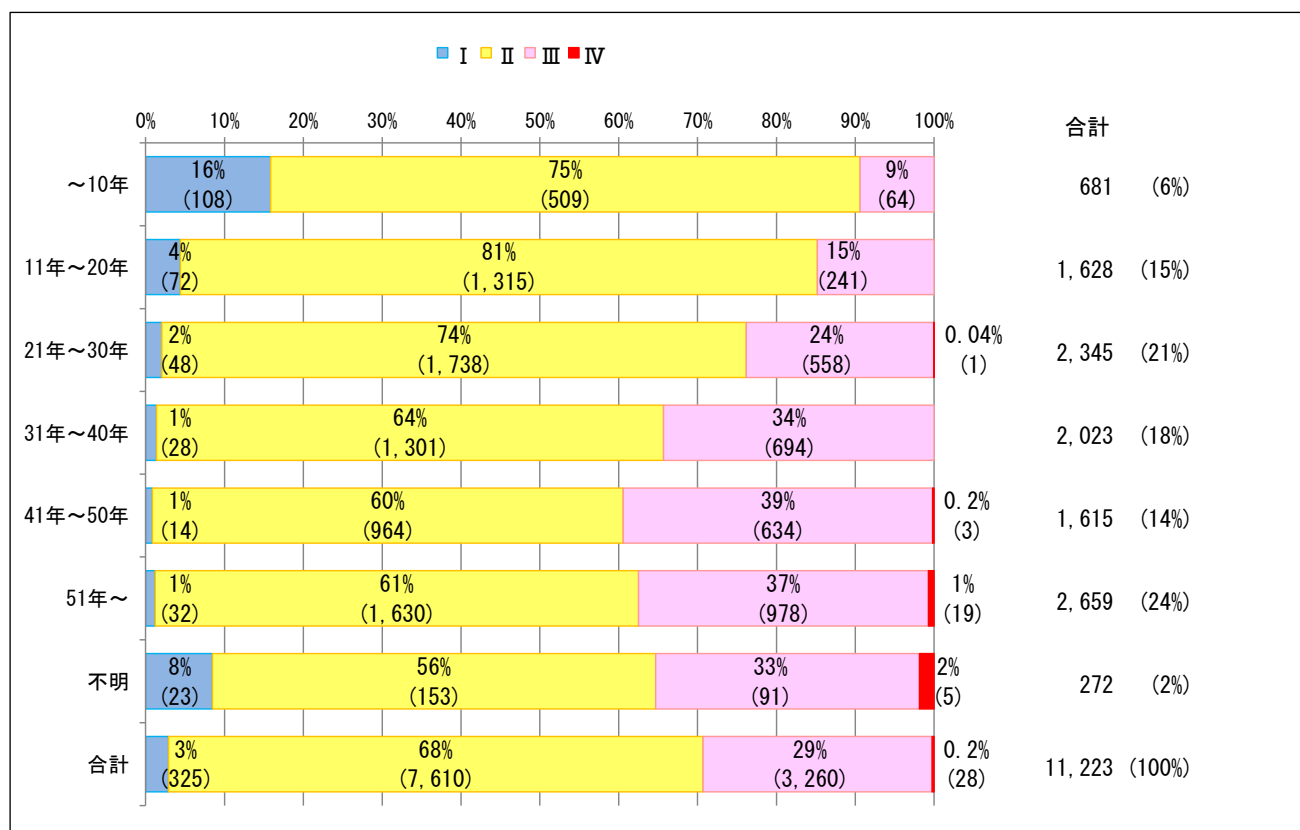
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

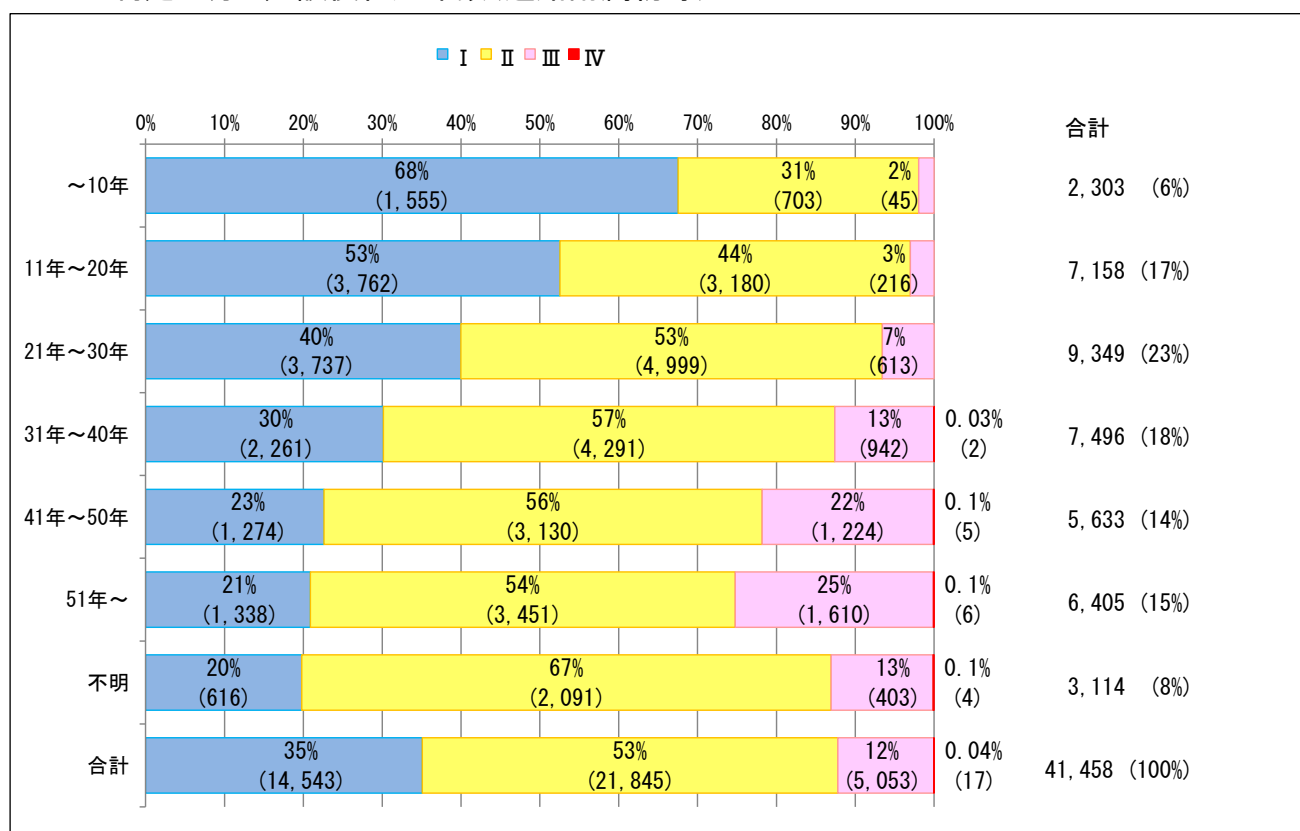
○ 判定区分と建設後経過年数(橋梁)



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



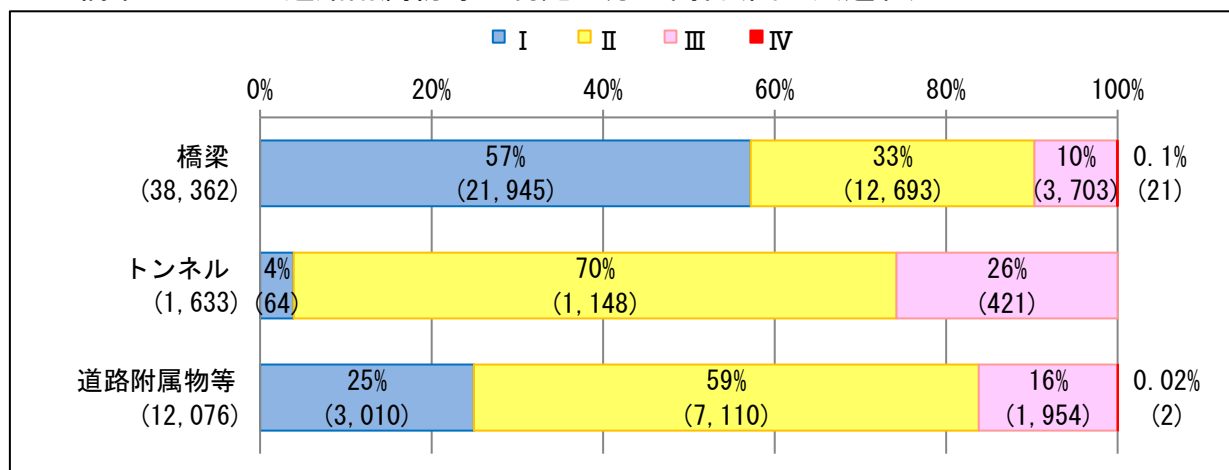
2) 国土交通省

- 過年度の点検（2014～2023 年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 57%、Ⅱ 33%、Ⅲ 10%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 4%、Ⅱ 70%、Ⅲ 26%、道路附属物等：Ⅰ 25%、Ⅱ 59%、Ⅲ 16%、Ⅳ 0.02%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（国土交通省）



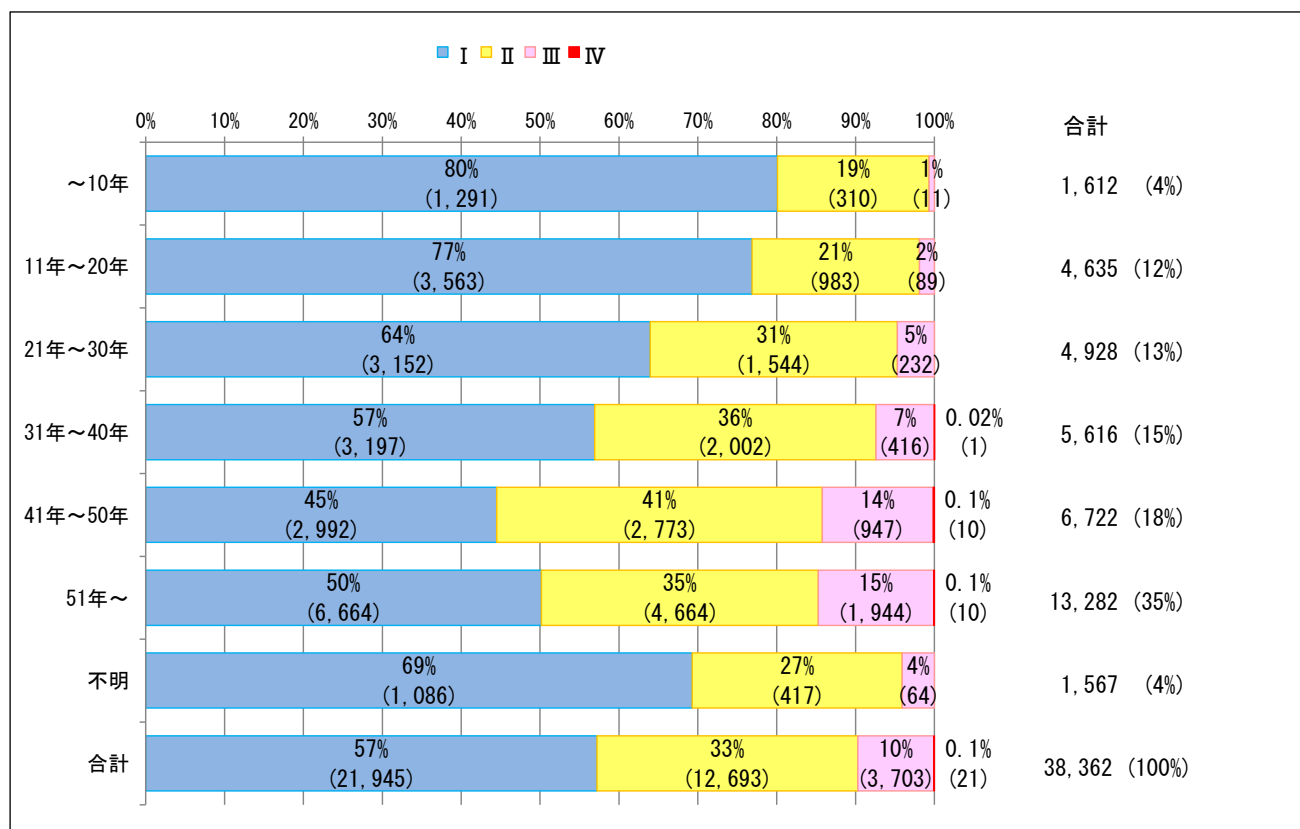
2024.3 末時点

※()内は、2024 年 3 月末時点の施設数のうち、2014～2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

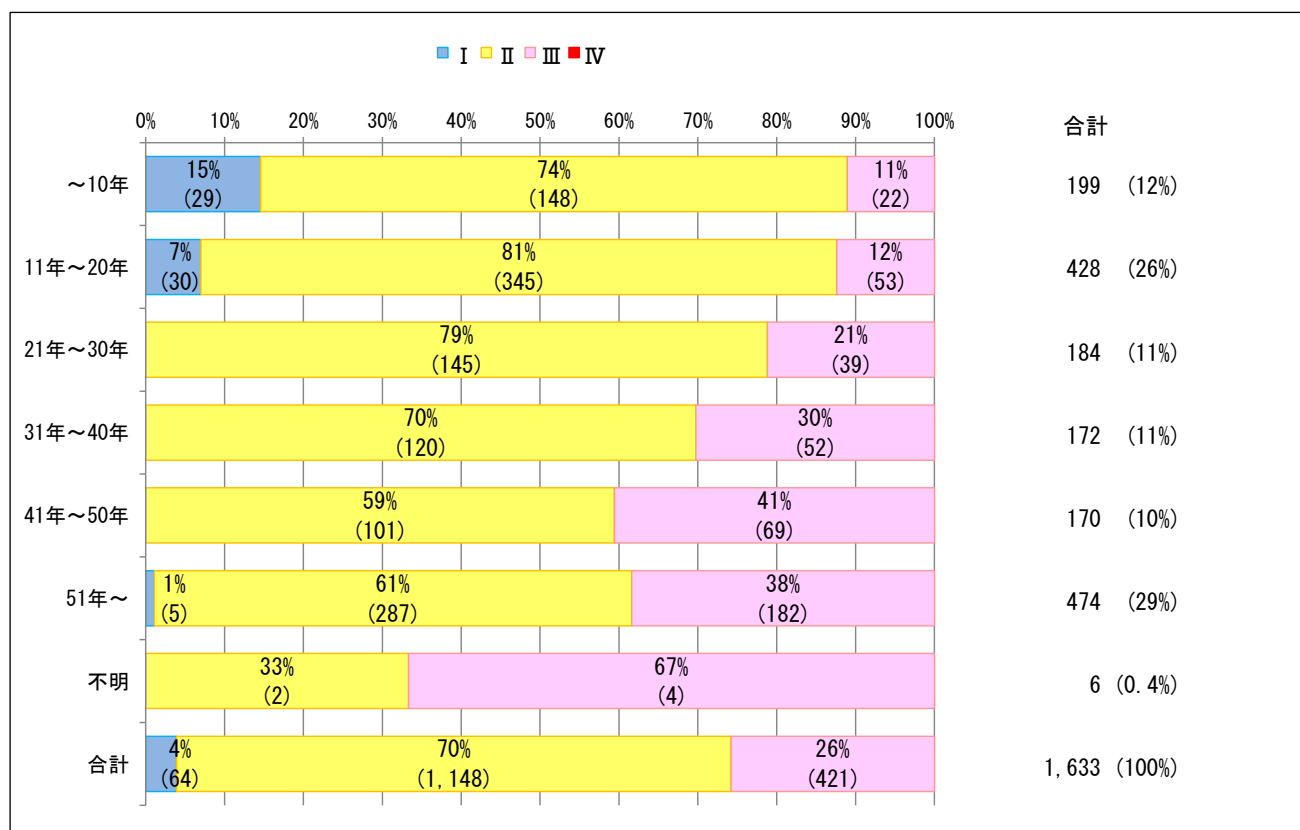
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

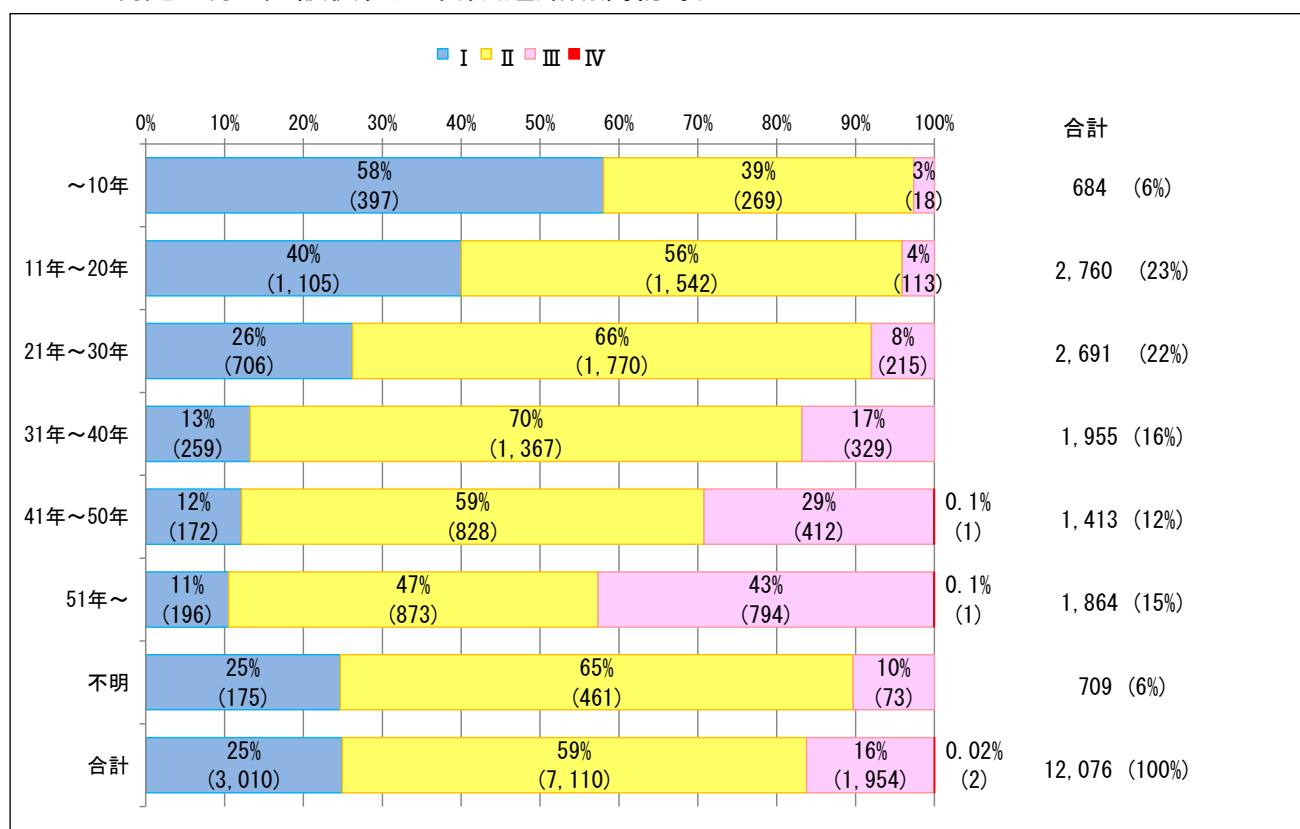
○ 判定区分と建設後経過年数（橋梁）



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



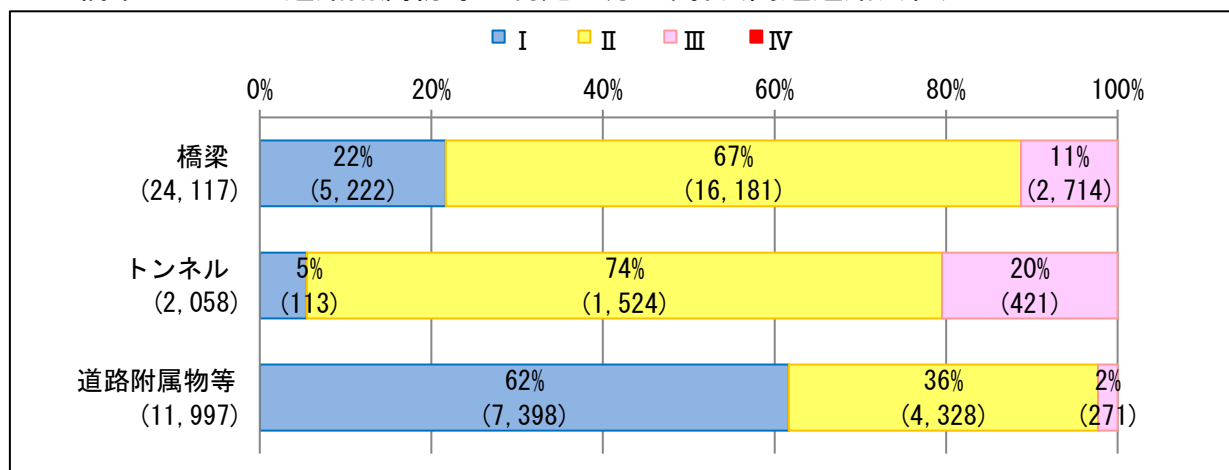
3) 高速道路会社

- 過年度の点検（2014～2023 年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 22%、Ⅱ 67%、Ⅲ 11%、トンネル：Ⅰ 5%、Ⅱ 74%、Ⅲ 20%、道路附属物等：Ⅰ 62%、Ⅱ 36%、Ⅲ 2%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（高速道路会社）



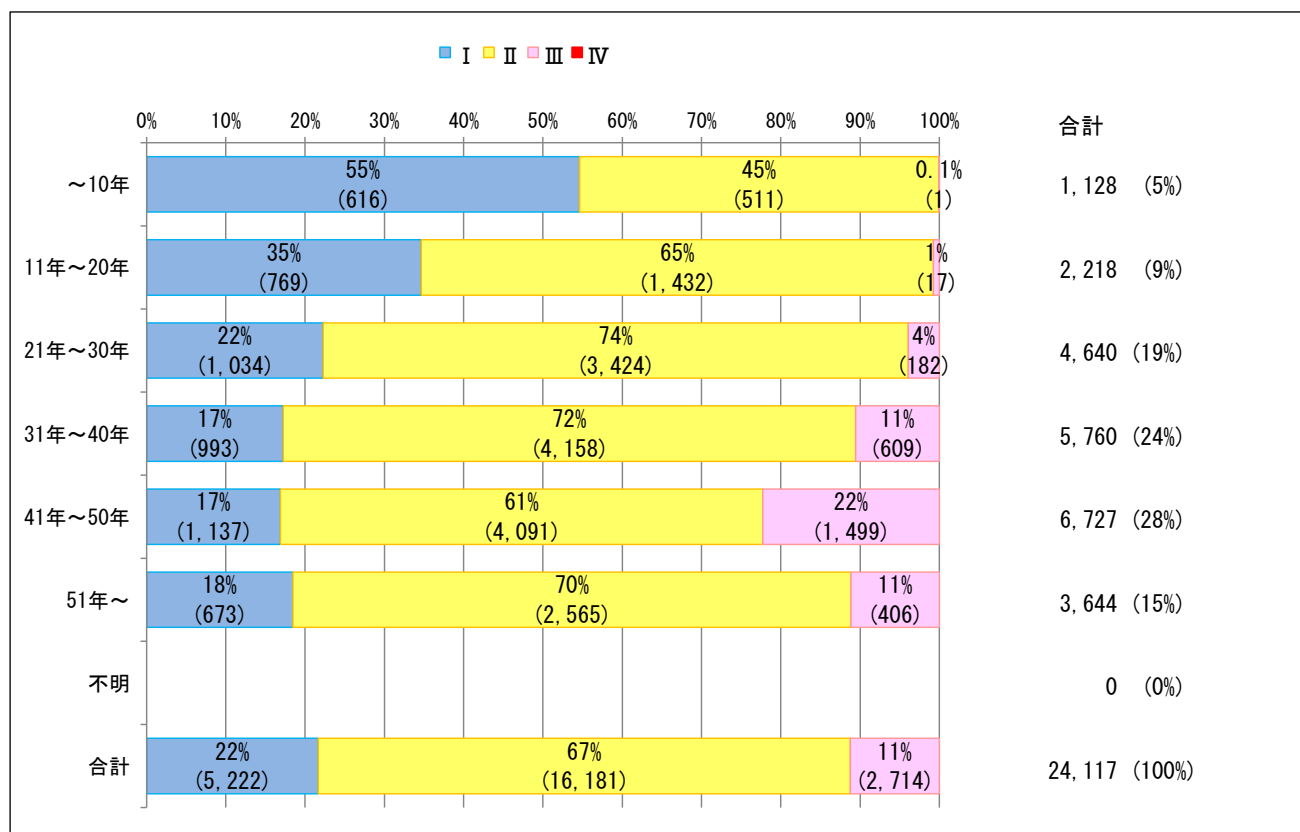
2024. 3 末時点

※()内は、2024 年 3 月末時点の施設数のうち、2014～2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

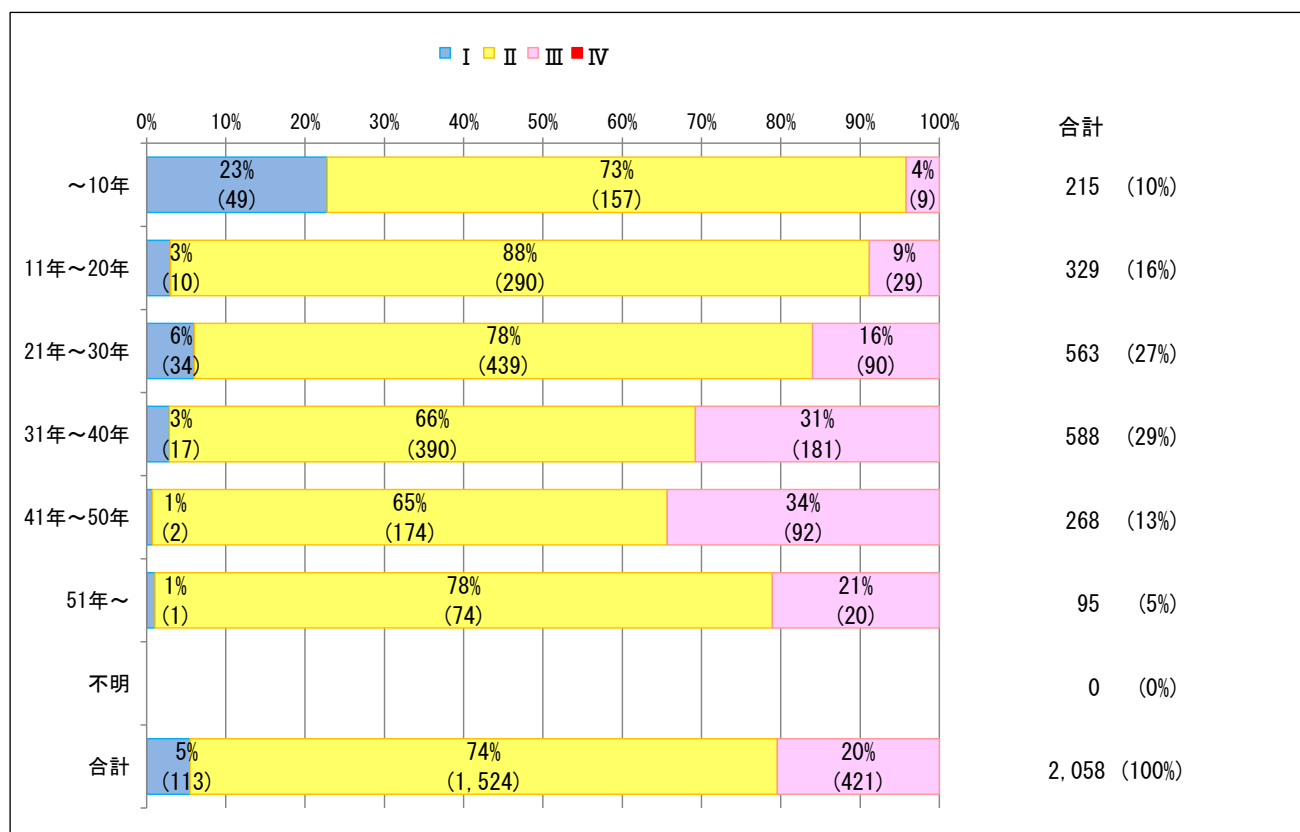
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

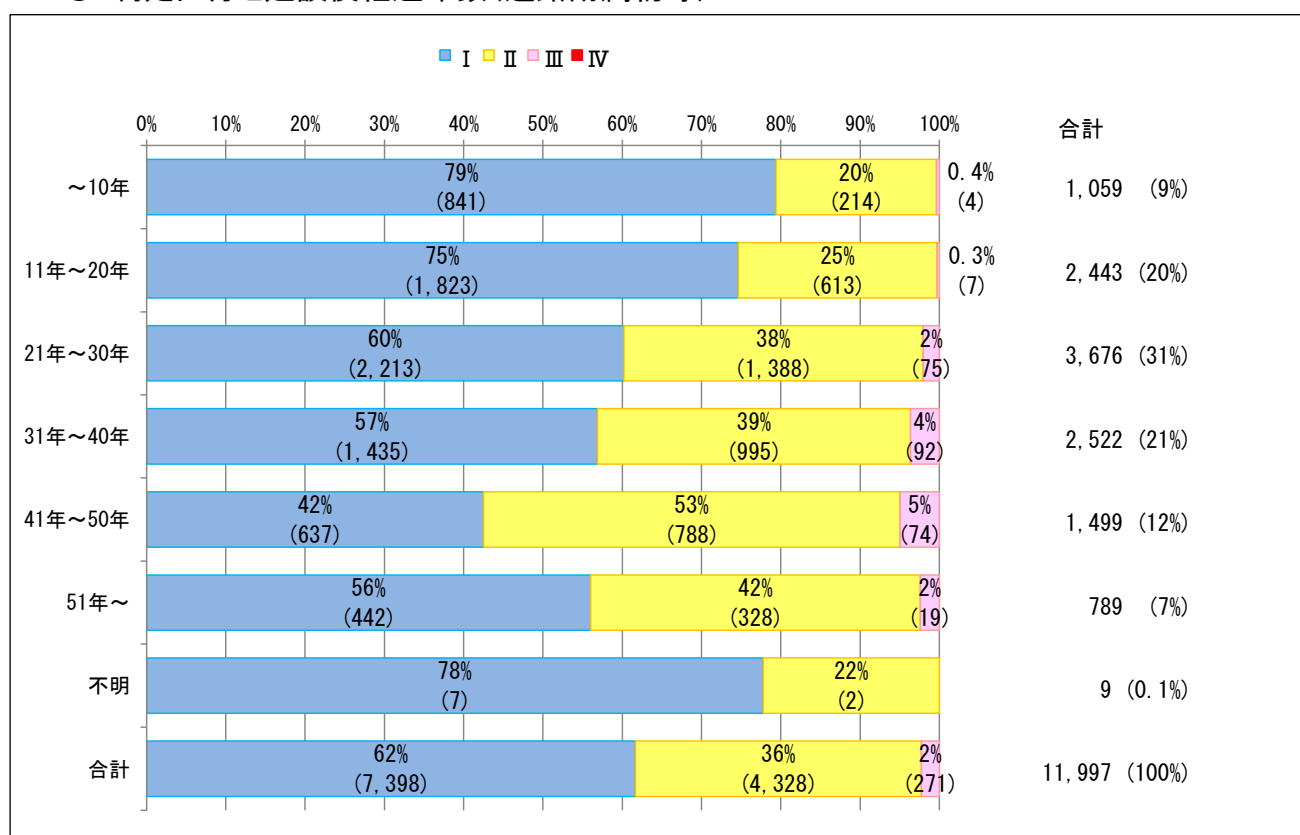
○ 判定区分と建設後経過年数（橋梁）



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



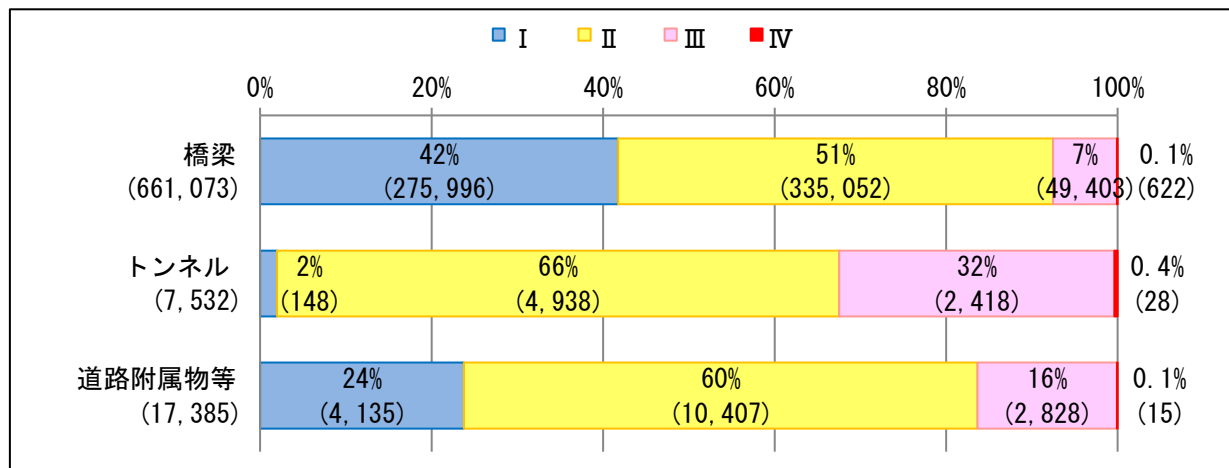
4) 地方公共団体

- 過年度の点検（2014～2023 年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 42%、Ⅱ 51%、Ⅲ 7%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 2%、Ⅱ 66%、Ⅲ 32%、Ⅳ 0.4%、道路附属物等：Ⅰ 24%、Ⅱ 60%、Ⅲ 16%、Ⅳ 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（地方公共団体）



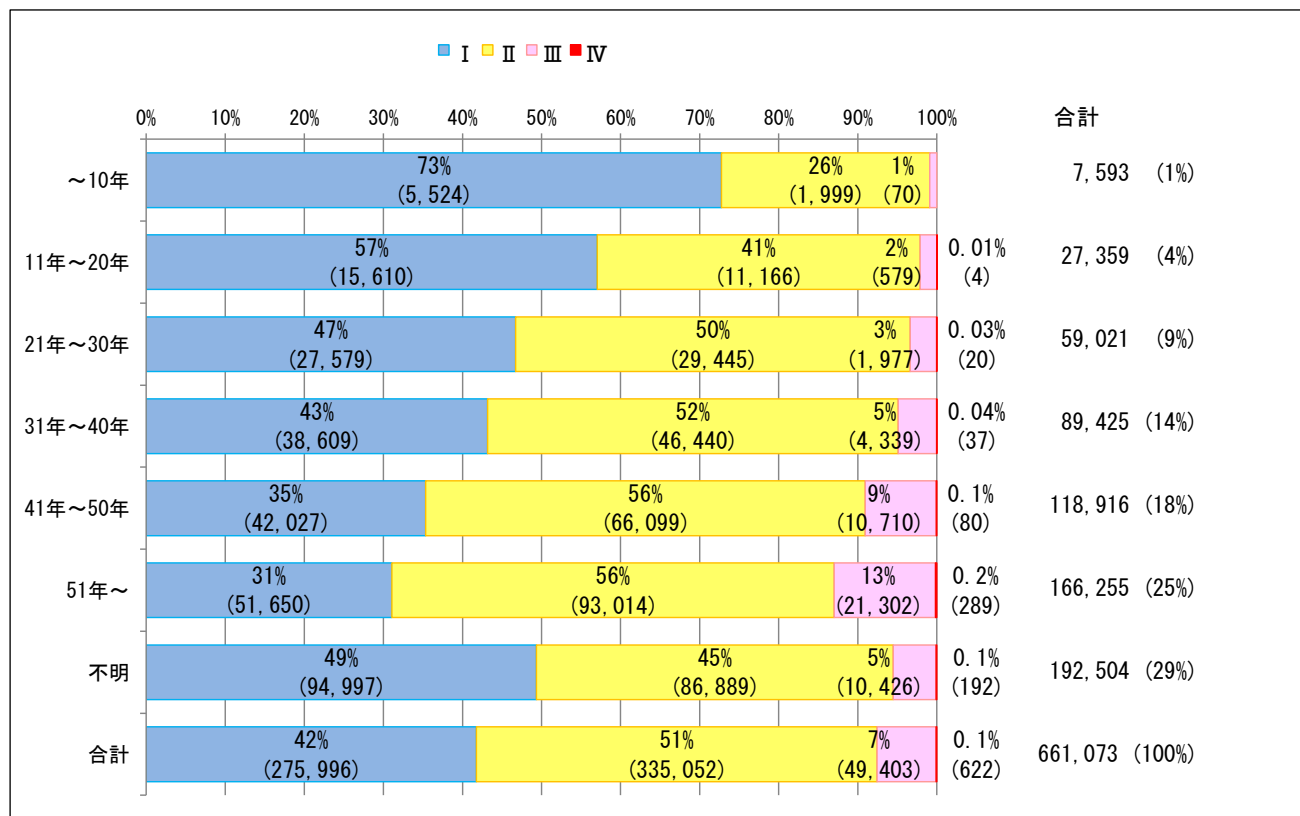
2024.3 末時点

※()内は、2024 年 3 月末時点の施設数のうち、2014～2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

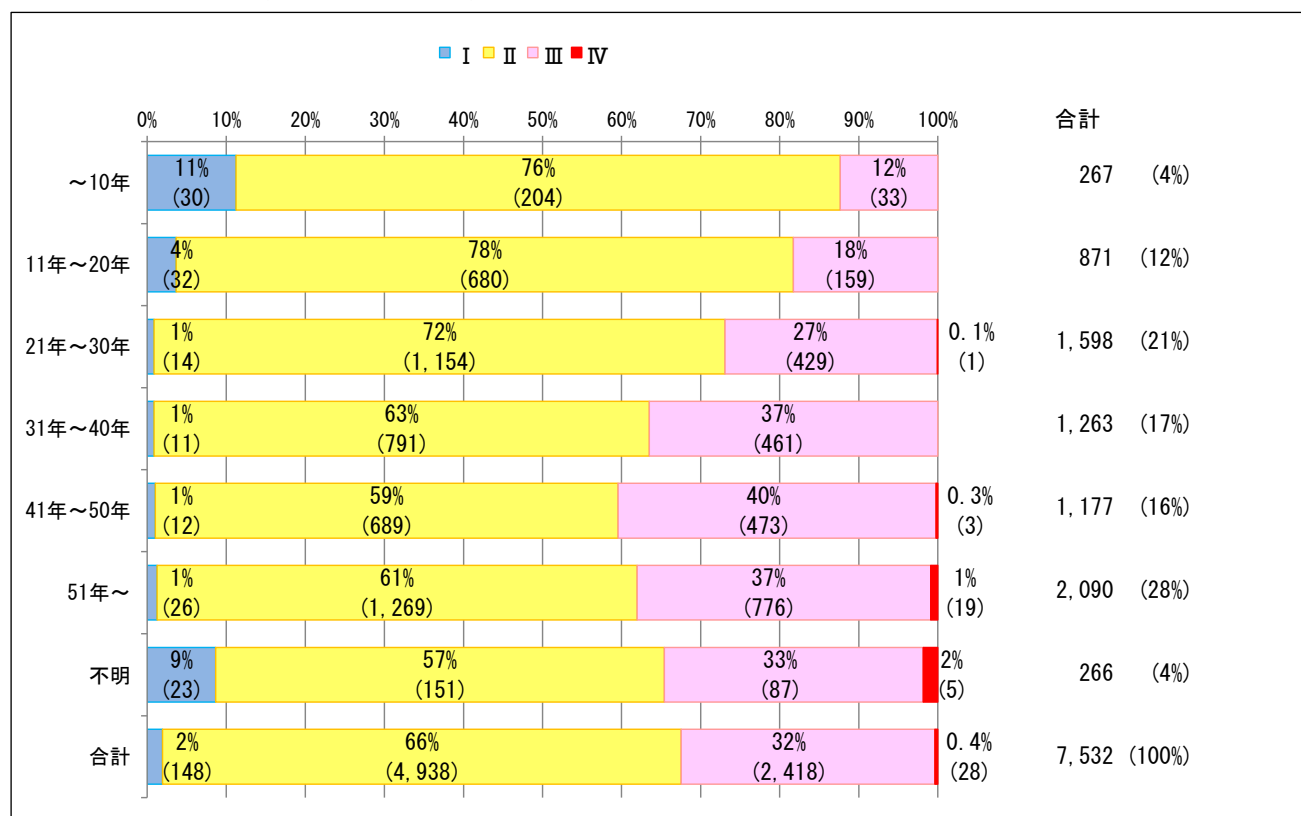
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

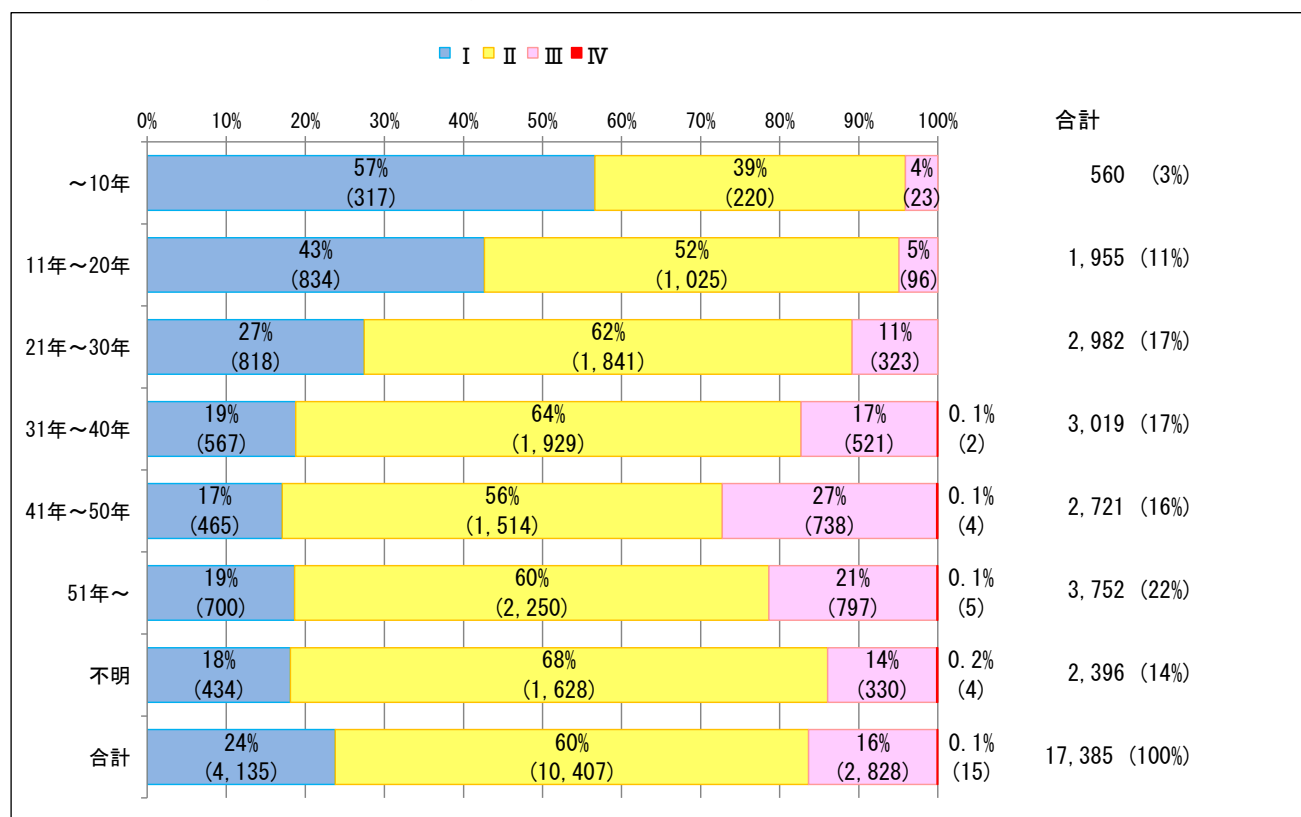
○ 判定区分と建設後経過年数（橋梁）



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



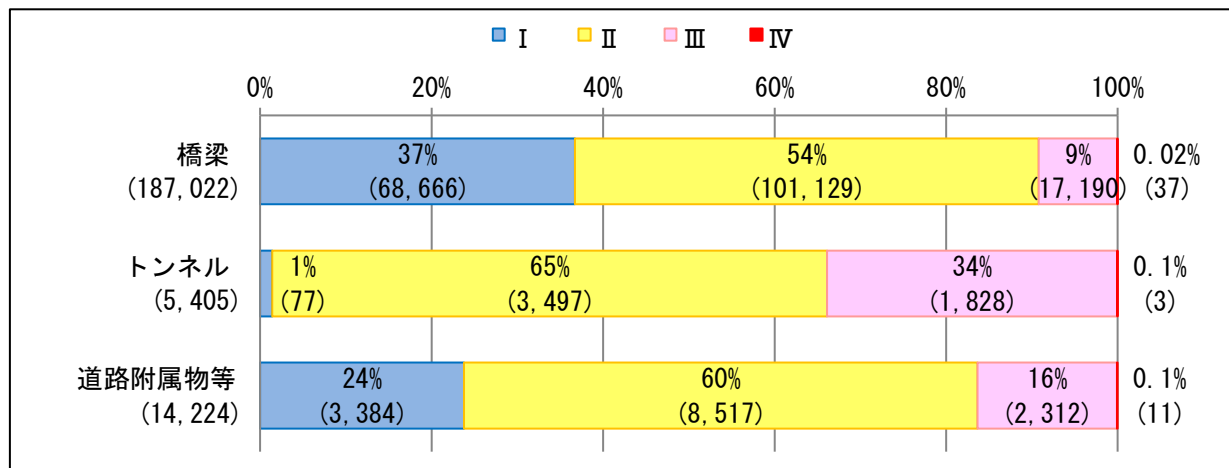
5) 都道府県・政令市等

- 過年度の点検（2014～2023 年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 37%、Ⅱ 54%、Ⅲ 9%、Ⅳ 0.02%、トンネル：Ⅰ 1%、Ⅱ 65%、Ⅲ 34%、Ⅳ 0.1%、道路附属物等：Ⅰ 24%、Ⅱ 60%、Ⅲ 16%、Ⅳ 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（都道府県・政令市等）



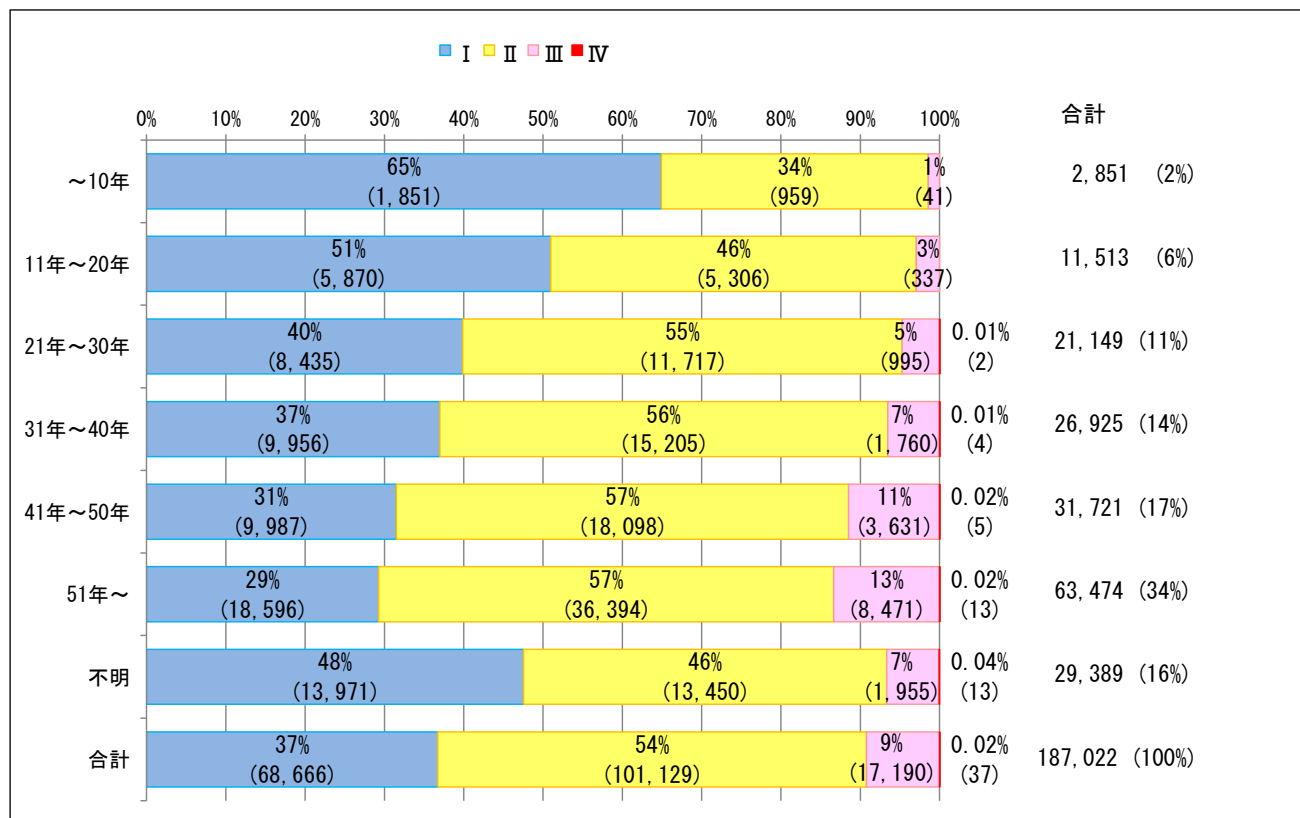
2024.3 末時点

※()内は、2024 年 3 月末時点の施設数のうち、2014～2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

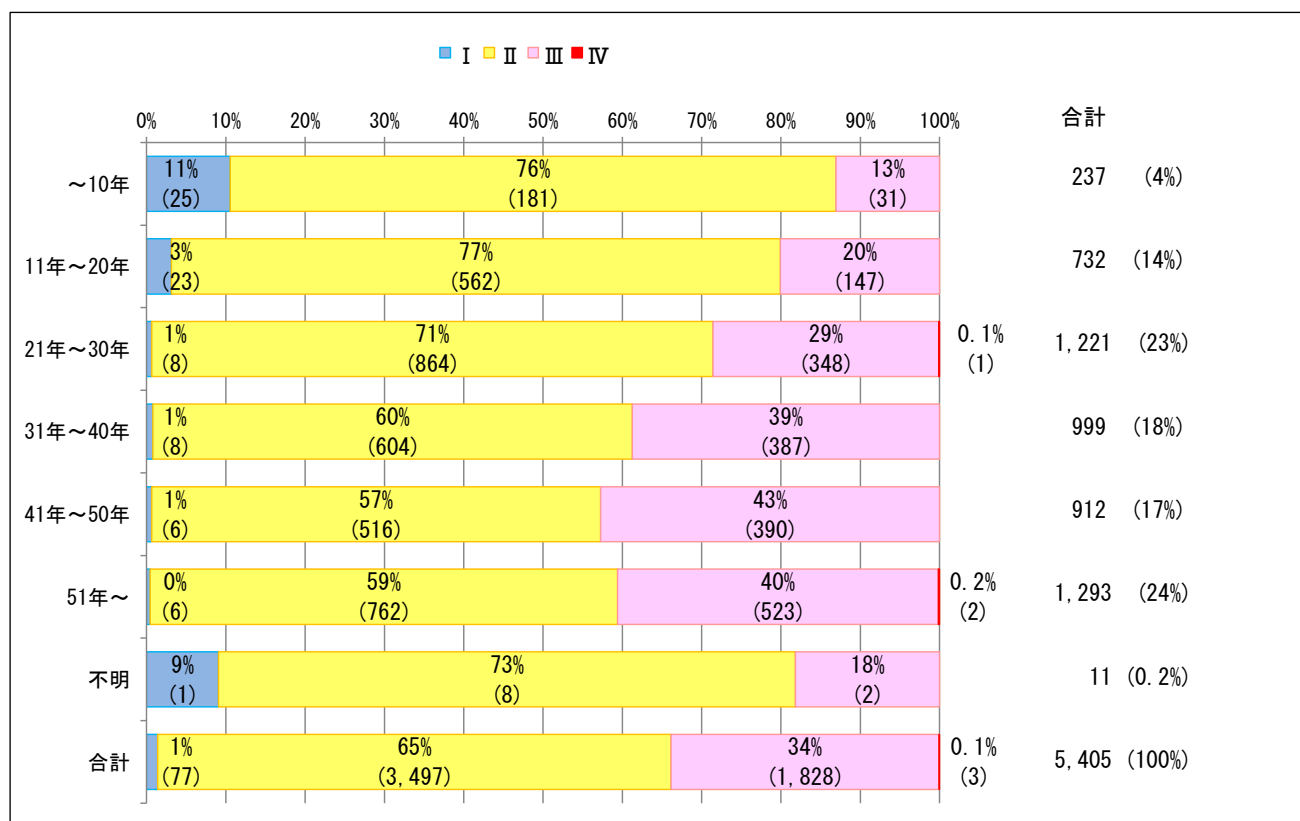
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

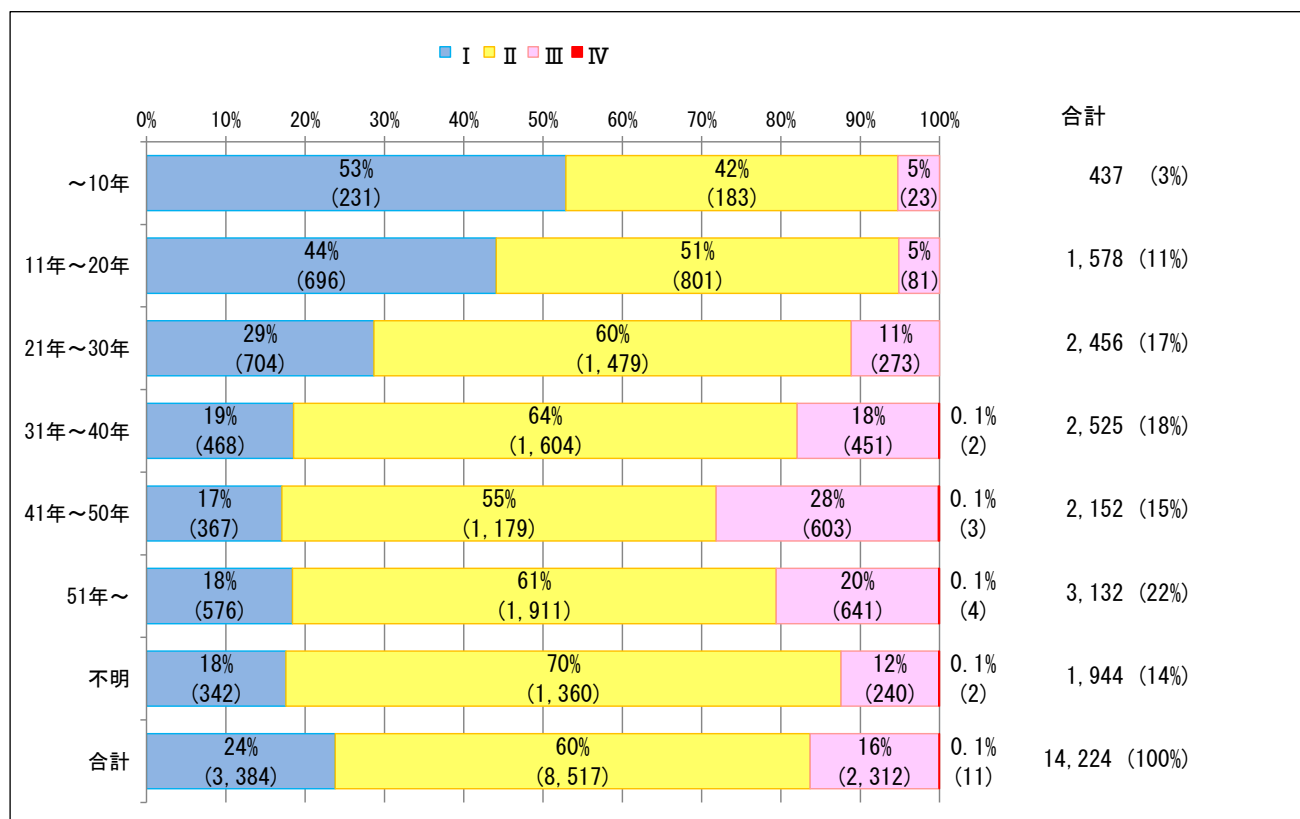
○ 判定区分と建設後経過年数（橋梁）



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



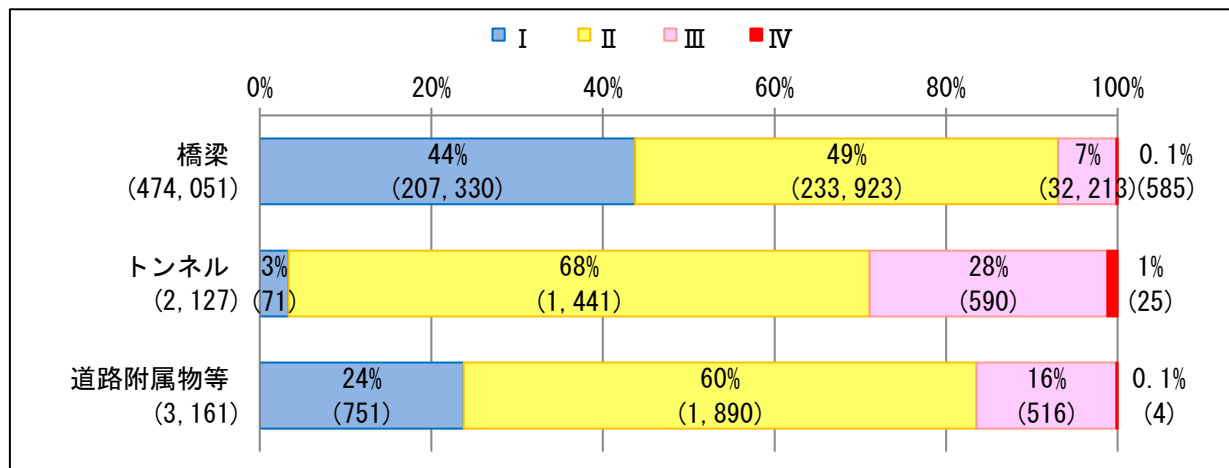
6) 市区町村

- 過年度の点検（2014～2023 年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 44%、Ⅱ 49%、Ⅲ 7%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 3%、Ⅱ 68%、Ⅲ 28%、Ⅳ 1%、道路附属物等：Ⅰ 24%、Ⅱ 60%、Ⅲ 16%、Ⅳ 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（市区町村）



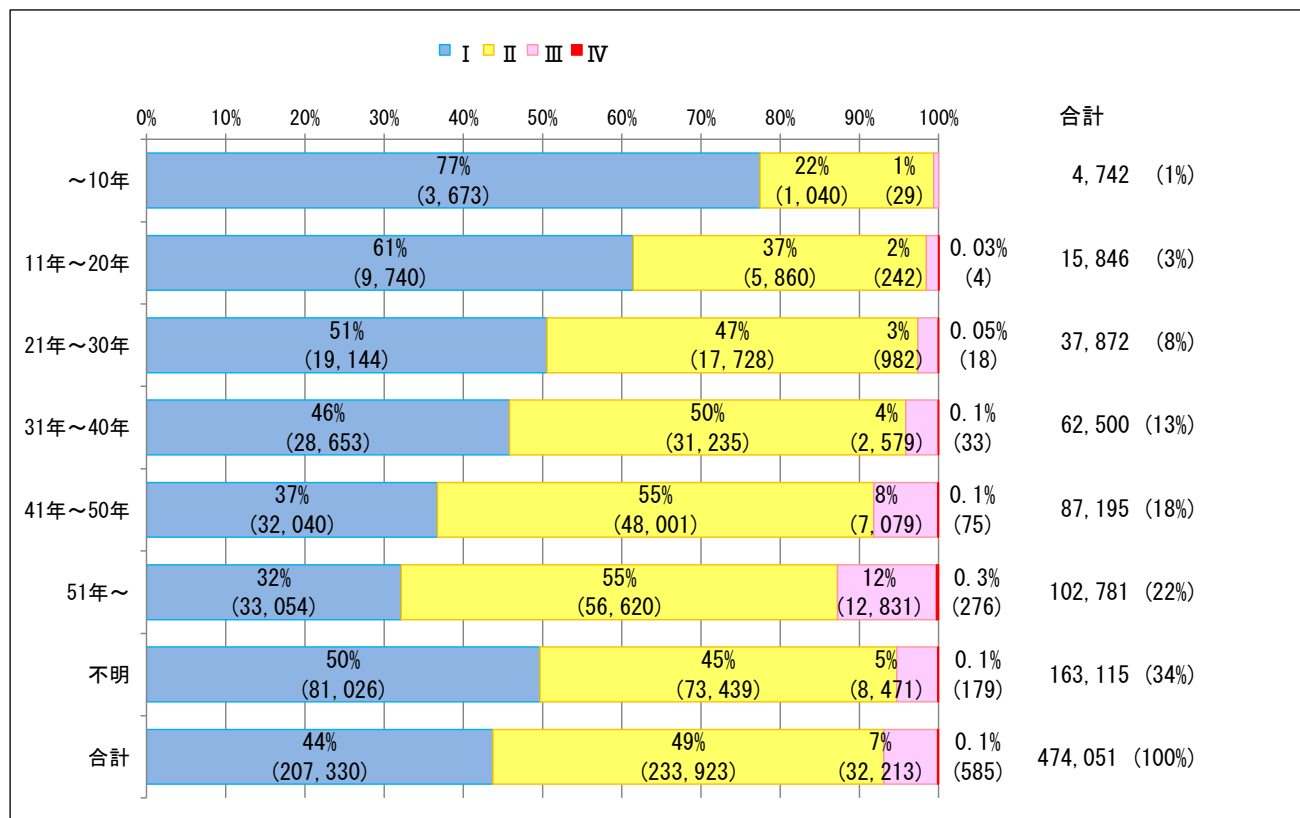
2024.3 末時点

※()内は、2024 年 3 月末時点の施設数のうち、2014～2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

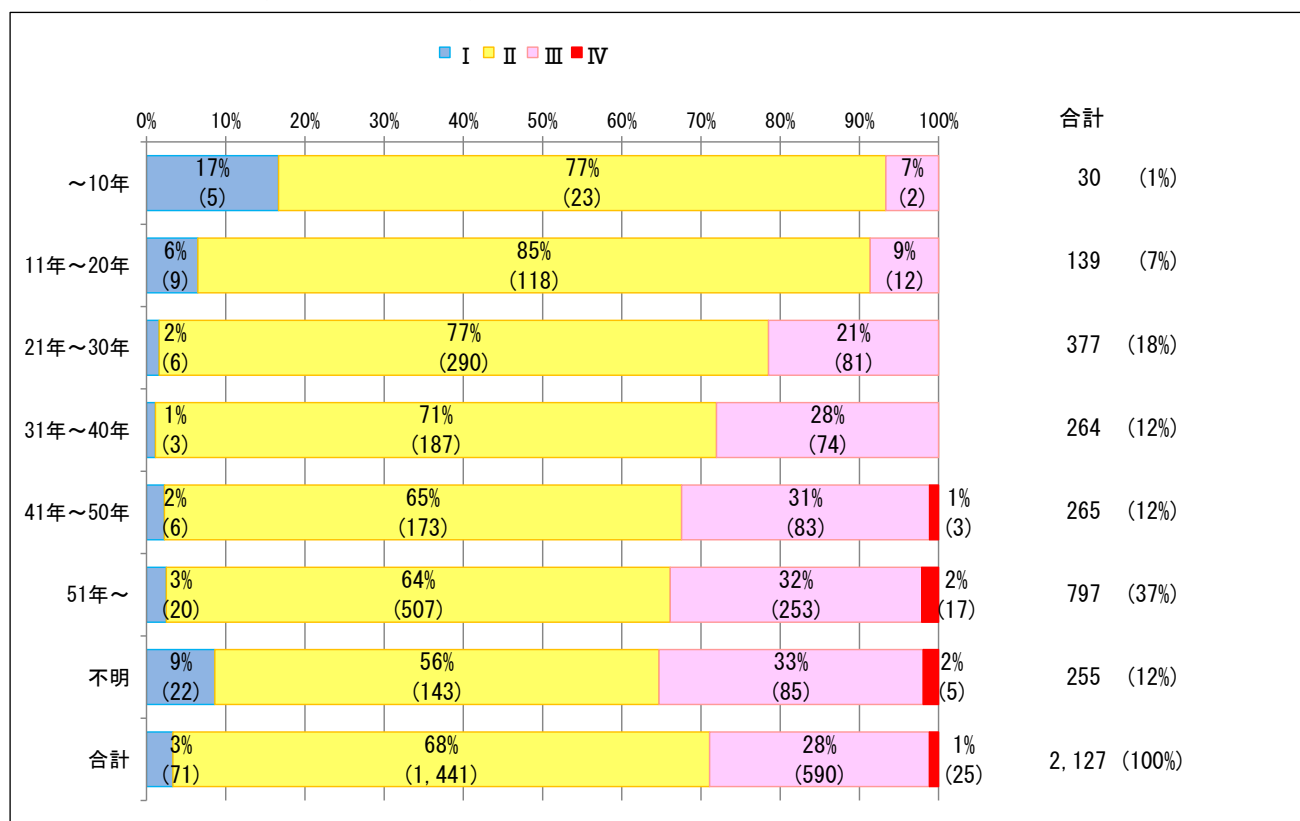
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

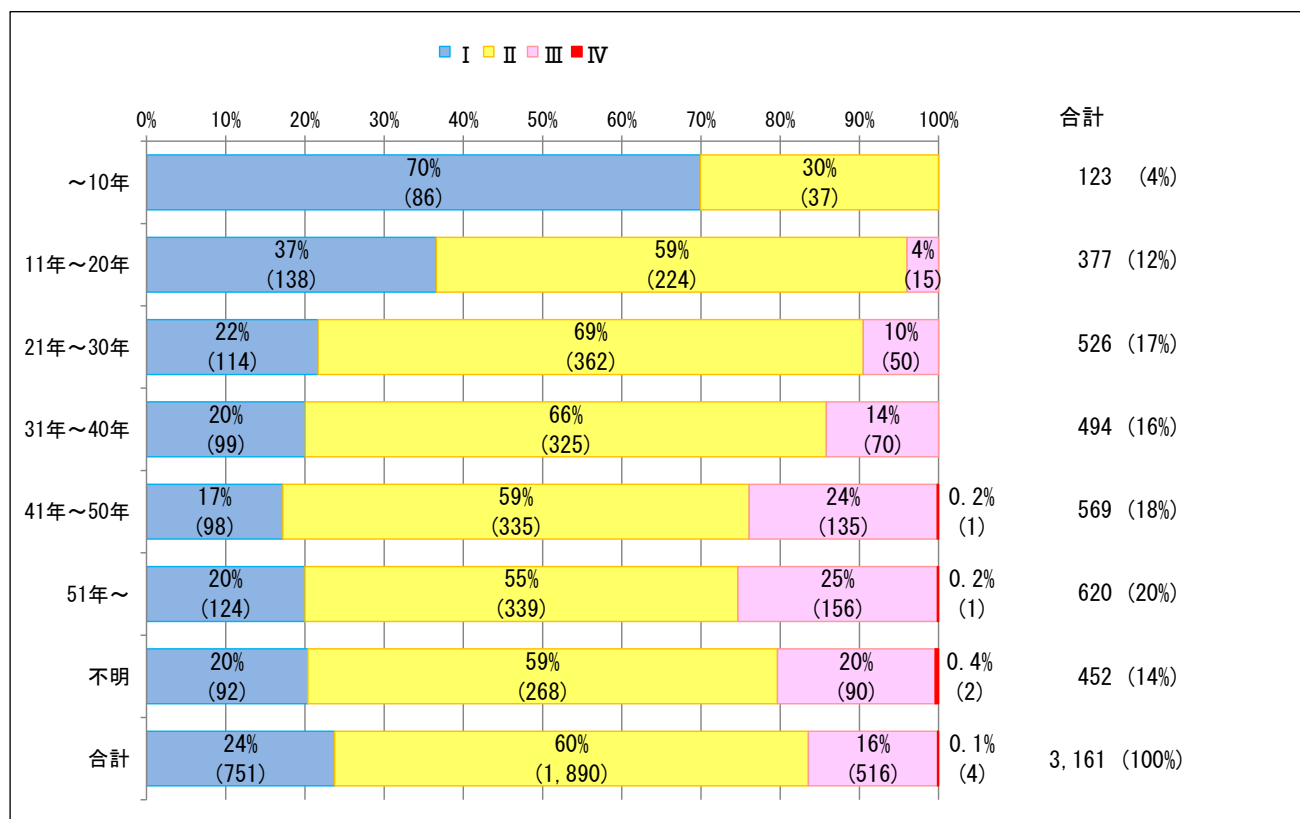
○ 判定区分と建設後経過年数（橋梁）



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



3. 判定区分Ⅲ、Ⅳの施設の修繕等措置の実施状況

(1) 1巡目点検(2014～2018年度)の実施施設における修繕等措置の実施状況

①橋梁

- 1巡目点検(2014～2018年度)で早期に措置を講ずるべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずるべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023年度末時点で、国土交通省 100%、高速道路会社 100%、地方公共団体 83%です。
- 完了した割合は、国土交通省 82%、高速道路会社 85%、地方公共団体 66%です。
- 判定区分Ⅲ・Ⅳである橋梁は次回点検まで(5年以内)に措置を講ずべきとしていますが、地方公共団体において5年以上経過していても措置に着手できていない橋梁は約17%あります。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C※2 (C/A)	点検実施年度	: 措置着手率(B/A) : 措置完了率(C/A)  : 想定されるペース※3	
					0%	100%
国土交通省	3,340	3,340 (100%)	2,724 (82%)	2014	95%	100%
				2015	90%	100%
				2016	83%	100%
				2017	78%	100%
				2018	65%	100%
高速道路会社	2,532	2,532 (100%)	2,164 (85%)	2014	88%	100%
				2015	93%	100%
				2016	87%	100%
				2017	90%	100%
				2018	74%	100%
地方公共団体計	60,482	50,129 (83%)	39,688 (66%)	2014	80%	90%
				2015	72%	87%
				2016	67%	83%
				2017	57%	77%
				2018	54%	79%
	都道府県・政令市等	18,238 (92%)	14,298 (72%)	2014	87%	97%
				2015	79%	95%
				2016	72%	91%
				2017	62%	87%
				2018	63%	92%
	市区町村	31,891 (78%)	25,390 (62%)	2014	75%	85%
				2015	69%	84%
				2016	64%	80%
				2017	55%	73%
				2018	49%	70%
合計	66,354	56,001 (84%)	44,576 (67%)		67%	84%

2024.3末時点

※1:1巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2:2巡目点検で再度区分Ⅲ、Ⅳと判定された施設でも、1巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

※3:2023年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

②トンネル

- 1 巡目点検（2014～2018 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023 年度末時点で、国土交通省 100%、高速道路会社 100%、地方公共団体 95%です。
- 完了した割合は、国土交通省 98%、高速道路会社 95%、地方公共団体 82%です。
- 判定区分Ⅲ・Ⅳであるトンネルは次回点検まで（5 年以内）に措置を講ずべきとされていますが、地方公共団体において5 年以上経過していても措置に着手できていないトンネルは約 5%あります。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C※2 (C/A)	点検実施年度	: 措置着手率 (B/A) : 措置完了率 (C/A) ↓ : 想定されるペース※3 0% 20% 40% 60% 80% 100%				
国土交通省	503	503 (100%)	494 (98%)	2014		100%		100%	
				2015		98%		100%	
				2016		97%		100%	
				2017		97%		100%	
				2018		100%		100%	
高速道路会社	692	692 (100%)	656 (95%)	2014		97%		100%	
				2015		98%		100%	
				2016		98%		100%	
				2017		89%		100%	
				2018		84%		100%	
地方公共団体計	3,131	2,964 (95%)	2,566 (82%)	2014		88%		94%	
				2015		88%		97%	
				2016		89%		99%	
				2017		83%		96%	
				2018		71%		90%	
	都道府県・政令市等 2,315	2,299 (99%)	2,093 (90%)	2014		98%		100%	
				2015		90%		98%	
				2016		92%		99.6%	
				2017		90%		99.6%	
				2018		87%		99%	
	市区町村 816	665 (81%)	473 (58%)	2014		67%		83%	
				2015		70%		85%	
				2016		73%		94%	
				2017		54%		82%	
				2018		52%		78%	
合計	4,326	4,159 (96%)	3,716 (86%)			86%		96%	

2024.3 末時点

※1:1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2:2 巡目点検で再度区分Ⅲ、Ⅳと判定された施設でも、1 巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

※3:2023 年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

③道路附属物等

- 1 巡目点検（2014～2018 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された道路附属物等のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023 年度末時点で、国土交通省 100%、高速道路会社 100%、地方公共団体 94%です。
- 完了した割合は、国土交通省 73%、高速道路会社 96%、地方公共団体 78%です。
- 判定区分Ⅲ・Ⅳである道路附属物等は次回点検まで（5 年以内）に措置を講ずべきとしていますが、地方公共団体において5 年以上経過していても措置に着手できていない道路附属物等は約 6%あります。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C※2 (C/A)	点検実施年度	: 措置着手率 (B/A) : 措置完了率 (C/A)  : 想定されるペース※3	
					0%	100%
国土交通省	1,568	1,568 (100%)	1,147 (73%)	2014	89%	100%
				2015	77%	100%
				2016	76%	100%
				2017	72%	100%
				2018	58%	100%
高速道路会社	389	389 (100%)	372 (96%)	2014	94%	100%
				2015	96%	100%
				2016	95%	100%
				2017	100%	100%
				2018	94%	100%
地方公共団体計	3,737	3,514 (94%)	2,929 (78%)	2014	92%	99%
				2015	79%	97%
				2016	80%	93%
				2017	77%	94%
				2018	70%	89%
都道府県・政令市等	3,091	2,962 (96%)	2,477 (80%)	2014	94%	99%
				2015	78%	98%
				2016	82%	95%
				2017	79%	95%
				2018	73%	93%
市区町村	646	552 (85%)	452 (70%)	2014	86%	97%
				2015	82%	88%
				2016	66%	78%
				2017	62%	86%
				2018	58%	78%
合計	5,694	5,471 (96%)	4,448 (78%)		78%	96%

2024.3 末時点

※1:1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2:2 巡目点検で再度区分Ⅲ、Ⅳと判定された施設でも、1 巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

※3:2023 年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

(2) 2巡目点検(2019～2023 年度)の実施施設における修繕等措置の実施状況

① 橋梁

- 2巡目点検(2019～2023 年度)で早期に措置を講ずるべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずるべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023 年度末時点で、国土交通省 64%、高速道路会社 45%、地方公共団体 47%です。
- 完了した割合は、国土交通省 19%、高速道路会社 20%、地方公共団体 21%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C (C/A)	点検実施年度	: 措置着手率(B/A) : 措置完了率(C/A) : 想定されるペース※2		0% 20% 40% 60% 80% 100%				
国土交通省	3,716	2,380 (64%)	713 (19%)	2019		37%					96%
				2020		24%					85%
				2021		17%					69%
				2022		13%					47%
				2023		2%					17%
高速道路会社	2,714	1,223 (45%)	530 (20%)	2019		49%					87%
				2020		25%					63%
				2021		17%					43%
				2022		12%					35%
				2023		1%					8%
地方公共団体計	49,315	23,342 (47%)	10,367 (21%)	2019		39%					66%
				2020		32%					63%
				2021		19%					51%
				2022		9%					31%
				2023		2%					17%
都道府県・政令市等	17,064	9,797 (57%)	3,920 (23%)	2019		44%					78%
				2020		36%					76%
				2021		20%					62%
				2022		9%					44%
				2023		3%					22%
市区町村	32,251	13,545 (42%)	6,447 (20%)	2019		36%					60%
				2020		30%					56%
				2021		18%					46%
				2022		9%					24%
				2023		2%					14%
合計	55,745	26,945 (48%)	11,610 (21%)			21%					48%

2024.3 末時点

※1: 2巡目(2019～2023 年度)の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2: 2023 年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

②トンネル

- 2巡目点検（2019～2023 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定されたトンネルの修繕等の措置に着手した割合は、2023 年度末時点で、国土交通省 64%、高速道路会社 52%、地方公共団体 57%です。
- 完了した割合は、国土交通省 28%、高速道路会社 30%、地方公共団体 29%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が 必要な 施設数 A※1	措置に 着手済の 施設数 B (B／A)	うち 完了済の 施設数 C (C／A)	点検 実施 年度	：措置着手率(B／A) ：措置完了率(C／A) ：想定されるペース※2						
					0%	20%	40%	60%	80%	100%	
国土 交通省	421	269 (64%)	116 (28%)	2019			61%			94%	
				2020			43%			85%	
				2021		18%			63%		
				2022		4%			51%		
				2023		4%		20%			
高速道路 会社	421	219 (52%)	128 (30%)	2019			54%			86%	
				2020			43%			80%	
				2021		33%			55%		
				2022		30%			50%		
				2023		2%	6%				
地方公共 団体計	2,375	1,360 (57%)	692 (29%)	2019			63%			85%	
				2020			46%			84%	
				2021		34%			74%		
				2022		18%			50%		
				2023		3%	14%				
都道府県・ 政令市等	1,815	1,179 (65%)	629 (35%)	2019			68%			91%	
				2020			49%			86%	
				2021		37%			78%		
				2022		20%			55%		
				2023		2%	12%				
市区町村	560	181 (32%)	63 (11%)	2019			36%			59%	
				2020			27%			71%	
				2021		13%			45%		
				2022		9%			34%		
				2023		4%	15%				
合計	3,217	1,848 (57%)	936 (29%)				29%		57%		

2024.3 末時点

※1:2巡目（2019～2023 年度）の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2:2023 年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

③道路附属物等

- 2巡目点検（2019～2023 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された道路附属物等の修繕等の措置に着手した割合は、2023 年度末時点で、国土交通省 57%、高速道路会社 46%、地方公共団体 51%です。
- 完了した割合は、国土交通省 21%、高速道路会社 38%、地方公共団体 25%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C (C/A)	点検実施年度	 : 措置着手率 (B/A) : 措置完了率 (C/A) : 想定されるペース※2	
					0%	100%
国土交通省	1,956	1,112 (57%)	404 (21%)	2019	34%	93%
				2020	31%	76%
				2021	23%	62%
				2022	15%	42%
				2023	5%	24%
高速道路会社	271	126 (46%)	104 (38%)	2019	89%	94%
				2020	54%	68%
				2021	43%	53%
				2022	24%	29%
				2023	1%	14%
地方公共団体計	2,761	1,408 (51%)	678 (25%)	2019	60%	88%
				2020	35%	74%
				2021	24%	63%
				2022	12%	31%
				2023	2%	16%
都道府県・政令市等	2,272	1,184 (52%)	575 (25%)	2019	60%	88%
				2020	33%	76%
				2021	28%	67%
				2022	12%	31%
				2023	2%	15%
市区町村	489	224 (46%)	103 (21%)	2019	62%	88%
				2020	40%	65%
				2021	10%	47%
				2022	9%	31%
				2023	2%	19%
合計	4,988	2,646 (53%)	1,186 (24%)		24%	53%

2024.3 末時点

※1:2巡目（2019～2023 年度）の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2:2023 年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

(3) 過年度の点検(2014～2023 年度)の実施施設における修繕等措置の実施状況

① 橋梁

- 過年度の点検(2014～2023 年度)で早期に措置を講ずるべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずるべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023 年度末時点で、国土交通省 64%、高速道路会社 45%、地方公共団体 48%です。
- 完了した割合は、国土交通省 19%、高速道路会社 20%、地方公共団体 21%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数		未着手 施設数 (A－B)
		B (B／A)	うち完了 C (C／A)	
国土交通省	3,724	2,388 (64%)	716 (19%)	1,336 (36%)
高速道路会社	2,714	1,223 (45%)	530 (20%)	1,491 (55%)
地方公共団体	50,025	23,801 (48%)	10,611 (21%)	26,224 (52%)
都道府県・ 政令市等	17,227	9,932 (58%)	3,976 (23%)	7,295 (42%)
市区町村	32,798	13,869 (42%)	6,635 (20%)	18,929 (58%)
合計	56,463	27,412 (49%)	11,857 (21%)	29,051 (51%)

2024.3 末時点

※1:2023 年度末時点の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

②トンネル

- 過年度の点検（2014～2023 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023 年度末時点で、国土交通省 64%、高速道路会社 52%、地方公共団体 58%です。
- 完了した割合は、国土交通省 28%、高速道路会社 30%、地方公共団体 30%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数 B		未着手 施設数 (A－B)
		(B／A)	うち完了 C (C／A)	
国土交通省	421	269 (64%)	116 (28%)	152 (36%)
高速道路会社	421	219 (52%)	128 (30%)	202 (48%)
地方公共団体	2, 446	1, 410 (58%)	726 (30%)	1, 036 (42%)
都道府県・ 政令市等	1, 831	1, 195 (65%)	643 (35%)	636 (35%)
市区町村	615	215 (35%)	83 (13%)	400 (65%)
合計	3, 288	1, 898 (58%)	970 (30%)	1, 390 (42%)

2024. 3 末時点

※1: 2023 年度末時点の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

③道路附属物等

- 過年度の点検（2014～2023 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された道路附属物等のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2023 年度末時点で、国土交通省 57%、高速道路会社 46%、地方公共団体 52%です。
- 完了した割合は、国土交通省 21%、高速道路会社 38%、地方公共団体 25%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数 B		未着手 施設数 (A－B)
		(B／A)	うち完了 C (C／A)	
国土交通省	1, 956	1, 112 (57%)	404 (21%)	844 (43%)
高速道路会社	271	126 (46%)	104 (38%)	145 (54%)
地方公共団体	2, 843	1, 475 (52%)	709 (25%)	1, 368 (48%)
都道府県・ 政令市等	2, 323	1, 232 (53%)	592 (25%)	1, 091 (47%)
市区町村	520	243 (47%)	117 (23%)	277 (53%)
合計	5, 070	2, 713 (54%)	1, 217 (24%)	2, 357 (46%)

2024. 3 末時点

※1: 2023 年度末時点の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

(4) 1巡目点検(2014～2018 年度)の実施施設における跨線橋及び緊急輸送道路等の橋梁の修繕等措置の実施状況

- 1巡目点検(2014～2018 年度)で早期に措置を講ずるべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずるべき状態(区分Ⅳ)と判定された跨線橋及び緊急輸送道路等の橋梁のうち、修繕等の措置が完了した割合は、2023 年度末時点で、跨線橋 59%、緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋 77%、緊急輸送道路を構成する橋梁 79%であり、跨線橋の措置完了率が低くなっています。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

○ 跨線橋及び緊急輸送道路等の橋梁の 1 巡目点検の実施施設における修繕等措置の実施状況(全道路管理者)

	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数 B (B/A)	うち完了 C (C/A)
跨線橋	2,030	1,911 (94%)	1,199 (59%)
緊急輸送道路を 跨ぐ跨道橋	1,830	1,744 (95%)	1,403 (77%)
緊急輸送道路を 構成する橋梁	13,395	13,109 (98%)	10,595 (79%)
(参考) 全橋梁	66,354	56,001 (84%)	44,576 (67%)

2024. 3 末時点

○ 跨線橋の 1 巡目点検の実施施設における修繕等措置の実施状況(管理者別)

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数 B (B/A)	うち完了 C (C/A)
国土交通省	365	365 (100%)	236 (65%)
高速道路会社	209	209 (100%)	168 (80%)
地方公共団体	1,456	1,337 (92%)	795 (55%)
都道府県・ 政令市等	763	734 (96%)	454 (60%)
市区町村	693	603 (87%)	341 (49%)
合計	2,030	1,911 (94%)	1,199 (59%)

2024. 3 末時点

※1: 1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2: 2 巡目点検で再度区分Ⅲ、Ⅳと判定された施設でも、1 巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

○ 緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋の 1 巡目点検の実施施設における修繕等措置の実施状況
(管理者別)

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数 B (B/A)	うち完了 C
			(C/A)
国土交通省	214	214 (100%)	164 (77%)
高速道路会社	626	626 (100%)	523 (84%)
地方公共団体	990	904 (91%)	716 (72%)
都道府県・ 政令市等	393	385 (98%)	319 (81%)
市区町村	597	519 (87%)	397 (66%)
合計	1,830	1,744 (95%)	1,403 (77%)

2024. 3 末時点

○ 緊急輸送道路を構成する橋梁の 1 巡目点検の実施施設における修繕等措置の実施状況
(管理者別)

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数 B (B/A)	うち完了 C
			(C/A)
国土交通省	2,890	2,890 (100%)	2,357 (82%)
高速道路会社	2,525	2,525 (100%)	2,155 (85%)
地方公共団体	7,980	7,694 (96%)	6,083 (76%)
都道府県・ 政令市等	7,587	7,335 (97%)	5,779 (76%)
市区町村	393	359 (91%)	304 (77%)
合計	13,395	13,109 (98%)	10,595 (79%)

2024. 3 末時点

※1: 1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2: 2 巡目点検で再度区分Ⅲ、Ⅳと判定された施設でも、1 巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

(5) 各都道府県における道路管理者毎の老朽化対策状況

- 各都道府県における道路管理者毎（国土交通省、高速道路会社、都道府県、市区町村）の老朽化対策状況（橋梁、トンネル、道路附属物等の判定区分や措置状況等）を視覚化した情報を公開。

(6) 全国道路施設点検データベース（損傷マップ）

- 老朽化対策のさらなる見える化を図るため、「全国道路施設点検データベース～損傷マップ～」にて橋梁、トンネル、道路附属物等の諸元や点検結果、措置状況等を地図上で公開中。

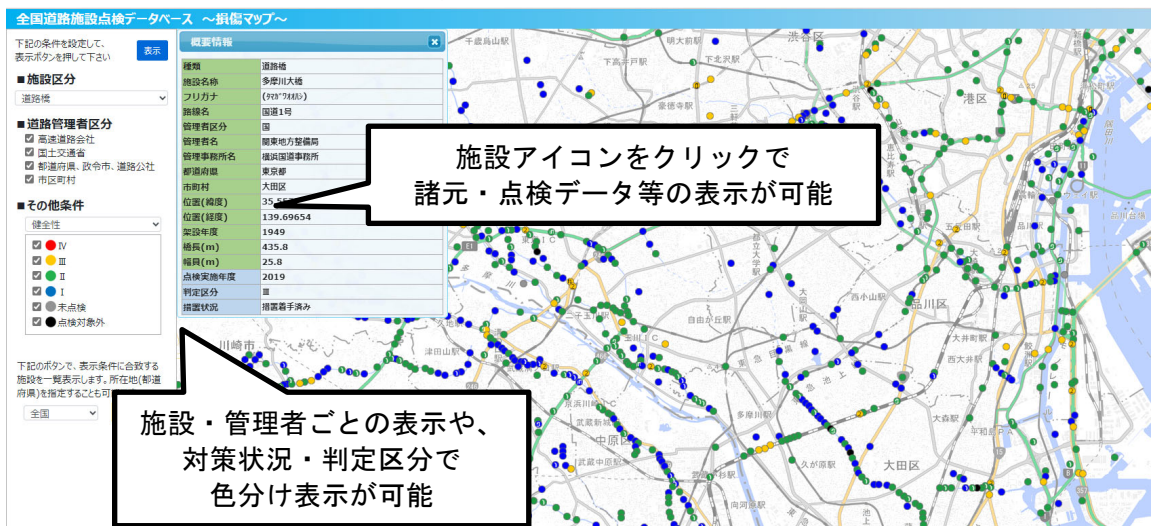
<https://road-structures-map.mlit.go.jp/>

- データについては順次更新を行い 2023 年度末時点のデータも今後公開予定。
- より詳細な点検データ等については、「全国道路施設点検データベース」により有料公開を行っており、研究機関や民間企業等による技術開発の促進による維持管理の効率化・高度化を目指しています。

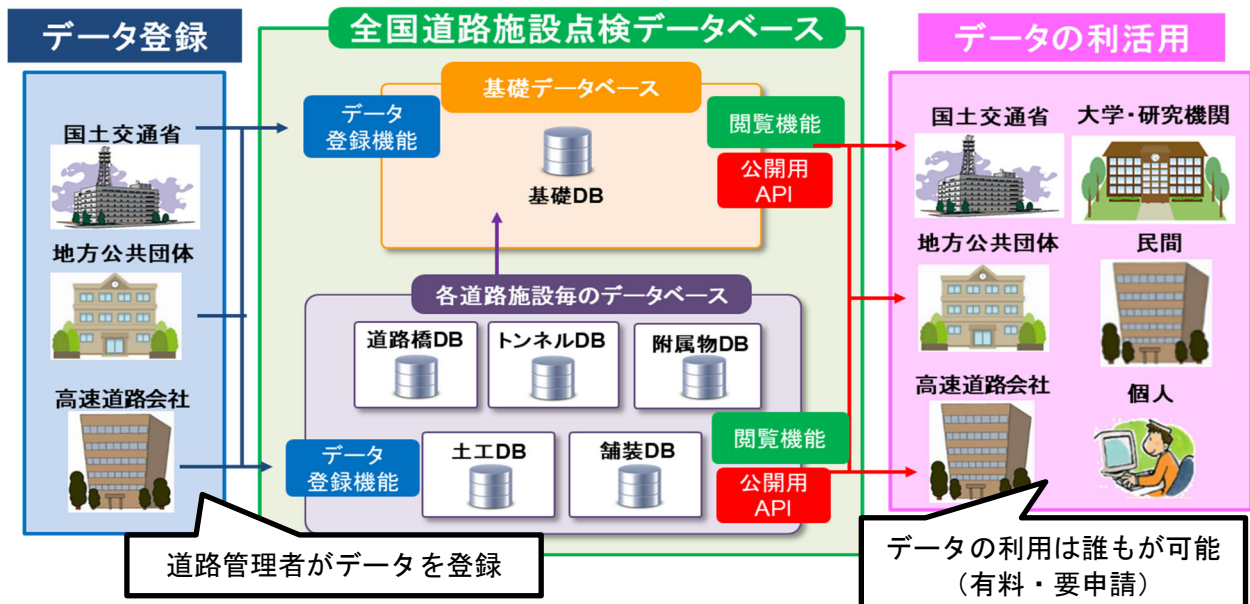
<https://road-structures-db.mlit.go.jp/>



○ 全国道路施設点検データベース～損傷マップ～（閲覧画面）



○ 全国道路施設点検データベース（イメージ）

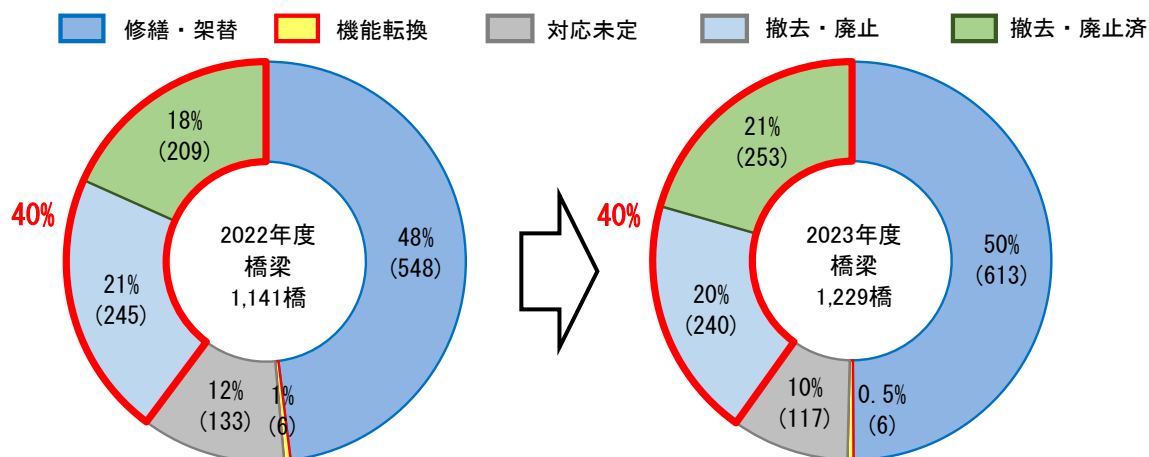


(7) 判定区分Ⅳの施設の措置状況

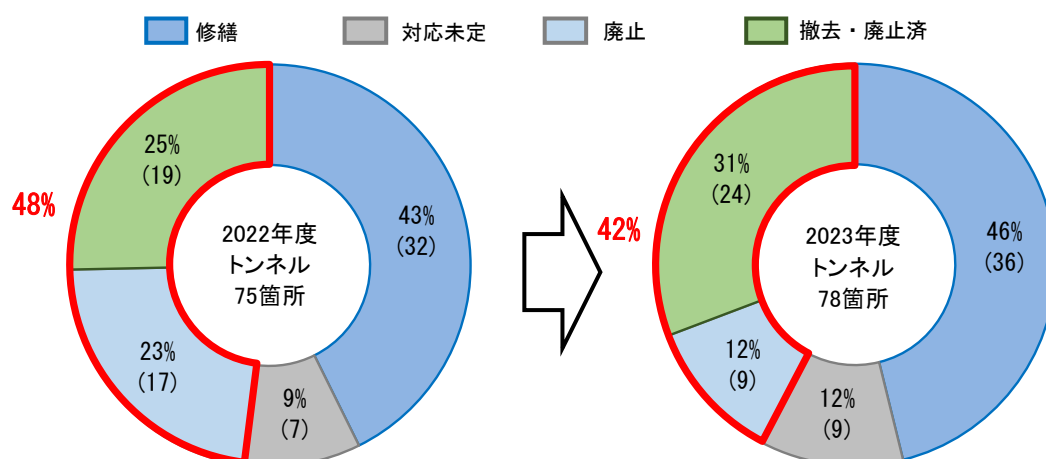
- 2023 年度末までに緊急に措置を講ずべき状態（区分Ⅳ）と判定された施設の措置状況のうち、撤去・廃止の割合は、2023 年度末時点で、橋梁：40%、トンネル：42%、道路附属物等：34%です。

※道路管理者毎の内訳及びⅣ判定の施設リストは巻末資料(3)を参照。

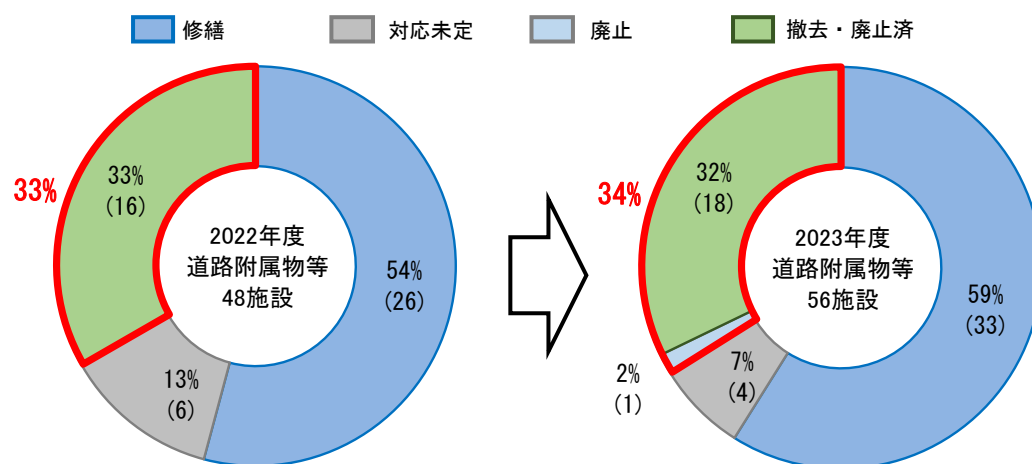
○ 判定区分Ⅳの橋梁の措置状況(完了済・予定のものを含む)



○ 判定区分Ⅳのトンネルの措置状況(完了済・予定のものを含む)



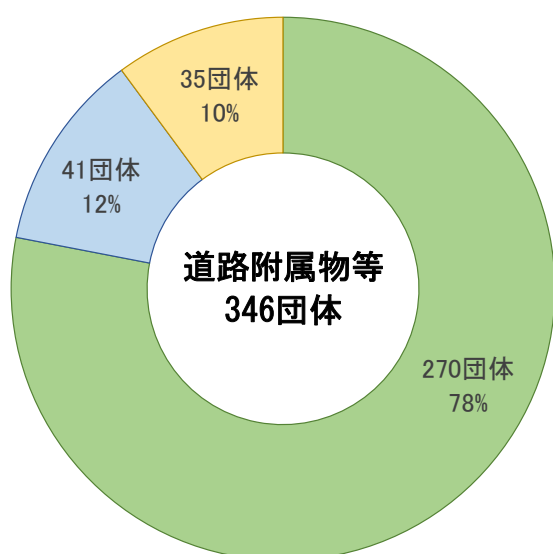
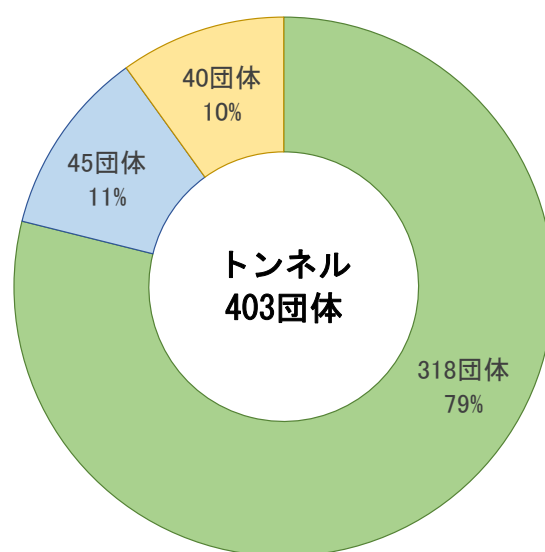
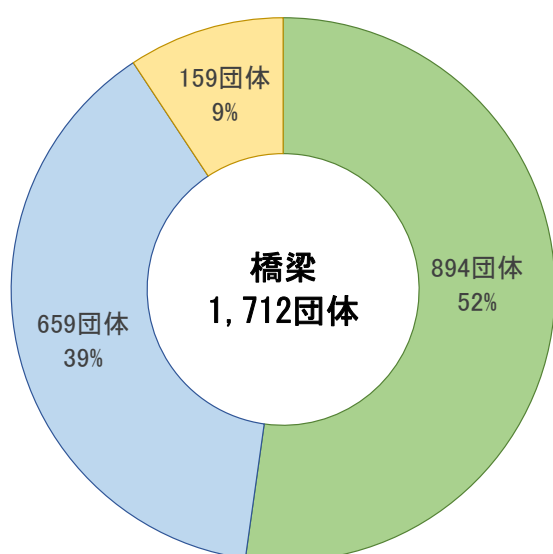
○ 判定区分Ⅳの道路附属物等の措置状況(完了済・予定のものを含む)



4. 地方公共団体の修繕等措置状況

(1) 1巡目点検(2014～2018 年度)の実施施設における地方公共団体の修繕等措置の着手状況

- 1巡目点検（2014～2018 年度）において早期に措置を講ずべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずべき状態（区分Ⅳ）と判定された橋梁に着手した割合は、地方公共団体によって差があり、1巡目点検で区分Ⅲ又はⅣと判定された施設を管理している1,712団体のうち、
- ・ 着手率 100%の地方公共団体が 894 団体（52%）ある一方で、
 - ・ 着手率 50%以上 100%未満が 659 団体（39%）
 - ・ 着手率 50%未満が 159 団体（9%）
- であり、地方公共団体によって差がでてきている。



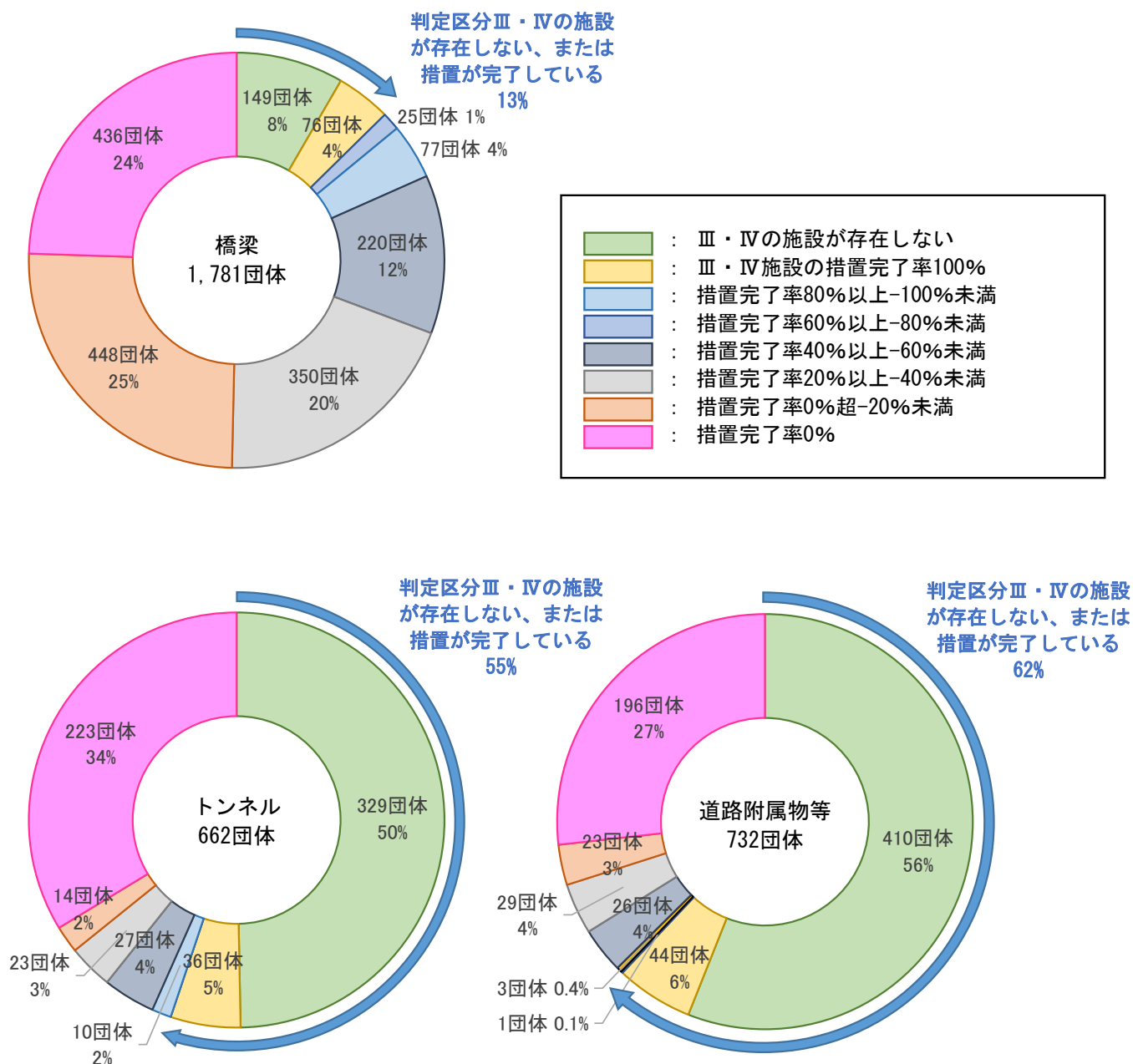
	Ⅲ・Ⅳ施設の措置着手率100%
	措置着手率50%以上-100%未満
	措置着手率50%未満

※点検対象外等となり、現在、1巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設を管理していない団体を除く。

(2)2023 年度末時点での修繕等措置が完了した地方公共団体数

- 橋梁の修繕等の措置が進み、早期に措置を講ずべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずべき状態（区分Ⅳ）の施設が存在しない、または修繕等の措置が完了している団体は、2023 年度末時点で 13%に留まっており、措置完了率が 20%未満の団体が約半数を占めています。

○ 地方公共団体の予防保全への移行状況



※団体数は、2023 年度末時点の点検対象施設（管理施設のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設）を管理する都道府県、政令市、市区町村の合計。

5. 舗装の点検結果及び修繕等措置の実施状況

(1)概要

舗装については、各道路管理者により、道路の役割や性格、修繕実施の効率性、ストック量、管理体制の視点から管内の道路を分類し、その分類に基づき点検などを行っています。今年度より、地方公共団体の管理する重要物流道路などの重交通を担う道路である分類A・Bに焦点をあてて集計しています。

<道路の分類のイメージ>

特性	分類	主な道路 (イメージ)	管理基準※1 ()内は直轄の基準	点検頻度	健全性の診断※2	車線延長※3
・高速道路等 (高速走行など 求められるサー ビス水準が高 い道路)	A	高速道路※4	ひび割れ率: 15~20% (20%以上) わだち掘れ量: 20~25mm (25mm 以上) IRI: 3.5mm/m (3.5mm/m以上)	道路管理者が5 年に1回以上適 切に実施	分類A・Bの 判定区分 I (健全): 損傷レベルが小 II (表層機能保持段階): 損傷レベルが中	計:約 40,700km ・高速管理: 約 33,600km ・直轄管理: 約 5,000km ・地方管理: 約 2,100km
・損傷の進行が 早い道路等 (例えば大型車交 通量が多い道路) 重要物流道路又は 大型車 1,000 台・方 向以上/日(目安)	B	直轄国道	ひび割れ率: 20~40% (40%以上) わだち掘れ量: 20~40mm (40mm 以上) IRI: 8mm/m (8mm/m以上)		III (修繕段階): 損傷レベルが大 III-1 表層等修繕 (路盤以下の層が健全) III-2 路盤打換等 (路盤以下の層も損傷)	計:約 150,300km ・直轄管理 約 55,000km ・地方管理 約 95,300km
・損傷の進行が 緩やかな道路等 (例えば大型車交 通量が少ない道 路)	C	補助国道・県道		更新時期や地 域特性等に応じ て道路管理者 が適切に点検 計画を作成	分類C・Dの 判定区分 I (健全): 損傷レベルが小 II (表層機能保持段階): 損傷レベルが中	計:約 360,000km
・生活道路等 (損傷の進行が 極めて遅く占用 工事等の影響 がなければ長 寿命) 幅員 5.5m 未満 の道路	D	政令市一般市道 市町村道			III (修繕段階): 損傷レベルが大	計:約 750,000km
合計						計:約 1,300,000km

※1 一部の地方管理道路については、独自の管理基準を設定している場合がある。

※2 コンクリート舗装の健全性の診断は、分類A~D共通して、判定区分Ⅰ~Ⅲで判定

※3 車線延長は一部センサデータ等による推計値を含む。

※4 高速道路会社についてはサービス水準を高く設定しており、独自の厳しい基準で点検を実施していることから、国の舗装点検要領にあてはめることができないため集計していない。

国土交通省の管理する道路の舗装は、2017 年度より舗装点検要領（2017 年 3 月 国土交通省 道路局 国道・防災課）に基づき、5 年に 1 回の頻度で目視を基本とする点検を実施しています。

舗装の健全性の診断は、以下の通り区分します。

<アスファルト舗装>

区分		状態
I	健全	損傷レベル小：管理基準に照らし、劣化の程度が小さく、舗装表面が健全な状態
II	表層機能保持段階	損傷レベル中：管理基準に照らし、劣化の程度が中程度
III	修繕段階	損傷レベル大：管理基準に照らし、それを超過している又は早期の超過が予見される状態
	III－1 表層等修繕	表層の供用年数が使用目標年数を超える場合（路盤以下の層が健全であると想定される場合）
	III－2 路盤打換等	表層の供用年数が使用目標年数未満である場合（路盤以下の層が損傷していると想定される場合）

<コンクリート舗装>

区分		状態
I	健全	損傷レベル小：目地部に目地材が充填されている状態を保持し、路盤以下への雨水の浸入や目地溝に土砂や異物が詰まることができないと想定される状態であり、ひび割れも認められない状態
II	補修段階	損傷レベル中：目地部の目地材が飛散等しており、路盤以下への雨水の浸入や目地溝に土砂や異物が詰まる恐れがあると想定される状態、目地部で角欠けが生じている状態
III	修繕段階	損傷レベル大：コンクリート版において、版央付近又はその前後に横断ひび割れが全幅員にわたっていて、一枚の版として輪荷重を支える機能が失われている可能性が高いと考えられる状態、または、目地部に段差が生じたりコンクリート版の隅角部に角欠けへの進展が想定されるひび割れが生じているなど、コンクリート版と路盤の間に隙間が存在する可能性が高いと考えられる状態

国土交通省以外の道路管理者は、舗装点検要領（2016 年 10 月 国土交通省 道路局）（技術的助言）等を参考に、適切に管理を行っています。

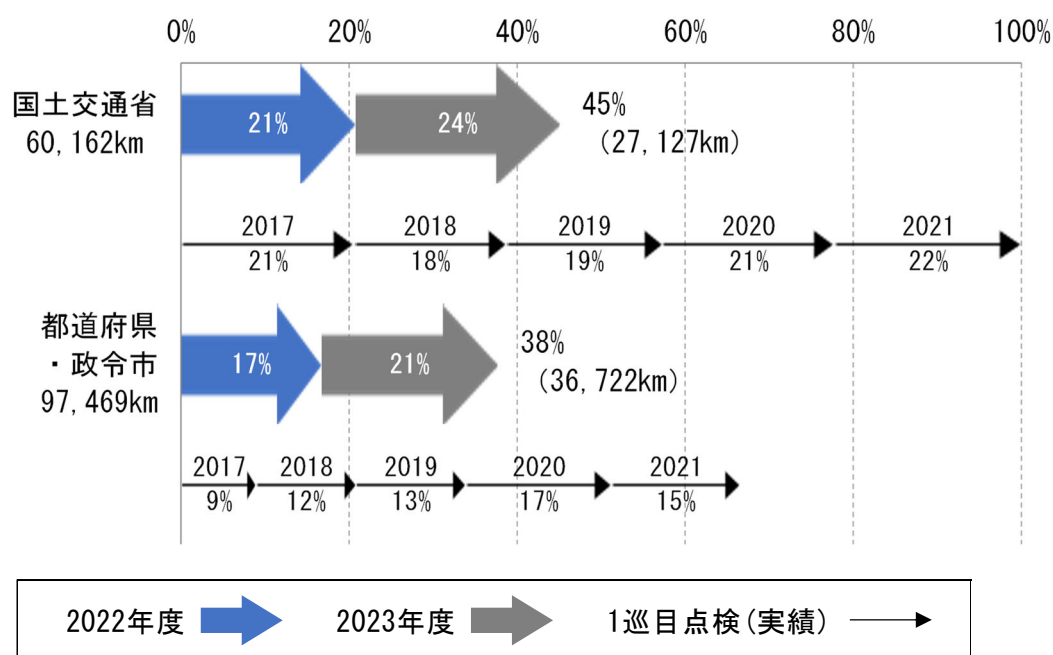
(2) 2巡目(2022～2023 年度)の点検結果(国土交通省、都道府県・政令市)

- 舗装点検については 2022 年度より 2 巡目点検が始まり、国土交通省が管理する道路では約 45%、都道府県・政令市が管理する道路^{※1}では約 38%で点検を実施済みです。
- 判定区分Ⅲ（修繕段階）の割合（延べ車線延長^{※2}ベース）は、アスファルト舗装では国土交通省が 11%、都道府県・政令市が 14%、コンクリート舗装では国土交通省が 2%、都道府県・政令市が 5%となっています。

※1 都道府県・政令市が管理する重要物流道路などの重交通を担う道路が対象。

※2 延べ車線延長：点検対象となる車線延長の合計。2024 年 3 月末時点の延長のうち、供用後 5 年以内を除く。
また一部の自治体では管理延長等をもとに算出。

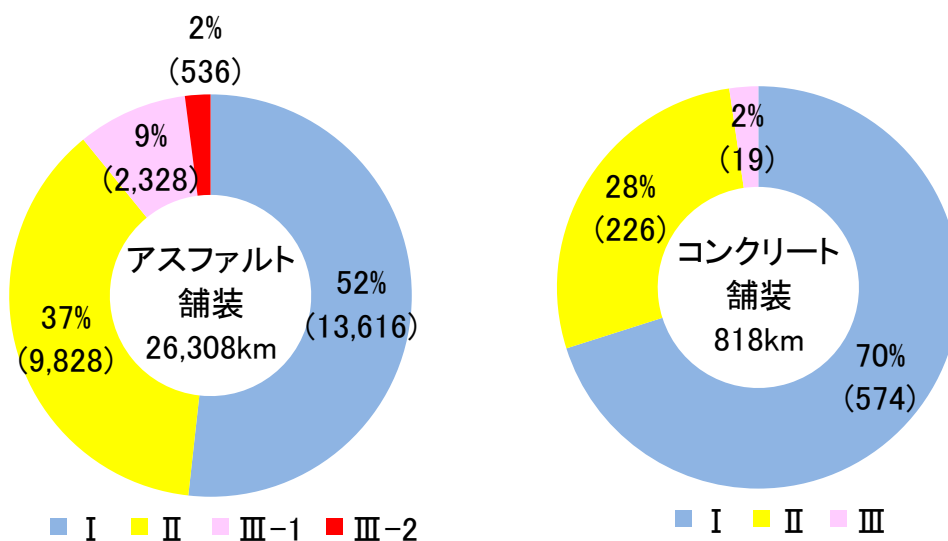
○ 点検実施率(延べ車線延長ベース)



2024. 3 末時点

※()内は、2022～2023 年度に点検を実施した車線延長の合計。

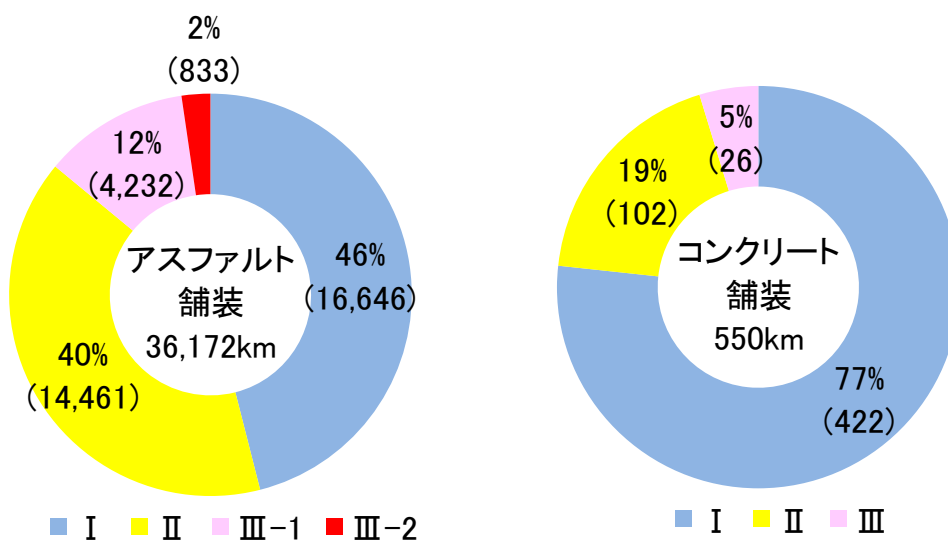
○ 国土交通省の2巡目(2022～2023 年度)点検の判定区分の割合



2024. 3 末時点

※四捨五入の関係で判定区分毎の延べ車線延長と合計値が一致しない場合がある。

○ 都道府県・政令市の2巡目(2022～2023 年度)点検の判定区分の割合



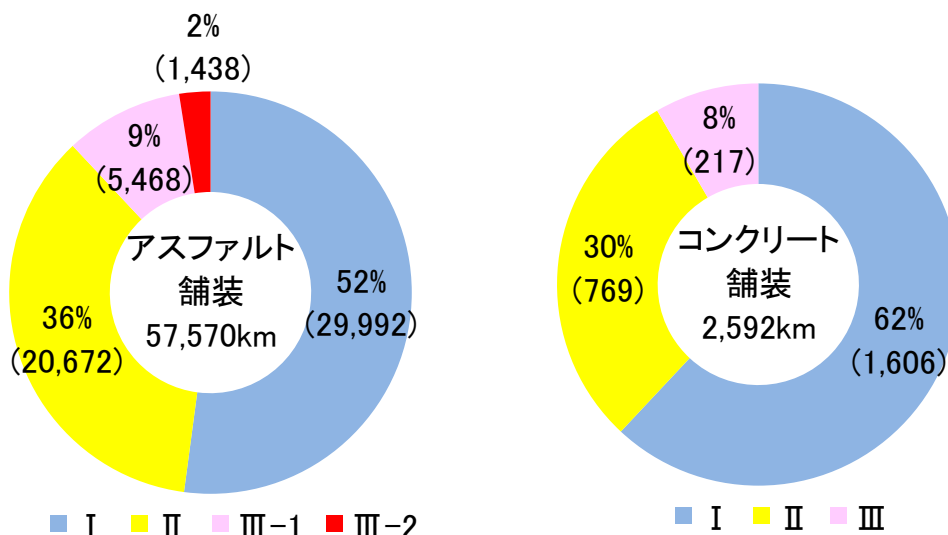
2024. 3 末時点

※四捨五入の関係で判定区分毎の延べ車線延長と合計値が一致しない場合がある。

(3) 過年度の点検(2017～2023 年度)の点検結果

- 2023 年度末時点で判定区分Ⅲ（修繕段階）の割合（延べ車線延長ベース）は、アスファルト舗装では、国土交通省が 11%、都道府県・政令市が 17%、コンクリート舗装では国土交通省が 8%、都道府県・政令市が 7%となっています。

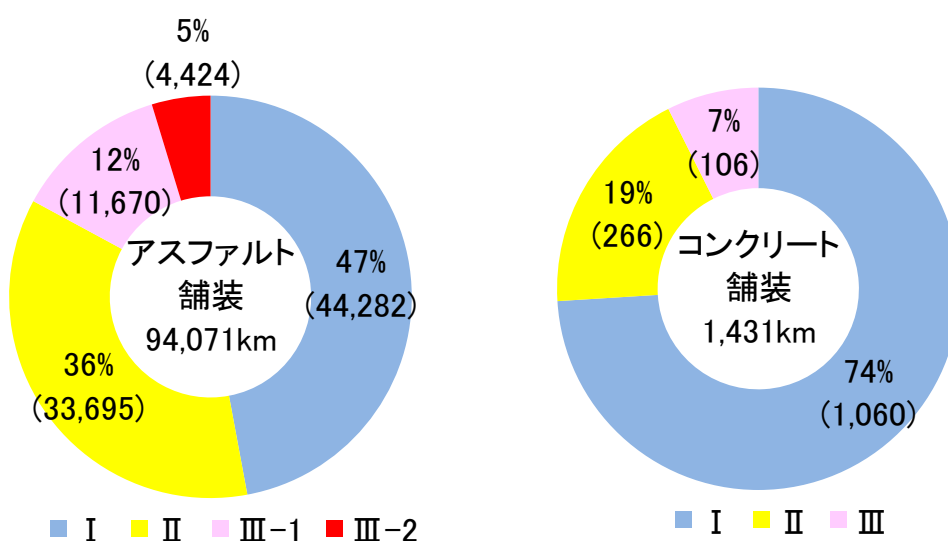
○ 国土交通省の判定区分の割合



2024. 3 末時点

※四捨五入の関係で判定区分毎の延べ車線延長と合計値が一致しない場合がある。
 ※複数回点検している区間は最新の点検結果を基に集計を行っている。

○ 都道府県・政令市の判定区分の割合



2024. 3 末時点

※四捨五入の関係で判定区分毎の延べ車線延長と合計値が一致しない場合がある。
 ※複数回点検している区間は最新の点検結果を基に集計を行っている。

(4) 過年度の点検(2017～2023 年度)の実施箇所における修繕等措置の実施状況

- 2023 年度末の時点で修繕段階(区分Ⅲ)にあると判定されたアスファルト舗装のうち、修繕等措置に着手した割合は国土交通省が 25%、都道府県・政令市が 3%、コンクリート舗装では国土交通省が 10%、都道府県・政令市が 1%です。

○ 国土交通省の修繕等措置状況

	措置が必要な 延長(km) (A)	措置完了の 延長(km) (B) (B/A)
As 舗装	6,906	1,693 (25%)
As 舗装(Ⅲ-1)	5,468	1,357 (25%)
As 舗装(Ⅲ-2)	1,438	336 (23%)
Co 舗装	217	23 (10%)
合計	7,123	1,716 (24%)

2024. 3 末時点

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

○ 都道府県・政令市の修繕等措置状況

	措置が必要な 延長(km) (A)	措置完了の 延長(km) (B) (B/A)
As 舗装	16,094	512 (3%)
As 舗装(Ⅲ-1)	11,670	339 (3%)
As 舗装(Ⅲ-2)	4,424	173 (4%)
Co 舗装	106	2 (1%)
合計	16,200	514 (3%)

2024. 3 末時点

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

6. 小規模附属物・土工構造物の点検結果及び修繕等措置の実施状況

(1) 小規模附属物

1) 概要

小規模附属物については、門型標識を除く道路標識及び照明施設等の支柱や支柱取付部等について点検を行っています。

国土交通省では、附属物（標識、照明施設等）点検要領（2014 年 6 月 国土交通省道路局 国道・防災課）に基づき、概ね 10 年に 1 回を目安として近接目視による詳細点検及び、5 年に 1 回を目安として外観目視を基本とする中間点検を実施しています。

小規模附属物の損傷度の診断は、以下の通り区分します。

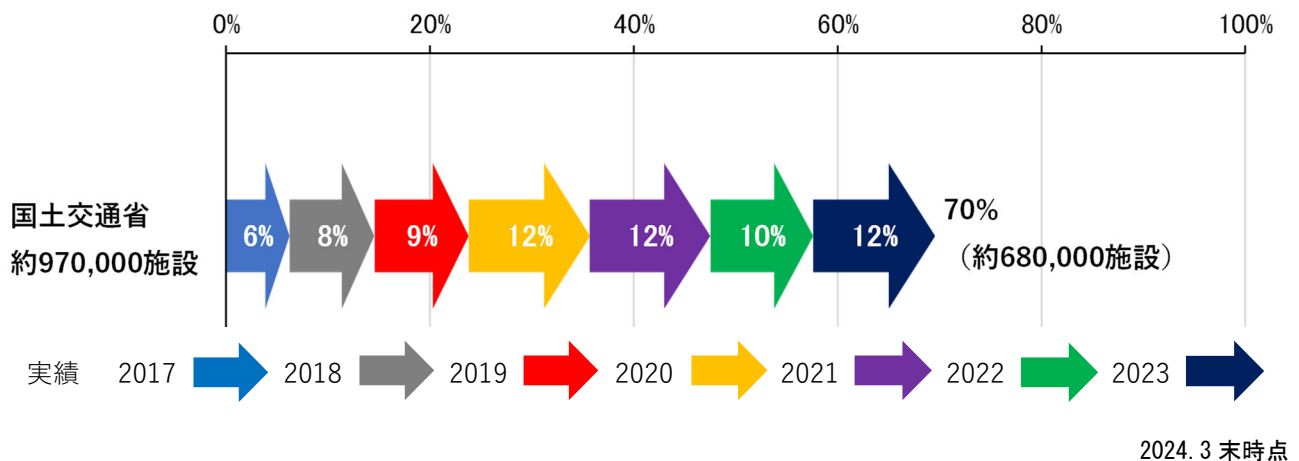
区分	状態
a	損傷が認められない
c	損傷が認められる
e	損傷が大きい

国土交通省以外の道路管理者は、小規模附属物点検要領（2017 年 3 月 国土交通省道路局）（技術的助言）等を参考に、適切に管理を行っています。

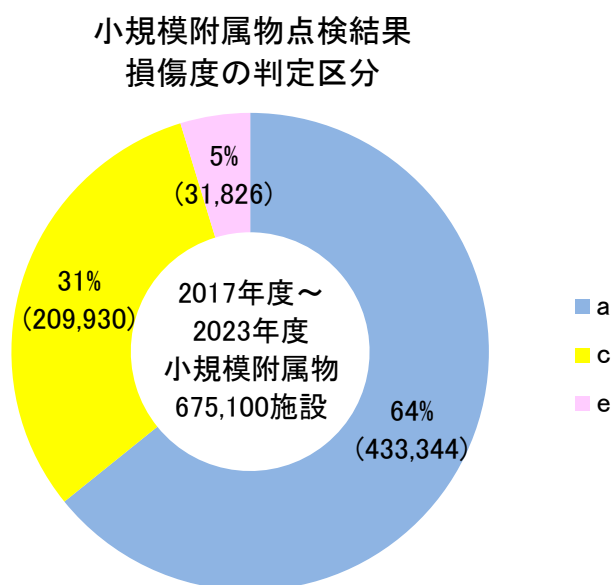
2) 点検結果(国土交通省)

- 国土交通省では、2017 年度より小規模附属物点検を行っており、2023 年度末時点の近接目視による詳細点検の実施率は約 70%となっています。
- 国土交通省の損傷度の判定区分の割合は、a 64%、c 31%、e 5%です。

○ 国土交通省の点検実施率(詳細点検)



○ 国土交通省の判定区分の割合



3) 修繕の実施状況(国土交通省)

- 国土交通省が管理する小規模附属物で、損傷度の判定区分 e の修繕着手率は 16%、完了率は 14%です。

判定区分c、e の修繕の実施状況(国土交通省)

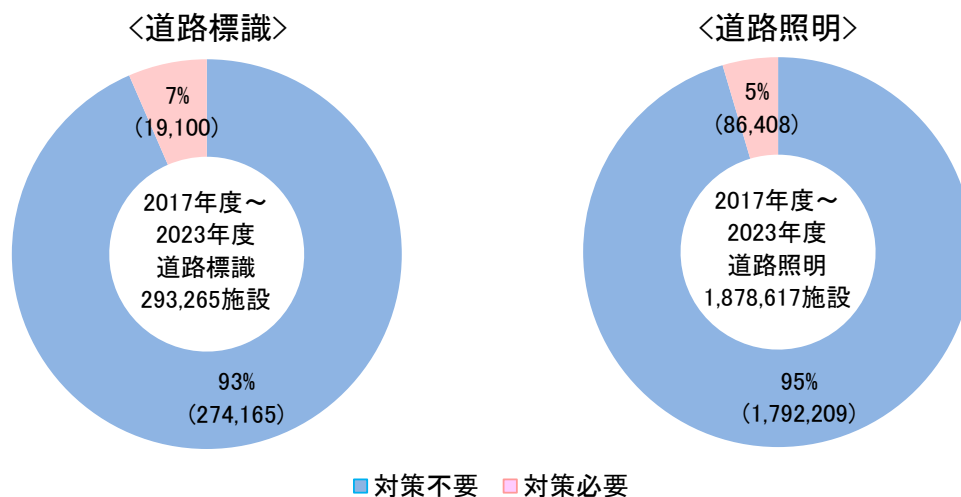
小規模 附属物	修繕が 必要な 施設数 (A)	修繕に 着手済の 施設数 (B) (B/A)	修繕 完了の 施設数 (C) (C/A)	点検 実施 年度	: 着手率(B/A) : 完了率(C/A) 0% 20% 40% 60% 80% 100%					
c	209,930	1,330 (1%)	1,307 (1%)	2017	0.4%	0.4%				
				2018	1%	1%				
				2019	1%	1%				
				2020	1%	1%				
				2021	0.4%	0.4%				
				2022	0.3%	0.3%				
				2023	0.2%	0.2%				
e	31,826	5,060 (16%)	4,479 (14%)	2017	21%	28%				
				2018	29%	31%				
				2019	24%	28%				
				2020	21%	21%				
				2021	10%	11%				
				2022	7%	9%				
				2023	2%	3%				
合計	241,756	6,390 (3%)	5,786 (2%)							

2024. 3 末時点

4) 地方公共団体の点検・修繕の実施状況

- 国土交通省では、地方公共団体に対する技術的助言として 2016 年度に小規模附属物点検要領を示しています。
- 2017～2023 年度に地方公共団体が点検を実施した施設数は、道路標識：293,265 施設、道路照明：1,878,617 施設となっています。
- 要対策の施設数は、道路標識で 19,100 施設、道路照明で 86,408 施設です。
- このうち、修繕等措置に着手した施設の割合は、道路標識で 34%、道路照明で 52%です。

○ 地方公共団体の点検結果



2024. 3 末時点

○ 地方公共団体管理道路の小規模附属物における修繕等措置の実施状況

種別	対策が 必要な施設数 (A)	修繕に着手済 の施設数 (B) (B/A)	修繕完了の 施設数 (C) (C/A)
道路標識	19,100	6,470 (34%)	4,940 (26%)
道路照明	86,408	45,098 (52%)	42,449 (49%)
合計	105,508	51,568 (49%)	47,389 (45%)

2024. 3 末時点

※2017～2023 年度の 7 年間の点検により対策が必要と判定された施設。

(2) 土工構造物

1) 概要

土工構造物については、重要度が高い法面等について点検を行うこととしています。

国土交通省では、道路土工構造物点検要領（2018 年 6 月 国土交通省 道路局 国道・技術課）に基づき、長大切土又は高盛土の区域（特定道路土工構造物）については、2018 年度より 5 年に 1 回の頻度で近接目視による点検を実施しています。

特定道路土工構造物の健全性の診断は、以下の通り区分します。

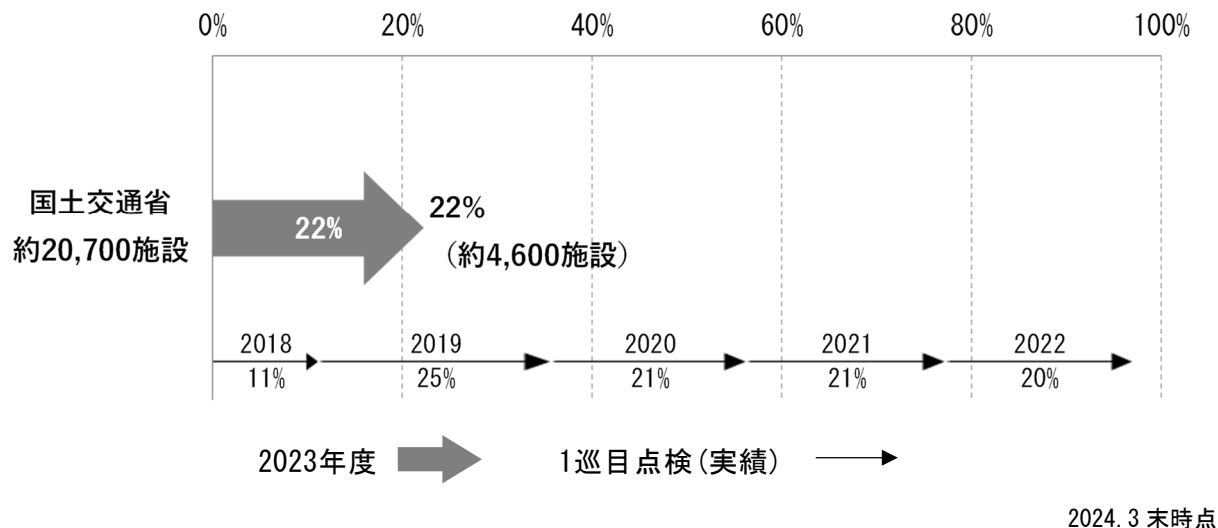
区分		状態
I	健全	変状はない、もしくは変状があっても対策が必要ない場合（道路の機能に支障が生じていない状態）
II	経過観察段階	変状が確認され、変状の進行度合いの観察が一定期間必要な場合（道路の機能に支障が生じていないが、別途、詳細な調査の実施や定期的な観察などの措置が望ましい状態）
III	早期措置段階	変状が確認され、かつ次回点検までにさらに進行すると想定されることから構造物の崩壊が予想されるため、できるだけ速やかに措置を講ずることが望ましい場合（道路の機能に支障は生じていないが、次回点検までに支障が生じる可能性があり、できるだけ速やかに措置を講ずることが望ましい状態）
IV	緊急措置段階	変状が著しく、大規模な崩壊に繋がるおそれがあると判断され、緊急的な措置が必要な場合（道路の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態）

国土交通省以外の道路管理者は、道路土工構造物点検要領（2017 年 8 月 国土交通省 道路局）（技術的助言）等を参考に、適切に管理を行っています。

2) 2巡目(2023年度)の点検結果(国土交通省)

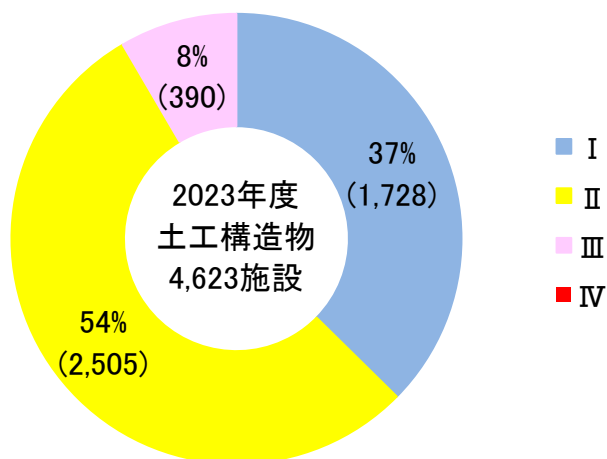
- 特定道路土工構造物点検については 2023 年度より 2 巡目点検が始まり、国土交通省では約 22%で点検を実施済みです。
- 国土交通省管理の土工構造物の健全性の判定区分の割合は、Ⅰ 37%、Ⅱ 54%、Ⅲ 8%です。

○ 国土交通省の点検実施率



※()内は、2023 年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※災害などにより点検を実施できないなど、一部点検できてない箇所がある。

○ 国土交通省の判定区分の割合



2024.3 末時点

3)修繕の実施状況(国土交通省)

- 国土交通省が管理する特定道路土工構造物で、健全性の判定区分Ⅲの施設の修繕着手率は18%、判定区分Ⅳの施設の修繕着手率は100%です。

判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕の実施状況(国土交通省)

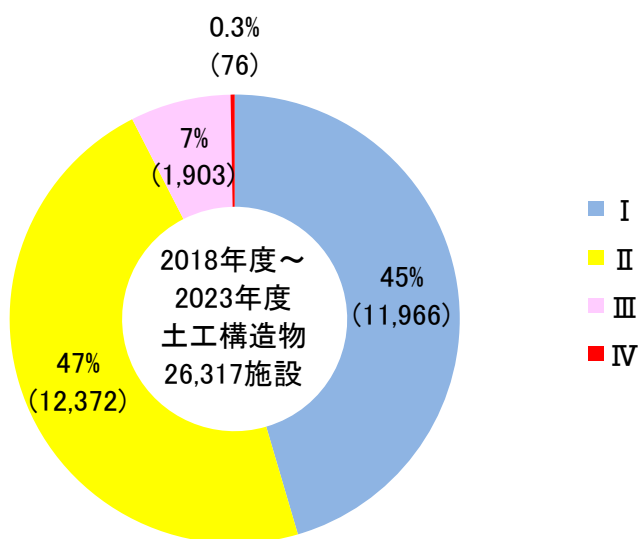
土工 構造物	修繕が 必要な 施設数 (A)	修繕に 着手済の 施設数 (B) (B/A)	修繕 完了の 施設数 (C) (C/A)	点検 実施 年度	: 着手率(B/A) : 完了率(C/A) 0% 20% 40% 60% 80% 100%					
Ⅲ	1,445	265 (18%)	73 (5%)	2018	10%31%					
				2019	7%22%					
				2020	10%24%					
				2021	5%20%					
				2022	2%10%					
				2023	1%10%					
Ⅳ	3	3 (100%)	1 (33%)	2018	対象施設なし					
				2019	0%100%					
				2020	50%100%					
				2021	対象施設なし					
				2022	対象施設なし					
				2023	対象施設なし					
合計	1,448	268 (19%)	74 (5%)							

2024.3 末時点

4) 地方公共団体の点検・修繕の実施状況

- 国土交通省では、地方公共団体に対する技術的助言として 2017 年度に道路土工構造物点検要領を示しています。
- 2018～2023 年度に地方公共団体が点検を実施した施設数は 26,317 施設となっています。
- 判定区分Ⅲ（早期措置段階）の施設数は 1,903 施設、判定区分Ⅳ（緊急措置段階）の施設数は 76 施設です。
- このうち、修繕等措置に着手した施設の割合は、判定区分Ⅲの施設で 15%、判定区分Ⅳの施設で 67%です。

○ 地方公共団体の判定区分の割合



2024. 3 末時点

○ 地方公共団体管理道路の特定土工構造物における修繕等措置の実施状況

判定区分	修繕が 必要な施設数 (A)	修繕に着手済 の施設数 (B) (B/A)	修繕完了の 施設数 (C) (C/A)
Ⅲ	1,903	286 (15%)	179 (9%)
Ⅳ	76	51 (67%)	42 (55%)
合計	1,979	337 (17%)	221 (11%)

2024. 3 末時点

※2018～2023 年度の 6 年間の点検により判定区分Ⅲ又はⅣと判定された施設。

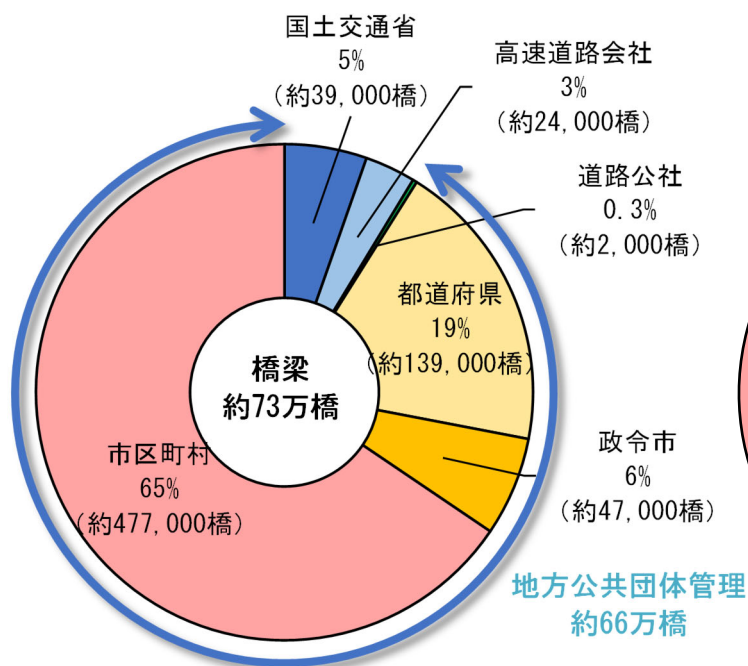
7. 橋梁・トンネルの現状

(1) 橋梁の現状

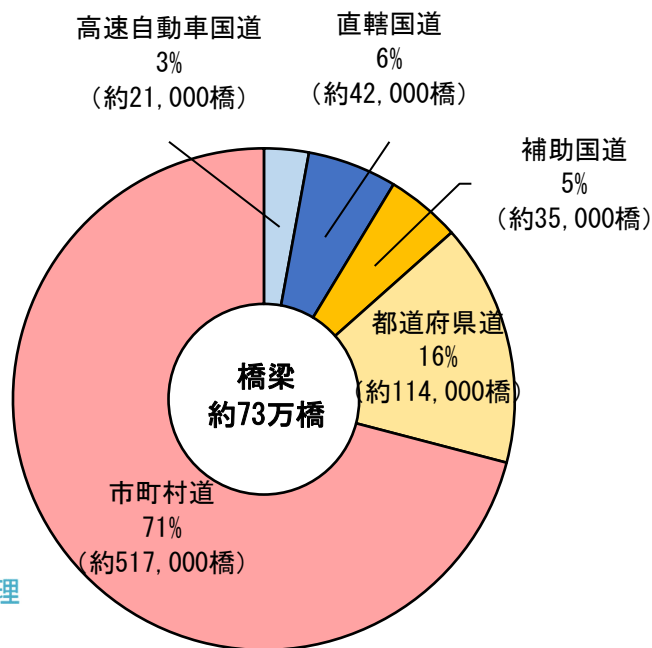
1) 管理者別の橋梁数、橋面積

- 我が国には橋梁が約 73 万橋あり、このうち、地方公共団体が管理する橋梁は約 66 万橋と、9 割以上を占めています。

○ 道路管理者別橋梁数

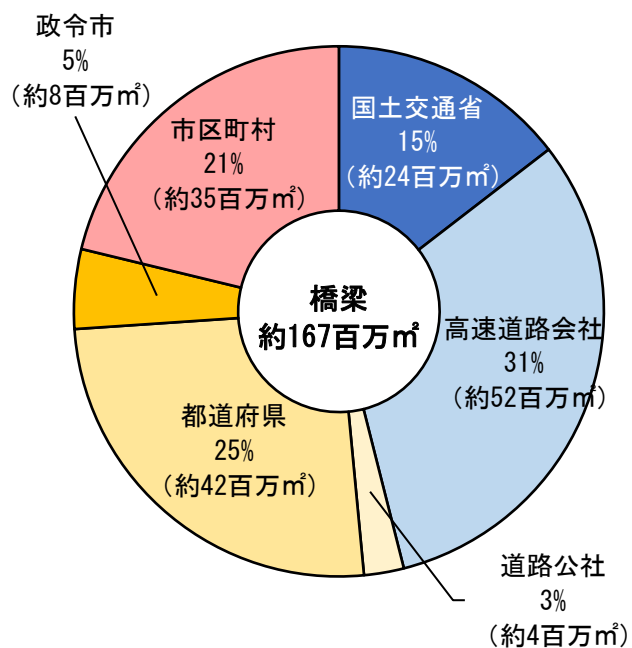


○ 道路種別橋梁数

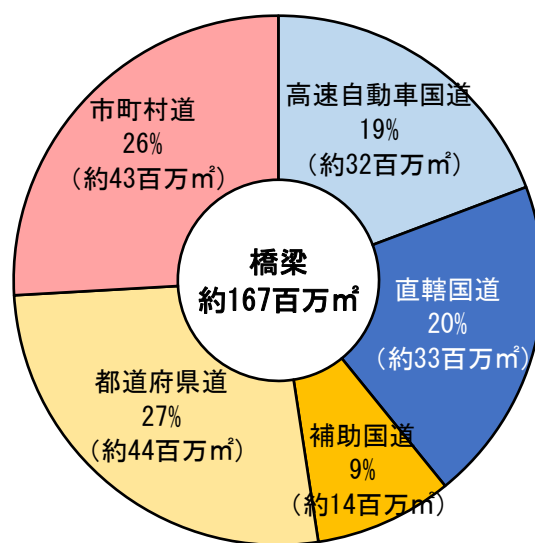


(出典)道路局調べ(2024.3 末時点)

○ 道路管理者別橋面積



○ 道路種別橋面積

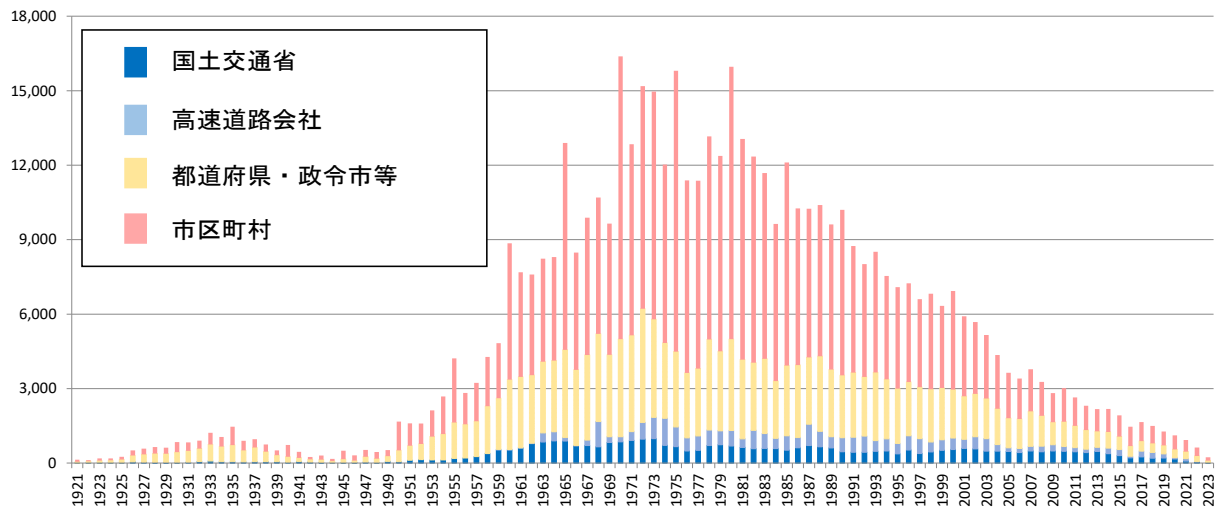


(出典)道路局調べ(2024.3 末時点)

2)建設年度別の橋梁数

- 建設後 50 年を経過した橋梁の割合は、現在は約 39%であるのに対し、10 年後には約 63%となります。建設後 50 年を経過し橋長 15m 未満の橋梁の割合は、10 年後に約 70%となります。橋長 15m 以上の橋梁の割合は、10 年後に 51%となります。
- この他に建設年度が不明の道路橋が全国で約 19.5 万橋あり、これらのお大半が市区町村管理の橋長 15m 未満の橋梁です。

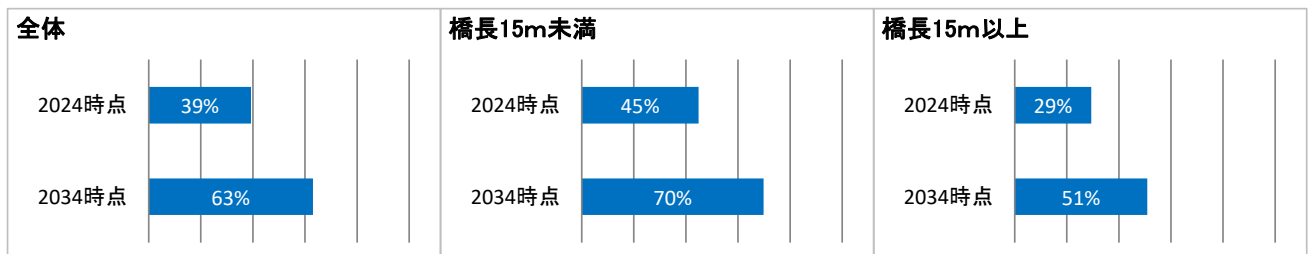
○ 建設年度別橋梁数



※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約 19.5 万橋ある。

（出典）道路局調べ（2024.3 末時点）

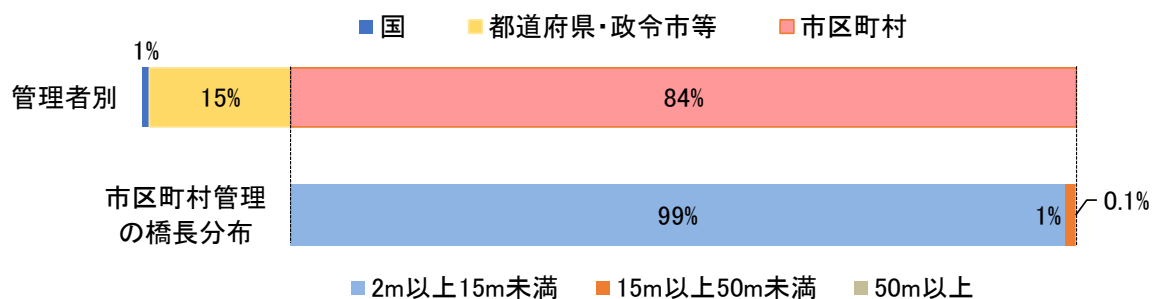
○ 建設後 50 年を経過した橋梁の割合



※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約 19.5 万橋ある。

（出典）道路局調べ（2024.3 末時点）

○ 建設年度不明橋梁（約 19.5 万橋）の内訳

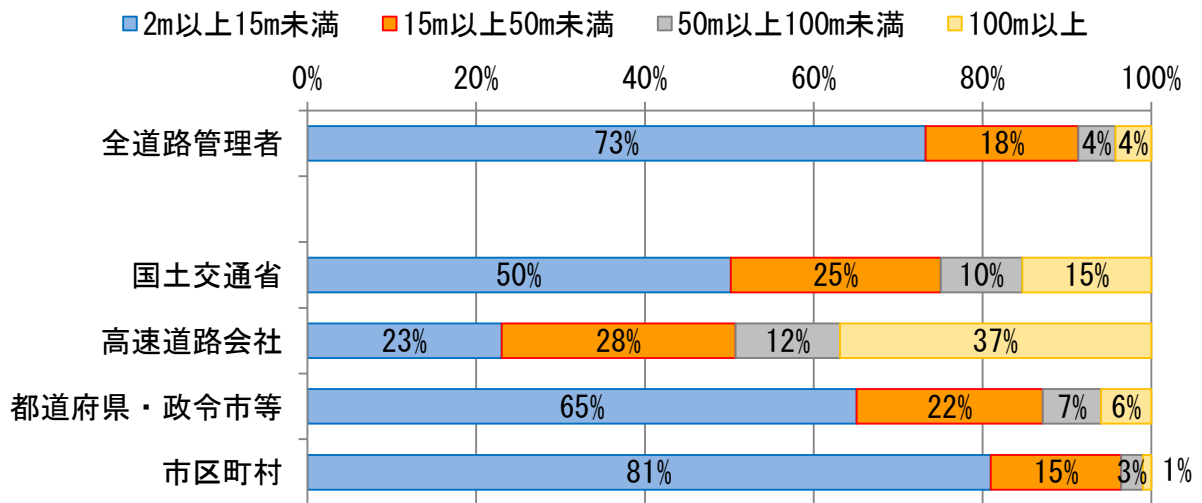


（出典）道路局調べ（2024.3 末時点）

3) 管理者別の橋長分布

- 橋長 50m 以上の橋梁は国土交通省、高速道路会社に多くなっています。
- 市区町村は管理する橋梁の 80%以上が橋長 15m 未満です。

○ 管理者別の橋長分布



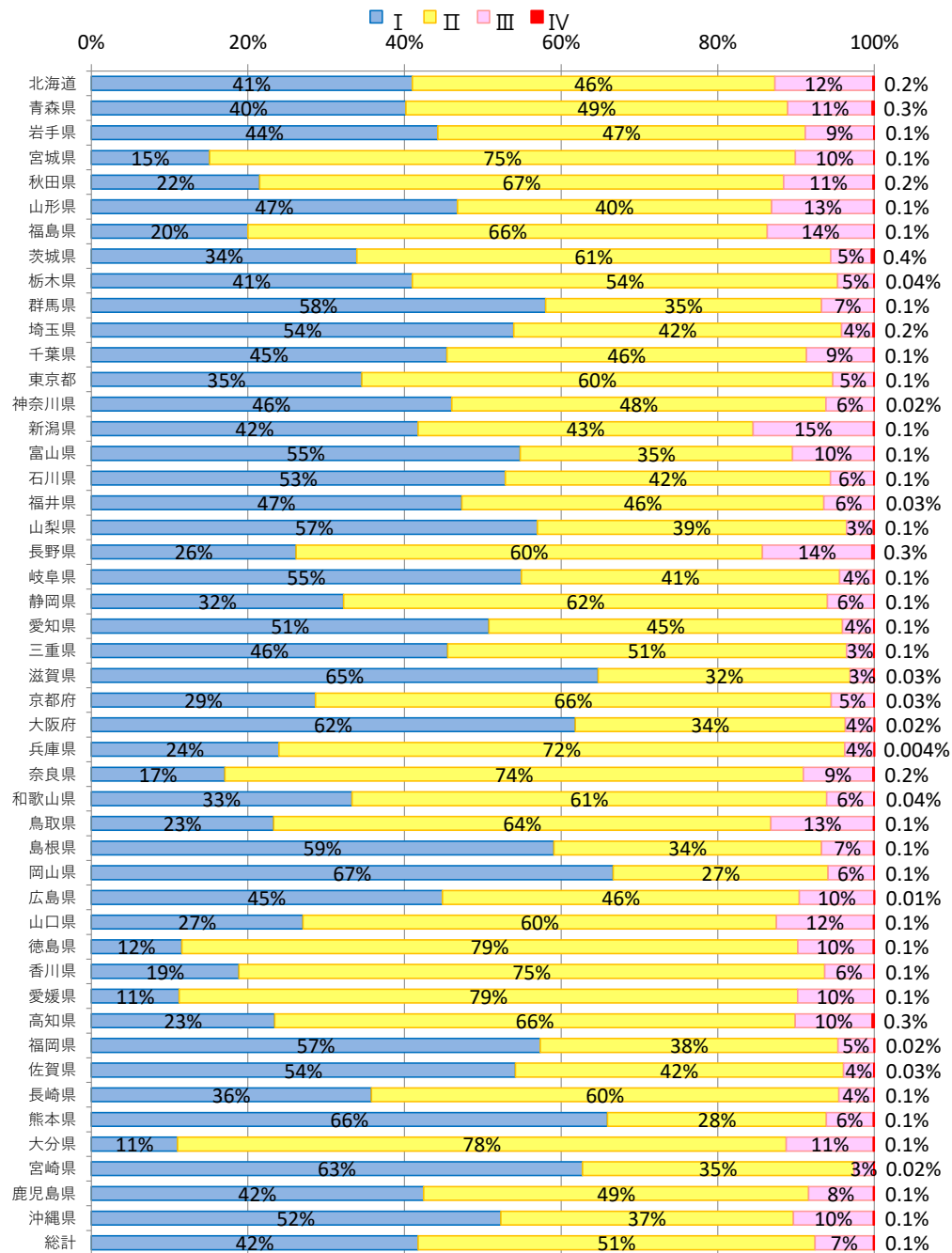
(出典)道路局調べ(2024.3 末時点)

※橋長に関して情報がなかった橋梁を除く

4) 地方公共団体の過年度の点検(2014～2023 年度)の点検結果の分布

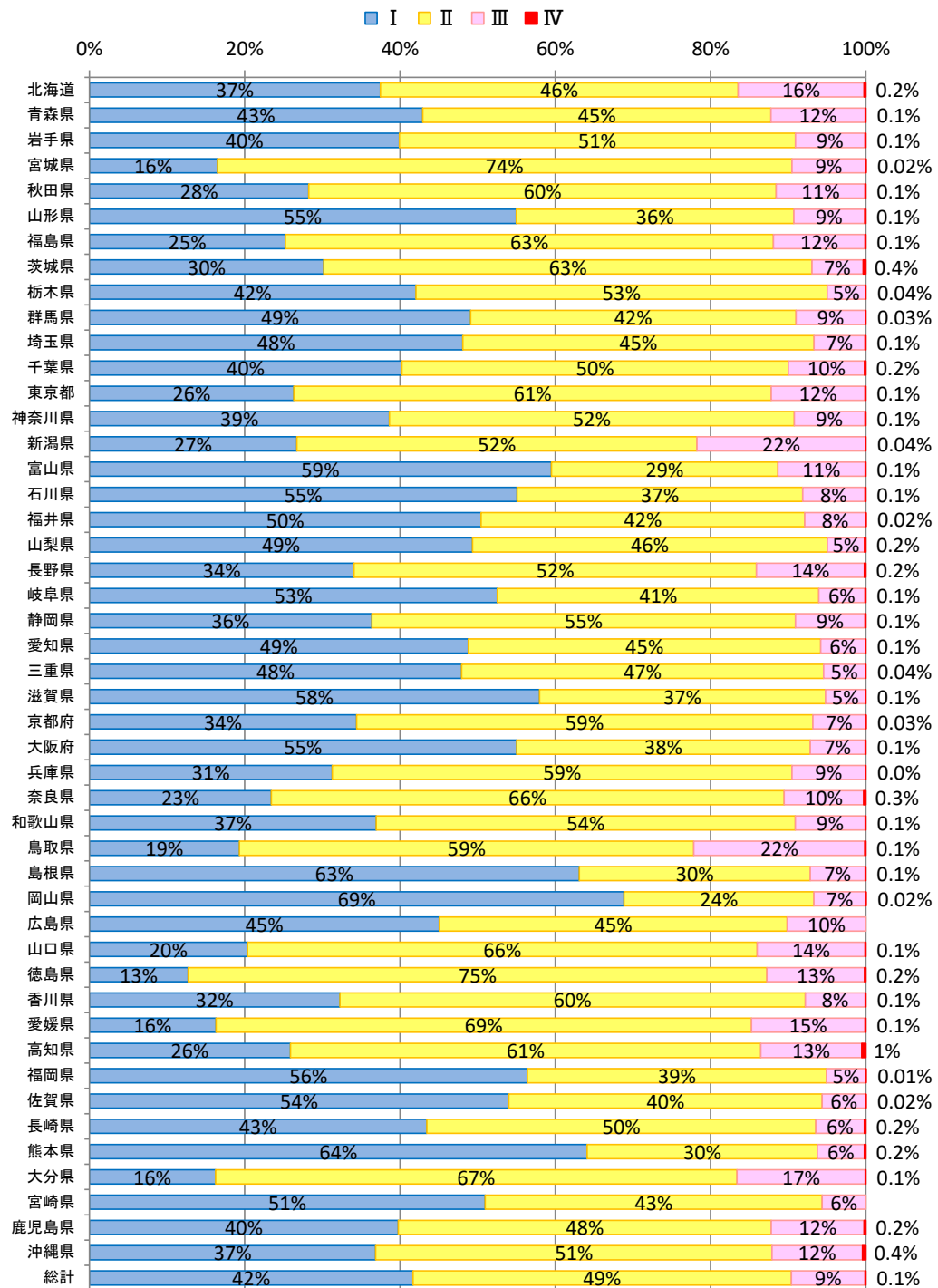
- 過年度の点検(2014～2023 年度)で地方公共団体(都道府県・政令市等及び市区町村)が管理する橋梁の判定区分の割合は地域によって異なります。
- 地方公共団体全体の判定区分の割合は、Ⅰ 42%、Ⅱ 51%、Ⅲ 7%、Ⅳ 0.1%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(地方公共団体管理橋梁)



※2024 年 3 月末時点の 2014～2023 年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検(2014～2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(地方公共団体管理橋梁)



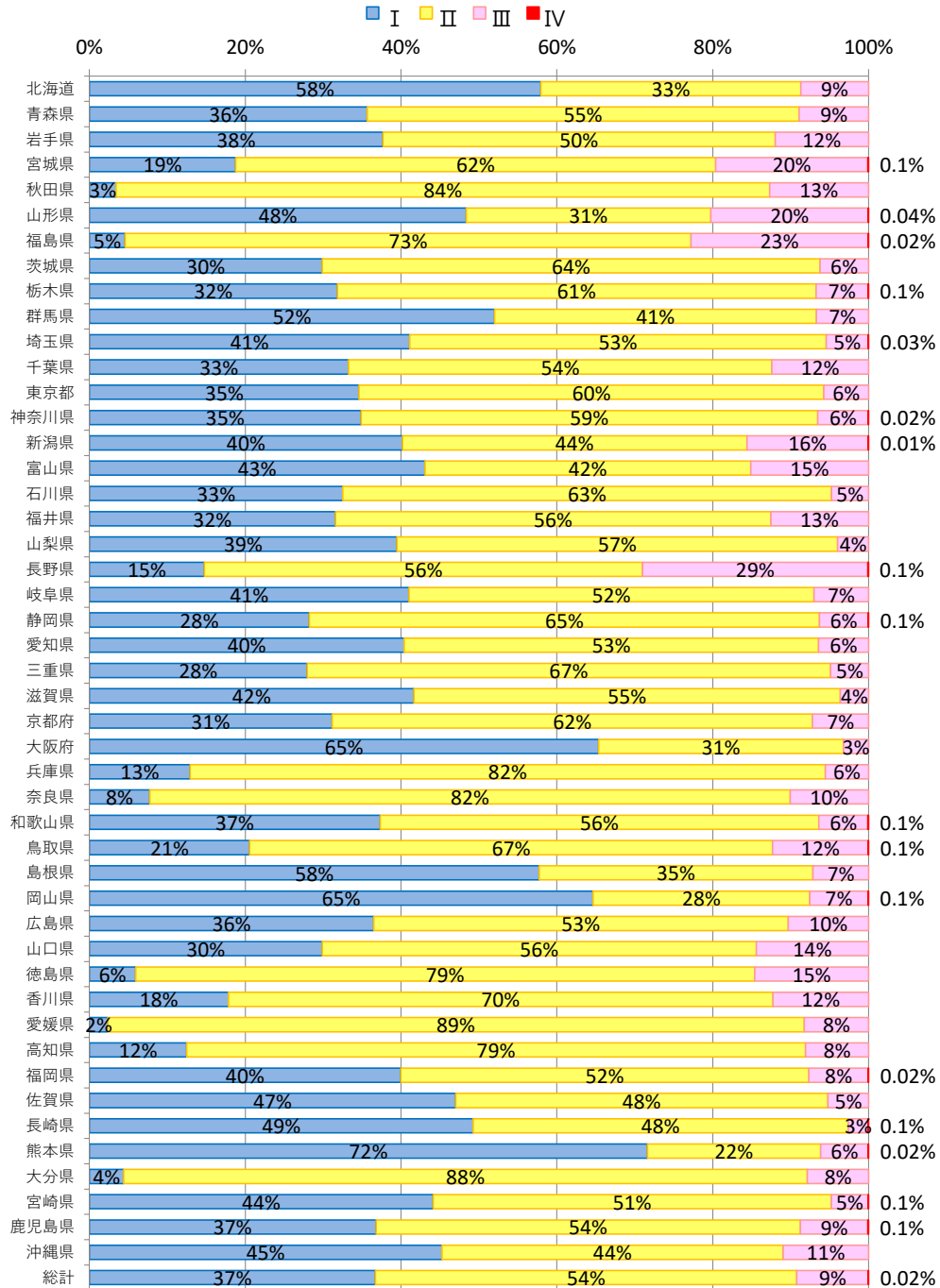
※2019 年 3 月末時点の 1 巡目点検結果をもとに作成したものである。

また、四捨五入の関係で合計が 100% とならない場合がある。

5) 都道府県・政令市等の過年度の点検(2014～2023 年度)の判定区分の分布

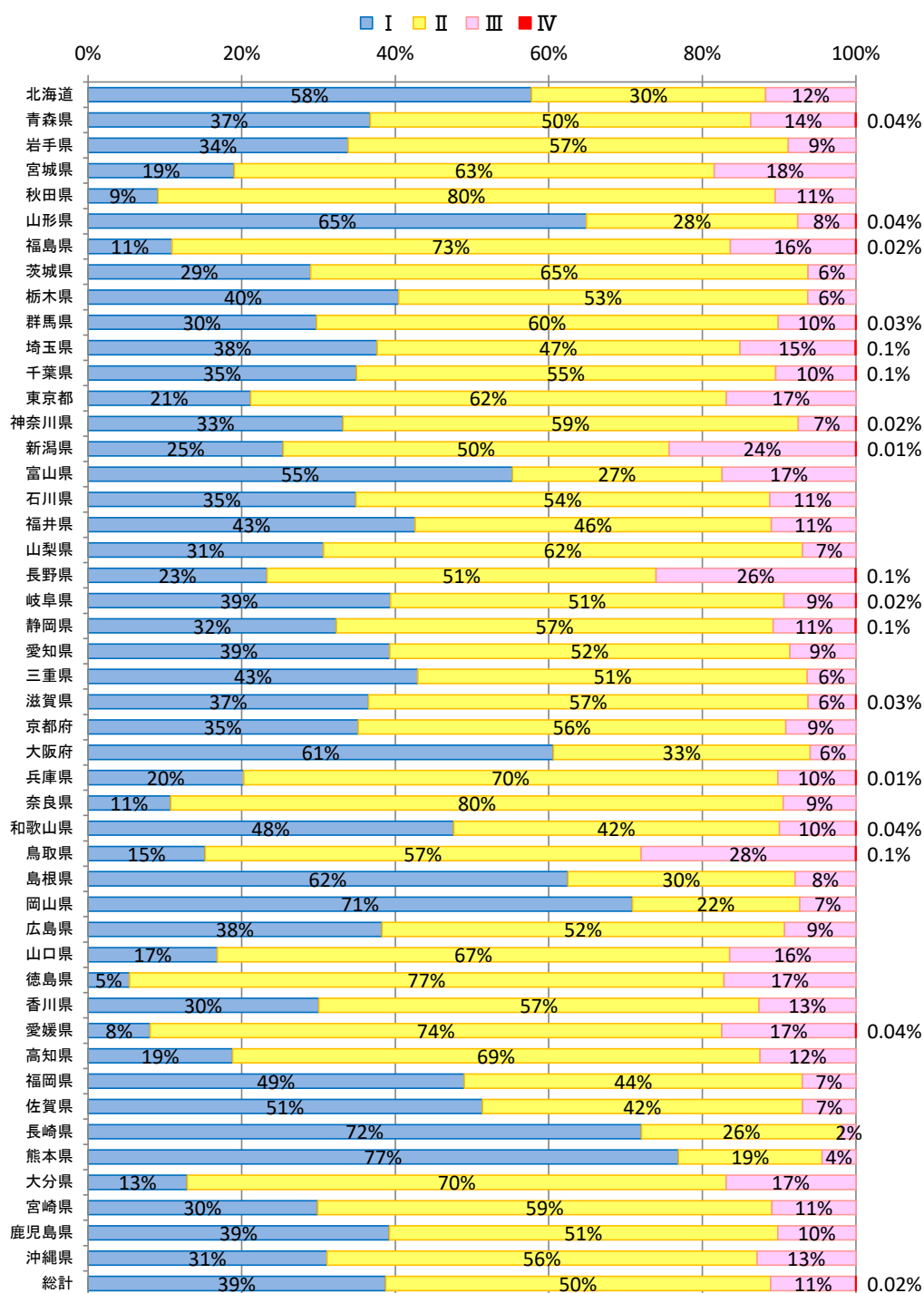
- 過年度の点検(2014～2023 年度)で都道府県・政令市等が管理する橋梁の判定区分の割合は地域によって異なります。
- 都道府県・政令市等全体の判定区分の割合は、Ⅰ 37%、Ⅱ 54%、Ⅲ 9%、Ⅳ 0.02%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(都道府県・政令市等管理橋梁)



※2024 年 3 月末時点の 2014～2023 年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検(2014～2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(都道府県・政令市等管理橋梁)

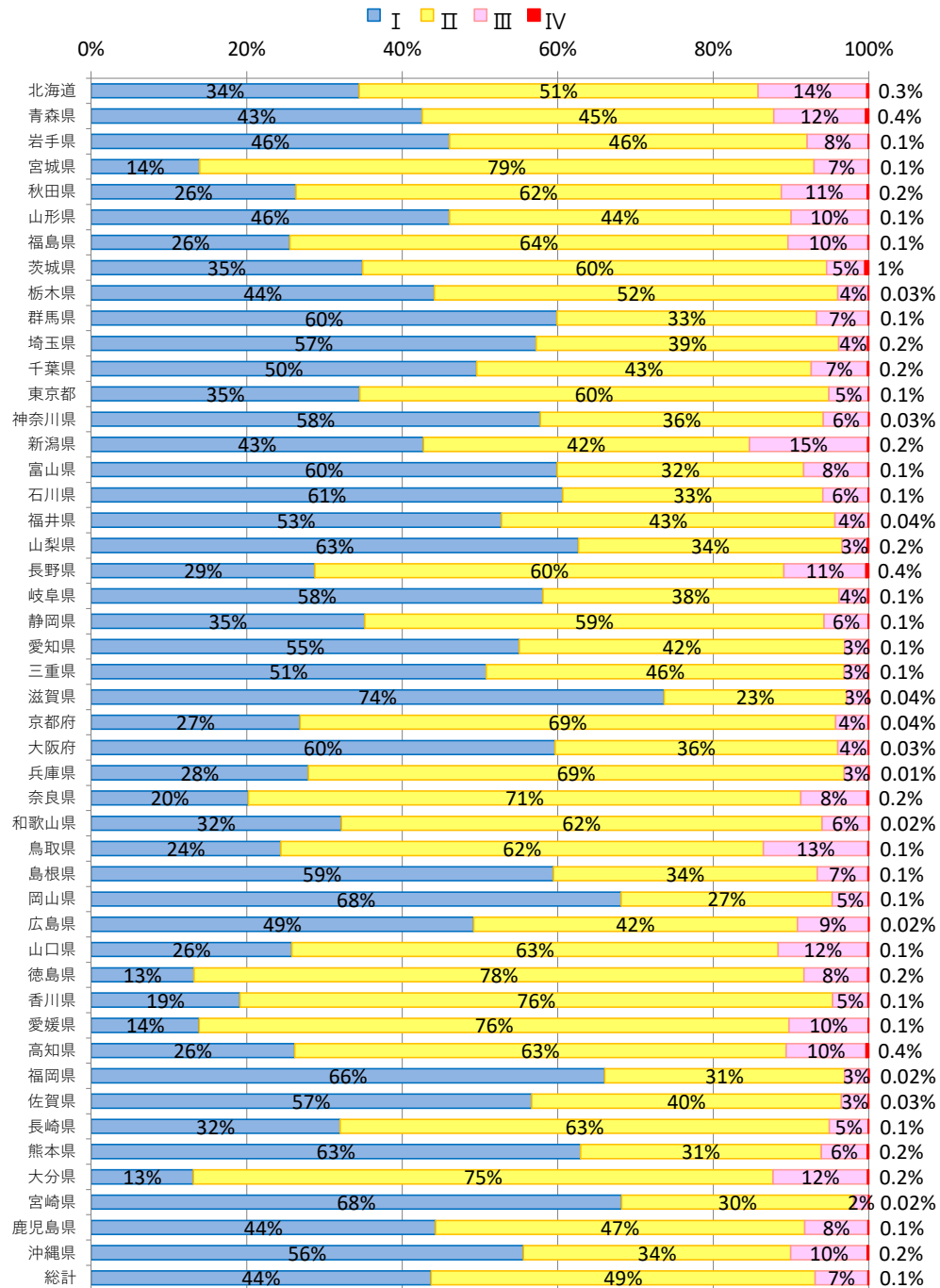


※2019 年 3 月末時点の 1 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

6) 市区町村の過年度の点検(2014～2023 年度)の判定区分の分布

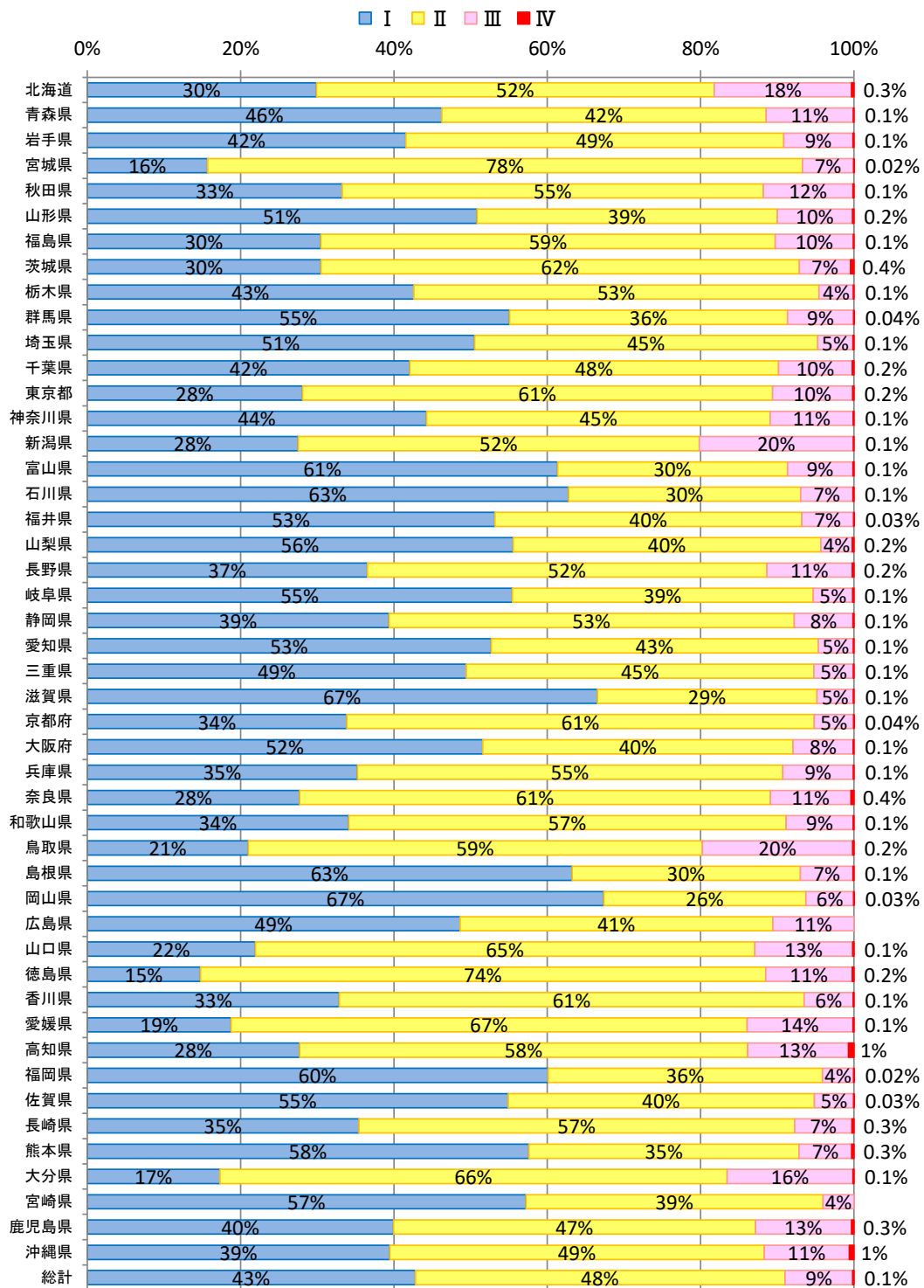
- 過年度の点検(2014～2023 年度)で市区町村が管理する橋梁の判定区分の割合は地域によって異なっています。
- 市区町村全体の判定区分の割合は、Ⅰ 44%、Ⅱ 49%、Ⅲ 7%、Ⅳ 0.1%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(市区町村管理橋梁)



※2024 年 3 月末時点の 2014～2023 年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検(2014～2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(市区町村管理橋梁)



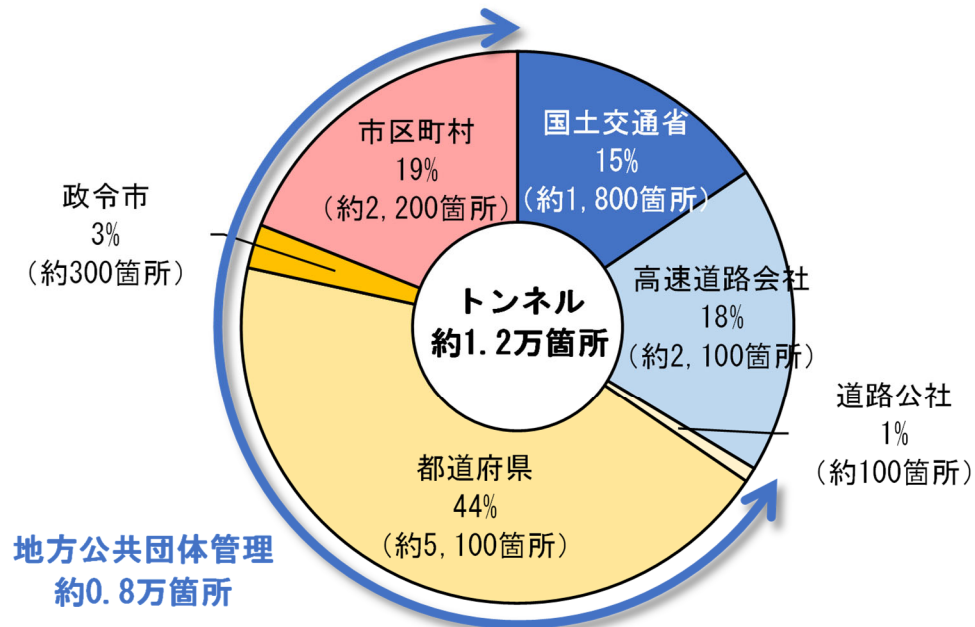
※2019 年 3 月末時点の 1 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100% とならない場合がある。

(2)トンネルの現状

1) 管理者別の箇所数

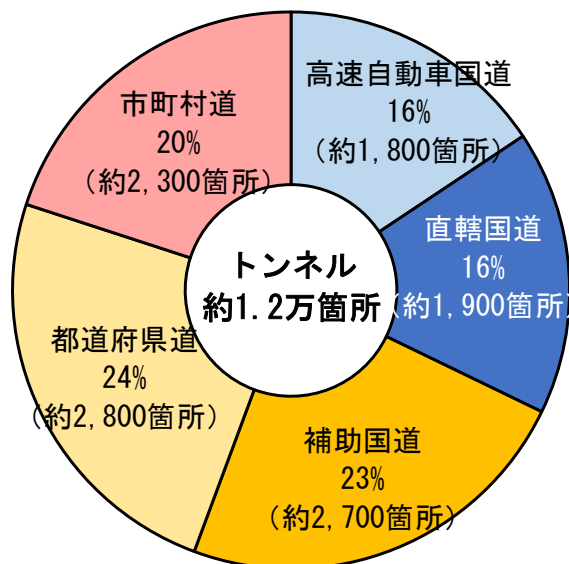
- 我が国にはトンネルが約 1.2 万箇所あり、このうち、地方公共団体が管理するトンネルは約 0.8 万箇所と、約 7 割を占めています。

○ 道路管理者別



(出典)道路局調べ(2024.3 末時点)

○ 道路種別



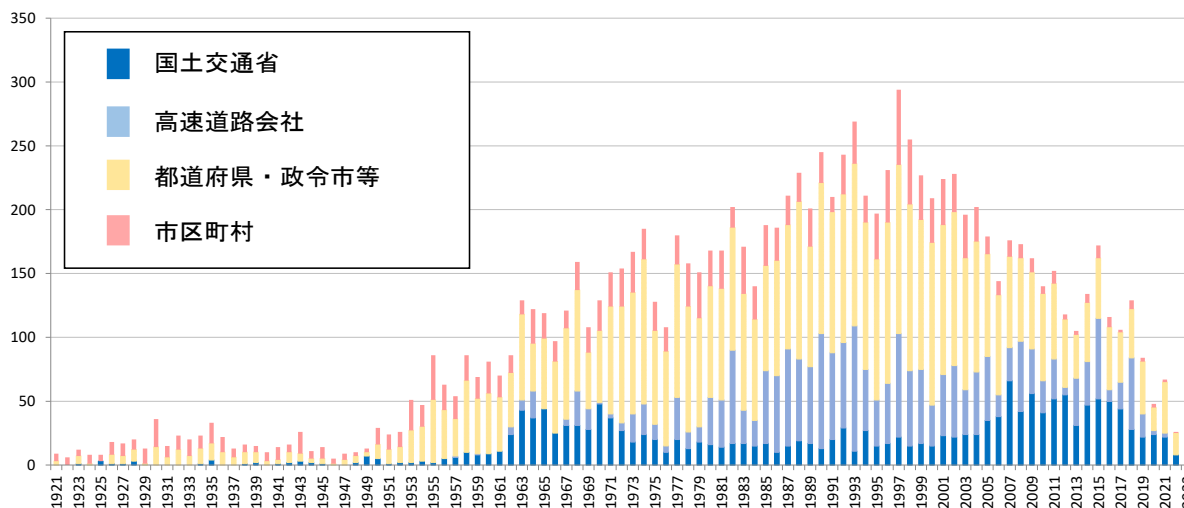
(出典)道路局調べ(2024.3 末時点)

2)建設年度別のトンネル数

- 建設後 50 年を経過したトンネルの割合は、現在は約 27%であるのに対し、10 年後には約 41%に増加します。建設後 50 年を経過し延長 100m 未満のトンネルの割合は、10 年後に約 76%となります。

※橋梁・トンネルの建設年度別施設数は巻末資料(4)を参照。

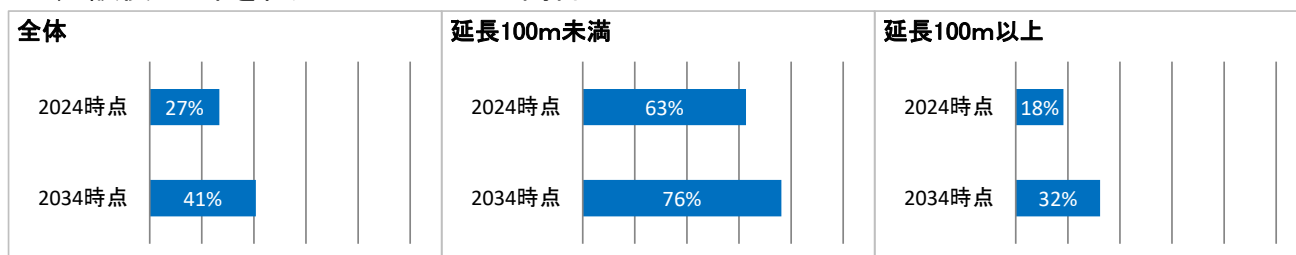
○ 建設年度別トンネル数



※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが約 290 箇所ある。

(出典)道路局調べ(2024.3 末時点)

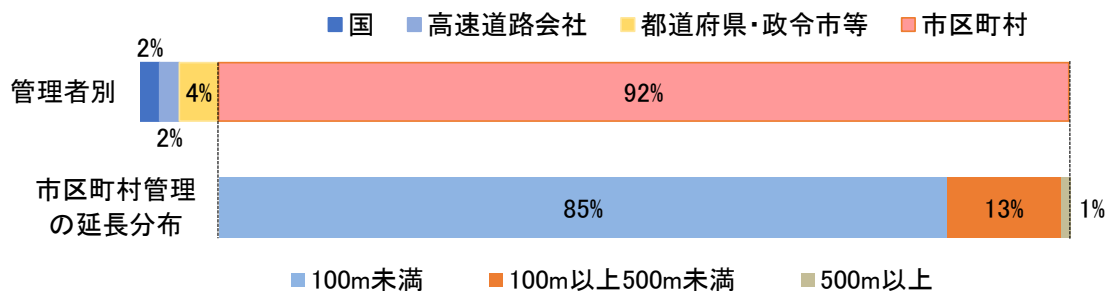
○ 建設後 50 年を経過したトンネルの割合



※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが約 290 箇所ある。

(出典)道路局調べ(2024.3 末時点)

○ 建設年度不明トンネル(約 290 箇所)の内訳

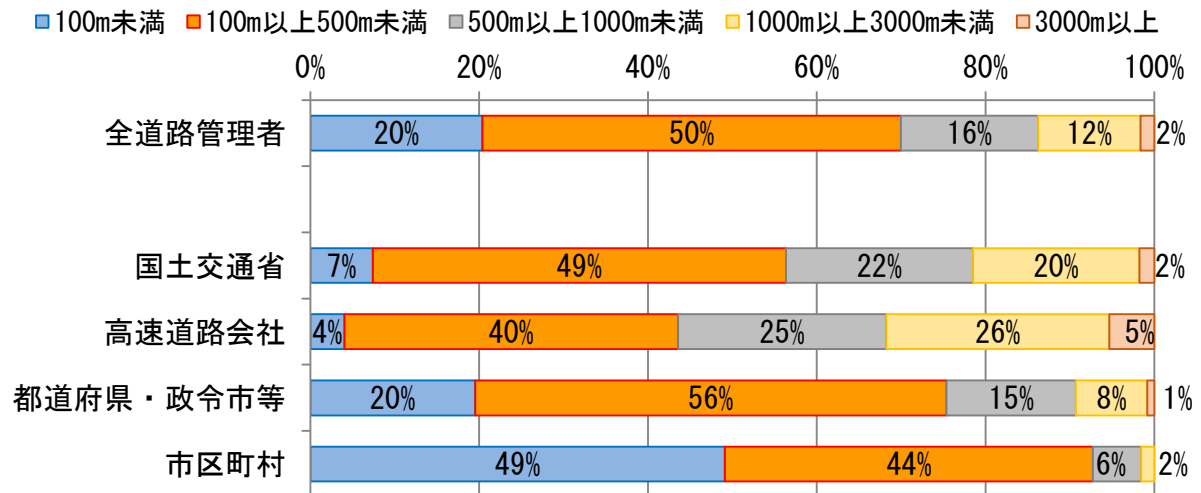


(出典)道路局調べ(2024.3 末時点)

3) 管理者別の延長分布

- 延長 1000m 以上のトンネルは国土交通省、高速道路会社に多くなっています。
- 市区町村は管理するトンネルの約 50%が延長 100m 未満です。

○ 管理者別の延長分布



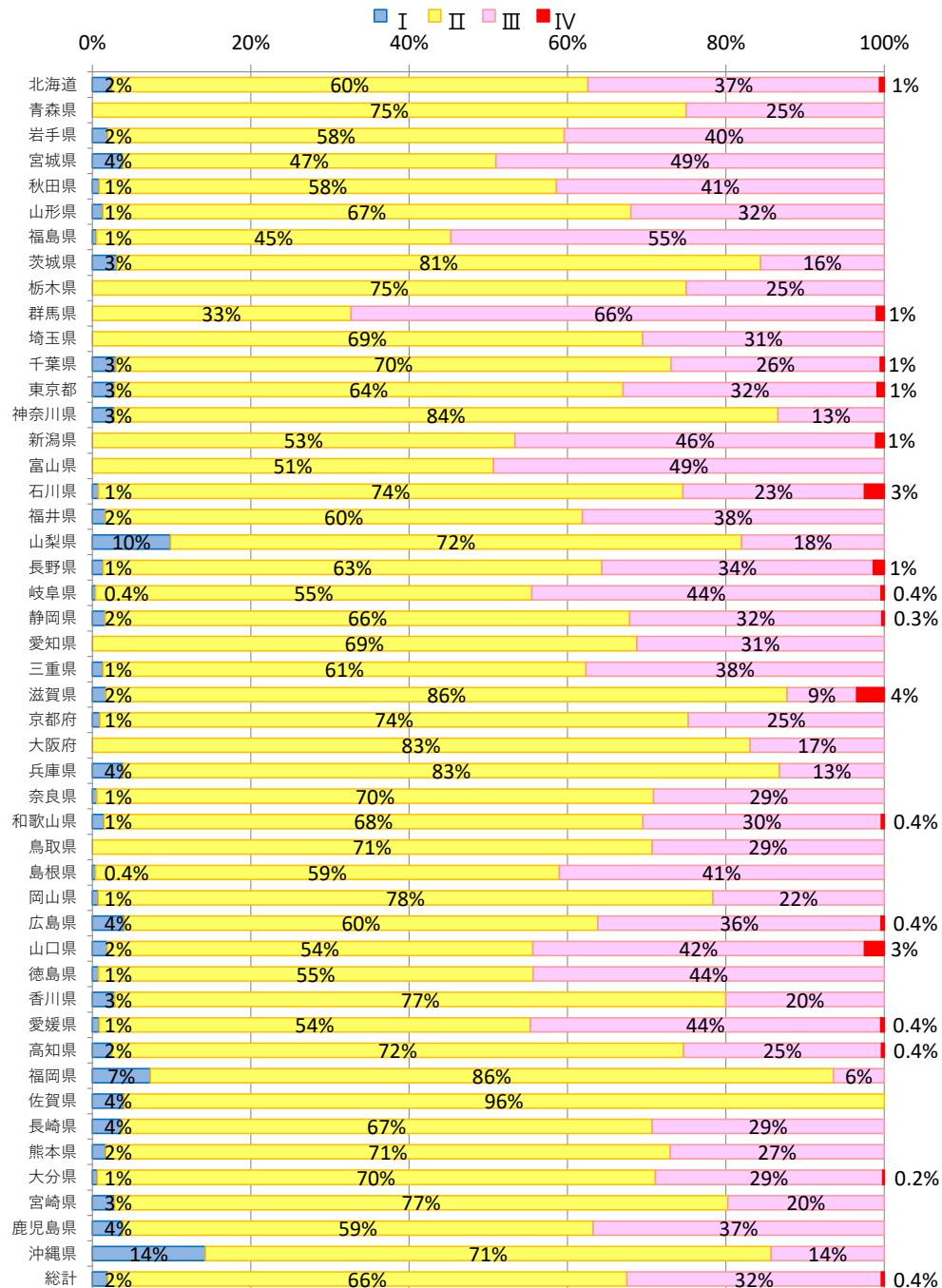
(出典)道路局調べ(2024.3 末時点)

※延長に関して情報がなかった施設を除く

4) 地方公共団体の過年度の点検(2014～2023 年度)の判定区分の分布

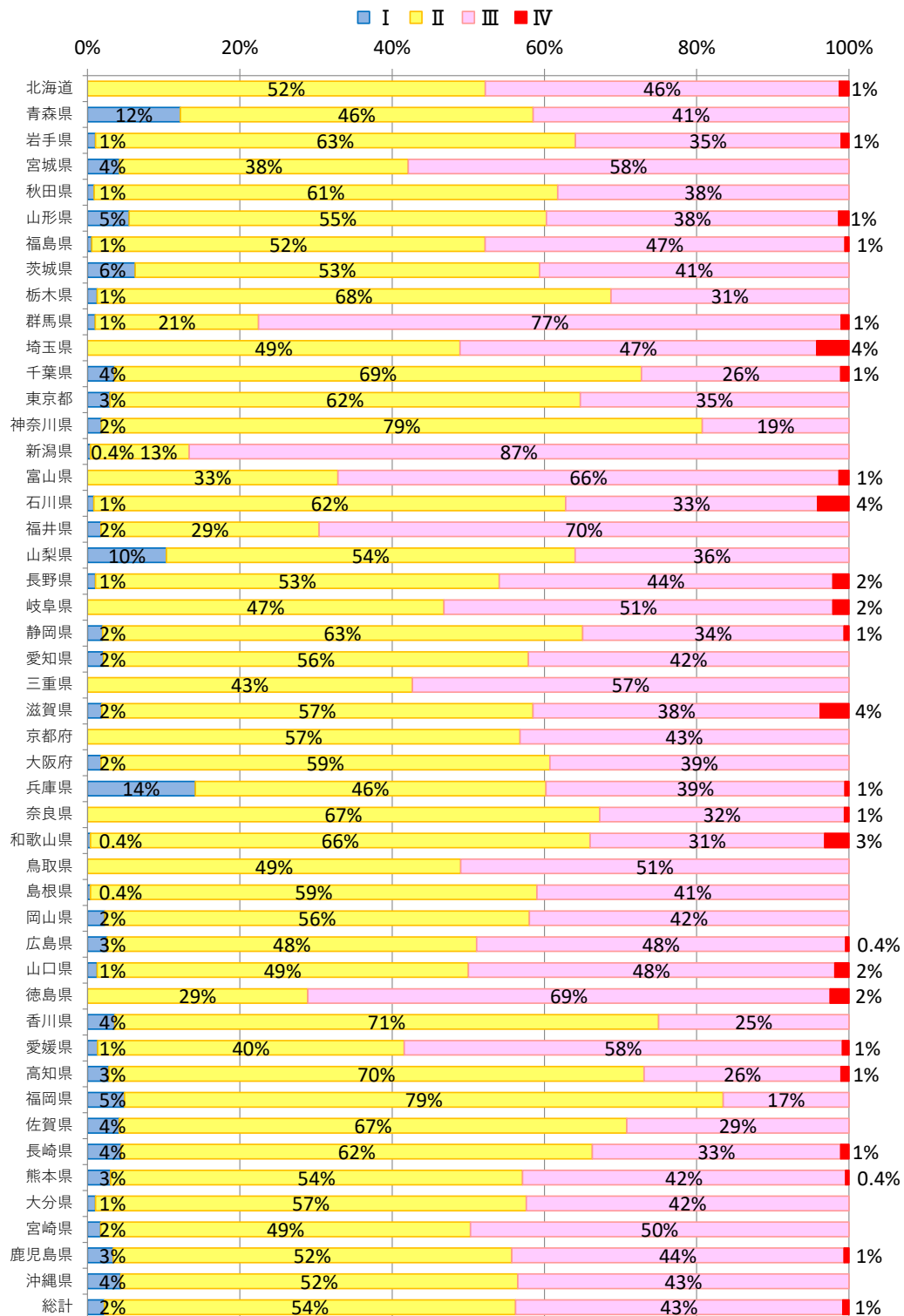
- 過年度の点検(2014～2023 年度)で地方公共団体(都道府県・政令市等及び市区町村)が管理するトンネルの判定区分の割合は地域によって異なります。
- 地方公共団体全体の判定区分の割合は、Ⅰ 2%、Ⅱ 66%、Ⅲ 32%、Ⅳ 0.4%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(地方公共団体管理トンネル)



※2024 年 3 月末時点の 2014～2023 年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検(2014～2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(地方公共団体管理トンネル)

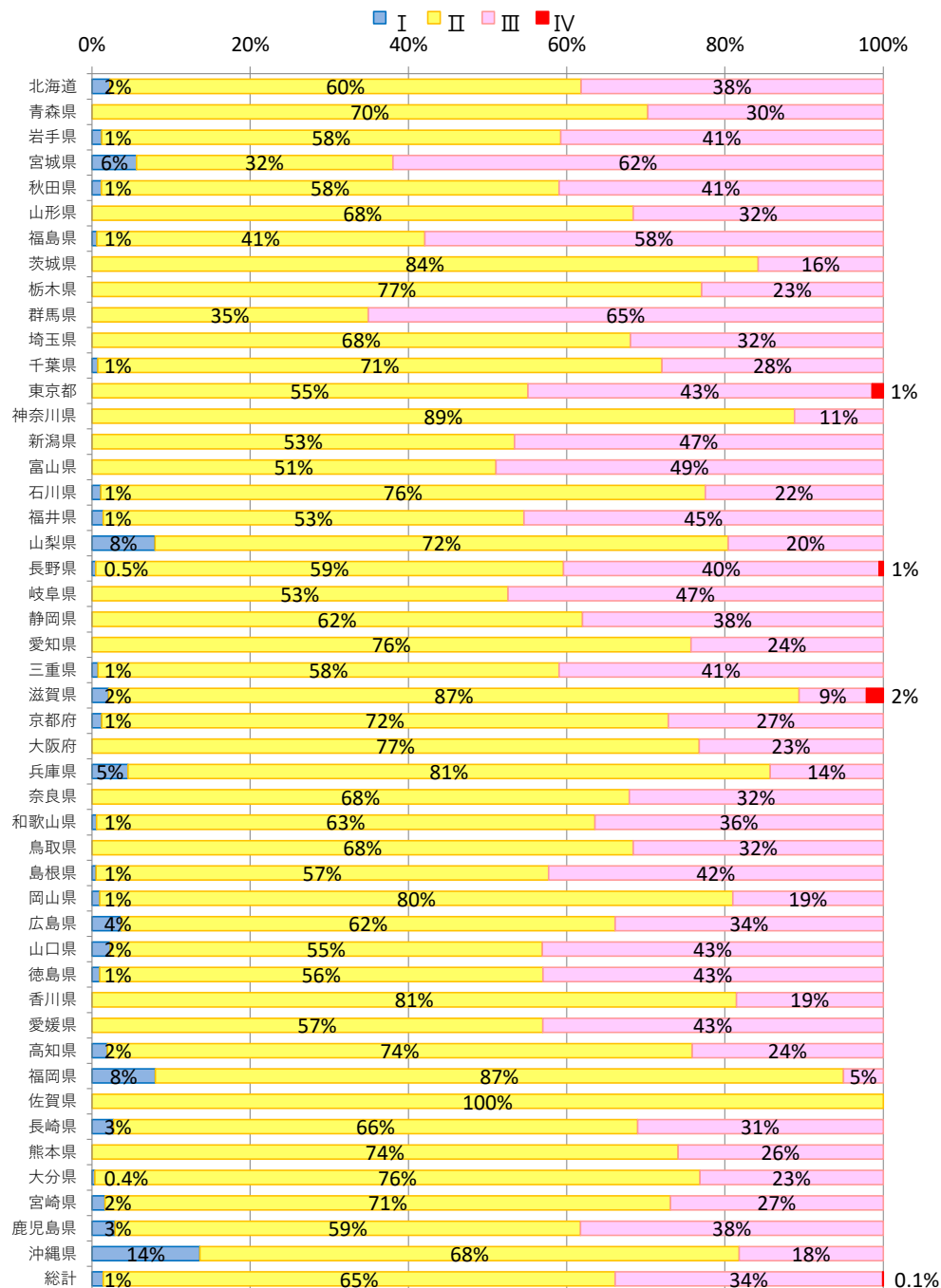


※2019 年 3 月末時点の 1 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

5) 都道府県・政令市等の過年度の点検(2014～2023 年度)の判定区分の分布

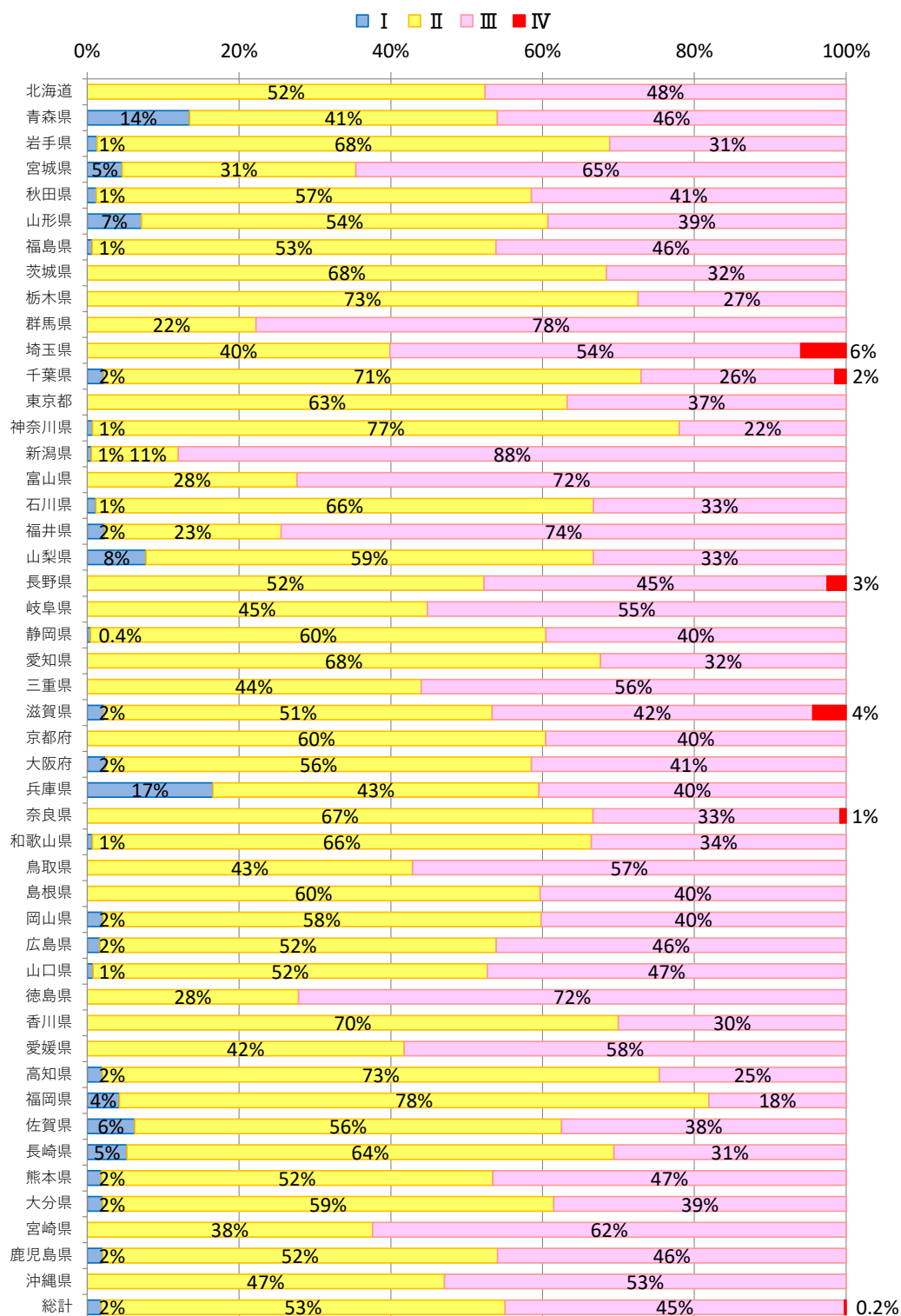
- 過年度の点検(2014～2023 年度)で都道府県・政令市等が管理するトンネルの判定区分の割合は地域によって異なります。
- 都道府県・政令市等の全体の判定区分の割合は、Ⅰ 1%、Ⅱ 65%、Ⅲ 34%、Ⅳ 0.1%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(都道府県・政令市等管理トンネル)



※2024 年 3 月末時点の 2014～2023 年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検(2014～2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(都道府県・政令市等管理トンネル)

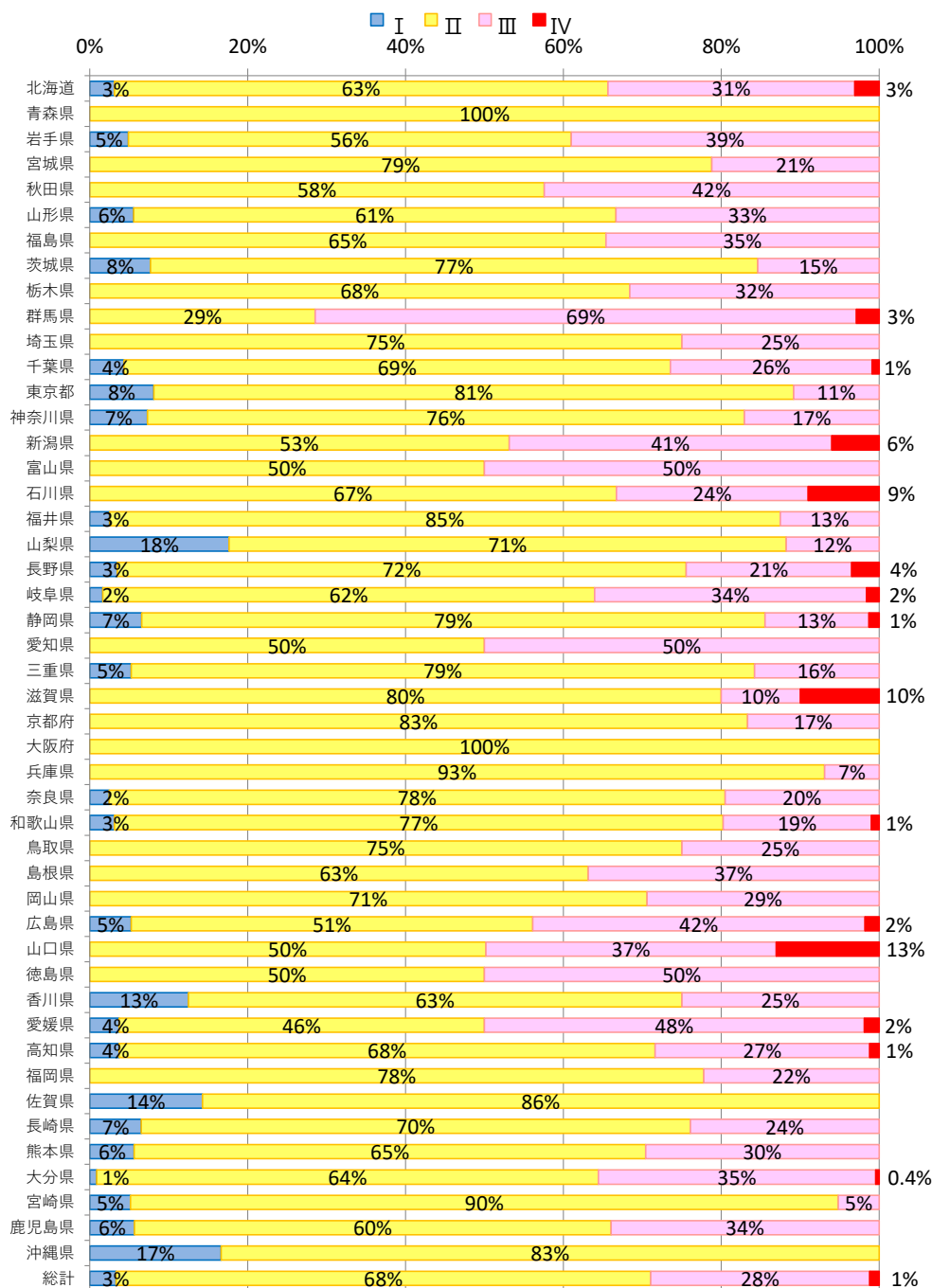


※2019 年 3 月末時点の 1 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

6) 市区町村の過年度の点検(2014～2023 年度)の判定区分の分布

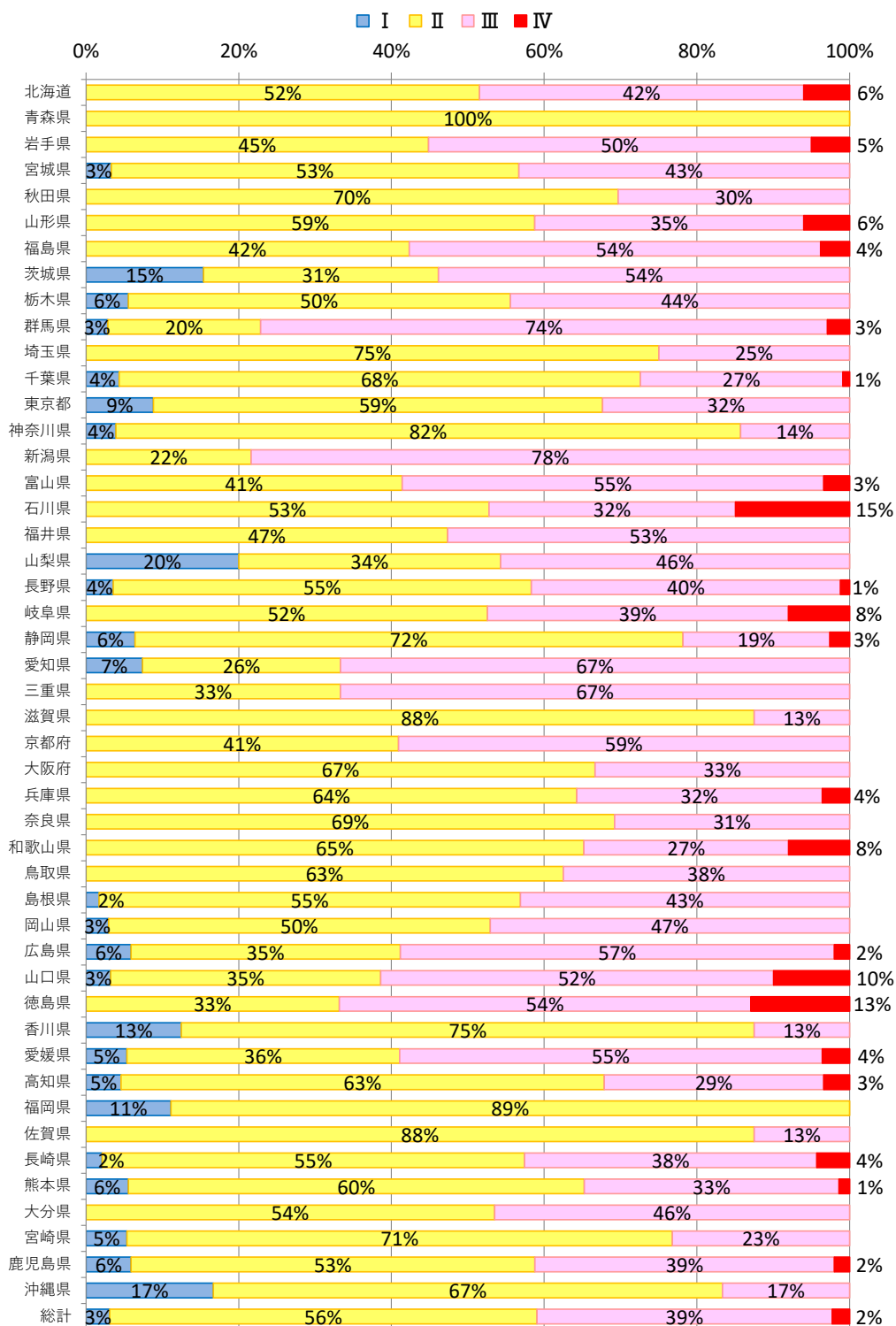
- 過年度の点検(2014～2023 年度)で市区町村が管理するトンネルの判定区分の割合は地域によって異なっています。
- 市区町村の全体の判定区分の割合は、Ⅰ 3%、Ⅱ 68%、Ⅲ 28%、Ⅳ 1%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(市区町村管理トンネル)



※2024 年 3 月末時点の 2014～2023 年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 1 巡目点検(2014～2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(市区町村管理トンネル)



※2019 年 3 月末時点の 1 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100% とならない場合がある。

8. 地方公共団体におけるメンテナンスに向けた取り組み

(1) 道路メンテナンス会議の開催

- 関係機関の連携による検討体制を整え、課題の状況を継続的に把握・共有し、効果的な老朽化対策の推進を図ることを目的に、「道路メンテナンス会議」を設置しました。（2014年7月7日に全都道府県で設置済）

体制

- ・ 地方整備局（直轄事務所）
- ・ 地方公共団体（都道府県、市町村）
- ・ 高速道路会社（NEXCO・首都高速道路・阪神高速道路・本州四国連絡高速道路）
- ・ 道路公社

役割

1. 維持管理等に関する情報共有
2. 点検、修繕等の状況把握及び対策の推進
3. 点検業務の発注支援（地域一括発注等）
4. 技術的な相談対応

等

地方公共団体の取り組み事例の共有

- 道路メンテナンス会議を通じて、地方公共団体における老朽化対策の取り組み事例を共有

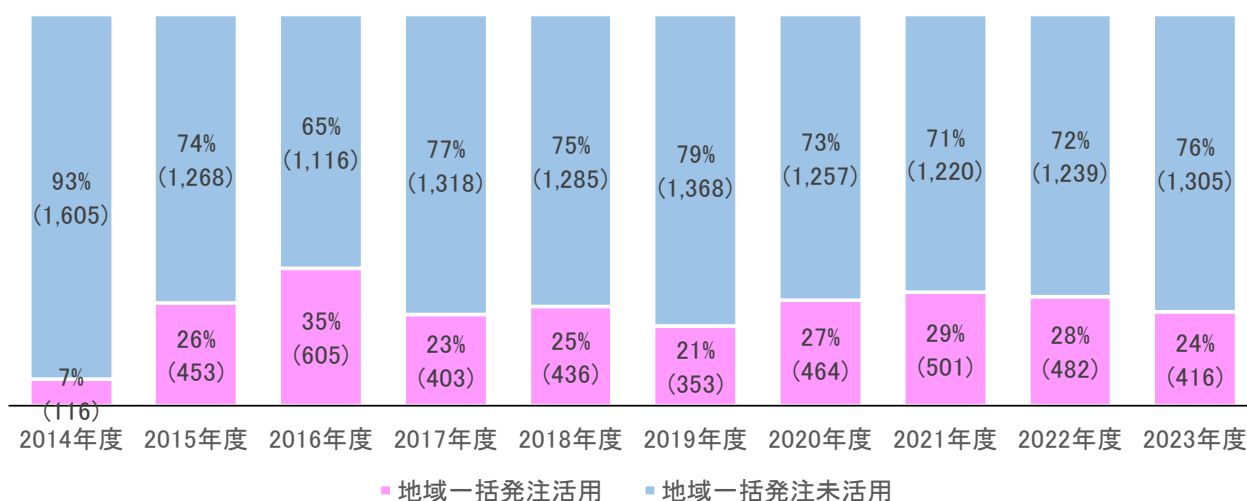
<取り組み事例>

- ・ 点検・診断の高度化・効率化、補修計画の適正化等のため、産学官の連携により、点検・診断・措置情報を効率的に記録することが出来るデータベースシステムの開発・導入
- ・ 技術力の向上、点検費用の削減のため、道路メンテナンス会議と市による合同点検（直営点検）の実施
- ・ 県による市町村への橋梁補修工法等に関する技術的助言を行う相談窓口の設置

(2) 地域一括発注の状況

- 市区町村の人不足・技術力不足を補うため、市区町村の点検・診断の発注事務を都道府県が一括して実施しています。
- 2023年度は416市区町村（32道府県）が地域一括発注を活用しています。

市区町村における地域一括発注の活用状況



※点検対象となる橋梁やトンネル等がない自治体については、未活用として整理している。

(3)直轄診断・修繕代行

- 地方公共団体への支援策の一つとして、緊急かつ高度な技術力を要する可能性が高い橋梁について、「直轄診断※」を実施しました。
- 直轄診断を実施した橋梁については、各道路管理者からの要請を踏まえ、修繕代行事業や補助事業に着手しています。

○ 直轄診断実施箇所と診断結果概要

実施年度	施設名	道路管理者名	延長(m)
2014	みしまおほし 三島大橋	三島町(福島県)	131
2014	おおまえはし 大前橋	嬭恋村(群馬県)	73
2014	おおど おおはし 大渡ダム大橋	仁淀川町(高知県)	444
2015	ぬまお 沼尾シェッド	下郷町(福島県)	189
2015	さるかいばし 猿飼橋	十津川村(奈良県)	139
2015	よぶこおほし 呼子大橋	唐津市(佐賀県)	728
2016	まんごくばし 万石橋	湯沢市(秋田県)	171
2016	みほこばし 御鉾橋	神流町(群馬県)	46
2017	おとざわはし 音沢橋	黒部市(富山県)	110
2017	おとひめおほし 乙姫大橋	中津川市(岐阜県)	317
2018	にがたずいどう 仁方隧道	呉市(広島県)	260
2018	てんたいばし 天大橋	薩摩川内市(鹿児島県)	329
2019	ちちぶはし 秩父橋	秩父市(埼玉県)	135
2019	ふるかわはし 古川橋	吉田町(静岡県)	54
2020	しらおいはし 白老橋	白老町(北海道)	148
2020～2021	つるまいばし 鶴舞橋	奈良市(奈良県)	97
2022	だんざきばし 伊達崎橋	福島県(福島県)	288



緊急性・難易度を踏まえて対応

○ 直轄修繕代行等実施状況

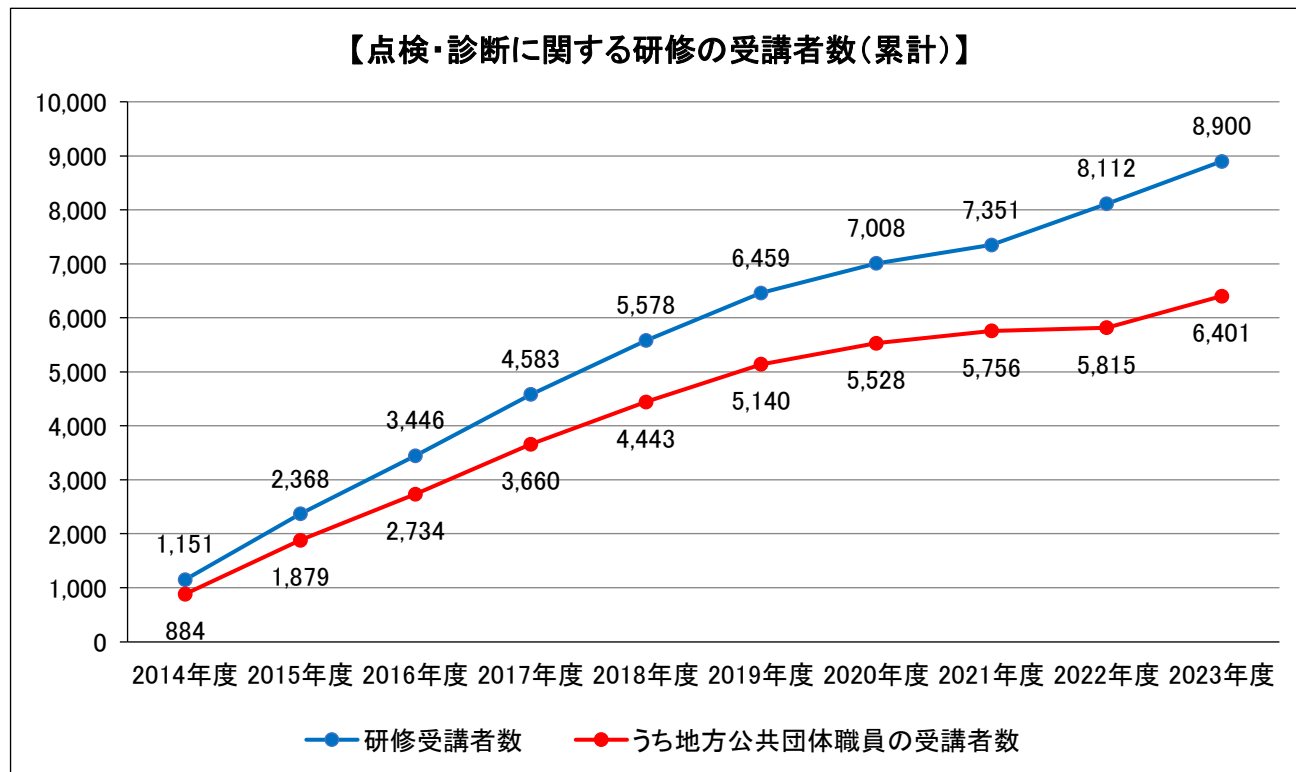
2015 年度	○ 三島大橋、大渡ダム大橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
	○ 大前橋 <u>大規模修繕・更新補助事業</u> に着手
2016 年度	○ 沼尾シェッド、猿飼橋、呼子大橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2017 年度	○ 万石橋、御鉾橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2018 年度	○ 音沢橋、乙姫大橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2019 年度	○ 仁方隧道、天大橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2020 年度	○ 秩父橋、古川橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2021 年度	○ 白老橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2022 年度	○ 鶴舞橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2023 年度	○ 伊達崎橋 <u>修繕代行事業</u> に着手

※直轄診断:「橋梁、トンネル等の道路施設については、各道路管理者が責任を持って管理する」という原則の下、それでもなお、地方公共団体の技術力等に鑑みて支援が必要なもの(複雑な構造を有するもの、損傷の度合いが著しいもの、社会的に重要なもの、等)に限り、国が地方整備局、国土技術政策総合研究所、国立開発研究法人土木研究所の職員で構成する「道路メンテナンス技術集団」を派遣し、技術的な助言を行うもの。

(4) 研修の実施状況

- 2014 年度より、国土交通省、地方公共団体の職員等を対象に、橋梁、トンネル等の点検に関する研修を実施しています。
- 2023 年度までの受講者数は 8,900 人（地方公共団体：6,401 人）です。

研修受講者数（累計）

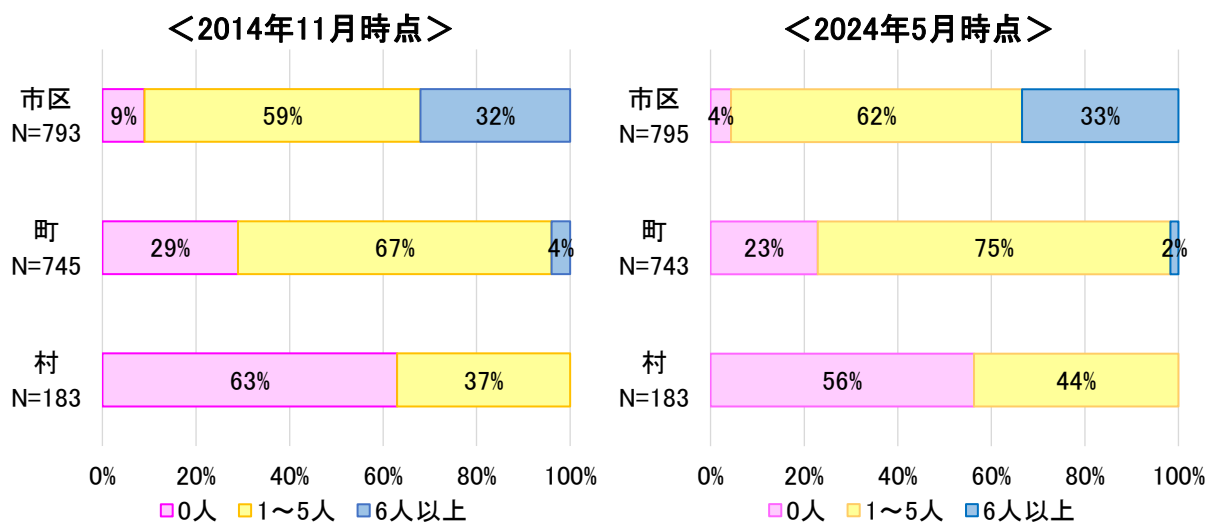


※2023 年 3 月末時点

(5) 橋梁管理に携わる土木技術者数

- 橋梁管理に携わる土木技術者が存在しない市区町村の割合は、2014 年度と 2024 年度を比較するといずれも減少しています。

市区町村における橋梁管理に携わる土木技術者の人数

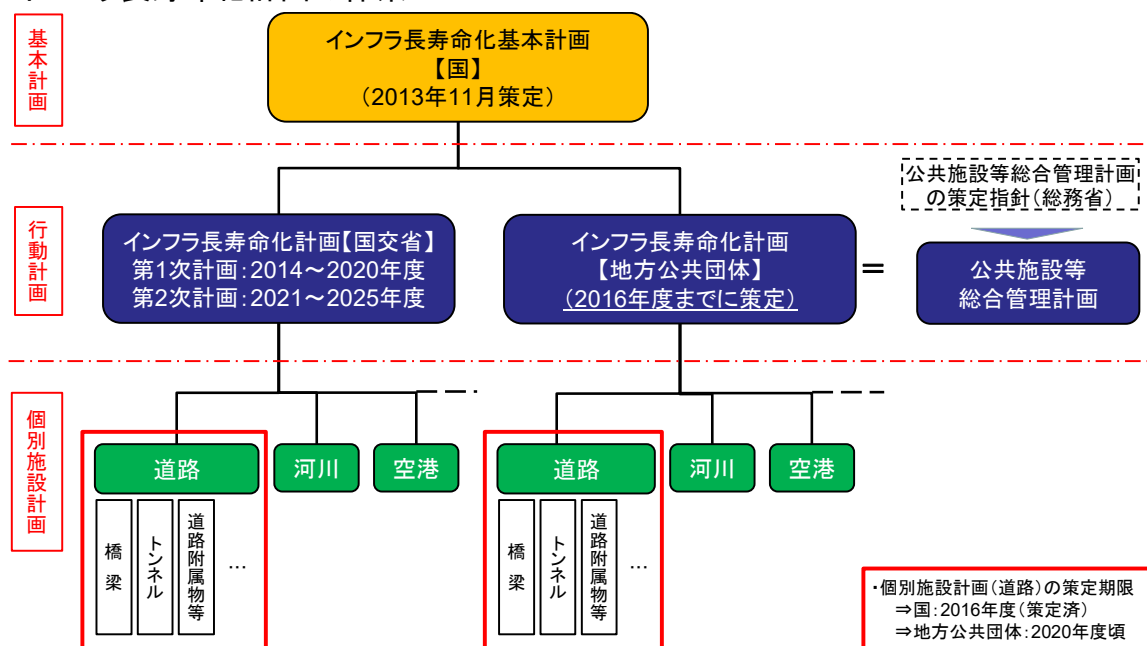


(6) 個別施設計画の策定状況(2023 年度末時点)

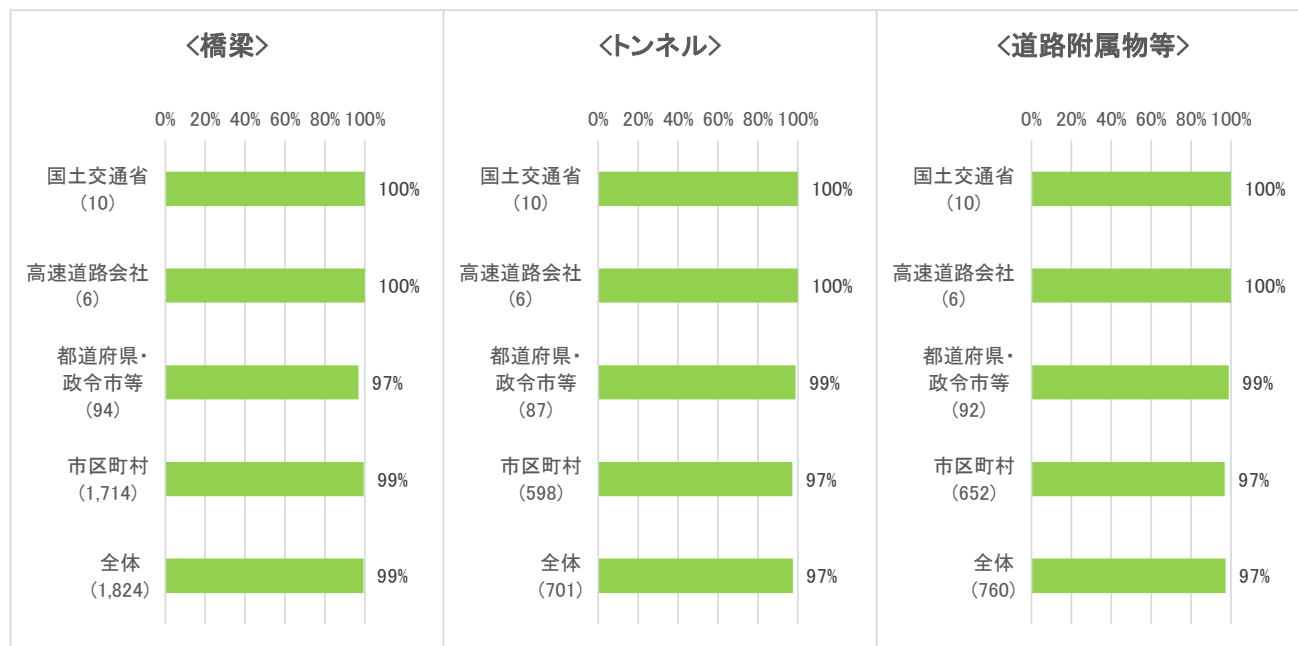
- 各道路管理者は、橋梁・トンネル・道路附属物等の定期点検の結果に基づき個別施設計画※を策定しています。
- 2023 年度末時点における橋梁の個別施設計画策定率は、橋梁で 99%、管理者別では、都道府県・政令市等 97%、市区町村 99%となっています。
- トンネル及び道路附属物等の計画策定率は、それぞれ 97%、97%となっています。

※維持管理・更新等にかかるトータルコストの縮減・平準化を図る上で点検・診断等の結果を踏まえた個別施設毎の具体的な対応方針を定めた計画

○ インフラ長寿命化計画の体系



○ 個別施設計画の策定状況(2023 年度末時点)



※()は団体数

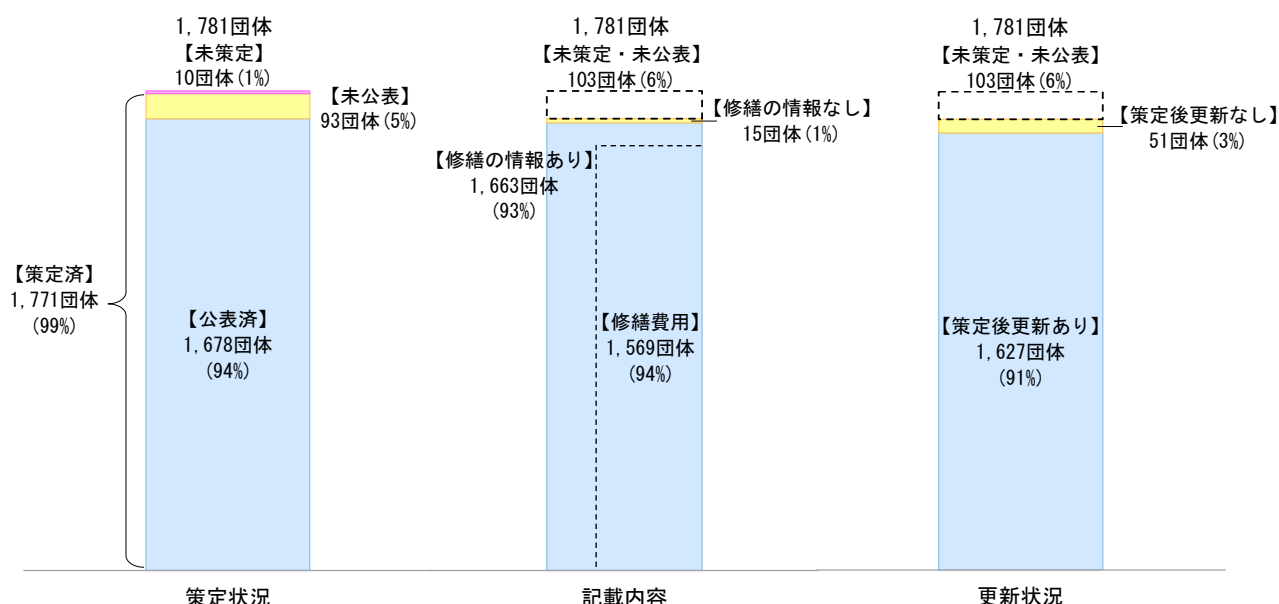
※割合は個別施設計画策定対象の施設を管理する団体数により算出

※道路附属物等は横断歩道橋、門型標識等、シェッド、大型カルバートであり、いずれかの施設の個別施設計画が策定されていれば策定済みとしている

○個別施設計画の策定状況(2023 年度末時点)

- 国のインフラ長寿命化基本計画（2013 年）では 2020 年頃までの長寿命化修繕計画（個別施設計画）の策定を目標としていますが、2023 年度末時点で計画を策定していない地方公共団体が 10 団体あり、策定済みで公表していない地方公共団体は 93 団体あります。
- 修繕の時期や内容を橋梁毎に示していない計画となっている地方公共団体は 15 団体。
- また、計画の策定後に点検結果を反映するなど計画の更新を行っていない地方公共団体は 51 団体。
- 橋梁等の老朽化対策を計画的・効率的に進めるためにも、長寿命化修繕計画を策定するとともに、点検結果を踏まえ、更新を行うことが重要です。

【橋梁(2m以上)の長寿命化修繕計画(個別施設計画)の策定、記載内容、更新の状況(地方公共団体)】



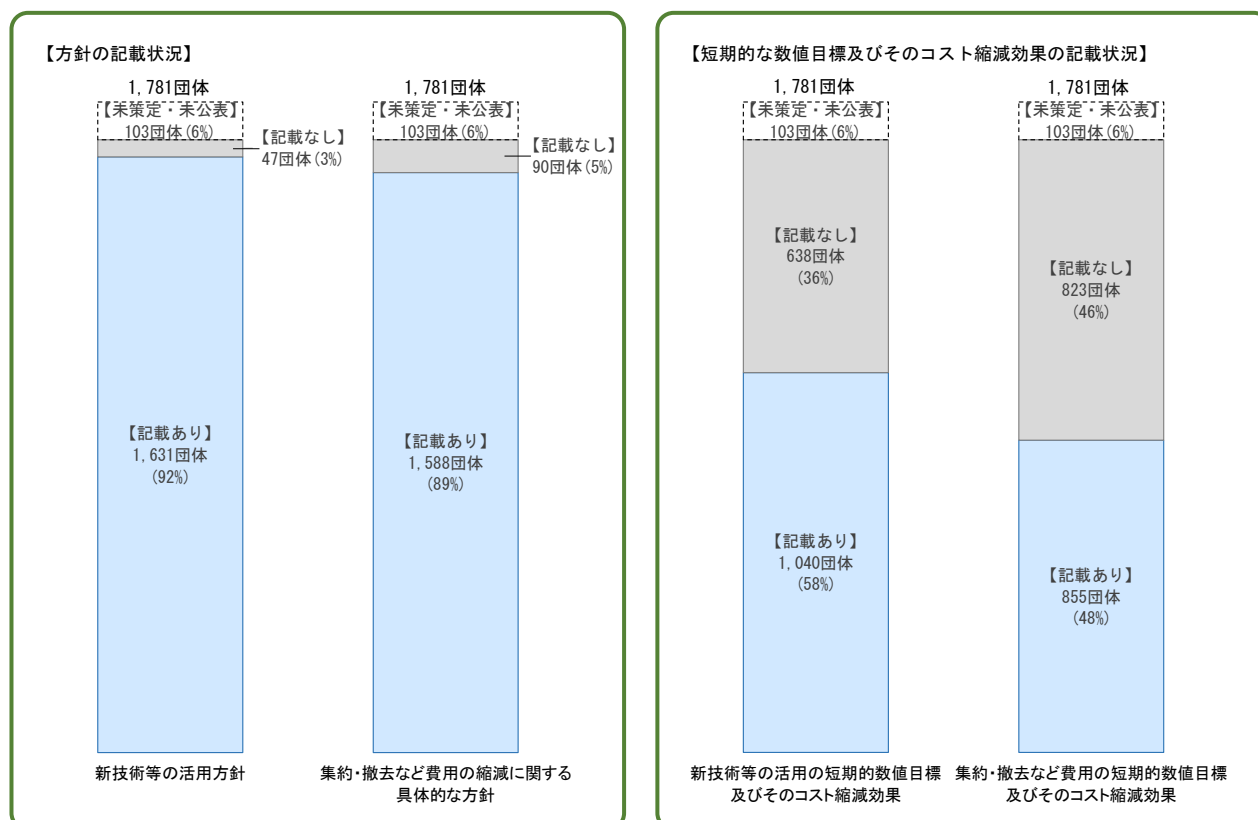
※2024 年 3 月 31 日時点(国土交通省道路局調べ)

※地方公共団体(1,781 団体)の内訳は、都道府県:47 団体、政令市:20 団体、市区町村:1,714 団体(特別区含む)

○個別施設計画の記載内容

- 2023 年度末時点で、橋梁の長寿命化修繕計画（個別施設計画）に「新技術等の活用方針」を記載している地方公共団体は 1,631 団体であり、「集約・撤去など費用の縮減に関する具体的な方針」を記載している地方公共団体は 1,588 団体です。
- 「短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果」を記載している地方公共団体は、「新技術等の活用」で 1,040 団体、「集約・撤去」で 855 団体です。

【橋梁(2m以上)の長寿命化修繕計画(個別施設計画)における記載状況(地方公共団体)】



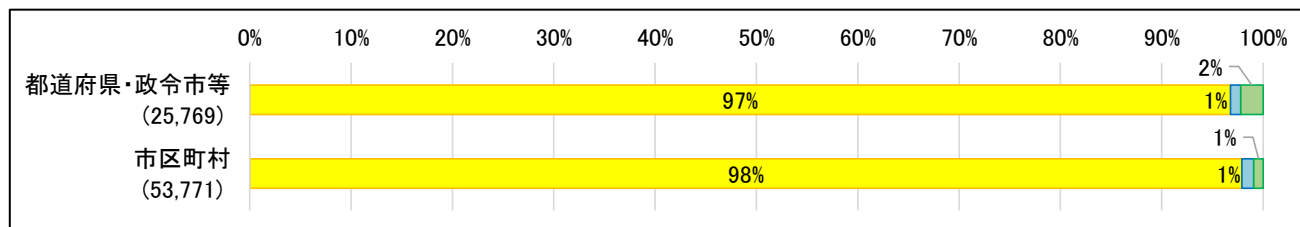
※2024 年 3 月 31 日時点(国土交通省道路局調べ)

※地方公共団体(1,781 団体)の内訳は、都道府県:47 団体、政令市:20 団体、市区町村:1,714 団体(特別区含む)

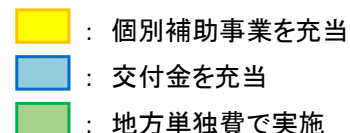
(7)道路メンテナンス事業補助の活用状況

- 地方公共団体が実施した橋梁の定期点検費用について、2020 年度に創設された道路メンテナンス事業補助制度を活用した割合は、都道府県・政令市等で 97%、市区町村では 98%です。
- 修繕費用に道路メンテナンス事業補助制度を活用した割合は、都道府県・政令市等で 89%、市区町村では 85%です。

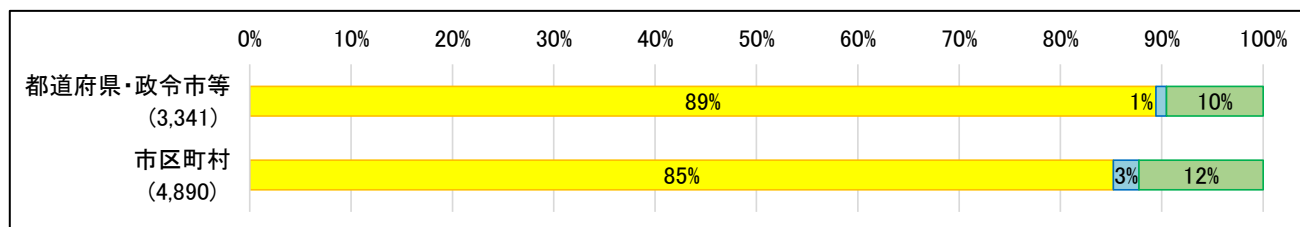
○ 地方公共団体が 2023 年度に実施した橋梁の定期点検における充当予算の状況



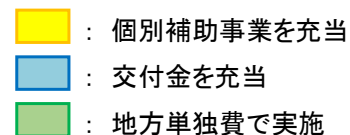
※2023 年度に委託点検を実施した橋梁のうち、報告があった 79,540 橋を対象に橋梁数ベースで算出。



○ 地方公共団体が 2023 年度に実施した橋梁の修繕における充当予算の状況



※2023 年度に修繕を実施した橋梁のうち、報告があった 8,231 橋を対象に橋梁数ベースで算出。



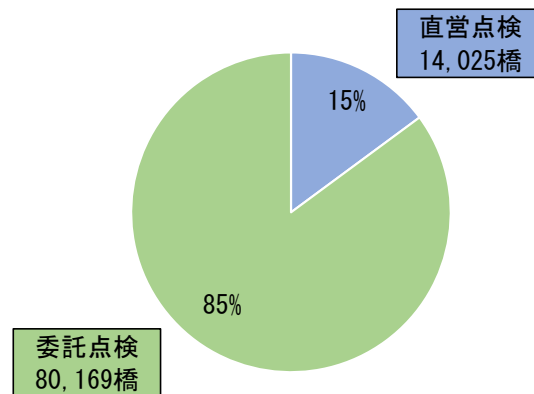
(8) 点検実施者の保有資格等

- 2023 年度に地方公共団体が実施した橋梁点検のうち、職員自らが点検（直営点検）を実施した割合は 15%となっています。
- 直営点検による点検実施者のうち、国土交通省の実施する研修※¹を受講又は資格※²を保有している割合は 47%、研修・資格ともになしは 53%となっています。
- 委託点検による点検実施者のうち、国土交通省の実施する研修を受講又は資格を保有している割合は 95%、研修・資格ともになしは 5%となっています。
- 点検の精度向上するためには研修受講、資格の活用など点検技術の向上を図る必要があります。

※1 研修：国土交通省が実施する道路管理実務者研修又は道路橋メンテナンス技術講習

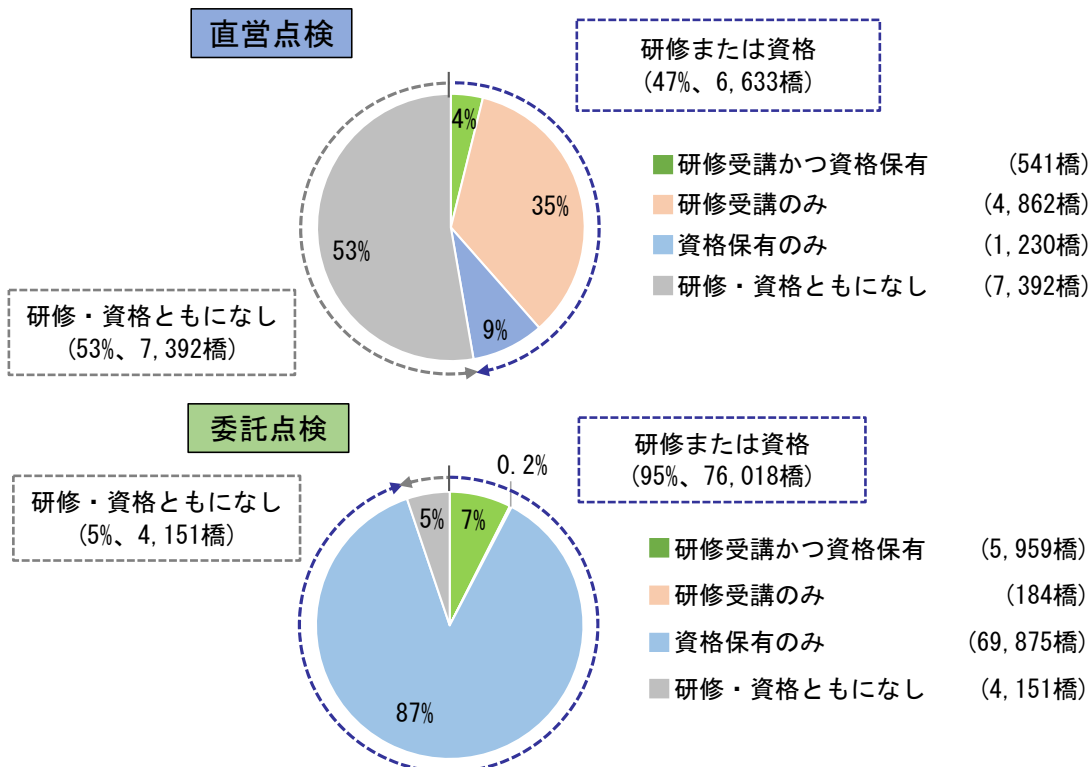
※2 資格：技術士または国土交通省登録技術資格（公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規定に基づく国土交通省登録資格）

○ 2023 点検実施橋梁の直営点検と委託点検の割合



※2023 年度に点検を実施した施設のうち、報告があった 94,194 橋を対象に橋梁数ベースで算出。（下図も同様）

○ 点検実施者の保有資格や研修受講歴

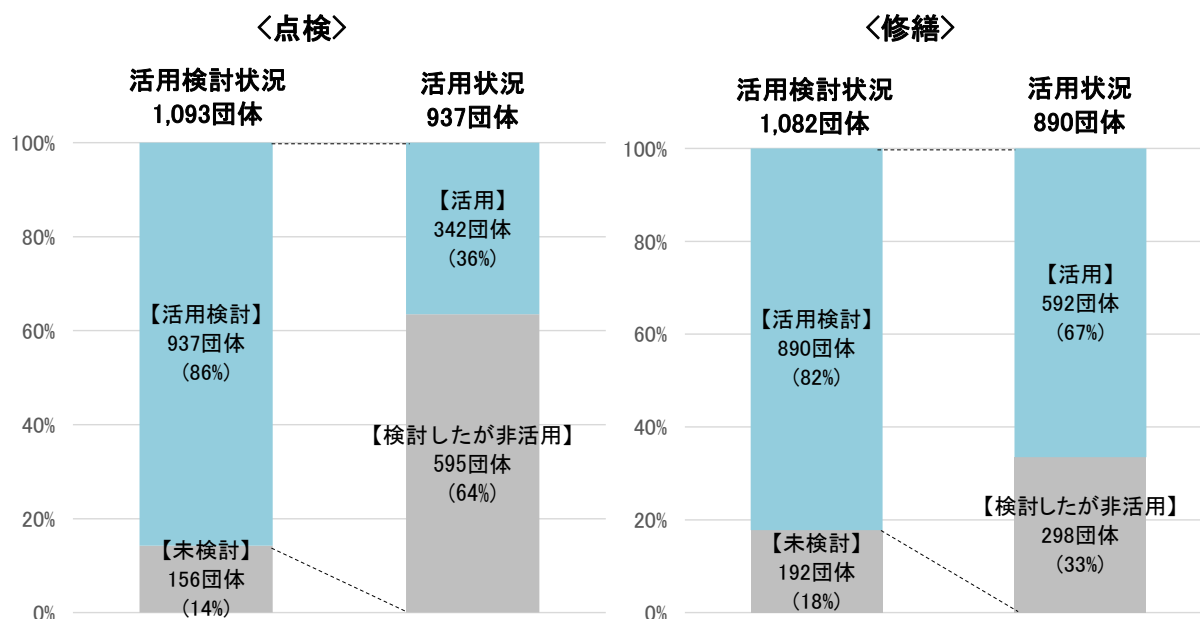


(9) 点検・修繕における新技術の活用検討・活用の状況

1) 橋梁

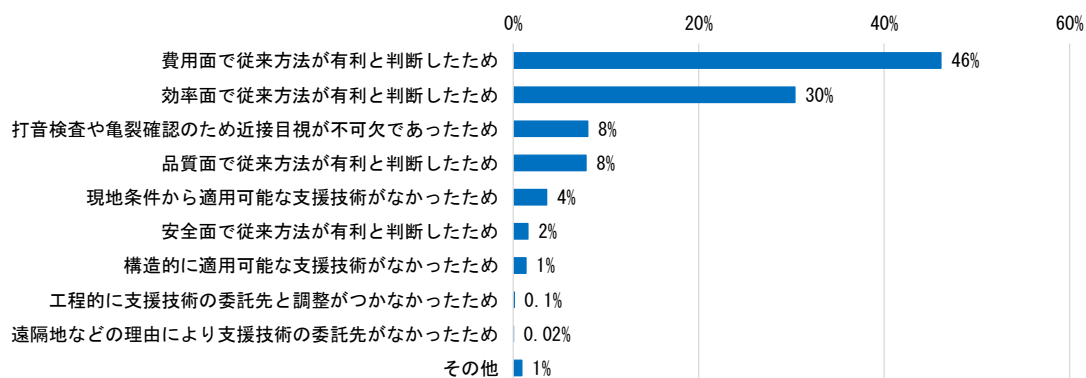
- 2023 年度の橋梁点検において、新技術の活用を検討した地方公共団体は 86%、そのうち活用した団体は 36%です。
- 2023 年度の橋梁修繕において、新技術の活用を検討した地方公共団体は 82%、そのうち活用した団体は 67%です。

○ 点検・修繕における新技術の活用状況（橋梁）

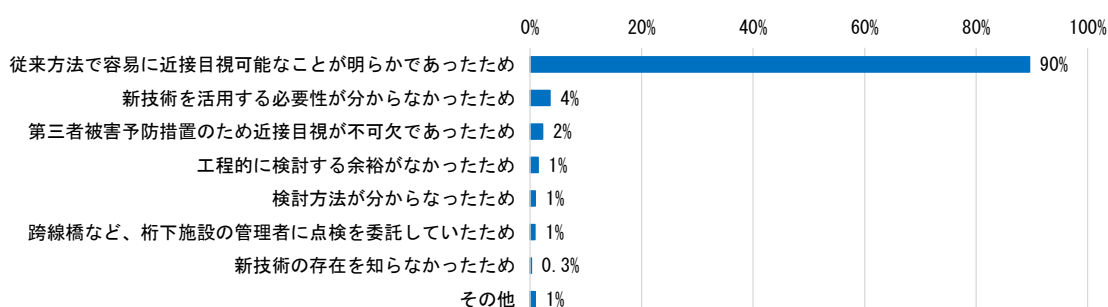


※2023 年度に点検を実施した地方公共団体のうち、報告があった 1,093 団体と、2023 年度に修繕を実施した地方公共団体のうち、報告があった 1,082 団体を対象に算出。

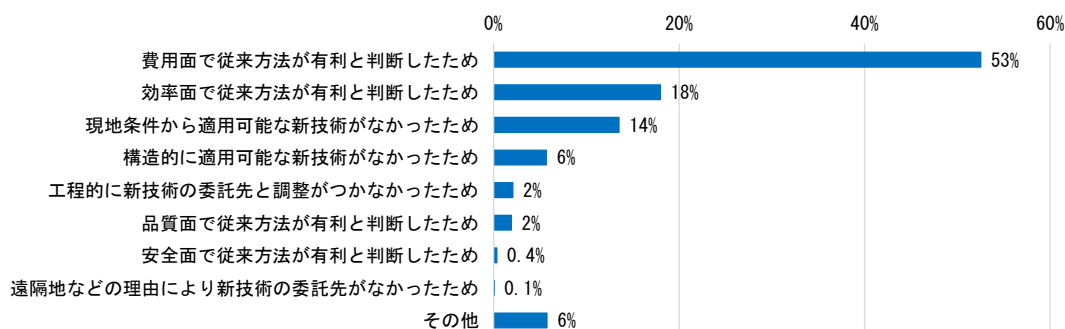
○ 新技術を活用しなかった理由（橋梁点検）



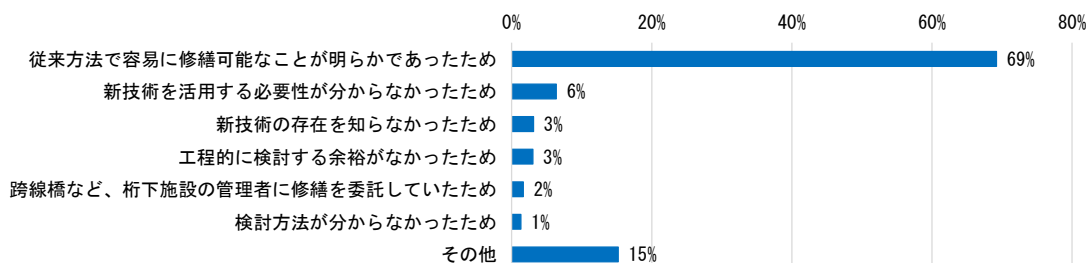
○ 新技術を検討しなかった理由（橋梁点検）



○ 新技術を活用しなかった理由（橋梁修繕）



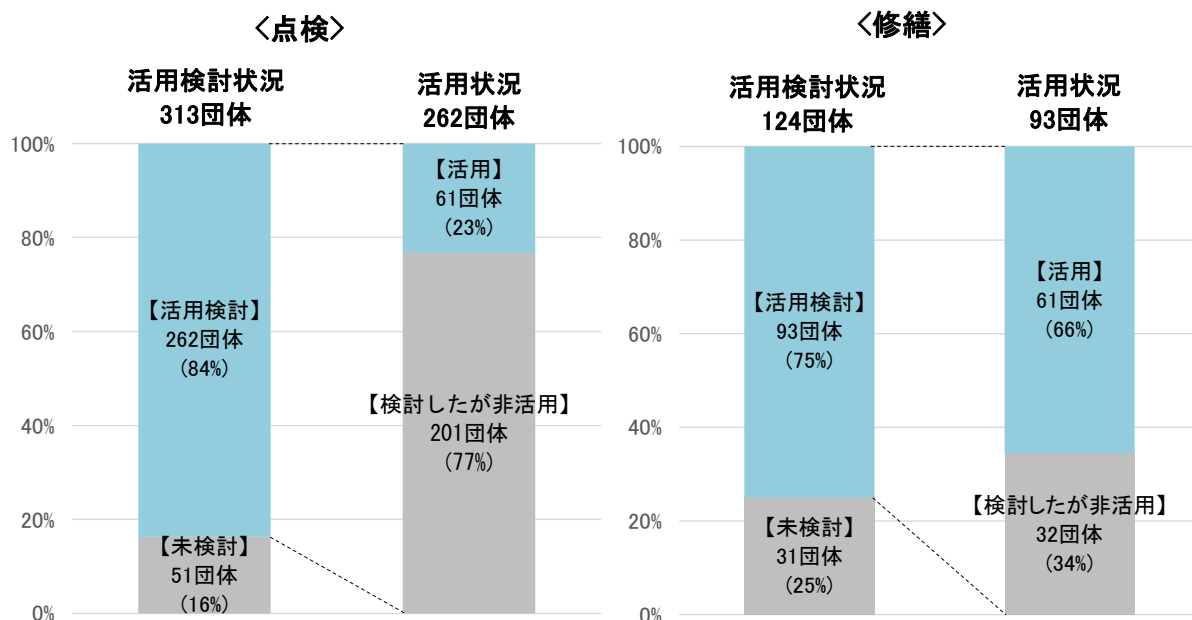
○ 新技術を検討しなかった理由（橋梁修繕）



2)トンネル

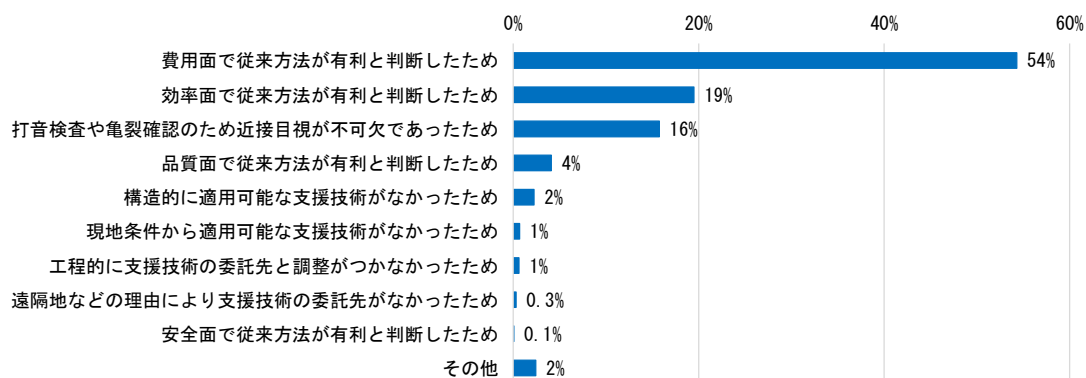
- 2023 年度のトンネル点検において、新技術の活用を検討した地方公共団体は 84%、そのうち活用した団体は 23%です。
- 2023 年度のトンネル修繕において、新技術の活用を検討した地方公共団体は 75%、そのうち活用した団体は 66%です。

○ 点検・修繕における新技術の活用状況(トンネル)

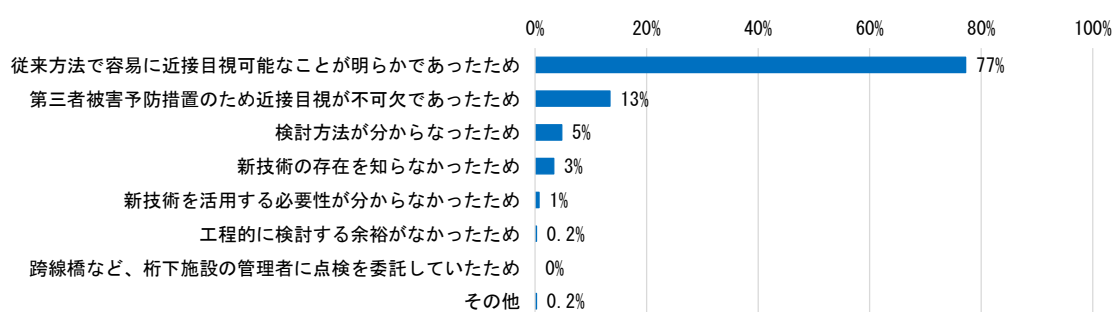


※2023 年度に点検を実施した地方公共団体のうち、報告があった 313 団体と、2023 年度に修繕を実施した地方公共団体のうち、報告があった 124 団体を対象に算出。

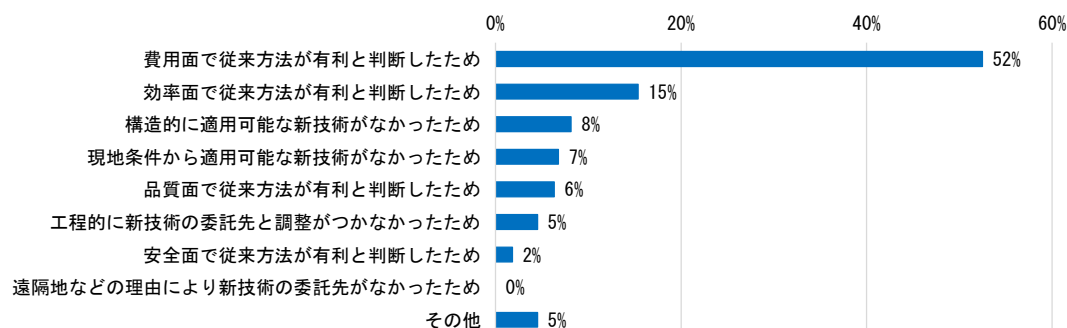
○ 新技術を活用しなかった理由(トンネル点検)



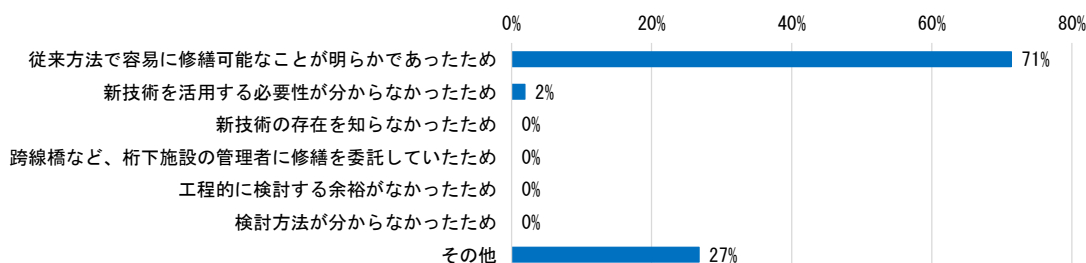
○ 新技術を検討しなかった理由(トンネル点検)



○ 新技術を活用しなかった理由(トンネル修繕)



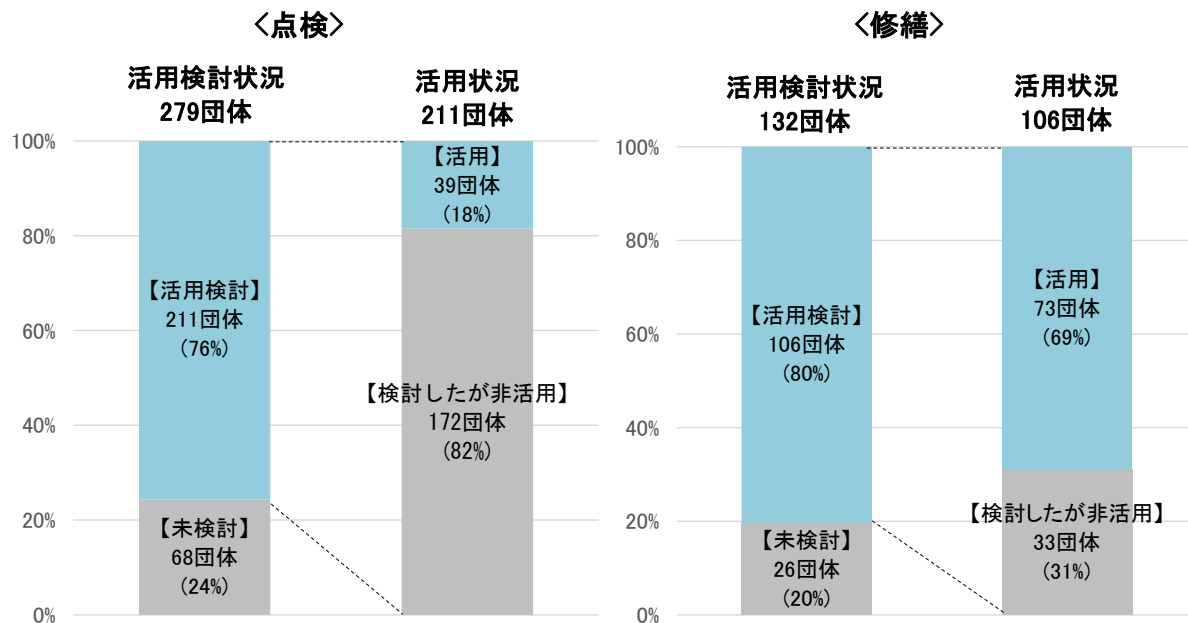
○ 新技術を検討しなかった理由(トンネル修繕)



3)道路附属物等

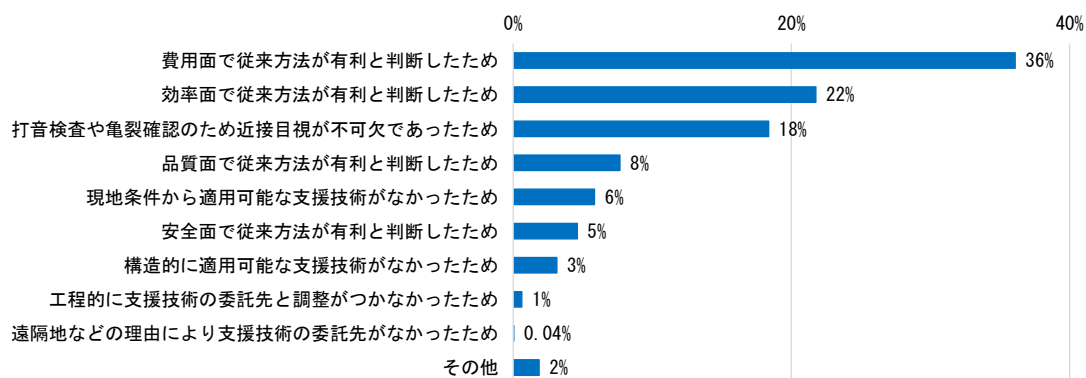
- 2023 年度の道路附属物等点検において、新技術の活用を検討した地方公共団体は 76%、そのうち活用した団体は 18%です。
- 2023 年度の道路附属物等修繕において、新技術の活用を検討した地方公共団体は 80%、そのうち活用した団体は 69%です。

○ 点検・修繕における新技術の活用状況(道路附属物等)

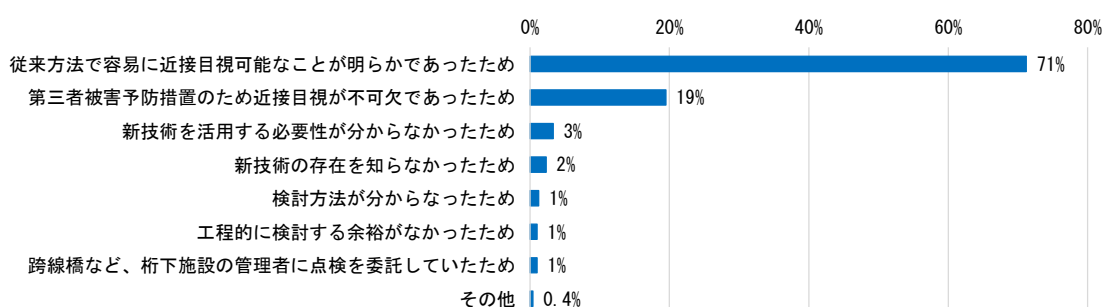


※2023 年度に点検を実施した地方公共団体のうち、報告があった 279 団体と、2023 年度に修繕を実施した地方公共団体のうち、報告があった 132 団体を対象に算出。

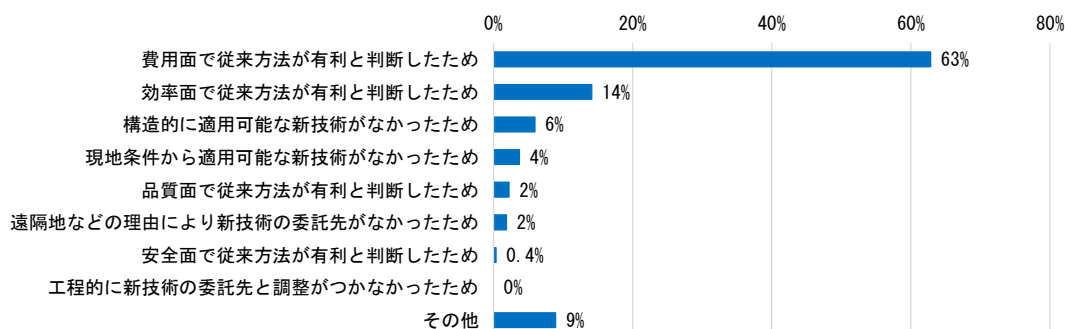
○ 新技術の活用をしなかった理由（道路附属物等点検）



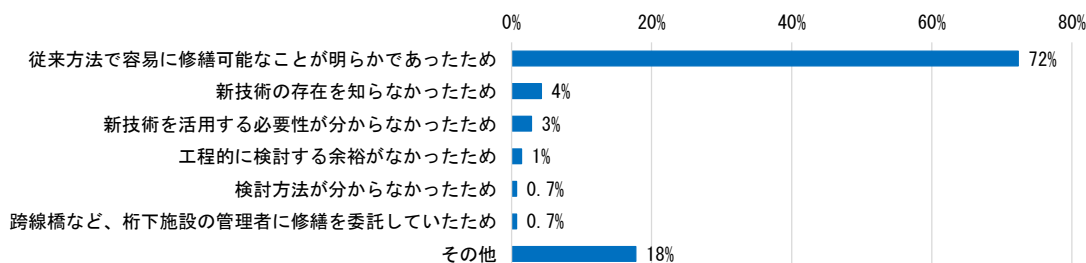
○ 新技術の検討をしなかった理由（道路附属物等点検）



○ 新技術の活用をしなかった理由（道路附属物等修繕）



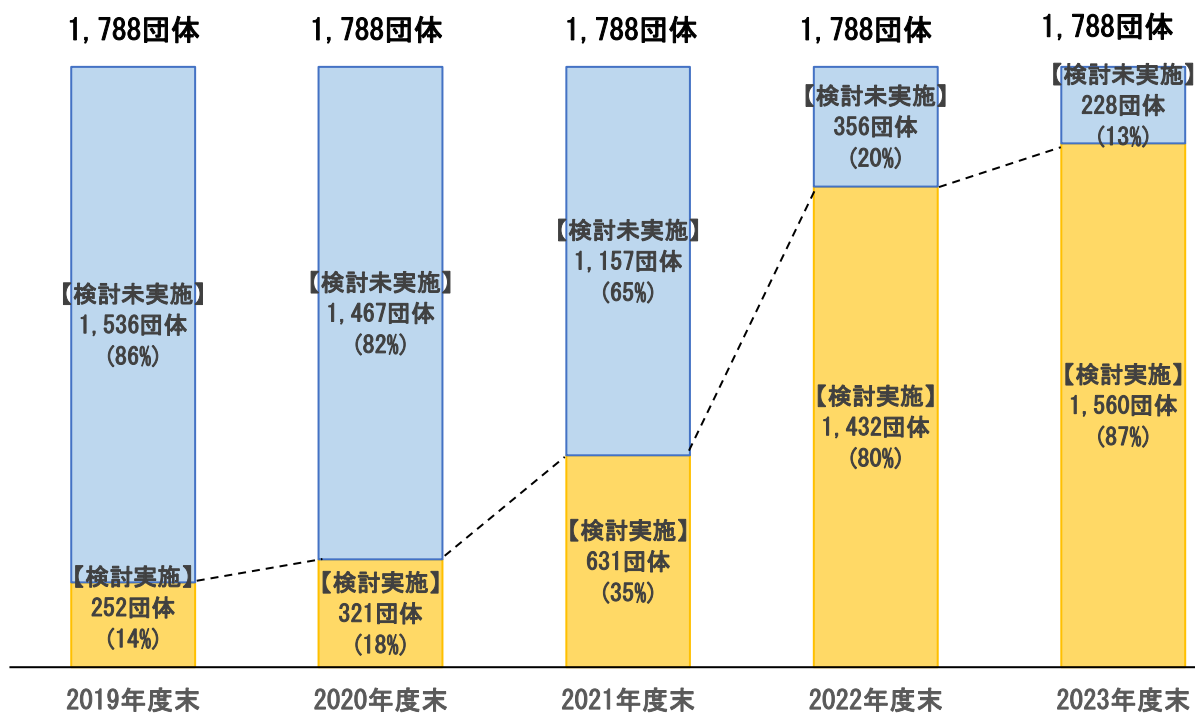
○ 新技術の検討をしなかった理由（道路附属物等修繕）



(10)集約・撤去・機能縮小等の検討状況

- 施設の集約・撤去等を検討した地方公共団体の割合は、2019 年度末時点から増加し、2023 年度末時点で約 9 割となっています。

○ 地方公共団体における施設の集約・撤去等の検討状況



※国土交通省道路局調べ

(11) 新技術活用事例及び集約・撤去事例集

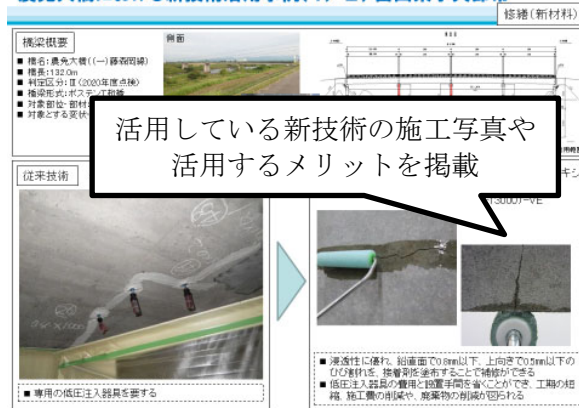
- 地方公共団体における取組の一助となることを目的に、新技術活用事例や道路橋の集約・撤去事例集について道路局 HP にて公開中。

○ 地方公共団体における新技術活用事例

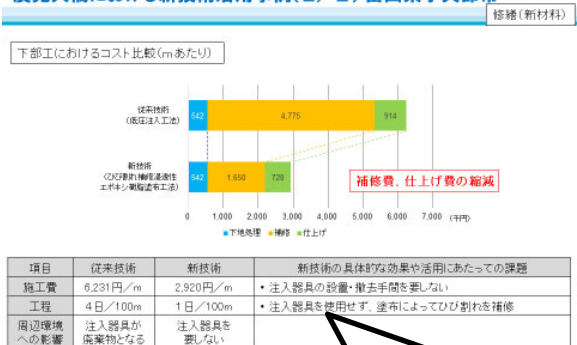
(<https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/pdf/chiho-katsuyo-jirei.pdf>)

(以下抜粋)

農免大橋における新技術活用事例(1/2) 富山県小矢部市



農免大橋における新技術活用事例(2/2) 富山県小矢部市



新技術を活用しなかった場合とのコスト比較を掲載

○ 道路橋の集約・撤去事例集

(<https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/pdf/tekkyo-jirei.pdf>)

(以下抜粋)

単純撤去事例



集約・撤去を進めるうえでの主な検討項目 (検討事例)

検討段階	主な検討項目
計画・調整段階	利用状況の把握
	迂回距離 (隣接橋梁との距離等)、迂回時間の把握
	集約・撤去対象候補の抽出
	集約・撤去実施時期の設定
	概算費用及びコスト効果の算出
	長寿命化修繕計画への反映
利用者・住民との合意形成	説明会等の開催による利用者・住民との合意形成
関係機関との協議	交差物件の管理者 (鉄道事業者、道路管理者、河川管理者等) との協議
	占用物件の管理者との協議

集約・撤去を進めるうえでの検討項目や事例から得られた留意事項を掲載

※巻末資料

(1)道路附属物等の点検実施状況と点検結果の内訳

1)2巡目(2019～2023 年度)の点検実施状況(全道路管理者)

		点検対象 施設数 ※	点検実施状況				
			上段：点検実施数、下段：点検実施率				
			2019	2020	2021	2022	2023
道路附属物等		41,491	6,421	8,422	8,426	8,880	9,059
			15%	20%	20%	21%	22%
	シェッド	3,566	485	813	677	830	709
			14%	23%	19%	23%	20%
	大型カルバート	9,392	1,411	1,982	1,874	1,959	2,076
			15%	21%	20%	21%	22%
	横断歩道橋_跨線橋以外	11,237	2,203	2,131	2,027	2,490	2,302
			20%	19%	18%	22%	20%
	横断歩道橋_跨線橋	535	56	74	120	118	150
			10%	14%	22%	22%	28%
	門型標識等	16,761	2,266	3,422	3,728	3,483	3,822
			14%	20%	22%	21%	23%

2024.3 末時点

※2024 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計

2)2巡目(2019～2023 年度)の点検結果
(全道路管理者)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		41,208	14,490	21,730	4,971	17
			35%	53%	12%	0.04%
	シェッド	3,514	315	2,074	1,124	1
			9%	59%	32%	0.03%
	大型カルバート	9,302	4,000	4,934	368	0
			43%	53%	4%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	11,153	2,359	6,421	2,366	7
			21%	58%	21%	0.1%
	横断歩道橋_跨線橋	518	120	277	119	2
			23%	53%	23%	0.4%
	門型標識等	16,721	7,696	8,024	994	7
			46%	48%	6%	0.04%

2024.3 末時点

(国)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		12,071	3,006	7,109	1,954	2
			25%	59%	16%	0.02%
	シェッド	733	84	407	242	0
			11%	56%	33%	—
	大型カルバート	2,856	892	1,836	128	0
			31%	64%	4%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	3,464	638	1,734	1,091	1
			18%	50%	31%	0.03%
	横断歩道橋_跨線橋	45	11	25	9	0
			24%	56%	20%	—
	門型標識等	4,973	1,381	3,107	484	1
			28%	62%	10%	0.02%

2024.3 末時点

(高速道路会社)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		11,997	7,398	4,328	271	0
			62%	36%	2%	—
	シェッド	93	30	43	20	0
			32%	46%	22%	—
	大型カルバート	4,515	2,788	1,669	58	0
			62%	37%	1%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	49	9	40	0	0
			18%	82%	—	—
	横断歩道橋_跨線橋	0	0	0	0	0
			—	—	—	—
	門型標識等	7,340	4,571	2,576	193	0
			62%	35%	3%	—

2024.3 末時点

(地方公共団体)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		17,140	4,086	10,293	2,746	15
			24%	60%	16%	0.1%
	シェッド	2,688	201	1,624	862	1
			7%	60%	32%	0.04%
	大型カルバート	1,931	320	1,429	182	0
			17%	74%	9%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	7,640	1,712	4,647	1,275	6
			22%	61%	17%	0.1%
	横断歩道橋_跨線橋	473	109	252	110	2
			23%	53%	23%	0.4%
	門型標識等	4,408	1,744	2,341	317	6
			40%	53%	7%	0.1%

2024.3 末時点

(都道府県・政令市等)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		14,066	3,356	8,438	2,261	11
			24%	60%	16%	0.1%
	シェッド	2,475	190	1,488	797	0
			8%	60%	32%	—
	大型カルバート	1,393	217	1,041	135	0
			16%	75%	10%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	5,964	1,267	3,685	1,008	4
			21%	62%	17%	0.1%
	横断歩道橋_跨線橋	162	38	86	37	1
			23%	53%	23%	1%
	門型標識等	4,072	1,644	2,138	284	6
			40%	53%	7%	0.1%

2024.3 末時点

(市区町村)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		3,074	730	1,855	485	4
			24%	60%	16%	0.1%
	シェッド	213	11	136	65	1
			5%	64%	31%	0.5%
	大型カルバート	538	103	388	47	0
			19%	72%	9%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	1,676	445	962	267	2
			27%	57%	16%	0.1%
	横断歩道橋_跨線橋	311	71	166	73	1
			23%	53%	23%	0.3%
	門型標識等	336	100	203	33	0
			30%	60%	10%	—

2024.3 末時点

3) 過年度の点検(2014～2023 年度)の判定区分
(全道路管理者)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		41,458	14,543	21,845	5,053	17
			35%	53%	12%	0.04%
	シェッド	3,559	320	2,095	1,143	1
			9%	59%	32%	0.03%
	大型カルバート	9,379	4,009	4,987	383	0
			43%	53%	4%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	11,234	2,378	6,446	2,403	7
			21%	57%	21%	0.1%
	横断歩道橋_跨線橋	531	121	284	124	2
			23%	53%	23%	0.4%
	門型標識等	16,755	7,715	8,033	1,000	7
			46%	48%	6%	0.04%

2024.3 末時点

(国)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		12,076	3,010	7,110	1,954	2
			25%	59%	16%	0.02%
	シェッド	733	84	407	242	0
			11%	56%	33%	—
	大型カルバート	2,857	892	1,837	128	0
			31%	64%	4%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	3,464	638	1,734	1,091	1
			18%	50%	31%	0.03%
	横断歩道橋_跨線橋	45	11	25	9	0
			24%	56%	20%	—
	門型標識等	4,977	1,385	3,107	484	1
			28%	62%	10%	0.02%

2024.3 末時点

(高速道路会社)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		11,997	7,398	4,328	271	0
			62%	36%	2%	—
	シェッド	93	30	43	20	0
			32%	46%	22%	—
	大型カルバート	4,515	2,788	1,669	58	0
			62%	37%	1%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	49	9	40	0	0
			18%	82%	—	—
	横断歩道橋_跨線橋	0	0	0	0	0
			—	—	—	—
	門型標識等	7,340	4,571	2,576	193	0
			62%	35%	3%	—

2024.3 末時点

(地方公共団体)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		17,385	4,135	10,407	2,828	15
			24%	60%	16%	0.1%
	シェッド	2,733	206	1,645	881	1
			8%	60%	32%	0.04%
	大型カルバート	2,007	329	1,481	197	0
			16%	74%	10%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	7,721	1,731	4,672	1,312	6
			22%	61%	17%	0.1%
	横断歩道橋_跨線橋	486	110	259	115	2
			23%	53%	24%	0.4%
	門型標識等	4,438	1,759	2,350	323	6
			40%	53%	7%	0.1%

2024.3 末時点

(都道府県・政令市等)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		14, 224	3, 384	8, 517	2, 312	11
			24%	60%	16%	0. 1%
	シェッド	2, 513	193	1, 508	812	0
			8%	60%	32%	—
	大型カルバート	1, 440	219	1, 076	145	0
			15%	75%	10%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	6, 010	1, 279	3, 697	1, 030	4
			21%	62%	17%	0. 1%
	横断歩道橋_跨線橋	166	38	89	38	1
			23%	54%	23%	1%
	門型標識等	4, 095	1, 655	2, 147	287	6
			40%	52%	7%	0. 1%

2024. 3 末時点

(市区町村)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		3, 161	751	1, 890	516	4
			24%	60%	16%	0. 1%
	シェッド	220	13	137	69	1
			6%	62%	31%	0. 5%
	大型カルバート	567	110	405	52	0
			19%	71%	9%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	1, 711	452	975	282	2
			26%	57%	16%	0. 1%
	横断歩道橋_跨線橋	320	72	170	77	1
			23%	53%	24%	0. 3%
	門型標識等	343	104	203	36	0
			30%	59%	10%	—

2024. 3 末時点

(2) 緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果の内訳

1) 2巡目(2019～2023 年度)の点検実施状況(全道路管理者)

	管理施設数	点検対象 施設数 ※	点検実施状況 上段：点検実施数、下段：点検実施率				
			2019	2020	2021	2022	2023
緊急輸送道路を 跨ぐ跨道橋	16,426	16,020	3,159	3,445	3,306	3,080	2,918
			20%	22%	21%	19%	18%
跨線橋	9,783	9,646	1,577	1,926	2,118	2,044	1,873
			16%	20%	22%	21%	19%
緊急輸送道路を 構成する橋梁	128,792	127,056	25,254	29,192	27,843	23,574	20,787
			20%	23%	22%	19%	16%
(参考)全橋梁	729,333	724,429	114,151	154,427	169,867	160,915	120,504
			16%	21%	23%	22%	17%

2024. 3 末時点

※2024 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計

2) 2巡目(2019～2023 年度)の点検結果
(全道路管理者)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	15,908	3,944	10,050	1,908	6
		25%	63%	12%	0.04%
跨線橋	9,538	1,700	5,680	2,144	14
		18%	60%	22%	0.1%
緊急輸送道路を構成する橋梁	126,650	45,766	67,960	12,902	22
		36%	54%	10%	0.02%
(参考)全橋梁	719,864	301,661	362,458	55,172	573
		42%	50%	8%	0.1%

2024. 3 末時点

(国)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	2,344	993	1,089	260	2
		42%	46%	11%	0.1%
跨線橋	1,712	459	791	460	2
		27%	46%	27%	0.1%
緊急輸送道路を構成する橋梁	32,583	18,353	11,070	3,142	18
		56%	34%	10%	0.1%
(参考)全橋梁	38,347	21,942	12,689	3,695	21
		57%	33%	10%	0.1%

2024. 3 末時点

(高速道路会社)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	5,445	669	4,022	754	0
		12%	74%	14%	—
跨線橋	1,100	61	827	212	0
		6%	75%	19%	—
緊急輸送道路を構成する橋梁	23,920	5,176	16,070	2,674	0
		22%	67%	11%	—
(参考)全橋梁	24,117	5,222	16,181	2,714	0
		22%	67%	11%	—

2024. 3 末時点

(地方公共団体)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	8,119	2,282	4,939	894	4
		28%	61%	11%	0.05%
跨線橋	6,726	1,180	4,062	1,472	12
		18%	60%	22%	0.2%
緊急輸送道路を構成する橋梁	70,147	22,237	40,820	7,086	4
		32%	58%	10%	0.01%
(参考)全橋梁	657,400	274,497	333,588	48,763	552
		42%	51%	7%	0.1%

2024. 3 末時点

(都道府県・政令市等)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	3,470	844	2,219	407	0
		24%	64%	12%	—
跨線橋	3,554	598	2,147	807	2
		17%	60%	23%	0.06%
緊急輸送道路を構成する橋梁	65,627	20,359	38,461	6,804	3
		31%	59%	10%	0.005%
(参考)全橋梁	186,115	68,371	100,680	17,032	32
		37%	54%	9%	0.02%

2024. 3 末時点

(市区町村)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	4,649	1,438	2,720	487	4
		31%	59%	10%	0.1%
跨線橋	3,172	582	1,915	665	10
		18%	60%	21%	0.3%
緊急輸送道路を構成する橋梁	4,520	1,878	2,359	282	1
		42%	52%	6%	0.02%
(参考)全橋梁	471,285	206,126	232,908	31,731	520
		44%	49%	7%	0.1%

2024. 3 末時点

※2024 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計

3) 過年度の点検(2014～2023 年度)の判定区分
(全道路管理者)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	16,013	3,986	10,101	1,920	6
		25%	63%	12%	0.04%
跨線橋	9,630	1,709	5,716	2,191	14
		18%	59%	23%	0.1%
緊急輸送道路を構成する橋梁	126,945	45,840	68,101	12,982	22
		36%	54%	10%	0.02%
(参考)全橋梁	723,552	303,163	363,926	55,820	643
		42%	50%	8%	0.1%

2024. 3 末時点

(国)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	2,344	993	1,089	260	2
		42%	46%	11%	0.1%
跨線橋	1,714	459	791	462	2
		27%	46%	27%	0.1%
緊急輸送道路を構成する橋梁	32,595	18,355	11,073	3,149	18
		56%	34%	10%	0.1%
(参考)全橋梁	38,362	21,945	12,693	3,703	21
		57%	33%	10%	0.1%

2024. 3 末時点

(高速道路会社)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	5,445	669	4,022	754	0
		12%	74%	14%	—
跨線橋	1,100	61	827	212	0
		6%	75%	19%	—
緊急輸送道路を構成する橋梁	23,920	5,176	16,070	2,674	0
		22%	67%	11%	—
(参考)全橋梁	24,117	5,222	16,181	2,714	0
		22%	67%	11%	—

2024. 3 末時点

(地方公共団体)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	8,224	2,324	4,990	906	4
		28%	61%	11%	0.05%
跨線橋	6,816	1,189	4,098	1,517	12
		17%	60%	22%	0.2%
緊急輸送道路を構成する橋梁	70,430	22,309	40,958	7,159	4
		32%	58%	10%	0.01%
(参考)全橋梁	661,073	275,996	335,052	49,403	622
		42%	51%	7%	0.1%

2024. 3 末時点

(都道府県・政令市等)

(都道府県・政令市等)	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	3,546	874	2,262	410	0
		25%	64%	12%	—
跨線橋	3,597	603	2,166	826	2
		17%	60%	23%	0.1%
緊急輸送道路を構成する橋梁	65,888	20,425	38,587	6,873	3
		31%	59%	10%	0.005%
(参考)全橋梁	187,022	68,666	101,129	17,190	37
		37%	54%	9%	0.02%

2024. 3 末時点

(市区町村)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	4,678	1,450	2,728	496	4
		31%	58%	11%	0.1%
跨線橋	3,219	586	1,932	691	10
		18%	60%	21%	0.3%
緊急輸送道路を構成する橋梁	4,542	1,884	2,371	286	1
		41%	52%	6%	0.02%
(参考)全橋梁	474,051	207,330	233,923	32,213	585
		44%	49%	7%	0.1%

2024. 3 末時点

※2024 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計

(3) 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分Ⅳの施設リスト(2014～2023 年度)
【橋梁】

○ 判定区分Ⅳの橋梁の措置内容（完了済・予定のものを含む）

管理者	管理中					撤去・ 廃止済 ※2	計	うち措置未完了 (下記リスト参照)
	計	修繕・ 架替	機能 転換 ※1	対応 未定	撤去・ 廃止			
国土交通省	41	41	0	0	0	3	44	14
都道府県・ 政令市等	60	47	0	2	11	9	69	25
市区町村	875	525	6	115	229	241	1,116	487
合計	976 (79%)	613 (50%)	6 (0.5%)	117 (10%)	240 (20%)	253 (21%)	1,229	526 (43%)

※1:機能転換とは、既存の施設を、他の施設として利用すること。

※2:判定後、撤去・廃止により管理施設から除外されたもの。

※高速道路会社管理の橋梁は健全度Ⅳの施設なし。

○ 国土交通省(14 橋)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
関東地方 整備局	くまがや ごう 熊谷2号	国道 17 号	1955	2021	床版の腐食	縞鋼板を設置	修繕中
関東地方 整備局	ききたまおほし くだ 幸魂大橋(下り)	国道 298 号	1992	2021	支承本体のゆる み・脱落	仮受け材の設 置(通行可 能)	修繕中
関東地方 整備局	かつしかおほし のぼ 葛飾大橋(上り)	国道 298 号	1979	2020	支承の変形・欠 損	仮受け材の設 置(通行可 能)	修繕中
関東地方 整備局	すなだばしそくほどうきょうくだり 砂田橋側歩道橋下り	国道 127 号	1970	2023	①主桁の腐食、 防食機能の劣 化、変形・欠損 ②支承本体、ア ンカーボルトの腐 食、支承部の機 能障害	歩行者通行 止(反対側車 線の歩道に迂 回)	修繕中
関東地方 整備局	みなとばしきょうそくきょう のぼ 湊橋橋側橋(上り)	国道 127 号	1972	2020	床版・横桁の腐 食	損傷箇所上 面の路面にコ ンパネを設置	修繕中
関東地方 整備局	やつみぞばし やまがわ 谷津溝橋(1)山側	国道 357 号	1977	2023	①主桁の腐食、 防食機能の劣 化、変形・欠損 ②橋台その他の 腐食、防食機能 の劣化、変形・欠 損	歩道部通行 止(迂回路 有)	架替中

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
関東地方 整備局	やつみぞばし やまがわ 谷津溝橋(2)山側	国道 357 号	1977	2023	①主桁、横桁の 腐食、防食機能 の劣化、変形・欠 損 ②橋台その他の 腐食、防食機能 の劣化、変形・欠 損	歩道部通行 止（迂回路 有）	架替中
関東地方 整備局	やつみぞばし やまがわ 谷津溝橋(3)山側	国道 357 号	1977	2023	①主桁の腐食、 防食機能の劣 化、変形・欠損 ②橋台その他の 腐食、防食機能 の劣化、変形・欠 損	歩道部通行 止（迂回路 有）	架替中
関東地方 整備局	こむろばし のぼ 小室橋(上り)	国道 16 号	1974	2021	主桁の下フランジ に亀裂	仮受け材の設 置（通行可 能）	修繕中
関東地方 整備局	こむろばし くだ 小室橋(下り)	国道 16 号	1974	2021	主桁の下フランジ に亀裂	仮受け材の設 置（通行可 能）	修繕中
関東地方 整備局	かみすわだい ばし 上諏訪第4橋	国道 20 号	1956	2021	橋台の洗堀	仮受け材の設 置（通行可 能）	修繕中
関東地方 整備局	おぐらさわばしそくどうきょう 小倉沢橋側道橋	国道 19 号	1982	2021	床版の変形・欠 損	損傷箇所上 面の路面にコ ンパネを設置	修繕中
関東地方 整備局	さんせいじ ごうそくどうきょう 山清路 3 号側道橋 のぼ 上り	国道 19 号	1979	2021	床版の変形・欠 損	損傷箇所上 面の路面にコ ンパネを設置	修繕中
北陸地方 整備局	のうちかおうだんぼどう 能生地下横断歩道	国道 8 号	1972	2023	上部構造等の中 き・ひびわれ・鉄 筋露出	仮設材を設置 して、全面通 行止	修繕中

○ 都道府県・政令市等(25 橋)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
仙台市	おい さわばし 追の沢橋	町道 基石・ 秋保線	不明	2021	主桁の腐食による板厚減少、桁にたわみ	通行止	架替中
仙台市	なかしはばし 仲芝橋	市道サイカ チ沼線	1988	2019	橋台のひびわれ、変形・欠損、洗堀など	全面通行止	架替予定
山形県	ふくしまこせんきょう 福島跨線橋	県道比子八 幡線	1981	2020	主桁、横桁、支承が全体的に腐食・欠損	仮受け材の設置(通行規制(車両))	修繕中
栃木県	あさひばし 旭橋	県道 182 号 線	1923	2021	床版に鉄筋露出、うき、主桁・支承には腐食、断面欠損(穴あき等)	桁端部補強設置(通行可能)	架替中
相模原市	むめいはし 無名橋(津久井18)	市道青野原 9 号	1960	2021	床板に断面欠損を伴う腐食、鋼材部全体に腐食	仮設を設置し全面通行止	撤去予定
新潟市	むめいきょう 無名橋(566)	市区町村道(その他)新 津 1-460 号 線	不明	2021	橋の機能に支障	全面通行止	撤去予定
長野県	ならいしんはし 奈良井新橋	県道姥神奈 良井線	1977	2020	張出床版、横桁の損傷	全面通行止	撤去中
長野県	しおばし 塩橋	県道戸隠篠 ノ井線	1974	2023	主桁の著しい腐食	仮設を設置し交通開放	架替予定
静岡市	しまかわはし 島川橋	市道檜尾崩 野線	1956	2022	橋台背面土砂流失及び木製床板の腐朽	全面通行止	廃止予定
浜松市	しょうげつばし 嘯月橋	市道天竜仲 町山王線	1962	2022	床版及び橋脚の変形・欠損	撤去(前面通行止)	架替予定
浜松市	エンガクさわばし 沢橋	市道水窪向 島第 2 号線	不明	2015	床板の腐食及び断面欠損	全面通行止	撤去予定
浜松市	ひき た ごうきょう 引の田7号橋	市道水窪小 和田引の田 線	不明	2015	主桁・防護柵の腐食及び断面欠損	全面通行止	撤去予定
浜松市	ひき た ごうきょう 引の田11号橋	市道水窪小 和田引の田 線	不明	2015	横桁の変形	全面通行止	撤去予定
和歌山県	きゅう ひおきがわおおはし (旧)日置川大橋	日置川すさ み線	不明	2016	主桁鉄筋の露出、ゲルバー部の遊間の異常、橋脚の変形	全面通行止	撤去中
岡山市	10046はし 橋	市道大元駅 前・二日市 町線	不明	2021	主鉄筋の露出	仮設材設置(通行可能)	架替予定
岡山市	10937はし 橋	市道青江 38 号線	不明	2022	RC 床版と石橋の混合橋で、約 30 cm の石橋に折れが発生	仮設材設置	架替予定
岡山市	41135はし 橋	市道泉田 25 号線	不明	2022	下部工に大きなひび割れ	重点的な巡視・点検	架替中
岡山市	おぐらはし 小倉橋	市道建部町 小倉 3 号線	1964	2021	主桁のひびわれ	仮受材設置(通行可能)	架替中

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
北九州市	あそうがわ ごうきょう 麻生川1号橋	市道合馬 26 号線	1961	2021	主桁の腐食、床 版の腐食、変形・ 欠損、沈下	全面通行止	架替中
福岡市	むめいきょう 無名橋50200	県道飯場金 武線	1987	2023	橋台の洗掘、沈 下等の損傷	車両通行止	未定
長崎県	BOX	県道久賀島 線	1971	2023	主桁鉄筋の破断	全面通行止	廃止予定
熊本市	つばいがわばし ぞくどうきょう 坪井川橋側道橋	国道 501 号	1986	2021	橋脚(鋼管杭)の 損傷	全面通行止、 仮受け台の設 置	架替中
宮崎県	とがんのはし 鋒野橋	県道 33 号 線	1998	2023	地すべりによる上 部工の変状あり	全面通行止	未定
鹿児島県	おとこがわばし きゅうきょう 男川橋(旧 橋)	上屋久屋久 線	1961	2022	塩害による激しい 劣化が進行して いる。	全面通行止	撤去中
鹿児島県	みなとはし 湊 橋	伊関国上西 之表港線	1976	2019	主桁 PC 鋼線及 び鉄筋の破断	通行規制(片 側規制)	架替中

○ 市区町村(487 橋)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
函館市 (北海道)	ひうらがわほどうきょう 日浦川歩道橋	市道日浦3 号線	1985	2023	主桁、支承等の 腐食など	単管等の設置 (全面通行止)	未定
函館市 (北海道)	サイロ橋 ^{ばし}	市道尾札部 中央1号線	1938	2023	主桁ひびわれ、 洗掘など	侵入防止柵の 設置措置(全 面通行止)	未定
函館市 (北海道)	とどめき橋 ^{ばし}	市道尾札部 中央1号線	1970	2023	下部ひびわれ、 支承破断など	侵入防止柵の 設置措置(全 面通行止)	未定
釧路市 (北海道)	しじみ ^{ばし} 蜆 橋	市道風連別 馬主来線	1980	2015 2020	主桁の断面欠損	全面通行止	廃止予定
釧路市 (北海道)	ポンチノミ橋 ^{ばし}	市道風連別 馬主来線	1980	2014 2019	主桁の破断・腐 食、床版の抜け 落ち、橋台の変 形・腐食	全面通行止	廃止予定
釧路市 (北海道)	ちのみ ^{ばし} 乳呑橋	市道風連別 馬主来線	1958	2014 2019	防護柵の破断、 橋台の鉄筋露出	全面通行止	廃止予定
夕張市 (北海道)	だいこく ^{ばし} 大黒橋	市道登川住 宅線	1960	2014 2023	主桁・下部構造・ 地覆 鉄筋露出	全面通行止	未定
留萌市 (北海道)	おおおだ ぐうどお ぐう 大和田6号通り1号 橋 ^{ばし}	市道大和田 6号通り	1968	2022	下部工の洗掘	通行止による 通行規制を実 施	未定
苫小牧市 (北海道)	ゆうふつ ぐうきょう 勇払1号橋	市道沼ノ端 西2条線	1953	2020	主桁のうき・剥離・ 鉄筋露出	全面通行止	修繕中
稚内市 (北海道)	みなとほどうきょう 港歩道橋	市道港歩道 橋通	1978	2021	防護柵基部の腐 食(断面欠損)	防護柵へのあ て板(通行可 能)	修繕中
稚内市 (北海道)	みなとごせんきょう 港跨線橋	市道港3条 通	1964	2021	支承の沓座面の 損傷による落橋 の危険性	全面通行止	修繕中
紋別市 (北海道)	たから ^{ばし} 宝 橋	市道中立牛 上古丹線	1965	2018 2023	橋台の洗掘	全面通行止	未定
紋別市 (北海道)	せん ^{ばし} 4線橋	市道渚滑 4 線	1978	2023	主桁等の腐食	全面通行止	未定
士別市 (北海道)	めぐみ ^{ばし} 恵 橋	市道学田不 動公園線	1980	2017	床板(木材)の抜 け落ち	全面通行止	撤去中
名寄市 (北海道)	せん ^{ばし} 18線橋	市道18線	1960	2017 2021	床板ひび割れ、 橋脚のコンクリ ート剥落、鉄筋露出	全面通行止	修繕中
三笠市 (北海道)	きゅうかつら ^{ばし} 旧 桂 橋	市道桂沢6 号線	1952	2017 2022	主桁(鋼材)腐 食、床板の抜け 落ち、鉄筋露出、 支承腐食	全面通行止	撤去予定
砂川市 (北海道)	やまもと ^{ばし} 山本橋	市道川沿通 り	1968	2022	主桁腐食、横桁 腐食、床板変形・ 欠損、支承腐食	通行止	撤去予定
富良野市 (北海道)	ひさかり ^{ばし} 日盛橋	市道山部西 1号線	1983	2022	下部構造の洗掘	上部工仮受材 を設置し 2023 月 10 月頃から 交通解放	架替予定
当別町 (北海道)	たんこう さわ ^{ばし} 炭鉱の沢橋	町道炭鉱の 沢線	1976	2017 2022	杭基礎の折損	全面通行止	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
松前町 (北海道)	おおさわ ごうきょう 大沢1号橋	町道松前温 泉通り線	1984	2019	下部工洗堀による橋台橋脚の沈下・移動・傾斜(損傷)	全面通行止	撤去予定
木古内町 (北海道)	さめがわじんどうきょう 佐女川人道橋	町道木古内 2線	1975	2021	上部工及び支承損傷	通行規制(車両)	撤去予定
木古内町 (北海道)	さめがわこせんじんどうきょう 佐女川跨線人道橋	町道木古内 2線	1987	2022	上部工及び支承損傷	全面通行止	撤去予定
上川町 (北海道)	メノコ橋	町道清川陸 万2号線	1981	2022	主桁が経年劣化により脱落し、路面の一部が抜け落ち	全面通行止	修繕予定
上川町 (北海道)	やまきばし 八巻橋	町道東雲朝 日線	1965	2022	下部工前面の護岸部に洗堀による損傷が見られ、護岸背面の土砂の吸出しがある	全面通行止	修繕予定
音威子府村 (北海道)	なかじまはし 中島橋	村道中島公 園線	1974	2020	主桁、横桁の変形・床版の欠損	全面通行止	修繕中
中川町 (北海道)	はしもとばし 橋本橋	町道中川5 号線	1979	2017 2022	橋台洗堀による傾斜	チェーンゲートによる通行止措置	撤去予定
小平町 (北海道)	うんせいばし 運生橋	町道親和線	1972	2018 2023	床板の腐食	全面通行止	修繕中
小平町 (北海道)	かねじりばし 金尻橋	町道川上本 流線	1967	2018 2023	橋台の洗堀	全面通行止	修繕予定
小平町 (北海道)	せんすいばし 潜水橋	町道川上本 流線	1962	2018 2023	橋台の洗堀	全面通行止	修繕中
初山別村 (北海道)	くれないばし 紅橋	村道風連別 南線	1974	2017 2023	下部構造の洗堀	全面通行止	撤去予定
初山別村 (北海道)	うたこしべつばし 歌越別橋	村道共成線	1963	2017 2023	主桁の腐食	全面通行止	撤去予定
浜頓別町 (北海道)	クッチャロ大橋	町道浜頓別 自転車道1 号線	1917	2017 2022	主桁、対傾構、支承に板厚減少を伴う著しい腐食、床版のひび割れ、下部工の洗堀	短管パイプによる出入り口封鎖	未定
遠軽町 (北海道)	だいこくさわ ごうきょう 大黒沢6号橋	町道大黒沢 線	1964	2021	主桁のひびわれ、欠損	全面通行止	未定
西興部村 (北海道)	ちゅうこうはし 中興橋	村道中興部 六興線道路	1935	2019	橋脚底版下面の露出、横桁のひび割れ、橋台ウイングの断裂、防護柵の著しい欠損・破断	全面通行止	撤去予定
厚真町 (北海道)	かんこうはし 官光橋	町道軽舞豊 丘線	1971	2021	パイルベント橋台の基礎杭のせん断	仮設材による落橋防止措置(通行可能)	架替中
厚真町 (北海道)	おくたがはし 奥高橋	町道高丘本 線	1967	2021	桁端部の欠損 橋台下部の洗堀	全面通行止	架替予定
新冠町 (北海道)	こうようばし 紅葉橋	町道東川2 号線	1965	2017 2022	橋台の傾斜	全面通行止	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
新ひだか町 (北海道)	くどう ごうきょう 久遠3号橋	町道歌笛久 遠沢線	1978	2021	主桁の腐食、床 版に破断・変形・ 抜落ち、舗装の わだち掘れ	全面通行止	未定
音更町 (北海道)	きょうしんばし 共進橋	町道中音更 23号	1969	2019	支承の機能障害	応急補修(通 行可能)	修繕中
鹿追町 (北海道)	はちごうばし 八号橋	奥然別峡線	1965	2017 2022	橋座の剥離・鉄 筋露出	全面通行止	未定
鹿追町 (北海道)	ねむのきばし 合歓木橋	奥然別峡線	1973	2022	橋台背面の洗堀	全面通行止	未定
新得町 (北海道)	たけうちばし 竹内橋	町道北新得 東線	1990	2018 2021	落橋	全面通行止	廃止予定
弟子屈町 (北海道)	みのりばし 美農里橋	町道美農里 橋線	1962	2022	床版の腐食、橋 面木材の腐朽	平成23年度よ り通行止	廃止予定
八戸市 (青森県)	かねはまこせんきょう 金浜跨線橋	大渡金浜線	1968	2020	主桁下面のはく 離鉄筋露出	仮設材を設置 し車線規制	架替中
十和田市 (青森県)	とりやづく ごうばし 鳥谷附2号橋	鳥谷附有備 線	1950	2022	下部工の剥離、 鉄筋露出	全面通行止	修繕予定
十和田市 (青森県)	ざるくらばし 猿倉橋	猿倉線	不明	2018 2023	主桁、床版の剥 離や鉄筋露出、 下部工のひび割 れ、断面欠損	通行止、仮橋 設置	架替中
三沢市 (青森県)	あまがもり ごうばし 天ヶ森1号橋	市道天ヶ森 1号線	1977	2021	コンクリート部材 にはく離・鉄筋露 出、支承に変形・ 欠損	車 両 通 行 止 (歩行者通行 可)	未定
むつ市 (青森県)	かじょうばし 霞城橋	野平2号線	1970	2021	主桁、床版にはく 離・鉄筋露出、橋 台胸壁にひびわ れ	バリケード設 置による全線 通行止	修繕中
つがる市 (青森県)	れんげだばし 蓮花田橋	丸山蓮花田 線	1978	2021	鋼管杭の腐食に よる落橋	バリケード及 びガードマン 配置	架替中
今別町 (青森県)	ほりかえばし 堀替橋	堀替線	1970	2022	主桁及び支柱の 腐食、橋脚のはく 離・ひび割れ	全面通行止	修繕予定
今別町 (青森県)	おおかわだいゆしらかわばし 大川平由四良橋	由四良川線	1970	2022	主桁及び支柱の 腐食、床版のはく 離・鉄筋露出	全面通行止	修繕予定
大鰐町 (青森県)	くまざわばし 熊沢橋	虹貝清川線	1963	2021	床 板 の 鉄 筋 破 断、損傷	通行止	架替予定
大鰐町 (青森県)	もりやまおほし 森山大橋	鯖石森山線	1974	2021	支承サイドブロ ックの損傷	サイドブロック 機能を補完す るため、仮設 材の設置	修繕予定
東北町 (青森県)	こがわらどおりこせんきょう 小川原通跨線橋	町道 535 号 線	1967	2020	主桁の腐食、板 厚減少、断面欠 損	バリケード等 の設置	架替中
五戸町 (青森県)	たかであらばし 高寺橋	町道豊間内 地藏平線	1978	2023	床版のはく離・鉄 筋露出(塩害・中 性化)	片側規制	修繕予定
田子町 (青森県)	ごうきょう 1号橋	新田黒森線	1986	2020	コンクリート部材 のはく離・鉄筋露 出、遊離石灰	通行規制(2t)	架替中

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
田子町 (青森県)	ごうきよう 2号橋	新田黒森線	1986	2020	コンクリート部材 のはく離・鉄筋露 出、遊離石灰	通行規制(2t)	架替中
大船渡市 (岩手県)	しろきさわばし 白木沢橋	市道白木沢 橋線	1960	2021	橋台背面が陥没	全面通行止	未定
久慈市 (岩手県)	とめたきばし 止滝橋	市道沼袋線	1969	2020	床版に剥離・鉄 筋露出、格子状 ひびわれ、下部 工の断面欠損	全面通行止	撤去中
一関市 (岩手県)	しもなかやま ごうきよう 下中山1号橋	市道下曲田 16号線	不明	2022	主桁の欠損、床 板の流出、舗装 の抜け落ち	全面通行止	未定
二戸市 (岩手県)	せいがんばし 青岩橋	市道青岩線	1935	2018	主桁支点部・鋼 製橋脚基部の断 面欠損	仮設材を設置 (通行止)	撤去予定
奥州市 (岩手県)	あまつちばし 天土橋	市道天土線	1954	2014 2019	橋台の変形欠 損、橋脚の洗掘	全面通行止	撤去予定
奥州市 (岩手県)	しももがさきはし 下鴨ヶ崎橋	市道梨ノ木 線	1976	2014 2019	床版のひびわ れ、剥離、鉄筋露 出	全面通行止	撤去予定
気仙沼市 (宮城県)	なつやきはし 夏焼橋	市道上東側 根上西側線	不明	2020	木橋上部の腐朽	全面通行止	撤去予定
名取市 (宮城県)	ごしゃばし 五社橋	市道笠島川 内線	1971	2021	主桁の剥離・鉄 筋露出	仮設迂回路を 設け全面通行 止	廃止予定
湯沢市 (秋田県)	かわいばし 川井橋	市道中山・ 小沢ヶ沢線	1966	2014 2019 2023	主桁、横桁、支 承の腐食、床版下 面、橋台、橋脚の ひびわれ	全面通行止	撤去予定
湯沢市 (秋田県)	たきのほらばし 滝ノ原橋	市道小安沢 滝ノ原線	1963	2023	主桁の剥離、橋 脚の剥離・鉄筋 露出、支承の腐 食	全面通行止	修繕予定
湯沢市 (秋田県)	おやすばし 小安橋	市道寒沢線	1962	2014 2019 2023	主桁、横桁、支 承の腐食、床版、橋 台のひびわれ	全面通行止	撤去予定
湯沢市 (秋田県)	たかまえばし 高前橋	市道高屋敷 平館線	1963	2023	橋台、橋脚のひ びわれ	全面通行止	撤去予定
鹿角市 (秋田県)	さかいばし 界橋	川原館線	1968	2022	橋台の損傷、橋 台基礎の洗堀	全面通行止	架替中
鹿角市 (秋田県)	うしみちし ばし 丑道下夕橋	長野大湯線	不明	2022	橋脚基礎の洗堀	全面通行止	架替中
鹿角市 (秋田県)	ぬまたいばし 沼平橋	高崩2号線	1980	2023	橋脚の傾き	全面通行止及 び仮設橋設置	架替予定
鹿角市 (秋田県)	きへいたいばし 喜兵平橋	喜兵平線	2004	2023	橋台の損傷	全面通行止	修繕予定
由利本荘市 (秋田県)	あらまち ごうきよう 荒町2号橋	市道荒町 4 号線	1941	2020	橋台ひびわれ、 欠損、床版の剥 離、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
にかほ市 (秋田県)	ごうばし 903号橋	背中当・前 田表線	1987	2023	鋼橋全体の腐食	全面通行止	未定
小坂町 (秋田県)	かくらばし 鹿倉橋	鹿倉線	1968	2023	主桁鋼材の露 出、側面の剥離 損傷	代替路線完成 により廃止予 定	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
上小阿仁村 (秋田県)	なかやまほしほうきょう 中山橋歩道橋	福館五反沢 線	1979	2021	道路橋の機能に 支障、橋台に広 範囲の洗掘	全面通行止	修繕予定
三種町 (秋田県)	たきのさわ ごうきょう 滝ノ沢2号橋	猿田増浦線	不明	2023	背面土砂の崩落 により落橋	全面通行止	未定
五城目町 (秋田県)	こいじおおほし 恋地大橋	町道入通線	1987	2023	主桁の異常なた わみ	仮設材を設置 し片側通行	修繕予定
五城目町 (秋田県)	こいじばし 恋地橋	町道恋地線	1958	2022	主桁・横桁の腐 食、防食機能の 劣化、橋台の剥 離・欠損	全面通行止	撤去予定
五城目町 (秋田県)	おおいだいらし 大台橋	町道大台線	1969	2018 2023	主桁の著しい鉄 筋露出	車両通行止	未定
尾花沢市 (山形県)	3-278-1号橋 ごうきょう	市道Ⅲ-278 号線	1976	2021	主桁のたわみ	全面通行止	撤去中
西川町 (山形県)	おおいりまがわばし 大入間川橋	月岡入間線	1965	2019	橋脚の洗堀によ る沈下・傾斜	全面通行止	架替中
鮭川村 (山形県)	ふかいざわ ごうきょう 深沢1号橋	木の根坂・ 深沢線	1964	2021	主桁の変形、床 版の変形移動	全面通行止	未定
川西町 (山形県)	さかみずばし 坂水橋	道祖神坂水 橋線	1968	2016 2021	支承本体の傾斜 橋脚の剥離・鉄 筋露出	全面通行止	撤去予定
遊佐町 (山形県)	さかえばし 栄橋	(他)白木宮 海線	1956	2016 2021	主桁の腐食、欠 損、パイルベント橋 脚の損傷	全面通行止	撤去中
いわき市 (福島県)	ずきんだいらし 頭巾平橋	市道頭巾 平・長沢	不明	2017 2022	橋脚柱部に根本 接合部の剥離に よる 10° 程度の 傾き	通行規制(車 両)	未定
相馬市 (福島県)	2593-1	市道中部 593号線	不明	2023	下部工のひびわ れ	全面通行止	修繕予定
南相馬市 (福島県)	ひがし ごうせん ごうはし 東18号線1号橋	市道東18 号線	1973	2022	下部構造の変 形・欠損、洗堀、 ひびわれ、漏水・ 遊離石灰	全面通行止	未定
川俣町 (福島県)	とんやまえはし 問屋前橋	町道問屋・ 津間線	1970	2016 2020	床版下面のひび 割れ及びうき、露 出鉄筋の著しい 腐食、主桁全体 の腐食、桁端部 の下フランジの残 存板厚の減少、 支承部のアンカ ーボルトの著しい 腐食	全面通行止	未定
金山町 (福島県)	おきたはし 沖田橋	町道湯ノ上 線	1935	2016 2021	床版の断面欠 損、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
双葉町 (福島県)	のだけうち ごうばし 野竹内3号橋	町道野竹内 2号線	1965	2018	橋台の移動・傾 斜、背面の土砂 の沈下洗掘、ひ びわれ	全面通行止	未定
双葉町 (福島県)	ふかやこせんじんどうきょう 深谷跨線人道橋	町道深谷・ こ線人道橋 線	1975	2021	桁のズレ	全面通行止	撤去中
浪江町 (福島県)	5084-1号橋 ごうばし	持平小和田 線	不明	2020	床版の抜け落ち	全面通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
浪江町 (福島県)	6241-1号橋 ^{ごうばし}	近江前大高 倉線	不明	2021	橋台の洗掘及び 沈下・移動・傾斜	全面通行止	修繕予定
浪江町 (福島県)	7017-1号橋 ^{ごうばし}	重作下亀下 線	不明	2021	主桁木材の落下	全面通行止	未定
浪江町 (福島県)	7173-1号橋 ^{ごうばし}	西小萱線	不明	2022	変形崩落	全面通行止	未定
浪江町 (福島県)	7173-2号橋 ^{ごうばし}	西小萱線	不明	2022	崩壊欠損	全面通行止	未定
土浦市 (茨城県)	新川6号橋 ^{しんかわ ごうばし}	立田 2 号線	不明	2020	主桁・床版の腐 食	床版補修工	架替中
土浦市 (茨城県)	備前川 19 号橋 ^{びぜんがわ ごうばし}	下高津二丁 目 6 号線	不明	2018	主桁・橋脚・橋台 に腐食	仮設材を設置 し全面通行止	未定
石岡市 (茨城県)	18050	市道 A6747 号線	不明	2020	主桁の腐食	車両通行止	未定
石岡市 (茨城県)	4323-1号橋 ^{ごうばし}	市道 B4323 号線	不明	2021	主桁端部にひび われ	仮設材を設置 し全面通行止	未定
結城市 (茨城県)	かみわだばし ^{上和田橋}	市 道 5075 号線	不明	2016 2023	主桁、横桁の剥 離、腐食による断 面欠損・鉄筋露 出、下部構造の ひびわれ	全面通行止	未定
龍ヶ崎市 (茨城県)	4-25号橋 ^{ごうきょう}	市道第 4-96 号線	不明	2022	主桁の引張荷重 を担う鉄筋の破 断	全面通行止	架替予定
龍ヶ崎市 (茨城県)	4-33号橋 ^{ごうきょう}	市 道 第 4- 106 号線	不明	2022	上 部 構 造 の 孔 食、板厚減少を 伴う腐食	全面通行止	撤去予定
龍ヶ崎市 (茨城県)	5-44号橋 ^{ごうきょう}	市 道 第 5- 292 号線	不明	2021	基礎の沈下、路 面の傾斜	全面通行止	未定
常陸太田市 (茨城県)	新川戸橋 ^{しんかわどばし}	市 道 2213 号線	1974	2023	上部工、下部工 の著しい腐朽	全面通行止	未定
高萩市 (茨城県)	菖蒲橋 ^{しょうぶばし}	市道 105 号 線	不明	2017	主桁の断面欠損	全面通行止	撤去予定
高萩市 (茨城県)	無名橋1060 ^{むめいきょう}	市 道 1026 号線	不明		主桁・下部工・橋 面のひび割れ	全面通行止、 バリケード設 置	修繕予定
北茨城市 (茨城県)	無名橋 5 ^{むめいきょう}	市 道 1320 号線	不明	2018	主桁・床版の腐 食	仮設材を設置 し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	無名橋 59 ^{むめいきょう}	市 道 2051 号線	不明	2018	橋台A1のひび割 れ・傾斜	仮設材を設置 し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	無名橋 135 ^{むめいきょう}	市 道 6014 号線	不明	2018	主桁・支承の腐 食	仮設材を設置 し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	無名橋 142 ^{むめいきょう}	市 道 6039 号線	不明	2018	主桁の腐食によ る断面欠損	仮設材を設置 し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	無名橋 147 ^{むめいきょう}	市 道 6054 号線	不明	2018	床版の腐食	仮設材を設置 し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	無名橋 149 ^{むめいきょう}	市 道 6082 号線	不明	2018	床版の腐食	仮設材を設置 し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	無名橋 155 ^{むめいきょう}	市 道 6093 号線	不明	2018	主桁・床版の腐 食	仮設材を設置 し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	無名橋 172 ^{むめいきょう}	市 道 7001 号線	不明	2018	床版の腐食	仮設材を設置 し全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	無名橋 173 ^{むめいきょう}	市 道 7002 号線	不明	2018	床版の腐食	仮設材を設置 し全面通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
取手市 (茨城県)	216号橋 ごうきょう	市道 2-5273 号線	不明	2017	A2 橋台の下部工 の傾斜、主桁の 傾斜	全面通行止	撤去予定
つくば市 (茨城県)	32262-1号橋 ごうばし	3-2262号 線	1964	2018 2022	P1 橋脚の腐食・ 断面欠損	仮設材を設置 し全面通行止	架替予定
つくば市 (茨城県)	吾妻橋 あずまばし	4-2231号 線	1976	2015 2020	橋台の ASR と考 えられる亀甲状の ひびわれ	全面通行止	修繕予定
つくば市 (茨城県)	15620-1号橋 ごうばし	1-5620号 線	1968	2017 2019	主桁、横桁、デッ キプレート床版の 腐食による欠損	敷鉄板の設置 (通行可能)	修繕中
つくば市 (茨城県)	53032-1号橋 ごうばし	5-3032号 線	1962	2018 2023	橋台に杭の欠損 及び沈下	全面通行止	架替予定
つくば市 (茨城県)	53312-1号橋 ごうばし	5-3312号 線	1978	2018	P1, P2橋脚の洗 掘、基礎木杭の 露出	仮設材を設置 し全面通行止	架替予定
常陸大宮市 (茨城県)	10695-1号橋 ごうばし	市道 10695 号線	不明	2021	主桁・床板の腐 食により破損(木 橋)	全面通行止	撤去予定
常陸大宮市 (茨城県)	辰目沢橋 たつめさわはし	市道 30011 号線	不明	2022	主桁・床板の腐 食による破損(単 純鋼 H 型橋・床 板は木材)	全面通行止	撤去予定
常陸大宮市 (茨城県)	五目板橋 ごもくいたはし	市道 30363 号線	不明	2022	主桁・床板の腐 食による破損(木 橋)	全面通行止	撤去予定
常陸大宮市 (茨城県)	山ノ神橋 やま かみはし	市道 30102 号線	不明	2022	主桁・床板の腐 食による破損(木 橋)	全面通行止	撤去予定
稲敷市 (茨城県)	104号橋 ごうきょう	市道(新) 1223 号線	不明	2016	下部工、支承の 腐食	全面通行止	撤去予定
城里町 (茨城県)	1-6号橋 ごうきょう	町道 1185 号線	不明	2022	下部工の移動	全面通行止看 板設置及び防 護ロープ設置	撤去中
城里町 (茨城県)	1-3号橋 ごうきょう	町道 1222 号線	1985	2018 2023	床版の抜け落ち	仮設材を設置 し全面通行止	撤去中
城里町 (茨城県)	1-26	町道 1462 号線	不明	2018 2023	橋全体の著しい 腐朽	仮設材を設置 し全面通行止	撤去中
城里町 (茨城県)	3-18	町道 3239 号線	不明	2018 2023	橋全体の著しい 腐朽	仮設材を設置 し全面通行止	撤去中
城里町 (茨城県)	1068	町道 8-09 99 号線	不明	2018 2023	主桁、床版の著 しい腐朽	仮設材を設置 し全面通行止	撤去中
城里町 (茨城県)	1066	町道 8-11 00 号線	不明	2018 2023	主桁全体の腐 朽、一部崩落	仮設材を設置 し全面通行止	撤去中
大子町 (茨城県)	5021号橋 ごうきょう (後沢橋) うしろさわばし	町道 5010 号線	不明	2019	P1 橋脚の支柱の 欠落、橋脚付近 の橋面の沈下	仮設材を設置 し全面通行止	未定
阿見町 (茨城県)	福田上橋 ふくだうえはし	町道 6078 号線	1955	2023	橋台の著しい洗 掘による沈下に 伴う落橋	全面通行止	撤去予定
阿見町 (茨城県)	6006橋 はし	町道 6056 号線	1970	2023	橋台の沈下によ る桁の遊間異常	全面通行止	撤去予定
栃木市 (栃木県)	牛落橋 うしおちばし	市道 14019 号線	1976	2018	橋脚基礎部の洗 掘沈下に伴う床 版の段差	迂回路設置 後、通行止	架替中

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
茂木町 (栃木県)	とこ ^{さわばし} 床の沢橋	町道床の沢 放線	1969	2020	橋脚に洗堀、剥 離・鉄筋露出	通行止	撤去予定
茂木町 (栃木県)	おおはし 大橋	町道山崎元 古沢線	1963	2020	A1 橋台の胸壁と 縦壁の分離、胸 壁の移動	通行止	撤去予定
前橋市 (群馬県)	かすかわ ^{ごうきょう} 粕川10号橋 さはし ささら橋	市 道 21- 4331 号	1994	2019	主桁の腐食によ る断面欠損、横 桁・横構の断面 欠損・破断	全面通行止	架替中
前橋市 (群馬県)	えだはし 江田橋	市道 16-017 号	不明	2019	主桁の歪み、橋 脚の減肉	全面通行止	撤去予定
下仁田町 (群馬県)	なかがいばし 中貝橋	町 道 3456 号線	1966	2023	伸縮装置の劣化 による目地材の 脱落及び漏水に よる主桁全面の 腐食	バリケードにて 通行止	修繕予定
中之条町 (群馬県)	あづまばし 吾嬭橋	町道小雨生 須線	1962	2020	縦桁の著しい腐 朽	バリケードによ る完全封鎖	未定
東吾妻町 (群馬県)	3-12号橋 ^{ごうきょう} (なるせはし 鳴瀬橋)	町 道 3006 号線	1935	2020	主桁のひびわれ 等上部構造全体 の顕著な損傷	仮設ガードレ ール設置(全 面通行止)	撤去予定
みなかみ町 (群馬県)	たからがわばし 宝川橋	町 道 藤 原 102 号線	1958	2018	橋脚、橋台の剥 離・鉄筋露出によ る断面減少、支 承の機能障害	全面通行止	撤去中
川越市 (埼玉県)	だい ^{ごうきょう} 第25号橋	市 道 3035 号線	不明	2019	主桁、床版、路面 の腐食、橋台下 部工の傾斜	仮設材の設置 (全面通行止)	未定
川口市 (埼玉県)	おにざわばし 鬼澤橋	市道幹線第 28 号線	1958	2022 2023	橋台の傾斜	根固め工等を 施工	架替予定
行田市 (埼玉県)	9-27号橋 ^{ごうきょう}	市道第 9.3- 89 号線	1933	2020	橋脚の沈下・移 動・傾斜	仮設材を設置 し全面通行止	未定
行田市 (埼玉県)	3-9号橋 ^{ごうきょう}	市道第 3.3- 193 号線	不明	2021	橋脚の鉄筋腐食 及び破断	仮設材を設置 し全面通行止	修繕予定
行田市 (埼玉県)	5-21号橋 ^{ごうきょう}	市道第 5.3- 330 号線	不明	2021	主桁・支承部の 腐食、破断	仮設材を設置 し全面通行止	修繕予定
行田市 (埼玉県)	7-30号橋 ^{ごうきょう}	市道第 7.3- 49 号線	不明	2021	床版の剥離・鉄筋 露出・ひびわれ、 鉄筋の腐食・破 断認	仮設材を設置 し全面通行止	修繕予定
加須市 (埼玉県)	か ^{ごうきょう} 加_4018号橋	市 道 4009 号線	1940	2016 2020	橋脚の鉄筋露出	全面通行止	未定
加須市 (埼玉県)	か ^{ごうきょう} 加_6048号橋	市 道 6313 号線	不明	2016 2022	橋台の欠損	全面通行止	未定
加須市 (埼玉県)	おお ^{ろっけんばし} 大_六軒橋	市道大 2122 号線	不明	2017 2022	主桁の破断	全面通行止	未定
加須市 (埼玉県)	お おとね ^{ごうきょう} 大利根112号橋	市道大 2040 号線	不明	2018 2023	橋台の傾斜	全面通行止	未定
加須市 (埼玉県)	だい ^{ごうきょう} 大_130号橋	市道大 2117 号線	不明	2016 2020	床版の鉄筋露出	全面通行止	未定
本庄市 (埼玉県)	ひかげ ^{ごうきょう} 日影3号橋	市道 4-117 号線	不明	2022	主桁のひびわれ	バリケードにて 通行止	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	まえこうち ^{ごうきょう} 前耕地1号橋	市道 4-177 号線	不明	2022	主桁の腐食	バリケードにて 通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
本庄市 (埼玉県)	うねすぎ とうきょう 畝杉1号橋	市道 4-335 号線	不明	2022	主桁のひびわれ	バリケードにて 通行止	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	さわむこうばし 沢向橋	市道 4-431 号線	1969	2022	主桁のひびわれ	バリケードにて 通行止	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	もり まえ とうきょう 森の前2号橋	市道 4-434 号線	不明	2022	主桁のひびわれ	バリケードにて 通行止	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	まえ こうち とうきょう 前耕地2号橋	市道 4-174 号線	不明	2022	主桁の腐食	バリケードにて 通行止	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	かわむこう とうきょう 川向1号橋	市道 4-202 号線	不明	2022	主桁の腐食	バリケードにて 通行止	撤去予定
鴻巣市 (埼玉県)	とうせん とうきょう 2249号線1号橋	市道川 2249 号線	不明	2022	ひびわれ、舗装 の異常	仮設材を設置 して、通行止	未定
鴻巣市 (埼玉県)	とうせん とうきょう 2272号線1号橋	市道川 2272 号線	不明	2022	ひびわれ、剥離・ 鉄筋露出	仮設材を設置 して、通行止	未定
朝霞市 (埼玉県)	はまさきりつきょう 浜崎陸橋	市道 2168 号線	1971	2022	防護柵の広範囲 にうき	地覆の剥落が 確認できたた め、緊急的な 叩落し及び防 錆を実施し た。	修繕中
坂戸市 (埼玉県)	はちまんばし 八幡橋	市道 1449 号線	2007	2022	橋脚などの木材 腐朽	全面通行止	撤去中
伊奈町 (埼玉県)	こかいとばし 小貝戸橋	町道第 2185 号線	不明	2018	主桁の腐食・床 版のひび割れ等	全面通行止	修繕中
神川町 (埼玉県)	12154-1 とうはし 号橋	町道 12154 号線	不明	2017	主桁、横桁の腐 朽	全面通行止	撤去中
松伏町 (埼玉県)	まつぶしだい ほどきょう 松伏第2歩道橋	町道2-19 1号線	1972	2022	横桁・支承等の 鋼材に著しい腐 食	通行止	撤去予定
市原市 (千葉県)	かんたくはし 干拓橋	市道イ-220 号線	1957	2020	橋脚の剥離・鉄 筋露出、基礎の 沈下・移動、傾斜 など	全面通行止	撤去予定
市原市 (千葉県)	かわばたはし 川端橋	市道 6178 号線	1957	2023	下部工洗堀によ る橋台の滑動、 変形欠損	通行止規制	架替予定
君津市 (千葉県)	おつばらばし 追原橋	市道黄和田 畑、追原線	1971	2018 2023	歩行者用の木橋 の吊橋で塔柱の 腐食による機能 不全	バリケード設 置(全面通行 止)	廃止予定
君津市 (千葉県)	いずみばし 泉橋	市道六手、 玄蕃松線	1970	2018 2023	鋼桁の著しい腐 食による断面欠 損・変形、上部工 の沈降	バリケード設 置(全面通行 止)	撤去予定
君津市 (千葉県)	な のこせんきょう 名殿跨線橋	市道名殿、 音坊谷線	1936	2022	主桁の腐食、横 桁の破断等	バリケード設 置(全面通行 止)	撤去予定
君津市 (千葉県)	ながうらばし 長浦橋	市道奥米、 大鹿倉線	1955	2018 2023	歩行者用の吊橋 で鋼桁の腐食に よる機能不全	バリケード設 置(全面通行 止)	廃止予定
君津市 (千葉県)	まさき とうはし 正木1号橋	市道正木・ 奥米線	1932	2018 2023	RC床版や下部 構造に損傷	バリケード設 置(全面通行 止)	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
南房総市 (千葉県)	おおはんつはし 大半津橋	市道深名1 8号線	2001	2023	主桁、床板、橋 脚、支承部の腐 朽	通行止	廃止中
いすみ市 (千葉県)	おいけおおはし 小池大橋	市 道 0130 号線	1975	2017 2022	ウェブの孔食	仮設材の設置 (通 行 規 制 (10t))	修繕中
酒々井町 (千葉県)	いづみはし 飯積橋	町 道 3B- 162 号線	不明	2016 2021	主桁・支障部等 の腐食	主桁仮受け材 の設置(通行 可能)	撤去中
八王子市 (東京都)	むめい ごうはし 無名20号橋	恩方8号線	不明	2023	主 桁 の 鉄 筋 露 出、剥離	バリケードを設 置し通行止	撤去予定
あきる野市 (東京都)	あじろはし 網代橋	市 道 I -11 号線	1933	2021	P2 橋脚の洗掘、 沈下・移動・傾 斜、主桁の浮上	網代橋前後の 交差点まで全 面通行止	架替予定
檜原村 (東京都)	したなかきとばし 下中里橋	村道第53-1 号中里線	不明	2022	橋 台 の ひびわ れ、遊離石灰、崩 落	落橋のため通 行不能	未定
三浦市 (神奈川県)	ごうきょう 29号橋	市 道 1108 号線	不明	2018	主桁、横桁、床版 及び支承の腐食	補修・補強	架替中
長岡市 (新潟県)	むめいはし 無名橋A1439	市 道 二 和 125 号線	2010	2021	機能支障	仮設材を設置 し通行止	撤去予定
長岡市 (新潟県)	むめいきょう ごうきょう 無名橋1号橋 (A70202)(A1914)	市 道 宮 内 202 号線	1952	2022	下 部 構 造 の 変 形、欠損	全面通行止	撤去予定
長岡市 (新潟県)	すずはし 涼橋(C0015)	市 道 越 路 110 号線	1933	2023	床版のひび割れ	全面通行止	撤去予定
柏崎市 (新潟県)	しまだはし 島田橋2	市区町村道 (その他) 柏 崎門出島田 線	1965	2019	橋台の剥離	全面通行止	未定
新発田市 (新潟県)	に の う じ さ ん だ う せ ん 二王子参道線 1 号 きょう 橋	市区町村道 (3 級) 二王 子参道線	不明	2022	主桁の丸太に腐 食による空洞	通行止看板、 単管パイプに よる通行止	撤去予定
小千谷市 (新潟県)	わかみやばし 若宮橋	市区町村道 (その他) 岩 間木1号線	1998	2022	主桁及び床版の 腐朽	バリケードを設 置し全面通行 規制	廃止予定
十日町市 (新潟県)	たぬきさわはし 狸沢橋	市区町村道 (2級) 樽沢 滝沢線	1977	2022	橋梁前後のブロ ック積の基礎部 分の地山が崩落 し、ブロック積が 宙に浮いた状況	バリケード設 置による全面 通行止	修繕中
村上市 (新潟県)	かわしたこはし 川下小橋	市区町村道 (2級) 中小 屋線	不明	2019	主桁の腐食	車両通行止	架替中
村上市 (新潟県)	かわいり ごうはし 川入1号橋	市区町村道 (その他) 河 内14号線	不明	2019	主桁および床版 の腐食	全面通行止	撤去予定
糸魚川市 (新潟県)	おおたにがわだいいちばし 大谷川第一橋	市道上角間 線	不明	2019	床版の腐食	全面通行止	未定
糸魚川市 (新潟県)	あらさわはし 荒沢橋	市道荒沢線	1966	2019	床版の腐食	全面通行止	未定
妙高市 (新潟県)	むめいきょう ごう 無名橋109号	市区町村道 (その他) 上 の山中江沢線	不明	2022	主桁の亀裂・破 断	通行止規制	未定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
妙高市 (新潟県)	すぶんどうばし 寸分道橋	市区町村道 (その他)大 濁寸分道線	不明	2021	機能支障	全面通行止	未定
胎内市 (新潟県)	おおいでばし 大出橋	市区町村道 (その他)富 岡・大出2号 線	不明	2023	床板、支承部の 腐食	保安器具を設 置し通行規制	修繕予定
阿賀町 (新潟県)	おとお ばし 大尾橋	町道(2級) 滝首線	1970	2020	支承の機能障害	バリケードを設 置し全面通行 止	未定
阿賀町 (新潟県)	こ あらい ばし 小荒井橋	町道(その 他)向小荒 線	1968	2020	床版の抜け落 ち、支承部アンカ ーボルトの折損	バリケードを設 置し全面通行 止	未定
関川村 (新潟県)	あらたにざわばし 荒谷沢橋	市区町村道 (その他)九 ヶ谷郷57号 線	1938	2020	主桁の腐食、防 食機能の劣化、 変形・欠損	バリケードを設 置し全面通行 止	撤去予定
富山市 (富山県)	かめいわばし 瓶岩橋	松ノ木横江 線	1972	2018 2023	支承の破損、橋 台のひび割れ	バリケードを設 置し全面通行 止(H27 より)	撤去中
富山市 (富山県)	くりすばし 栗須橋	栗須中山線	1958	2021	橋脚の洗堀、支 承部の剥落・鉄 筋露出	全面通行止	未定
富山市 (富山県)	すなぐらだにばし 砂蔵谷橋	蟹寺加賀沢 線	1972	2017 2021	主桁・対傾構の 変形	全面通行止	撤去予定
魚津市 (富山県)	つきがたばし 月形橋	有山2号線	1966	2017 2022	支承部の腐食、 沈下、移動、傾斜	全面通行止	未定
滑川市 (富山県)	つきがたばし 月形橋	旧県道栗山 月形橋線	1966	2017	支承部の腐食、 沈下、移動、傾斜	全面通行止	未定
砺波市 (富山県)	むめいきょう 無名橋546	前山線	1983	2017 2023	床版(路肩部)の 変形	路肩部通行規 制	修繕中
上市町 (富山県)	はつきんばし 白金橋	折戸・下田 線	1950	2021	ケーブルの腐 食、変形、破損	全面通行止	撤去予定
立山町 (富山県)	むめいきょう 無名橋40	町道下金剛 寺金剛新線	不明	2021	機能支障	仮受け材の設 置(全面通行 止)	架替予定
小松市 (石川県)	さかい ばし 橋	市道江指町 勘定線	1926	2018	主桁の腐食・欠 損	バリケードを設 置し全面通行 止	架替中
小松市 (石川県)	むめいきょう 無名橋7009	市道尾小屋 新丸線	不明	2015	上部工、下部工 の剥離、鉄筋露 出	全面通行止	撤去中
白山市 (石川県)	おぞうおおはし 尾添大橋	中宮尾添線	1973	2017 2023	橋台基礎部の地 盤崩落	バリケードを設 置し全面通行 止(H30 年度よ り)	撤去予定
白山市 (石川県)	ごみじまばし 五味島橋	ダム1号線	1979	2018 2021	主桁の座屈	バリケードを設 置し全面通行 止	撤去中
小浜市 (福井県)	せざかきょう 勢坂橋	市道勢坂線	1955	2018 2023	主桁の剥離・鉄 筋露出	全面通行止	修繕中
池田町 (福井県)	ごうきょう あらたにぐちばし 41号橋_荒谷口橋	月ヶ瀬芋ヶ 平線	1966	2022	橋台躯体中央部 石積みの消失、 路面沈下	2022.5 月より 通行止	架替中

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
山梨市 (山梨県)	ほそいりさわはし 細入沢橋	円川線	1973	2021	木床版に腐朽、 横桁に孔食を伴 う腐食	全面通行止	撤去予定
山梨市 (山梨県)	えんがわはしさんごう 円川橋 3 号	31044 号	1967	2021	縦桁の干割れや 腐朽、木床版の 腐 朽 や 抜 け 落 ち、主ケーブルや ケーブルアンカ ーに腐食	全面通行止	撤去予定
山梨市 (山梨県)	あおざきはし 青笹橋	31052 号線	1969	2021	縦桁・木床版の 腐朽・抜け落ち、 主塔にひびわれ・ 鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
大月市 (山梨県)	あらくらはし 新倉橋	市道新倉橋 線	1971	2019	主要部材の断面 欠損	全面通行止	撤去中
笛吹市 (山梨県)	おおくちやましもに はし 大口山下二の橋	市 道 4478 号線	1961	2023	木橋の主桁、床 版が老朽化して 歩行者が通行で きない状況	通行止看板を 設置して通行 規制	撤去予定
笛吹市 (山梨県)	しもおおくぼはし 下大窪橋	市 道 5149 号線	1967	2023	支承が腐食により 破断しており反力 の支持が不明瞭	巡回による監 視を実施して 段差変状が生 じた場合、通 行規制	修繕予定
笛吹市 (山梨県)	ごうはし 3号橋	市 道 6331 号線	1961	2023	上 部 ・ 下 部 が 老 朽化して歩行者 が通行できない 状況	通行止看板を 設置して通行 規制	撤去予定
甲州市 (山梨県)	ゆのきばし 柚木橋	下柚木 1 号 線	1982	2022	木製の床版と床 組 の 一 部 が 腐 朽、主塔や主ケ ーブルの吊り材 に点錆	全面通行止	撤去予定
身延町 (山梨県)	ふめいきょう 不明橋	設定外町道 (古道)	1951	2023	木床版が抜け落 ち、主桁脱落	廃止	廃止予定
長野市 (長野県)	50085号橋 ごうきょう	市道若穂東 458号線	1970	2017 2022	床板の抜け落ち	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	おかだかわしもはし 岡田川下橋	市道東田沢 通明小線	1930	2021	木床版の抜け落 ち	全面通行止	修繕予定
長野市 (長野県)	しののいきた ごうきょう 篠ノ井北47号橋	市道篠ノ井 北215号線	不明	2020	橋脚の腐朽	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	まごめ ばし 孫女橋	市道信州新 町127号線	1975	2020	橋台転倒および 床版崩落の恐れ あり	全面通行止	修繕予定
長野市 (長野県)	おおかわばし 大川橋1	市道戸隠北 67号線	2000	2020	木床版に腐朽・ 抜け落ち	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	さわじりばし 沢尻橋	市道中条 3 6号線	1978	2017 2022	床板の抜け落ち	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	た いりばし 田ノ入橋	市道中条 7 0号線	1980	2017 2022	木橋全体が腐食	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	うめきあらい ごうきょう 梅木新井1号橋	市道中条 2 96号線	1975	2017 2022	木橋全体の腐食	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	かみくすがわ ごうきょう 上楠川4号橋	市道戸隠北 95号線	1981	2023	下部工洗堀によ る倒壊	車両通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
松本市 (長野県)	むめいばし 無名橋(14134)	市道5533 号線	不明	2022	上部工の広範囲 に鉄筋露出膨張 を伴う剥離・鉄筋 露出	全面通行止	架替予定
松本市 (長野県)	まがねかみばし 馬船上橋(20014)	市道馬船線	1971	2021	空石積み橋台、 支承部が一部崩 壊、床版、舗装に たわみ	車両通行止	未定
松本市 (長野県)	やくばし 矢久橋(20052)	市道召田旧 道1号線	1950	2014 2019	主桁・横桁の剥 離、鉄筋露出、床 版の変色、劣化	車両通行止	未定
松本市 (長野県)	はないけはし 花池橋(20061)	市道花池取 出線	1966	2022	下部構造の洗 掘、主桁、床版の 傾斜	全面通行止	未定
松本市 (長野県)	よどが さわばし 淀ヶ沢橋(20113)	市道淀ヶ沢 支線	1973	2022	主桁の断面欠損 を伴う著しい腐食	車両通行止	架替中
松本市 (長野県)	しまじまだに ごうきよう 島々谷5号橋(300 05)	市道島々5 号線	1965	2014 2019	上部構造の腐 食、下部構造の 変形、欠損、支承 の機能障害	車両通行止	未定
松本市 (長野県)	ゆかわ ごうばし 湯川1号橋(3002 3)	市道沢渡2 号線	1935	2014 2019	上部構造の腐 食、支承の機能 障害	通行規制(4t)	架替中
松本市 (長野県)	ひのきとうげはし 桧峠橋(30028)	市道大野川 1号線	不明	2018 2023	木部材の腐朽、 一部崩落	全面通行止	未定
松本市 (長野県)	さわむらばし 沢村橋(20001)	市道尾ノ入 線	1977	2023	主桁、床版に断 面欠損を伴う著し い腐食、橋台の 洗堀	車両通行止	未定
諏訪市 (長野県)	むめいきよう13 無名橋13	市道48250 号線	不明	2021	防護柵の破損、 下部工の変形・ 欠損	仮受け材の設 置(全面通行 規制)	撤去中
大町市 (長野県)	いちうだ ごうばし 一字田1号橋	市道一字田 1号線	1995	2022	主桁の腐食、断 面欠損	応急修繕工事 実施、徐行、 関係者のみ通 行可、定期的 な外観変状監 視	廃止中
飯山市 (長野県)	2-30ごうきよう 2-30号橋	市道2-39 2号線	1962	2021	橋脚支柱基礎(コ ンクリート)の洗掘	バリケードによ る通行止	未定
佐久市 (長野県)	ごうきよう 911号橋	市道67-053 号線	不明	2020	下部構造の洗 掘、舗装の異常	全面通行止	修繕予定
千曲市 (長野県)	みち ごうせん ごうきよう 道1号線1号橋	市道7-C -041号線	1998	2022	主桁、床版の腐 朽による欠損、橋 梁のたわみ	全面通行止	未定
安曇野市 (長野県)	きしたせん ごうきよう 木下線1号橋	市道明科5 085号線	1970	2016 2021	主桁の腐食、破 断	全面通行止	撤去予定
安曇野市 (長野県)	やしたさわ ごうはし 矢下沢5号橋	市道明科5 143号線	1975	2016 2021	木製床版の抜け 落ち	全面通行止	撤去予定
川上村 (長野県)	つくりおがわ はし 作小川橋	村道5005 号線	1982	2020	橋台の背面土砂 流出・洗掘、取付 道路の流出	架け替え工事 中	架替中
佐久穂町 (長野県)	なかおやさわ ごうはし 中親沢2号橋	町道親沢川 線	1986	2022	木橋全体の腐食	全面通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
立科町 (長野県)	かににはらにごう ばし 蟹原二号橋	町道梨ノ木 旧道線	1961	2020	主桁のひびわれ、支間中央部のたわみ	全面通行止	未定
長和町 (長野県)	いなりばし 稲荷橋	町道稲荷線	1989	2023	大雨による橋脚の流出	全面通行止	撤去予定
下諏訪町 (長野県)	うちやましごう ゆばし 内山洪の湯橋	町道内山洪 の湯線	2002	2022	橋台(蛇籠)の傾斜	全面通行止	架替予定
辰野町 (長野県)	ごうばし 0135号橋	町道1413 号線	1999	2021	落橋	全面通行止	未定
松川町 (長野県)	はし 3-9橋(120)	町道91号 線	不明	2017 2022	橋台の崩落	全面通行止	未定
根羽村 (長野県)	みょうじんばし 明神橋	村道(1級) 幹Ⅰ-5号 線	1954	2016 2022	主桁・下部工のひびわれ、鉄筋露出、うき、漏水遊離石灰	全面通行止	撤去予定
天龍村 (長野県)	ごうきょう 1号橋13	村道滝打川 島線	1965	2022	終点側主桁(枝桁)の腐食が激しい	仮設材を設置して通行帯規制	修繕中
上松町 (長野県)	おのが やばし 小野ヶ谷橋	町道肥沢線	1954	2022	床版に腐朽、抜け落ちが発生	全面通行止	未定
木曽町 (長野県)	こんどうざわばし 近道沢橋	町道黒川線	不明	2021	下部構造が欠損し、洗掘拡大	車輻通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	なかだいらばし 中平橋	町道中平線	不明	2022	落橋	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	あかしおばし 赤塩橋	町道赤シ尾 線	不明	2022	床版の腐朽 下部工の沈下	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	おおさわばし(ふくしま) 大沢橋(福島)	町道大沢線	1972	2017	木橋全体が腐食	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	やくばみなみばし 役場南橋	町道旧役場 横線	不明	2017	床板の抜け落ち	全面通行止	撤去予定
木曽町 (長野県)	ながとりばし はらの 永鳥橋(原野2)	町道永鳥線	1989	2022	主桁・床版の変形・欠損	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	おさわ ごうきょう 小沢3号橋	町道小沢線 (三岳)	不明	2022	主桁・下部工の腐食、床版の腐朽	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	お ば ばやし ごうきょう 尾羽林3号橋	町道尾羽林 2号線	不明	2022	主桁の腐食、床版・下部工の腐朽	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	おさわ ごうきょう 小沢2号橋	町道小沢線 (三岳)	不明	2022	主桁の腐食、床版の腐朽	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	さるはし 猿橋	町道(1級) 西野川線	1958	2022	主桁の鉄筋露出、床版の土砂化	全面通行止	未定
生坂村 (長野県)	いくさかむら ごうばし 生坂村65号橋	村道西498 号線	1974	2022	受台が浮いており、上部工が傾き落橋寸前の状態	全面通行止	廃止予定
生坂村 (長野県)	いくさかむら ごうばし 生坂村66号橋	村道東257 号線	1976	2022	方杖の変形により、橋梁全体が不安定	全面通行止	廃止予定
小谷村 (長野県)	こつかりばし 国境橋	村道湯原北 線	1937	2017 2023	主桁破断、床板、地覆、防護柵の一部変形・欠損	全面通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
小川村 (長野県)	蔵別当橋 ぞうべつとうばし	村道10-1 0号線	不明	2021	橋面の土砂堆積、木主桁に腐朽、上流側の主桁に異常なたわみ	バリケード及び通行止看板を設置し進入規制	廃止予定
小川村 (長野県)	上之平橋 うえのだいへらばし	村道12-9 号線	不明	2021	木床版の欠損や踏み抜き	バリケード及び通行止看板を設置し進入規制	廃止予定
小川村 (長野県)	百瀬奥橋 ももせおくばし	村道32-1 号線	不明	2021	木床版の断面欠損	バリケード及び通行止看板を設置し進入規制	廃止予定
飯綱町 (長野県)	石原橋 いしはらばし	町道M3- 218号線	1975	2022	主桁の腐食による断面欠損及び破断	全面通行止	修繕中
飯綱町 (長野県)	釜淵橋 かまぶちばし	町道釜淵線	1953	2018 2022	基礎部分洗堀、防護柵の著しい損傷	全面通行止	未定
岐阜市 (岐阜県)	(5304)無名橋 むめいきょう	市道 桐谷 線	不明	2023	木橋上部部材の腐朽	全面通行止、腐朽した部材の撤去	未定
高山市 (岐阜県)	徳河橋 とくごうばし	市道德河線	不明	2015 2020	主桁の腐食、橋台の変状	全面通行止	撤去予定
高山市 (岐阜県)	向橋 むかいばし	市道中之宿 向線	1952	2017 2022	吊桁の腐朽、床版の崩落	全面通行止	未定
高山市 (岐阜県)	船渡橋 ふなとはし	市道中洞 2 号線	1952	2015 2020	伸縮装置の脱落、橋台の変状	全面通行止	撤去予定
高山市 (岐阜県)	天狗橋 てんぐはし	市道平湯天 狗橋線	1956	2015 2020	床板、橋脚の鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
高山市 (岐阜県)	日面3号橋 ひおも、ごうはし	市道藤瀬4 号線	不明	2023	橋台下の洗堀	全面通行止	修繕予定
関市 (岐阜県)	鮎登里橋 あゆとりばし	幹 2-3 号 線	1969	2018	主桁が腐食及び断面欠損	全面通行止	架替中
関市 (岐阜県)	保戸島橋 ほとじまばし	6-282 号 線	1937	2018	ゲルバー桁ヒンジ部における吊桁の破断及び受桁の破断	全面通行止	未定
中津川市 (岐阜県)	不動橋 ふどうばし	市道宮の上 下浦線	1958	2022	下部工の洗堀	全面通行止	未定
中津川市 (岐阜県)	本沢橋 ほんさわばし	市道山口 5 号線	不明	2021	丸太の腐食、床版及び舗装の抜け落ち	単管バリケードにて通行止迂回道路の補修	廃止予定
中津川市 (岐阜県)	細ヶ谷橋 ほそがやはし	市道 福岡 377 号線	1956	2023	下部工の洗堀	全面通行止	未定
羽島市 (岐阜県)	須賀2号橋 すか、ごうきょう	市道小荒井 1 丁目 3 号 線	不明	2015 2020	主桁の腐食	通行規制(車両)	撤去予定
可児市 (岐阜県)	第一後田橋 だいいちうろだばし	市道 4062 号線	不明	2022	石積護岸の洗堀	バリケード・フェンスの設置(全面通行止)	架替中
山県市 (岐阜県)	穴洞橋 あなほらばし	市道 51010 号線	1965	2021	下弦材の塗装塗替え、橋脚の詳細調査が必要	通行止	修繕予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
山口市 (岐阜県)	すかめいはし 無名橋	市道 53018 号線	不明	2021	鋼床版の部分取 替え、橋台の石積 みの補修、鋼部材 の塗装塗替え、防 護柵の部分取替 えが必要	通行止	撤去予定
海津市 (岐阜県)	し ず はし 志津橋	海津33169 号線	1968	2022	床 版 の ひ び 割 れ、桁かかり長の 不足、橋台(石積 み)のゆるみ	全面通行止	未定
安八町 (岐阜県)	しんさいがわ ごうきょう 新犀川2号橋	新犀川2号 線	不明	2021	橋脚のパイルベ ント破断	全面通行止	撤去予定
安八町 (岐阜県)	しんさいがわ ごうきょう 新犀川3号橋	新犀川3号 線	不明	2021	橋脚の沈下、洗 堀	全面通行止	撤去予定
揖斐川町 (岐阜県)	おりもとばし 折本橋	町道春日折 本線	1961	2014 2019	主桁・床版の断 面欠損、支承の 腐食・傾斜	全面通行止 (バリケード)	修繕中
揖斐川町 (岐阜県)	うじたにばし 宇治谷橋	町道久瀬宇 治谷線	不明	2021	橋台背面の土砂 流出、主桁及び 床版の剥離・鉄 筋露出	バリケードを設 置し通行止	撤去予定
揖斐川町 (岐阜県)	コウゾバヒラ橋	町道坂内八 草峠線	不明	2021	橋台背面の崩落	バリケードを設 置し通行止	撤去予定
富加町 (岐阜県)	かたまちばし 片町橋	町道加治田 17号線	1969	2022	下部構造の洗掘	全面通行止	未定
白川町 (岐阜県)	おぐらばし 小倉橋	町道小倉線	1983	2020	床版、主桁、横桁 の腐食、橋台の ひびわれ、橋脚 基礎の洗掘	全面通行止	架替中
熱海市 (静岡県)	わだはまはし 和田浜橋	市道都松和 田川線	1962	2021	機能支障	両側バリケー ド設置にて通 行止	架替予定
島田市 (静岡県)	むめいきょう 無名橋583	市道青木田 2号線	1992	2022	主桁の破損脱 落、床版の腐朽、 橋脚のひびわれ	全面通行止	廃止予定
島田市 (静岡県)	おもとぎわし 御源沢下橋	市道御源沢 線	1959	2022	主桁の異常なた わみ	不明	架替予定
焼津市 (静岡県)	しんかわばし 新川橋(00533)	市道水産試 験場新川橋 線	1954	2018	経年劣化による 損傷	ネットフェンス 設置(全面通 行止)	撤去予定
藤枝市 (静岡県)	おおがしはし 大檜橋	市道 8 地区 126 号線	1967	2023	主桁及び胸壁、 橋脚の変形、欠 損	上部工架替	架替中
袋井市 (静岡県)	きたあげはし 北明橋	市道彦島 2 号線	1955	2016	主桁、床版、支 承の腐食	全面通行止	架替予定
東伊豆町 (静岡県)	しらだがわばし 白田川橋	町道稲取片 瀬線	1950	2021	機能支障	全面通行止	架替中
松崎町 (静岡県)	おおひらはし 大平橋	町道大平線	不明	2023	主桁・横桁・床版 の腐食、床版の ひびわれ	全面通行止	未定
西伊豆町 (静岡県)	う ぐ す ばし 宇久須橋	町道柴松ヶ 坂線	1932	2016	主桁の鉄筋露 出、うき	全面通行止	未定
吉田町 (静岡県)	ねんぶつばし 念佛橋	町道塩谷上 川原線	1960	2016 2023	主桁の欠損	全面通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
豊川市 (愛知県)	かんつうじばし 閑通寺橋	市道為当仲 上三津市場 線	1987	2023	橋脚の沈下	全面通行止	廃止中
豊田市 (愛知県)	ウルシゼ橋	市道稲武ウ ルシゼ橋線	1918	2016 2021	床版の鉄筋露出	全面通行止	修繕予定
豊田市 (愛知県)	ぐんかみりばし 郡界橋2	市道稲武郡 界線	1917	2016 2021	主桁、床版の鉄 筋露出	全面通行止	修繕予定
新城市 (愛知県)	ながしのばし 長篠橋	市道長篠大 海線	1934	2023	主桁の変形	全面通行止	未定
田原市 (愛知県)	かわきたひとごうはし 川北一号橋	市道川向尾 崎線	1979	2022	腐朽により主桁、 床版の抜け落ち	全面通行止	撤去予定
弥富市 (愛知県)	なべた、ごうきやう 鍋田9号橋	鍋田17号 線	不明	2016 2020	主桁、下部工の 鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
弥富市 (愛知県)	すえひろばし 末広橋	東末広107 号線	1972	2016 2021	主桁の腐食、変 形欠損、下部工 の鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
東栄町 (愛知県)	ときわばし 常盤橋	町道(154)ア セモ立渡瀬 線	1932	2019	主桁の格点一腐 食、欠損	全面通行止	撤去中
東栄町 (愛知県)	むめいばし 無名橋13	町道(162)吐 原線	1981	2019 2023	主桁の腐食、欠 損、床版の腐食、 防食機能の劣化	全面通行止	修繕中
津市 (三重県)	3068-1号橋	市道西藏王 馬藪線	1963	2021	主桁に腐食、床 版(路面)に腐 食・抜け落ち	全面通行止	未定
津市 (三重県)	204-3号橋	市道大野矢 持線	1965	2022	主桁の腐食	全面通行止	未定
津市 (三重県)	くちまえだはし 口前田橋	市道小杉城 立溪流線	1979	2022	床版部の腐食・ 抜け落ち	全面通行止	未定
熊野市 (三重県)	ほそおはし 細尾橋	市道大馬細 尾線	不明	2022	床版、横桁に著し い損傷	全面通行止	架替予定
伊賀市 (三重県)	やがみ はし 山神橋	市道印代山 神線	1953	2019	橋脚の沈下	全面通行止	架替中
菰野町 (三重県)	あおたきばし 蒼滝橋	町道湯の山 10号線	1932	2016	主桁の腐食によ る断面欠損	全面通行止	架替中
大台町 (三重県)	きかせたに、ごうきやう 坂瀬谷2号橋	町道高奈舟 木谷線	1978	2020	床版に腐食	全面通行止	修繕予定
大台町 (三重県)	きかせたに、ごうきやう 坂瀬谷3号橋	町道高山谷 線	1975	2020	主桁、床版に腐 朽、腐食	全面通行止	廃止予定
度会町 (三重県)	ごろうがせはし 五郎ヶ瀬橋	町道和井野 権田線	1925	2017 2021	地覆、高欄の欠 損、主桁の鉄筋 露出、基礎の洗 掘	全面通行止	未定
御浜町 (三重県)	こまつはし 小松橋	町道引作線	1970	2020	橋脚の沈下	全面通行止	架替中
長浜市 (滋賀県)	にごうはし 二号橋	早崎干拓線	1970	2023	橋脚の鋼管柱に 顕著な板厚減少、孔食および 破断	全面通行止	未定
長浜市 (滋賀県)	いぬいりばし 乾橋	留目3号線	1935	2023	鋼I桁の腐食の進 展による明らかな 板厚減少、孔食、 欠損	全面通行止	架替中

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
草津市 (滋賀県)	ながた ごうきょう 永田1号橋2	上笠川原駒 井沢線	1967	2023	主桁、横桁、床版 の腐食、板厚減 少、破断	全面通行止	架替予定
綾部市 (京都府)	ものべおおはし 物部大橋	市道宮川線	1999	2023	橋脚及び床版の 沈下	全面通行止	撤去予定
南丹市 (京都府)	まけじんじかまはし 摩気神社前橋	市道摩気神 社線	1993	2023	主桁支点部の腐 朽による破断	車両通行止	修繕中
岬町 (大阪府)	にいはいまがわ ごうきょう 新浜川1号橋	町道新浜1 号線	不明	2022	主桁の腐食	全面通行止	架替中
奈良市 (奈良県)	むめいきょう 無名橋351	東 部 第 7 9 号線	不明	2018 2023	主桁・横桁腐食、 断面欠損。下部 工洗堀	バリケード設 置及び通行止 掲示(全面通 行止)	修繕中
奈良市 (奈良県)	むめいきょう 無名橋355	東 部 第 8 8 号線	不明	2018 2023	床版・路面抜け 落ち	バリケード設 置及び通行止 掲示(全面通 行止)	修繕中
五條市 (奈良県)	しもだばし 下田橋	霊安寺8号 線	1945	2016 2019	主桁の損傷、下 部工のひびわれ	通行規制(車 両)	廃止予定
宇陀市 (奈良県)	おくのたに ごうきょう 奥ノ谷3号橋	市道宮奥針 道線	1955	2018	桁に用いている 丸太材が腐朽	バリケードの設 置(全面通行 止)	未定
宇陀市 (奈良県)	いたばし イタ橋	市道菟田野 124号線	不明	2018	床版の木材が朽 ちて一部抜け落 ち	バリケードの設 置(全面通行 止)	未定
宇陀市 (奈良県)	ふじたばし 藤田橋	市道菟田野 317号線	不明	2018	床版の腐朽によ って橋面の一部 に穴が開いる	バリケードの設 置(全面通行 止)	未定
宇陀市 (奈良県)	カマクラ ばし 橋	市道下笠間 茶白山線	不明	2018	主桁の破損、及 び下部工の洗堀	バリケードの設 置(全面通行 止)	未定
平群町 (奈良県)	いちばら ごうきょう 櫟原1号橋	北 栴 原 ・ 西 向196号線	不明	2016 2020	主桁の破断、腐 食	通行規制(車 両)	未定
十津川村 (奈良県)	きゅうかわつおおはし 旧川津大橋	村道川津線	1960	2015 2020	床版の腐食	全面通行止	撤去予定
十津川村 (奈良県)	さるかいばし 猿飼橋	村道平谷猿 飼線	1945	2015 2020	主桁、床版の腐 食	全面通行止	修繕予定
十津川村 (奈良県)	いけあなはし 池穴橋	村道池穴中 原橋	1931	2015 2020	主桁、床版の腐 食	全面通行止	修繕中
十津川村 (奈良県)	なかいはらばし 中原橋	村道池穴中 原橋	1945	2015 2020	主桁、床版の腐 食	全面通行止	撤去予定
十津川村 (奈良県)	おおのであいばし 大野出合橋	村道高滝小 川線	不明	2015 2020	主桁の腐食	全面通行止	修繕予定
十津川村 (奈良県)	ゆのはらばし 湯之原橋	村道湯之原 舟谷線	1934	2015 2020	主桁の腐食	全面通行止	修繕予定
十津川村 (奈良県)	おおびそばし 大檜曾橋	村道大檜曾 線	不明	2015 2020	主桁、横桁の腐 食	全面通行止	修繕予定
鳥取市 (鳥取県)	おおはし 大橋	その他市道 上砂見5号 線	1994	2018	主桁、床版、横桁 の腐朽	全面通行止	架替中
米子市 (鳥取県)	あんようじはしほどうきょう 安養寺橋歩道橋	日原兼久線	1975	2023	ボルトの脱落、支 承アンカーボルト 破断など	全面通行止	撤去予定
倉吉市 (鳥取県)	ひろせ ごうきょう 広瀬5号橋	広瀬2号線	1962	2018 2023	床版の変形・欠損	全面通行止	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
八頭町 (鳥取県)	かいほらかじや ごうきょう 皆原鍛冶屋2号橋	皆原鍛冶屋 線	不明	2022	橋台基礎の洗堀	バリケードを設 置し歩行者及 び車両を全面 通行止	修繕中
日南町 (鳥取県)	つうてんばし 通天橋	石霞溪線	1929	2015	主桁の腐食	全面通行止	未定
松江市 (島根県)	りゅうげんじばし 龍源寺橋	龍源寺線	1988	2022	橋脚横鋼に孔食	全面通行止 (橋の前後に 通行止看板を 設置)	修繕中
松江市 (島根県)	おにがたきはし 鬼ヶ滝橋	堂谷線	1954	2023	主桁、横桁、床版 覆工板の腐食と 版厚減少、橋面 鋼板の孔食、左 岸側石積護岸の 流出	全面通行止	未定
松江市 (島根県)	やわたばし 八幡橋	大門4号線	1984	2023	主 要 部 材 の 腐 食、欠損および 脱落 A2橋台の洗堀、 傾斜	全面通行止	撤去予定
出雲市 (島根県)	しょうろだに ごうばし 松露谷1号橋	鰐淵寺松露 谷線	1985	2023	木 橋 橋 台 の 洗 堀、支持杭の傾 斜・露出、橋面の たわみ	全面通行止	架替予定
益田市 (島根県)	ひらかわばし 平川橋	平川線	1938	2018 2023	橋脚洗堀により橋 梁全体が変状	バリケードにて 通行止	撤去予定
大田市 (島根県)	の だ ば し 野田橋(木橋)	中組野田線	1996	2023	主桁木材の腐食 進行	全面通行止	未定
雲南市 (島根県)	あかし ごうばし 明石2号橋	明石線	不明	2022	橋台の洗堀	全面通行止	架替中
雲南市 (島根県)	う じ た に ば し 宇治谷橋	深野西側線	不明	2022	橋台の洗堀	全面通行止	架替中
雲南市 (島根県)	た く の ば し 多久戸橋	多久戸線	不明	2022	流出	全面通行止	架替予定
吉賀町 (島根県)	だいばし 台橋	中村隠居沖 線	1973	2015 2020	主桁・横桁の腐 食	全面通行止	修繕中
吉賀町 (島根県)	とちぎはし 栃木橋	栃木線	1974	2015 2020	主ケーブルの損 傷	全面通行止	修繕中
隠岐の島町 (島根県)	あい はし 愛の橋	西郷145号 線	1956	2017 2022	主桁剥離・鉄筋 露出、橋脚剥離・ 鉄筋露出	前面通行止	架替中
笠岡市 (岡山県)	しらいしじま ごうきょう 白石島1号橋	市道白石島 80号先西尼 木線	不明	2023	床版に異常な欠 損あり	全面通行止	廃止中
笠岡市 (岡山県)	よしだがわ ごうきょう 吉田川6号橋 (笹賀屋橋)	市道吉浜 21 号樋鏡老号 線	不明	2023	主 桁 に ひ び わ れ、床版に鉄筋 露出、うき、A1 橋 台にはらみだし、 P4 橋脚梁部に亀 裂	全面通行止	架替中
赤磐市 (岡山県)	かわせばし 川瀬橋	市道柿坂線	不明	2022	主桁のひびわれ	全面通行止	架替予定
赤磐市 (岡山県)	じょうれんかんばら ごうきょう 上連神原1号橋	市道上連神 原線	不明	2022	主桁のひびわれ	通行規制(車 両)	修繕予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
真庭市 (岡山県)	なかむらにしはし 中村西橋	市道中村西 線	2000	2020	主桁の腐食・亀 裂、支承の腐食、 下部工の石のは らみだし	全面通行止	撤去中
真庭市 (岡山県)	むねすえかみはし 宗末上橋	市道後谷・ 尾中線	不明	2020	床版(木部材)に 著しい腐朽、破 断・抜け落ち 横桁に鋼材断面 減少を伴う腐食	全面通行止	修繕中
矢掛町 (岡山県)	にいやはし 仁井屋橋	町道辻堂線	1964	2021	主桁の腐食、路 面の陥没	通行止	架替中
美咲町 (岡山県)	かみあいばし 上阿井橋	町道谷川線	不明	2023	床版の腐朽	全面通行止	未定
美咲町 (岡山県)	こえだばし 小枝橋	町道小枝線	不明	2023	主桁・床版端部 の腐朽	全面通行止	未定
呉市 (広島県)	かもめ ^{ほどうきょう} 歩道橋	市道幸町海 岸線	1953	2022	横桁の腐食、床 版の剥離・鉄筋 露出	バリケードによ る通行止	撤去予定
府中市 (広島県)	しぎたにはし 嶋谷橋1	市道鳴谷広 谷線	1955	2019	上部構造床版の 損傷(流失)	仮設材の設置 (全面通行止)	撤去中
下関市 (山口県)	うついかみ ^{ごうきょう} 内日上18号橋	市道内日上 53 号線	1976	2023	下部工損傷	通行止	修繕中
下関市 (山口県)	きのしたはし 木下橋	市道坂ノ上 ～保木線	1974	2023	下部工損傷	通行止	撤去中
下関市 (山口県)	ムメイキョウ 25	市道上畔線	1957	2023	橋台背面陥没	通行止	修繕中
山口市 (山口県)	ひがしおおぎだはし 東扇田橋	小森和西線	不明	2023	主桁・床版の腐 食	全面通行止	未定
岩国市 (山口県)	みしょうばし 御庄橋	御庄1号線	1953	2016	主桁ゲルバー部 のひびわれ	全面通行止	撤去中
長門市 (山口県)	かみいでばし 神出橋	市道神出線	1963	2016 2021	主桁の剥離、鉄 筋露出	全面通行止	撤去予定
柳井市 (山口県)	かまとぎ ^{ごうきょう} 鎌磨1号橋	河原鎌磨線	1976	2015 2020	主桁の剥離、鉄 筋露出	全面通行止	廃止予定
山陽小野田 市 (山口県)	いしまるはし 石丸橋	市道桜川石 丸線	1964	2022	下部構造の沈下	路肩規制 (張出部の通 行制限)	未定
山陽小野田 市 (山口県)	まつがせはし 松ヶ瀬橋	市道松ヶ瀬 線	1954	2015 2020	主桁の剥離、鉄 筋露出	全面通行止	未定
田布施町 (山口県)	まみしがらばし 上シガラ橋	法寺坊線	1958	2021	橋台の一部損傷	全面通行止	未定
田布施町 (山口県)	せんぼうばし 千坊橋	竹尾奥線	1959	2021	橋台ひびわれ・ 亀裂、基礎部の 洗掘による欠損	全面通行止	撤去中
徳島市 (徳島県)	しょうひがいはし 庄東 橋	市道庄・中 島田東線	1965	2019 2022	主桁の腐食、鉄 筋露出および鉄 筋の破断	車両通行止	架替予定
三好市 (徳島県)	のろうちあはし 野呂内橋	坪尻野呂内 線	1959	2017 2021	下部構造物の剥 離、洗掘、腐食	全面通行止	廃止予定
三好市 (徳島県)	どうとこばし 堂床橋	境谷大谷線	1959	2015	主桁の腐食	全面通行止	撤去予定
三好市 (徳島県)	ゆみきばし 弓木橋	旧松舟線	1963	2014	主桁、支承部の 腐食、鉄筋露出	全面通行止	修繕中

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
三好市 (徳島県)	ツフ谷落合線 3号橋	ツフ谷落合 線	1972	2021	主桁に鉄筋露 出・欠損、舗装の 異常(土砂化)	全面通行止	廃止予定
三好市 (徳島県)	さかせばし 坂瀬橋	窓小祖谷線	1970	2017 2021	床版部分の腐食	全面通行止	廃止予定
上勝町 (徳島県)	なかすはし 中須橋	町道神明葛 又線	不明	2016	木床版の腐朽、 橋台の崩壊	全面通行止	撤去予定
上勝町 (徳島県)	しもうめはし 下梅木橋	町道下梅木 線	不明	2016	木床版の腐朽	全面通行止	撤去予定
つるぎ町 (徳島県)	きたたにばし 吉良谷橋	町道吉良谷 線	1957	2017 2022	鉄筋露出・橋台 下部洗掘	全面通行止	撤去予定
高松市 (香川県)	よせじばし 寄地橋	市道東谷 1 号線	1965	2019	下部構造の洗掘	全面通行止	撤去中
観音寺市 (香川県)	かめきんばし 亀錦橋	市道姫浜上 松線	不明	2021	床版、下部構造 に鉄筋露出・腐 食	通行規制(車 両)	撤去予定
観音寺市 (香川県)	かんおんじごくらくばし 観音寺極楽橋	市道上若南 線	1933	2015 2021	上下部工の剥 離、鉄筋露出	通行規制(二 輪・歩行者以 外)	架替予定
まんのう町 (香川県)	つねかねばし 常包橋	町道常包橋 線	1933	2016 2020	主桁ゲルバー部 のひびわれ、床 版の鉄筋露出、 支承部の腐食	通行規制(車 両)	撤去予定
松山市 (愛媛県)	かしまばし ぎょうきょう 鹿島橋 3 号橋	市道鹿島公 園線	不明	2018 2023	主桁全面に著し い鉄筋露出	全面通行止	未定
松山市 (愛媛県)	かしまばし ぎょうきょう 鹿島橋 5 号橋	市道鹿島公 園線	不明	2018 2023	主桁全面に著し い剥離、遊離石 灰等	全面通行止	未定
松山市 (愛媛県)	かしまばし ぎょうきょう 鹿島橋 6 号橋	市道鹿島公 園線	不明	2018 2023	主桁全面に著し い鉄筋露出、遊 離石灰等	全面通行止	未定
松山市 (愛媛県)	かしまばし ぎょうきょう 鹿島橋 7 号橋	市道鹿島公 園線	不明	2018 2023	主桁全面に著し い鉄筋露出、遊 離石灰等	全面通行止	未定
松山市 (愛媛県)	ゆやま ぎょうせん 湯山19号線 1号橋	市道湯山 19 号線	不明	2017 2022	木造桁橋(人道 橋)の主桁 4 本 のうち 1 本に腐朽・ 欠損、床版全体 にも腐朽	全面通行止	撤去予定
久万高原町 (愛媛県)	おもいちはし 面一橋	町道面一線	1967	2023	橋台・橋脚の断 面欠損	単管バリケー ド	修繕中
室戸市 (高知県)	さきはまばし 佐喜浜橋	市道佐喜浜 本線	1929	2017	主桁、下部工に 腐食、剥離・鉄筋 露出、床版に剥 離・鉄筋露出、支 承の機能障害	車両通行止	架替中
室戸市 (高知県)	みなとばし 港橋	市道湊橋線	1971	2015	主桁、横桁、支承 の腐食	全面通行止	撤去予定
室戸市 (高知県)	きらがわおおはし 吉良川大橋	市道本町西 ノ宮線	1936	2017	主桁に腐食、う き、剥離・鉄筋露 出、下部工に腐 食、剥離・鉄筋露 出、沈下	車両通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
安芸市 (高知県)	はちやしきひがしせん ぐうばし 八屋敷東線1号橋	市道八屋敷 東線	不明	2018 2021	床版全体に著し い腐朽、抜け落 ち	全面通行止	修繕中
安芸市 (高知県)	なび か こい せん 奈比賀古井線 13号橋	市道奈比賀 古井線	不明	2018 2022	落橋および橋台 の崩落	全面通行止	修繕予定
安芸市 (高知県)	なび か こい せん 奈比賀古井線 7号橋	市道奈比賀 古井線	不明	2018 2022	床版の木材に著 しい腐朽、脱落	全面通行止	修繕予定
安芸市 (高知県)	なび か こい せん 奈比賀古井線 8号橋	市道奈比賀 古井線	不明	2018 2022	床版の木材に著 しい腐朽、脱落	全面通行止	修繕予定
安芸市 (高知県)	なび か こい せん 奈比賀古井線 12号橋	市道奈比賀 古井線	不明	2018 2022	床版の木材に著 しい腐朽、脱落	全面通行止	修繕予定
安芸市 (高知県)	いわと せん ぐうばし 岩戸線4号橋	市道岩戸線	不明	2018 2022	床版に板厚減少 を伴う著しい腐食	全面通行止	機能変更中
須崎市 (高知県)	おおたに ぐうせん ぐうきょう 大谷6号線2号橋	市道大谷 6 号線	1951	2016 2021	主桁の鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
須崎市 (高知県)	みやの こうち ぐうせん 宮ノ川内15号線 1号橋	市道宮ノ川 内 15 号線	不明	2014 2019	木橋の上部構造 の腐朽	全面通行止	撤去予定
須崎市 (高知県)	おおaura ぐうせん ぐうきょう 大浦6号線2号橋	市道大浦 6 号線	不明	2014 2019	木橋の上部構造 の腐朽、床版の 抜け落ち、下部 工の石積の崩壊	全面通行止	撤去予定
宿毛市 (高知県)	かいそ ぐうばし 貝礎1号橋	市道山田貝 礎線	1979	2018	主桁、床版の腐 食、洗堀	全面通行止	廃止予定
土佐清水市 (高知県)	かのうぎき ぐうきょう 叶崎 2 号橋	市道大津南 線	1969	2018	主桁の剥離・鉄 筋露出、横桁の 剥離・鉄筋露出	全面通行止	撤去中
土佐清水市 (高知県)	かのうぎき ぐうきょう 叶崎 1 号橋	市道大津南 線	1969	2018	主桁の剥離・鉄 筋露出、横桁の 剥離・鉄筋露出	全面通行止	撤去中
四万十市 (高知県)	みさと はし 三里橋	市道具同三 里線	1963	2017	パイルベント橋脚 (鋼管)の腐食	応急処置を行 い、通行開放	修繕中
香美市 (高知県)	いのたに はし 猪ノ谷橋	市道神池川 ノ内線	不明	2021	橋梁の落橋	全面通行止	廃止予定
馬路村 (高知県)	のぐち ばし 野口橋	村道野口橋 線	1953	2017	全耐風索の破断 によるハンガーロ ープのゆるみ	全面通行止	廃止予定
大豊町 (高知県)	きゅうしの がわ ばし 旧吉野川橋	町道穴内尾 生線	1911	2017 2021	変形・欠損・異状 なたわみ	全面通行止	未定
大豊町 (高知県)	なかうちだに はし 中内谷橋	町道大滝中 内線	1959	2019	A1 橋台の顕著な 沈下、移動、傾斜	下部工の開き 部に間詰コン クリート施工	修繕中
津野町 (高知県)	むめいきょう12 無名橋12	町道茶屋ヶ 駄場線	1951	2021	主桁及び横桁に 腐食	通行規制(損 傷の著しい個 所を封鎖)	撤去予定
四万十町 (高知県)	しもどうしもつ い ぐうきょう 下道下津井1号橋	町道下道下 津井線	1940	2016 2021	橋台のひびわれ	全面通行止	修繕中
四万十町 (高知県)	たいしょう ばし 大正橋	町道吾川線	1928	2016 2023	主桁・縦桁・横 桁・ボルトの腐食	全面通行止	未定
四万十町 (高知県)	せり ばし 瀬里橋	町道田野々 瀬里線	不明	2018 2023	主桁に開口幅の 大きなひびわれ	全面通行止	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
四万十町 (高知県)	コヤノ谷 ^{たに ごうばし} 1号橋	町道向山線	不明	2018 2023	主桁の腐食	全面通行止	架替予定
四万十町 (高知県)	しもつさいばし 下津才橋2	町道大井川 西土佐線	1963	2018 2023	主桁剥離・鉄筋 露出、両橋台の 洗掘	全面通行止	撤去予定
四万十町 (高知県)	つがのかわばし 津賀の川橋	町道津賀の 鼻線	1961	2018 2023	主桁、床版の腐 食、橋台の洗堀	全面通行止	撤去予定
黒潮町 (高知県)	こぶしのかわばし 拳ノ川橋	町道拳ノ川 北線	1935	2015 2020 2023	主桁の鉄筋露 出、断面欠損	全面通行止	修繕予定
宮若市 (福岡県)	いとだ ばし 糸田橋	市道 糸田・ 相手無線	1963	2020	橋脚傾き	バリケードを設 置し全面通行 止	撤去予定
武雄市 (佐賀県)	こ ば ぐうばし 古場4号橋	市道乳待坊 線	1976	2022	橋脚の洗掘	車両通行止	修繕予定
小城市 (佐賀県)	あんしんばし 安心橋	市道 峰・畑 田線	1994	2020	下 部 構 造 の 変 形・欠損	全面通行止	架替中
みやき町 (佐賀県)	いし いばし 石井橋	町道石井区 内線	1969	2023	橋脚の沈下によ る主桁の浮き	全面通行止	架替予定
平戸市 (長崎県)	さかいばし 境 橋	市道若宮線	1931	2016 2021	主桁、床版、高欄 の鉄筋露出	通行規制(車 両)	廃止予定
平戸市 (長崎県)	やすまんばし 安満橋	市道旧大越 線	1959	2016 2021	主桁の損傷	通行規制(車 両)	廃止予定
対馬市 (長崎県)	しんばし 新橋1	市道尾崎郷 崎線	不明	2015 2020	主桁の腐食、床 版の剥離、鉄筋 露出	通行規制(2t)	架替中
対馬市 (長崎県)	おおますばし 大增橋	市道大增本 線	1974	2015 2020	主桁、支承の腐 食	通行規制(車 両)	修繕中
対馬市 (長崎県)	い な なかやません ごうきょう 伊奈中山線13号橋	市道伊奈中 山線	不明	2022	下部工の沈下、 傾斜	通行規制(2t)	架替中
水俣市 (熊本県)	さいゆいばし 幸 橋	市道幸町・ 牧ノ内線	1965	2020	ラーメン橋脚(無 筋構造)の梁下面 及び柱に大きな 損傷(ひび割れ、 断面欠損)	重量規制(5t)	架替中
宇土市 (熊本県)	くろはし 黒橋	市道(9-182) 川越・宮の 後線	不明	2015 2019	主桁、床版の腐 食、下部工のひ びわれ	全面通行止	撤去予定
天草市 (熊本県)	よこはまばし 横浜橋1	市道横浜 2 号線	1988	2021	主桁と横桁に腐 食、支承も腐食・ 機能障害、下部 工胸壁に剥離・ 沈下	全面通行止	撤去中
天草市 (熊本県)	ながたはし 長田橋	市道軍ヶ浦 上線	1989	2021	主 桁 に 鉄 筋 露 出・うき、ハンチ部 にうき	全面通行止	架替予定
南関町 (熊本県)	おちあいばし 落合橋	町 道 上 長 田・落合線	1926	2022	橋脚の欠損、高 欄の脱落	全面通行止	架替中
大津町 (熊本県)	いけづるばし 池鶴橋	町道八迫線	1970	2021 2022	橋台の欠損	全面通行止	未定
小国町 (熊本県)	やまつのばし 山角橋	町道山角古 屋線	1965	2022	橋台の洗掘、舗 装の陥没	全面通行止	廃止予定
甲佐町 (熊本県)	み たら いばし 御手洗橋	町道上揚井 戸江線	1986	2023	断面欠損及び、R C T桁の欠損	片側交互通行 規制	未定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
水上村 (熊本県)	せん ひらばし 千が平橋	村道片地横 才線	1971	2019	主桁の欠損、鉄 筋露出、変形	全面通行止	修繕中
水上村 (熊本県)	ゆやまばし 湯山橋	村道汗の原 下馬場線	1958	2021	P1 橋脚の剥離・ 鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
相良村 (熊本県)	しんふかみ ばし 新深水橋	村道新深水 線	2005	2020	下部工洗堀	全面通行止	修繕中
球磨村 (熊本県)	まるいわばし 丸岩橋	村道神瀬大 岩線	1971	2022	下部構造の洗堀	4t 車以上通行 止	修繕中
球磨村 (熊本県)	いわおだいいちばし 岩尾第一橋	村道井手線	1965	2022	下部構造の洗堀	4t 車以上通行 止	修繕中
球磨村 (熊本県)	つげばし 告橋	村道告線	1960	2022	下部構造の洗堀	4t 車以上通行 止	修繕中
球磨村 (熊本県)	まつげばし 松葉橋	村道神瀬大 岩線	1971	2022	下 部 構 造 の 洗 堀、剥離・鉄筋露 出	4t 車以上通行 止	修繕中
球磨村 (熊本県)	もちはらばし 桃原橋	村道神瀬大 岩線	1968	2021	RC 床版の鉄筋露 出・うき、橋台の 洗堀	全 面 通 行 止 (仮設道路設 置)	架替中
球磨村 (熊本県)	しらはまばし 白濱橋	村道田野線	1954	2022	支承の機能障害	4t 車以上通行 止	未定
佐伯市 (大分県)	きよたきはし 清滝橋	市道河内清 滝橋線	1958	2017 2023	防 食 機 能 の 劣 化、各桁の板厚 減少	全面通行止	廃止中
津久見市 (大分県)	ふくやまばし 福山橋	市道岩屋線	1936	2014 2019	床版の剥離、鉄 筋露出、うき	通行規制(2t)	未定
津久見市 (大分県)	ひじろばし 日代橋	市道福良網 代 1 号線	1962	2014 2019	床 版 の 鉄 筋 露 出、主桁の腐食	全面通行止	廃止予定
津久見市 (大分県)	ひじろほどうきょう 日代歩道橋	市道福良網 代 1 号線	1962	2014 2019	床版、主桁の腐 食	全面通行止	廃止予定
豊後大野市 (大分県)	なかつむれはし 中津無礼橋	市道中津無 礼合川線	1965	2019	橋脚が無筋の為	通行制限(4t 車以上)	架替中
由布市 (大分県)	きやういばし 堺 橋	市道仁瀬小 袋線	不明	2015 2020	主桁、支承の腐 食、橋台の洗堀	全面通行止	撤去予定
由布市 (大分県)	しばはらばし 芝原橋	市道中恵宮 田線	不明	2015 2020	主桁の剥離、鉄 筋露出	全面通行止	未定
由布市 (大分県)	かんぶちばし 上湧橋	市道下柿木 線	不明	2015 2020	主桁、橋脚の剥 離、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
由布市 (大分県)	はねつばし 埴坪橋	市道東行埴 坪岡線	1929	2015 2021	主桁の剥離、鉄 筋露出	全面通行止	未定
由布市 (大分県)	かすかけばし 粕掛橋	市道梶屋挾 間線	1951	2019	主桁、横桁、床版 の剥離、鉄筋露 出	全面通行止	撤去予定
国東市 (大分県)	もとみやばし 元宮橋	市道元宮線	1950	2021	支承の防食機能 の劣化・腐食	全面通行止	架替中
九重町 (大分県)	へいけ だにばし 平家谷橋	町道平家山 線	不明	2020	袖擁壁の変形・ 欠損	全面通行止	廃止予定
延岡市 (宮崎県)	ふかたにかわはし 深谷川橋	市道城打扇 線	1971	2019 2023	床版の腐食	通行止	廃止予定
西之表市 (鹿児島県)	たかひまはし 高浜橋	市道鴨女町 1 号線	1974	2022	主桁、横桁、支 承部の著しい板厚 減少や破断	全 面 通 行 止 (看板設置)	修繕中
薩摩川内市 (鹿児島県)	しらきばし 白木橋	市道手打 1 号線	1968	2022	全ての支承や主 桁端部の鋼材で 板厚減少や孔食	全面通行止	修繕中

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
日置市 (鹿児島県)	あい ^{ばし} ら橋	市道向湯田 湯田原線	1924	2016 2021	石 桁 の ひ び わ れ、鋼部材の腐 食	車両通行止	未定
始良市 (鹿児島県)	いわせと ^{ばし} ばし 岩瀬戸橋	市道酒屋段 線	1961	2017 2022	アーチ石の崩落	全面通行止	撤去予定
屋久島町 (鹿児島県)	みやのうらかわ ^{ばし} 宮之浦川橋	町道宮之浦 中通線	1930	2023	主桁の欠損,橋脚 の傾きの異常	フェンスにより 歩行者及び車 両の立入禁止 措置	撤去予定
天城町 (鹿児島県)	むかいがわ ² ごう ^{ばし} 向川2号橋	町道中地前 塔9号線	1966	2021	橋台底面に浮き	全 面 通 行 止 (看板設置)	修繕中
伊仙町 (鹿児島県)	かねくはし 兼久橋	町道カネク 線	1977	2019 2023	主材部の激しい 損傷	全 面 通 行 止 (看板設置)	架替中
沖縄市 (沖縄県)	うちきな ^{ばし} 内喜納橋	市道東南植 物楽園線	1976	2017 2020	床板の剥離・鉄 筋露出	仮受け材の設 置(通行規制 (車両))	未定
宜野座村 (沖縄県)	1号ボックスカルバ ート3	村道潟原旧 国道線	1967	2017 2022	頂版全体の鉄筋 露出	全面通行止	撤去予定
与那国町 (沖縄県)	しまな ^{かり} はし 島仲橋	町道ティン ダバナ線	1963	2018	主桁・床板のたわ み、剥離、うき、鉄 筋露出	全面通行止	架替予定

※判定区分Ⅳの施設リストは、2024.7 に各道路管理者に確認した内容を記載。

※緊急措置後の恒久的な措置が完了済の施設は除く。

【トンネル】

○ 判定区分Ⅳのトンネルの措置内容(完了済・予定のものを含む)

管理者	管理中				撤去・ 廃止済 ※1	計	うち措置未完了 (下記リスト参照)
	計	修繕	廃止	対応 未定			
国土交通省	3	3	0	0	0	3	0
都道府県・ 政令市等	14	13	0	1	0	14	4
市区町村	37	20	9	8	24	61	23
合計	54 (69%)	36 (46%)	9 (12%)	9 (12%)	24 (31%)	78	27 (35%)

※1:判定後、撤去・廃止により管理施設から除外されたもの。

※高速道路会社管理のトンネルは健全度Ⅳの施設なし。

○ 国土交通省(0箇所)

○ 都道府県・政令市等(4箇所)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
東京都	ふきあげ 吹上トンネル	青梅秩父線	1953	2023	うき・剥離	剥落防止ネットの設置(変状部直下の通行規制)	修繕中
長野県	ねがめトンネル	一般県道上 松南木曽線	2002	2021	覆工の巻厚不足	はく落防止措置	修繕中
滋賀県	よこやまずいどう 横山隧道	一般県道大 野木志賀谷 長浜線	1923	2022	背面空洞	侵入できないよう門扉設置済み	未定
奈良県	たかはら 高原トンネル	国道169号	1996	2018	覆工のひびわれ	全面通行止	修繕中

○ 市区町村(23箇所)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3月末時点)
上士幌町 (北海道)	ふじかわ 不二川トンネル	町道糠平線	1955	2018 2021	剥落・漏水・ひびわれ	全面通行止	廃止予定
みなかみ町 (群馬県)	たからがわすいどう 宝川隧道	町道藤原 119号線	1960	2018 2023	坑門、覆工アーチ・側壁の剥離	全面通行止	修繕予定
君津市 (千葉県)	おくごめ ごうすいどう 奥米3号隧道	市道奥米、 廻田線	不明	2014	激しい崩落、崩落した岩の堆積	全面通行止	廃止予定
君津市 (千葉県)	いわ うえすいどう 岩の上隧道	市道坂畑・草 川原線	不明	2014	激しい崩落、崩落した岩の堆積	全面通行止	廃止予定
見附市 (新潟県)	とちくぼすいどう 枅窪隧道	椿沢・枅窪線	1956	2019	坑口の崩壊	全面通行止	未定
村上市 (新潟県)	おおさきやま 大崎山トンネル	市道府屋基 石線	1955	2019	本体工の材質劣化	全面通行止	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
村上市 (新潟県)	まのうち 間ノ内トンネル	市道府屋基 石線	1955	2019	本体工の材質劣 化	全面通行止	廃止予定
富山市 (富山県)	すなぐら 砂蔵トンネル	市道蟹寺加 賀沢線	1977	2018	側壁に段差を伴 うひび割れ、坑門 ひび割れ	全面通行止	修繕中
白山市 (石川県)	かづせうざいどう 数瀬隧道	市道数瀬2 号線	1959	2018	アーチ部のうき、 側面壁の欠損	全面通行止 (2004 より)	廃止中
白山市 (石川県)	すすくりざいどう 鈴栗隧道	市道ダム1号 線	1979	2018 2023	アーチ部のうき	全面通行止 (2018 より)	修繕予定
白山市 (石川県)	しらおきかいざいどう 白尾境隧道	市道ダム1号 線	1979	2018 2023	アーチ部の漏 水、空洞	全面通行止 (2014 より)	修繕予定
伊那市 (長野県)	みわ 美和ダム1号トンネ ル	市道勝間赤 の入線	1958	2018 2023	材料劣化	全面通行止	未定
小谷村 (長野県)	あおぬき 青抜トンネル	村道下寺湯 原線	1962	2022	豆板・漏水	全面通行止	未定
小谷村 (長野県)	ゆばら 湯原2号トンネル	村道下寺湯 原線	1958	2022	豆板・ひび割れ	全面通行止	未定
高山市 (岐阜県)	ひわだ 日和田1号トンネル	市道近城線	不明	2018	坑門工左肩部に ブロック化した浮 き	全面通行止	廃止予定
沼津市 (静岡県)	しげでら 重寺トンネル	市道 5054 号 線	不明	2017	左側壁に一部剥 離、うき	全面通行止	廃止中
長浜市 (滋賀県)	こほくざいどう 湖北隧道	市道八田部 岩熊線	1934	2020	覆工・坑門の材 質劣化(浮き、剥 離、ひび割れ)、 漏水多数	全面通行止	未定
北広島町 (広島県)	しもやま 下山トンネル	町道下山橋 山線	1935	2019	覆工コンクリート、 岩盤の剥落、漏 水	仮設材の設置 (全面通行止)	修繕予定
下関市 (山口県)	みずたれ 水垂トンネル	市道附野水 垂線	1930	2018 2023	本体の一部が崩 落	全面通行止	未定
萩市 (山口県)	えふねざいどう 江舟隋道	市道江舟尻 線	不明	2018 2023	覆工に、うき・剥 離・剥落	全面通行止	未定
萩市 (山口県)	ごんにゅうどう ごんにゅうどう隧道	市道田代渦 ヶ原線	1973	2023	覆工に、うき・剥 離・背面空洞	全面通行止	未定
宿毛市 (高知県)	すくも 宿毛トンネル	市道与市明 野地線	1929	2017 2022	うき、ひび割れか らの漏水	全面通行止	廃止予定
中津市 (大分県)	カブシノトンネル	市道曾木多 志田線	1914	2023	はく離・材質劣化	全面通行止	修繕中

※判定区分Ⅳの施設リストは、2024.7 に各道路管理者に確認した内容を記載。

※緊急措置後の恒久的な措置が完了済の施設は除く。

【道路附属物等】

○ 判定区分Ⅳの道路附属物等の措置内容(完了済・予定のものを含む)

管理者	管理中				撤去・ 廃止済 ※1	計	うち措置未完了 (下記リスト参照)
	計	修繕	廃止	対応 未定			
国土交通省	6	6	0	0	3	9	2
都道府県・ 政令市等	24	21	1	2	8	32	9
市区町村	8	6	0	2	7	15	3
合計	38 (68%)	33 (59%)	1 (2%)	4 (7%)	18 (32%)	56	14 (25%)

※1: 判定後、撤去・廃止により管理施設から除外されたもの。

※高速道路会社管理の道路附属物等は健全度Ⅳの施設なし。

○ 国土交通省(2 施設)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
関東地方 整備局	かめいどえきまえほどうきょう 亀戸駅前歩道橋	国道 14 号	1970	2018 2022	主桁ゲルバー部 の腐食による欠 損(閉塞済み)	排水機能の改 善・追加、水 分供給経路の 遮断、桁受け 材の設置(通 行可能)	修繕中
沖縄総合 事務局	案内標識	国道 58 号	1978	2023	支柱の蓋と横梁 の腐食・断面貫 通	横桁の孔食を 塞ぎ水分供給 経路の遮断及 び錆片落下を 防止 月に1回、変 状の進行具合 や第三者被 害の危険性を 確認	修繕中

○ 都道府県・政令市等(9 施設)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
札幌市	道路標識	主要道道宮 の沢北一条 線	1978	2023	横梁トラス部のき 裂	亀裂部材の交 換	廃止予定
兵庫県	うおはしほどうきょう 魚橋歩道橋	(国)2 号	1971	2023	階段部の腐食	仮受け材を設 置後、通行規 制を解除	修繕中
福岡市	ゆみたまちほどうきょう 弓田町歩道橋	1 級市道博 多駅春日原 2 号線	1969	2022	F11T 高力ボルト の使用	ボルト落下防 止キャップの 設置	未定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
福岡市	みのしまほどうきょう 美野島歩道橋	一般県道 桧 原比恵線	1968	2022	F11T 高力ボルト の使用	ボルト落下防 止キャップの 設置	未定
福岡市	ひがしわしろほどうきょう 東和白歩道橋	JR 鹿児島本 線	1947	2022	F11T 高力ボルト の使用	ボルト落下防 止キャップの 設置	修繕中
鹿児島県	道路標識	県道指宿鹿 児島インター 線	1992	2022	標識板取付部の ナットのゆるみ	ナット締め付 けを実施	修繕中
鹿児島県	道路標識	県道指宿鹿 児島インター 線	1988	2022	標識板取付部の ブラケット・ナット の脱落	応急ナットを 設置	修繕中
鹿児島県	道路標識	県道鹿児島 港下荒田線	不明	2022	標識板取付部の ボルトの突出長 不足	応急ボルトを 設置	修繕中
沖縄県	さきやまおうだんほどうきょう 崎山横断歩道橋	県道 82 号 那覇糸満線	1980	2023	橋台のひび割れ 及びスロープの 傾き	全面通行止	修繕中

○ 市区町村 (3 施設)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2024.3 月末時点)
四街道市 (千葉県)	みそらほどうきょう みそら歩道橋	みそら 78 号 線	不明	2022	主桁と横桁の取 付部の損傷	通行止め及び 職員による見 回り	未定
阿賀町 (新潟県)	いがしま 五十島スノーシェ ッド	町道 向山戸 線	不明	2019	頂版からの漏水 および遊離石灰	ゲートを設置 し全面通行止	未定
上田市 (長野県)	あおくぼほどうきょう 蒼久保歩道橋	市町村道 久 保林大屋線	1977	2022	鋼材の腐食によ る縦桁、床版の 劣化	頻繁な監視及 び一部通行 制限	修繕中

※判定区分Ⅳの施設リストは、2024.7 に各道路管理者に確認した内容を記載。

※緊急措置後の恒久的な措置が完了済の施設は除く。

(4) 橋梁・トンネルの建設年度別施設数

① 橋梁

建設年度	国土 交通省	高速 道路 会社	都道府県 ・政令市 等	市区 町村	合計
1920 以前	15	0	165	666	846
1921	1	0	51	85	137
1922	3	0	64	53	120
1923	6	0	88	94	188
1924	7	0	102	79	188
1925	9	0	134	108	251
1926	45	0	254	206	505
1927	28	0	323	226	577
1928	18	0	365	260	643
1929	19	0	351	250	620
1930	15	0	421	403	839
1931	26	0	468	341	835
1932	59	0	516	331	906
1933	87	0	655	476	1,218
1934	52	0	617	381	1,050
1935	51	0	670	738	1,459
1936	48	0	461	390	899
1937	54	0	571	333	958
1938	52	0	408	282	742
1939	50	0	264	192	506
1940	33	0	218	482	733
1941	63	0	141	245	449
1942	41	0	106	96	243
1943	23	0	109	168	300
1944	8	0	69	84	161
1945	17	0	139	340	496
1946	11	0	83	212	306
1947	35	0	216	279	530
1948	16	0	160	264	440
1949	66	0	212	242	520
1950	57	0	447	1,168	1,672
1951	116	0	582	897	1,595
1952	140	0	633	813	1,586
1953	128	0	933	1,063	2,124
1954	125	0	1,046	1,507	2,678
1955	188	0	1,440	2,590	4,218
1956	203	0	1,353	1,268	2,824
1957	264	0	1,422	1,546	3,232
1958	387	3	1,903	1,976	4,269
1959	532	19	2,058	2,219	4,828
1960	528	19	2,813	5,499	8,859
1961	611	10	2,849	4,212	7,682
1962	784	15	2,738	4,063	7,600
1963	848	367	2,869	4,147	8,231
1964	896	370	2,860	4,170	8,296
1965	891	142	3,526	8,340	12,899
1966	698	7	3,048	4,729	8,482
1967	706	220	3,422	5,532	9,880
1968	659	1,016	3,524	5,495	10,694
1969	837	224	3,301	5,285	9,647
1970	856	208	3,921	11,395	16,380
1971	913	360	3,871	7,697	12,841
1972	970	664	4,583	8,969	15,186

建設年度	国土 交通省	高速 道路 会社	都道府県 ・政令市 等	市区 町村	合計
1973	988	855	3,951	9,173	14,967
1974	715	1,086	3,035	7,189	12,025
1975	667	791	3,029	11,317	15,804
1976	491	528	2,604	7,761	11,384
1977	517	582	2,704	7,567	11,370
1978	709	624	3,647	8,179	13,159
1979	739	567	3,197	7,871	12,374
1980	689	620	3,676	10,977	15,962
1981	638	336	3,194	8,888	13,056
1982	581	738	2,718	8,313	12,350
1983	592	599	3,010	7,483	11,684
1984	590	411	2,300	6,336	9,637
1985	526	578	2,829	8,179	12,112
1986	617	418	2,914	6,305	10,254
1987	706	863	2,687	5,991	10,247
1988	662	615	3,030	6,081	10,388
1989	607	457	2,696	5,848	9,608
1990	461	562	2,512	6,664	10,199
1991	437	606	2,603	5,098	8,744
1992	435	651	2,385	4,540	8,011
1993	474	431	2,742	4,863	8,510
1994	492	482	2,402	4,155	7,531
1995	372	421	2,202	4,090	7,085
1996	533	567	2,163	3,980	7,243
1997	387	598	2,067	3,554	6,606
1998	453	398	2,122	3,846	6,819
1999	516	421	2,081	3,315	6,333
2000	547	460	1,951	3,975	6,933
2001	593	367	1,725	3,228	5,913
2002	571	495	1,720	2,892	5,678
2003	486	500	1,617	2,552	5,155
2004	484	260	1,443	2,164	4,351
2005	470	152	1,185	1,831	3,638
2006	428	164	1,183	1,627	3,402
2007	490	183	1,409	1,698	3,780
2008	463	219	1,220	1,370	3,272
2009	489	249	907	1,171	2,816
2010	476	194	994	1,348	3,012
2011	463	164	868	1,142	2,637
2012	427	133	763	982	2,305
2013	470	162	646	890	2,168
2014	382	218	645	934	2,179
2015	299	246	518	863	1,926
2016	214	66	403	778	1,461
2017	253	230	401	768	1,652
2018	199	226	372	700	1,497
2019	206	167	330	569	1,272
2020	161	56	331	565	1,113
2021	86	91	279	473	929
2022	54	10	219	345	628
2023	11	0	80	134	225
不明	1,576	2	29,437	163,546	194,561
総計	39,187	24,463	188,689	476,994	729,333

②トンネル

建設年度	国土 交通省	高速 道路 会社	都道府県 ・政令市 等	市区 町村	合計
1920 以前	0	0	54	106	160
1921	0	0	3	6	9
1922	0	0	0	6	6
1923	1	0	6	5	12
1924	0	0	1	7	8
1925	3	0	0	5	8
1926	1	0	7	10	18
1927	1	0	6	10	17
1928	3	0	9	8	20
1929	0	0	1	12	13
1930	0	0	14	22	36
1931	0	0	6	9	15
1932	0	0	12	11	23
1933	0	0	7	13	20
1934	1	0	12	10	23
1935	4	0	13	16	33
1936	0	0	10	12	22
1937	0	0	6	7	13
1938	1	0	9	6	16
1939	2	0	8	5	15
1940	0	0	3	7	10
1941	1	0	3	10	14
1942	2	0	8	6	16
1943	3	0	6	17	26
1944	2	0	3	6	11
1945	1	0	4	9	14
1946	0	0	1	4	5
1947	0	0	4	5	9
1948	2	0	5	3	10
1949	7	0	3	3	13
1950	5	0	11	13	29
1951	1	0	11	12	24
1952	2	0	12	12	26
1953	2	0	25	24	51
1954	3	0	27	17	47
1955	2	0	49	35	86
1956	5	0	38	20	63
1957	6	1	29	18	54
1958	10	0	56	20	86
1959	8	1	43	17	69
1960	9	0	47	25	81
1961	11	0	42	17	70
1962	24	6	42	14	86
1963	43	8	67	11	129
1964	37	21	37	27	122
1965	44	0	55	20	119
1966	25	0	56	16	97
1967	31	5	71	14	121
1968	31	27	79	22	159
1969	28	16	44	20	108
1970	48	1	56	24	129
1971	37	3	84	27	151
1972	27	6	91	30	154

建設年度	国土 交通省	高速 道路 会社	都道府県 ・政令市 等	市区 町村	合計
1973	18	22	95	32	167
1974	24	24	113	24	185
1975	20	12	73	23	128
1976	10	5	74	19	108
1977	20	33	104	23	180
1978	13	13	98	34	158
1979	18	12	85	36	151
1980	16	37	87	28	168
1981	14	37	87	30	168
1982	17	73	96	16	202
1983	17	26	91	37	171
1984	15	20	79	26	140
1985	17	57	82	32	188
1986	10	60	90	26	186
1987	15	76	97	23	211
1988	19	64	123	23	229
1989	17	60	94	30	201
1990	13	90	118	24	245
1991	20	68	110	12	210
1992	29	67	116	31	243
1993	11	98	127	33	269
1994	27	48	115	21	211
1995	15	36	110	36	197
1996	17	47	126	41	231
1997	22	81	132	59	294
1998	15	59	130	51	255
1999	17	58	117	35	227
2000	15	32	127	35	209
2001	23	48	117	36	224
2002	22	56	120	30	228
2003	24	35	103	34	196
2004	24	49	102	27	202
2005	35	50	80	14	179
2006	38	17	78	11	144
2007	66	26	71	13	176
2008	42	55	65	11	173
2009	56	35	60	11	162
2010	41	25	68	6	140
2011	52	31	59	10	152
2012	55	6	53	4	118
2013	31	37	34	3	105
2014	47	34	46	7	134
2015	52	63	47	10	172
2016	50	9	49	8	116
2017	44	21	39	2	106
2018	28	56	38	7	129
2019	22	18	41	3	84
2020	24	3	18	3	48
2021	22	3	40	2	67
2022	8	0	17	1	26
2023	2	0	11	0	13
不明	6	6	12	261	285
総計	1,769	2,093	5,560	2,165	11,587

道路メンテナンス年報データ集目録（HP）

- ・ 全国道路施設点検データベース（損傷マップ）
<https://road-structures-map.mlit.go.jp/>
- ・ 全国道路施設点検データベース
<https://road-structures-db.mlit.go.jp/>
- ・ 管理施設数（全道路管理者、国土交通省、高速道路会社、地方公共団体）
- ・ 点検実施数（全道路管理者、国土交通省、高速道路会社、地方公共団体）
- ・ 点検結果（全道路管理者、国土交通省、高速道路会社、地方公共団体）
- ・ 施設名（国土交通省、高速道路会社、地方公共団体）